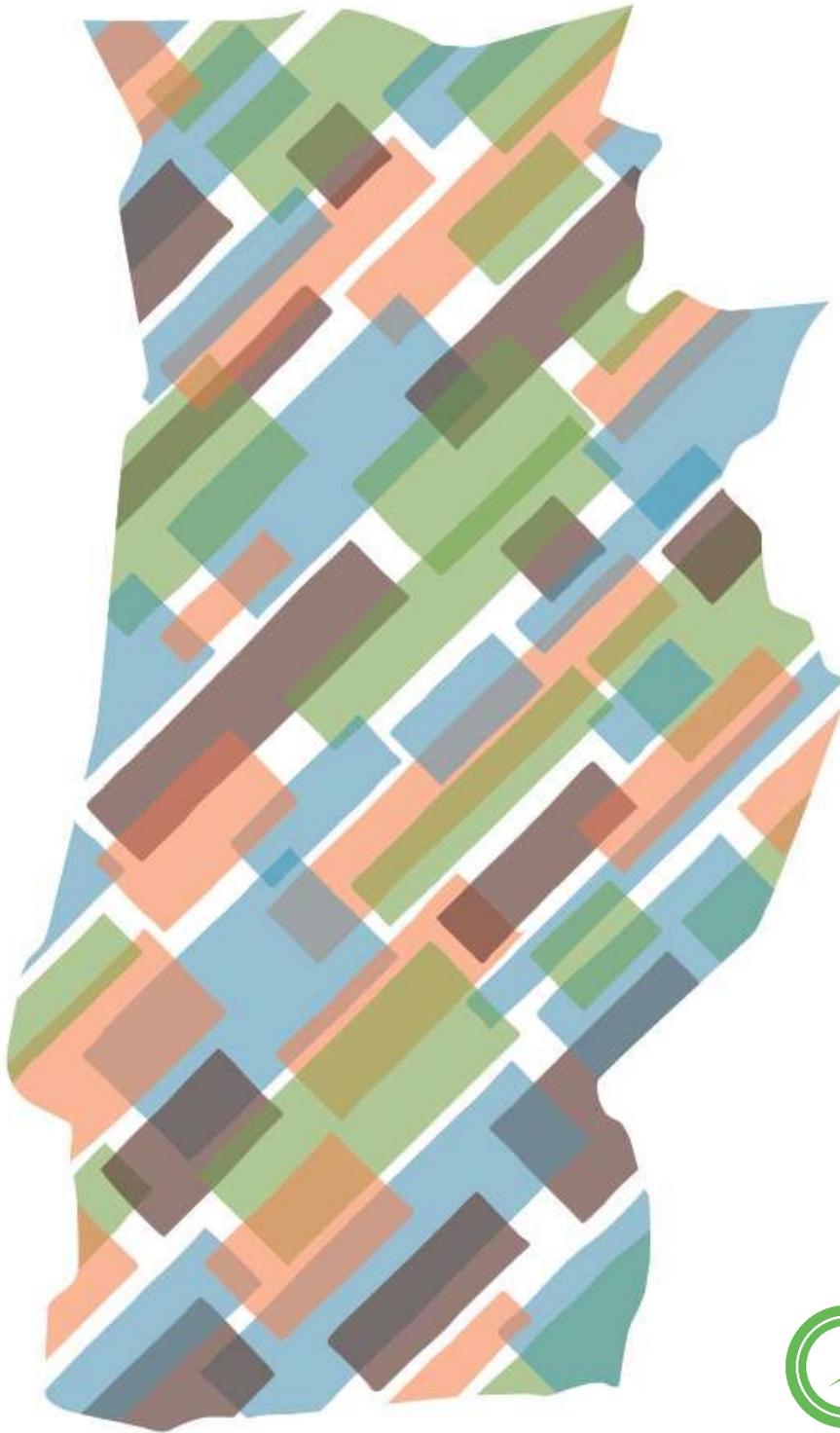


令和8年3月時点 最終案

寒川町都市マスタープラン進捗管理等報告書

令和8年（2026年）4月作成



寒川町

寒川町都市マスタープラン 進捗管理等報告書目次

第1章 進捗管理等報告書の概要.....	1
1. 寒川町都市マスタープランについて.....	2
2. 進捗管理等報告書作成の目的について.....	3
3. 進捗管理等報告書について.....	4
第2章 町の現状.....	5
1. 行政面積、用途地域別面積について.....	6
2. 人口について.....	7
3. 産業について.....	10
4. 土地利用について.....	14
5. 財政状況について.....	15
第3章 町としての課題認識.....	16
1. 集約型都市構造の実現に向けた都市づくりについて.....	18
2. 災害からいのちと暮らしを守る都市づくりについて.....	19
3. 地域の個性や魅力を活かした活力ある都市づくりについて.....	20
4. 循環型、脱炭素型、自然共生型の都市づくりについて.....	21
5. 広域的な視点を踏まえた都市づくりについて.....	22
第4章 進捗管理方法.....	23
1. 進捗管理について.....	24
2. 進捗管理方法の考え方について.....	24
3. 事業進捗状況の把握について.....	25
4. 町民満足度調査の実施結果について.....	26

第5章 事業進捗状況.....	27
1. 評価指標について.....	28
2. 拠点等について.....	29
3. 土地利用について.....	39
4. 道路・交通体系について.....	47
5. 環境・景観形成について.....	60
6. 防災について.....	75
7. その他について.....	80
8. 事業進捗状況のまとめについて.....	88
第6章 町民満足度調査.....	89
1. 調査概要について.....	90
2. 集計・分析方法について.....	91
3. 分析結果について.....	95
第7章 総合評価（進捗管理等評価）.....	107
第8章 今後の都市づくりの方向性.....	111
1. 総合評価を踏まえた今後の方針について.....	112
2. 進捗管理等に係る今後の方針について.....	118

参考資料

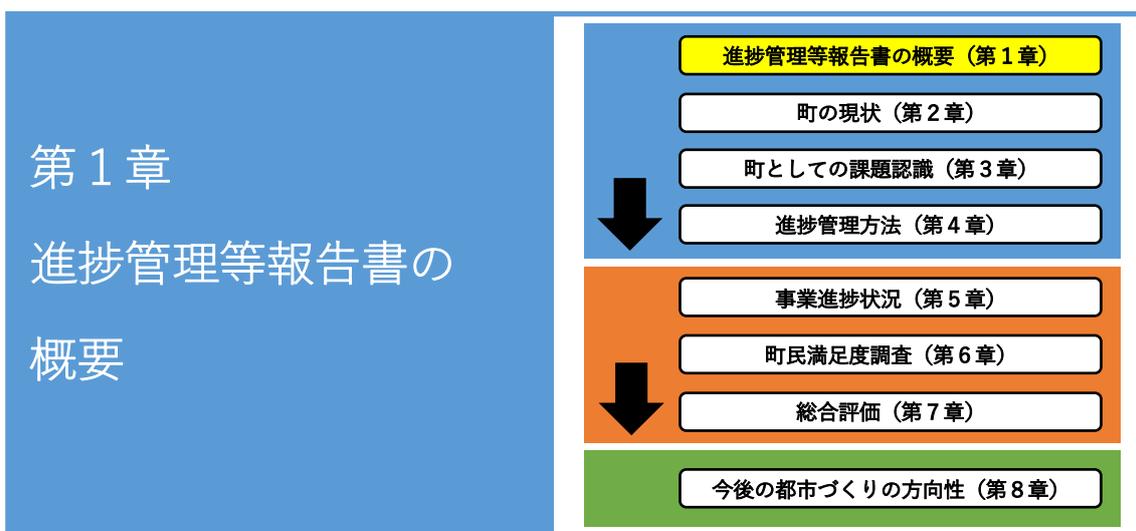
1. 寒川町都市マスタープラン進捗管理等に向けた町民満足度調査結果報告書
2. 町民満足度調査自由記載（年齢別意見の整理）
3. 町民満足度調査自由記載（地域別意見の整理）
4. 町民満足度調査自由記載（頻出キーワードの整理）
5. ポスターセッション実施結果



第1章

進捗管理等報告書の概要

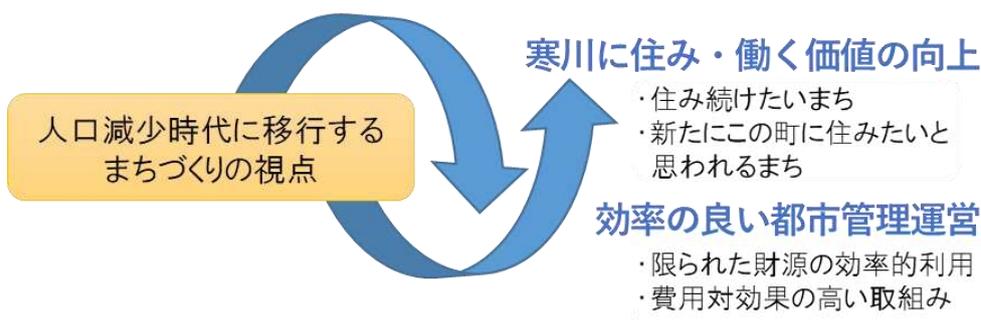




1. 寒川町都市マスタープランについて

市町村都市マスタープランとは、都市計画法（昭和43年法律第100号）第18条の2に位置付けられる「市町村の都市計画に定められる基本的な方針」（以下「基本的な方針」という。）であり、土地利用、道路、公園などの都市施設に加え、都市の景観、防災、環境などの基本的な方針を定める計画です。この「基本的な方針」はおおむね20年後を見据える上で、寒川町の都市計画行政の基本となるものであり、都市計画の見直しや決定に際しての指針となるものです。

「寒川町都市マスタープラン」（以下「都市マスタープラン」という。）は、寒川町人口ビジョン*などで示されている将来予測を踏まえ、人口減少期を迎えるこれからの寒川のまちづくりについて、「持続可能な都市」であり続けるために必要な方向性について、次の視点から検討を進めてきました。



*人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの。寒川町では令和6年12月に改定。

都市マスタープランは、神奈川県が定めた、県土全体の広域的な都市づくりの長期ビジョンを示すものである「かながわ都市マスタープラン」や、都市計画区域ごとに定めた、広域的な土地利用、都市施設等について、将来のおおむねの配置、規模等を示すものである「茅ヶ崎都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の内容に即すとともに、寒川町が定めた「寒川町総合計画2040」などの関連計画と整合を図る、都市づくりの計画です。

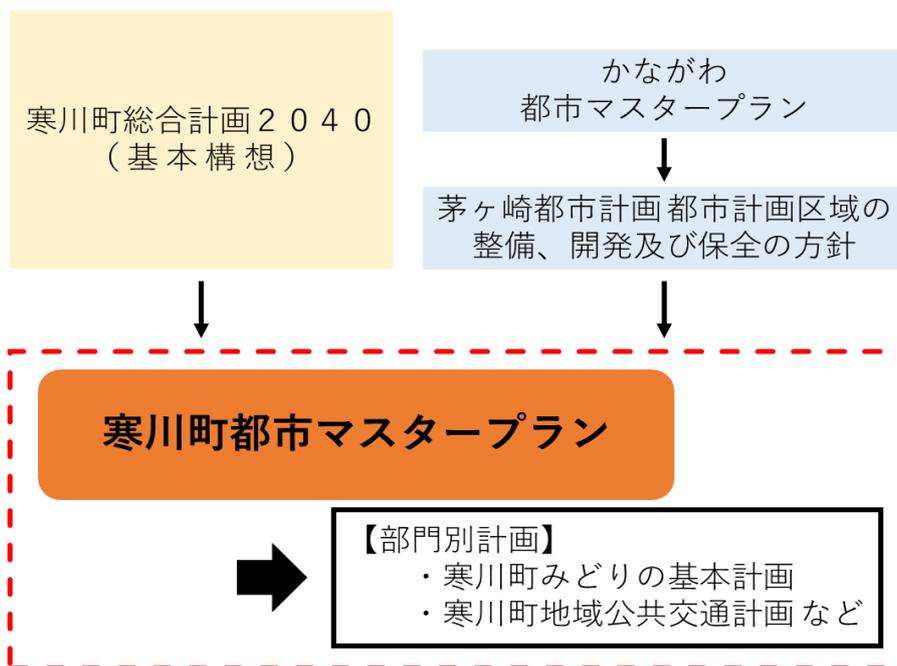


図 1-1 都市マスタープランの位置付けイメージ

2. 進捗管理等報告書作成の目的について

現行の都市マスタープランは、人口減少期に入ることが想定されている中、より身近な視点から“暮らしやすく魅力的なまち”を実現するため、令和3（2021）年度を初年度としておおむね20年後を見据えた方針を示しています。

都市マスタープランに示してあるとおり、まちづくりの目標の実現に向けたプランを推進するためには、「定期的にまちづくりの進み具合を把握する」など適切に管理する必要があります。また、土地利用や開発行為、制度改正などの変化や時点修正を要する場合などにおいて、計画策定後4～5年ごとに見直しの必要性を検討する必要があります。

現在、都市マスタープラン策定から約5年が経過しており、今後予測される土地利用の変化などに対応し、適切にプランを推進するためには都市マスタープランの見直しの必要性を検討する必要があります。今回は、その前段階として、事業進捗状況の把握及び町民満足度調査の実施結果を踏まえた「進捗管理等報告書」（以下「本報告書」という。）を作成します。

表 1-1 都市マスタープランと総合計画の全体スケジュール

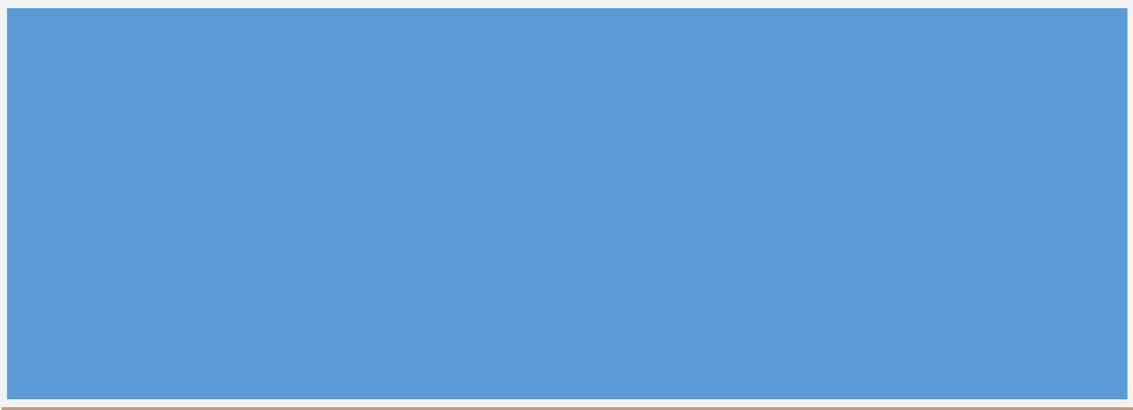
年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
都市マスタープラン	★(4月) 改定					●(4月) 報告書公表			報告書を読み 計画改定の検討	
総合計画(基本構想)	基本構想 計画期間(R3～R22)									
総合計画(実施計画)	第1次実施計画 (R3～R6)			第2次実施計画 (R7～R10)			第3次実施計画 (R11～R14)			

3. 進捗管理等報告書について

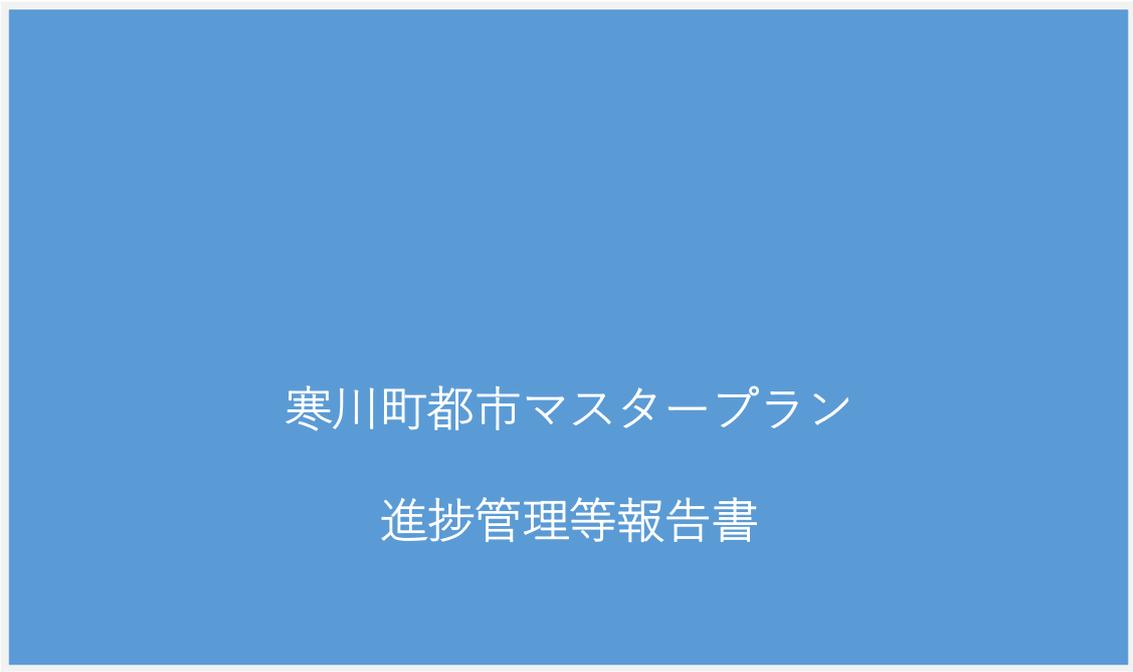
本報告書は、都市の現況を踏まえた上で、都市づくりの基本方針や都市施設等の事業進捗状況などの観点から、都市マスタープランで掲げている「目指す暮らしぶり」と町のすがた」に向けて「プランを適切に推進できているか」、「まちが適切に変化しているか」を評価し、また、町民満足度調査の実施結果を踏まえて、「プランの見直しが必要か」を確認するために作成するものです。

表 1-2 都市マスタープランに記載の「目指す暮らしぶり」と町のすがた」

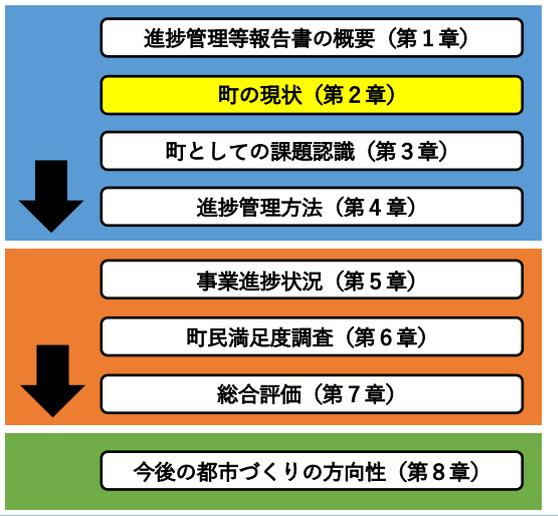
暮らしぶり	町のすがた	関連キーワード
毎日の暮らしやすさが感じられるまち	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な暮らしやすさの充実 寒川駅を中心とした生活拠点の魅力向上 町内交通ネットワーク等の強化 誰もが快適に住み続けられる住まいづくり 足りない部分を支え合う地域の力があるまちなど 	<ul style="list-style-type: none"> 生活利便性 住まい 地域コミュニティ
空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち	<ul style="list-style-type: none"> 農地、水辺環境など自然環境の保全 身近な公園・広場の整備と維持管理 豊かな歴史文化の継承とのんびりとした寒川の魅力づくり みどり豊かな住環境の形成 地域の環境を守る地域力の育成 など 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境・みどりの形成 景観 住環境 地域コミュニティ
安心・安全に暮らし続けられるまち	<ul style="list-style-type: none"> 浸水・冠水等への総合的な対策 地震等の大規模災害を想定した事前対策 交通安全対策・防犯対策の充実 地域の安全を守る地域力の育成 など 	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災 交通安全・防犯 地域力
生き生きと働くことができるまち	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線新駅設置に伴う倉見地区の開発促進 田端西地区における新たな工業地整備 広域道路ネットワークの形成 住工混在地の区画道路の整備改善と土地利用整序 農地保全や農業環境整備のための効果的な対策推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 新拠点 産業都市基盤の形成 既存産業の振興 新たな産業振興（観光交流）
のびのびと元気な子どもを育てられるまち	<ul style="list-style-type: none"> スクールゾーン及び通学路の安全確保 様々な状況の子どもたちを受け入れる居場所づくり 子育てしやすい住まい環境の充実 多様な体験や学びを経験できる機会の提供 地域による子ども達の見守り体制 など 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て環境 遊び場・多様な学習機会 地域コミュニティ



第2章 町の現状



第2章 町の現状



都市マスタープランを適切に管理するために、まずは町の現状を把握し、現状を踏まえた上で今後の方向性等を検討する必要があります。

本資料「第5章 事業進捗状況」において、道路・交通体系をはじめとした都市マスタープランに位置付けをしている公共施設等の現状を把握するため、本章においては町の基礎情報であり、都市計画制度を検討する上で必要であると考える面積、人口、産業、土地利用、財政状況についての現況を把握します。

1. 行政面積、用途地域別面積について

人口の規模等について、次のとおり現況を把握します。

表 2-1 行政区域、都市計画区域について

種別	最終決定（変更）年月日	面積 [ha]
行政区域	平成9年3月28日	1,342
都市計画区域	平成9年3月28日	1,342

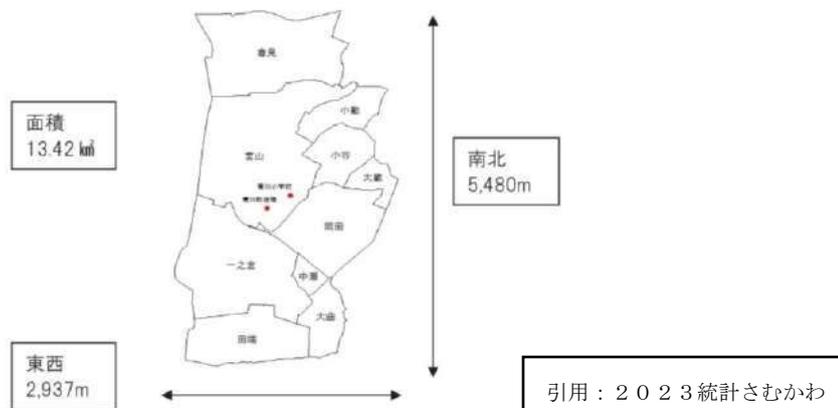


図 2-1 行政面積

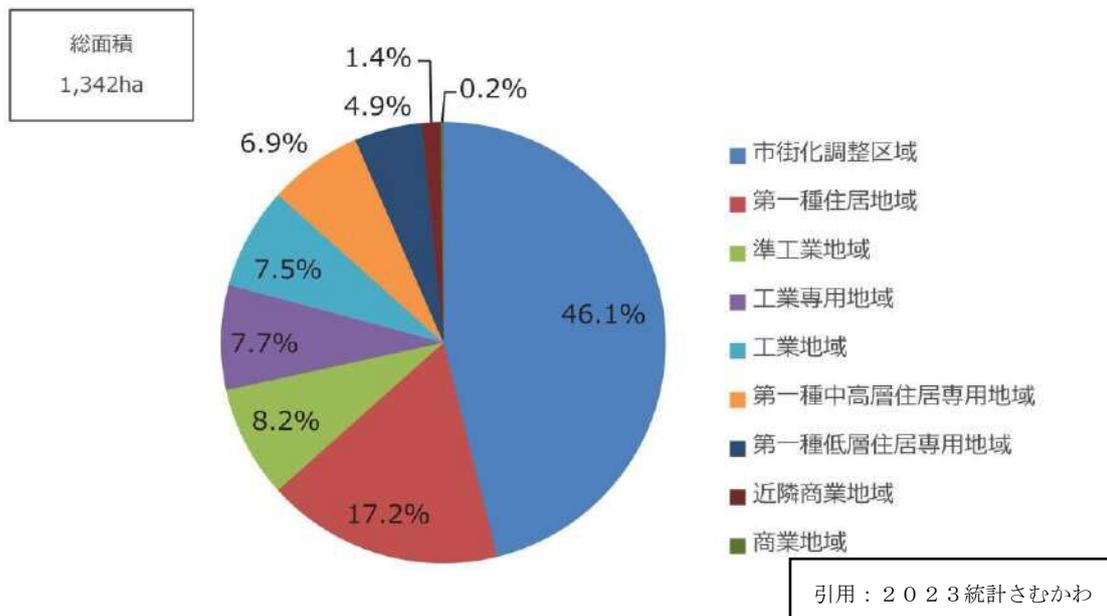


図 2-2 用途地域別面積（令和 6 年 1 月 1 日現在）

2. 人口について

人口の規模等について、次のとおり現況を把握します。

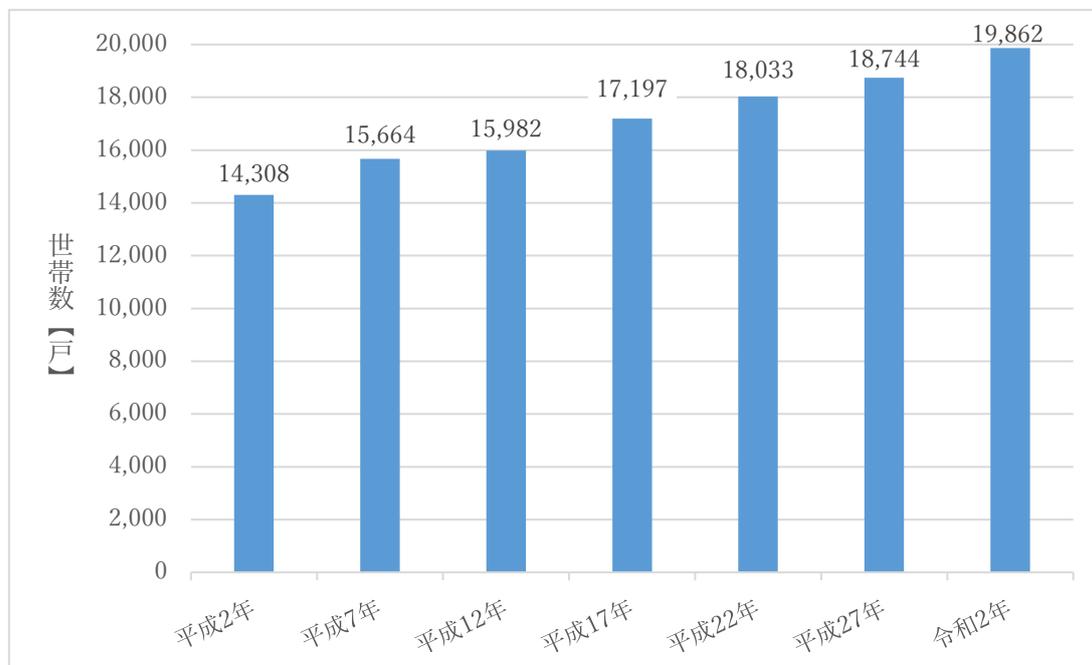


図 2-3 世帯数の推移

参照：統計概要（国勢調査）

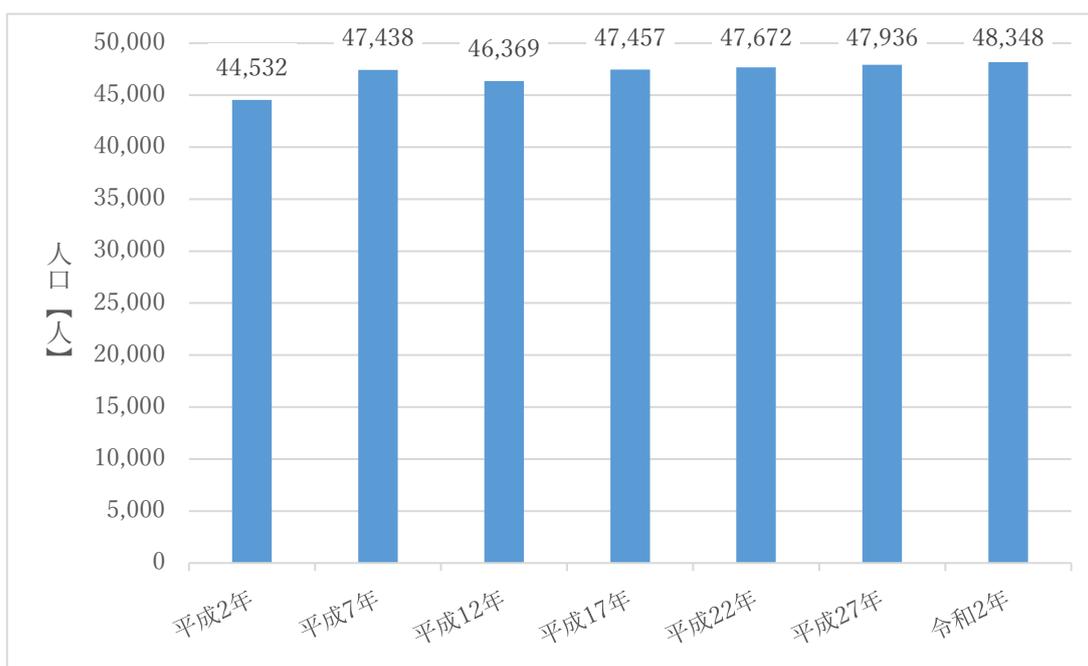


図 2-4 総人口の推移

参照：統計概要（国勢調査）

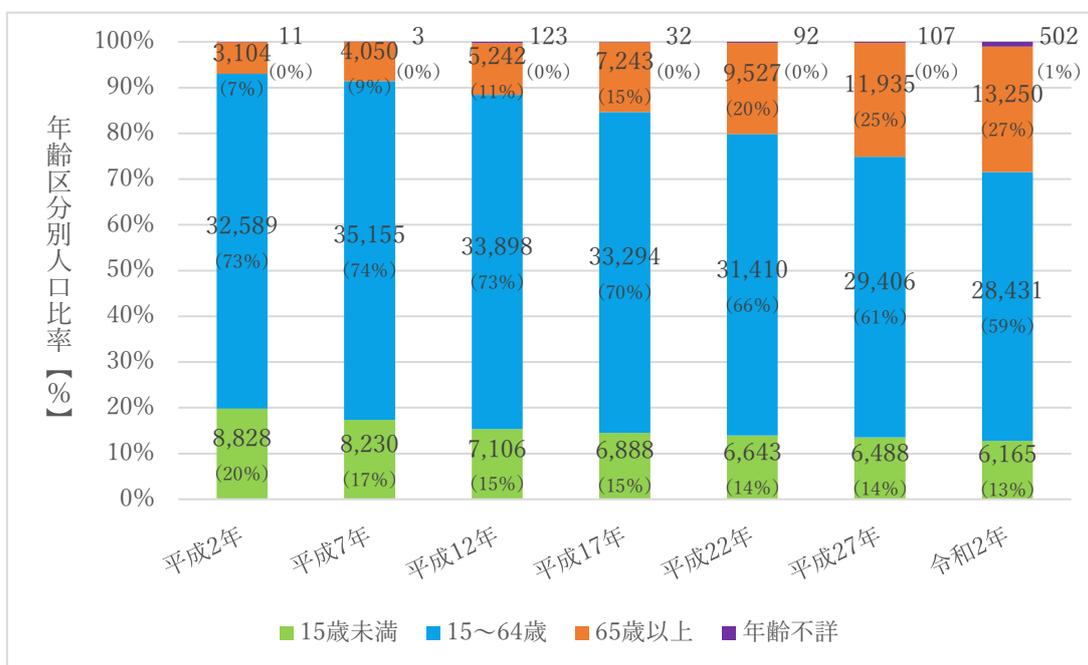


図 2-5 年齢区分別人口比率の推移

参照：統計概要（国勢調査）

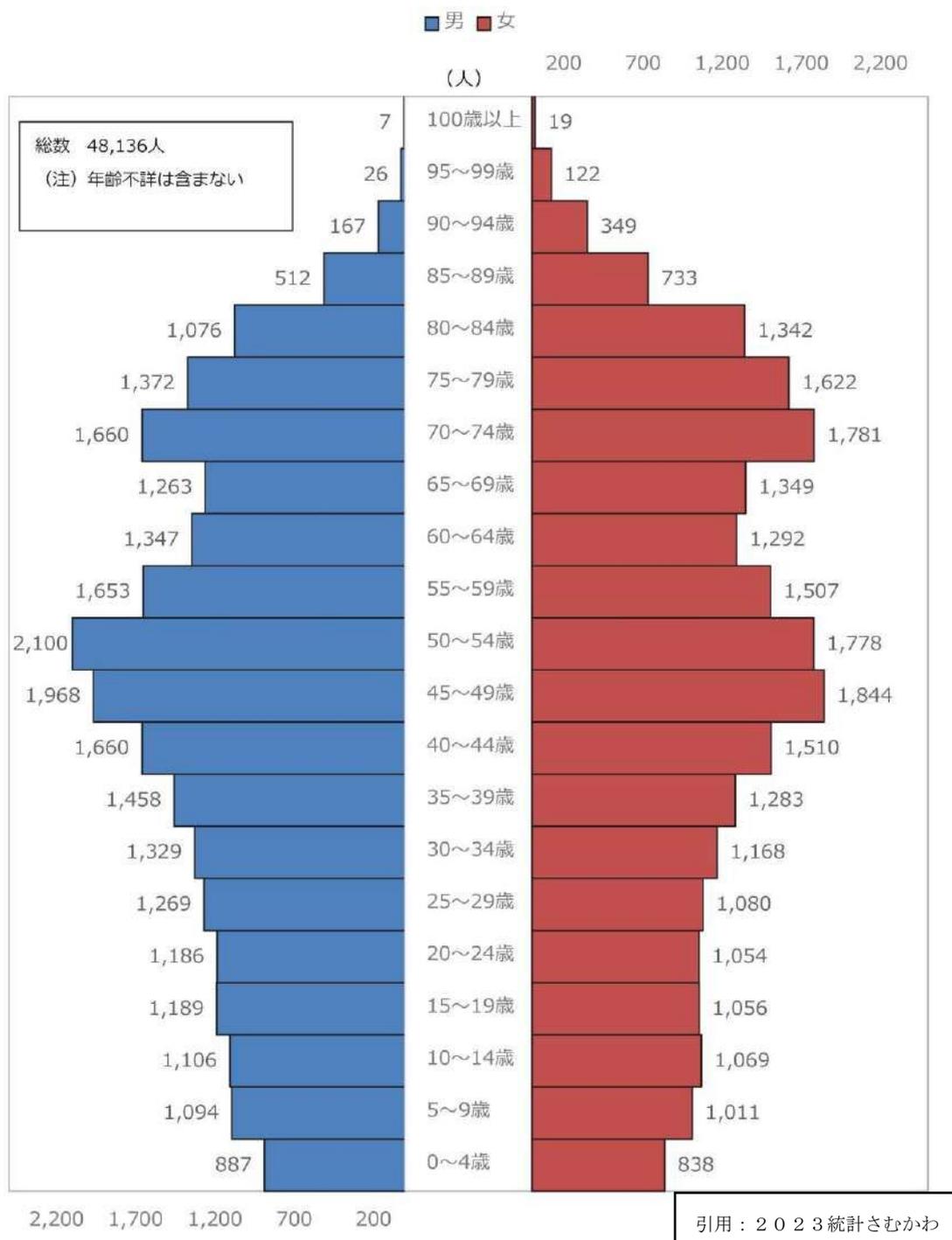


図 2-6 年齢区分別人口比率（令和 6 年 1 月 1 日現在）

3. 産業について

産業の規模等について、次のとおり現況を把握します。

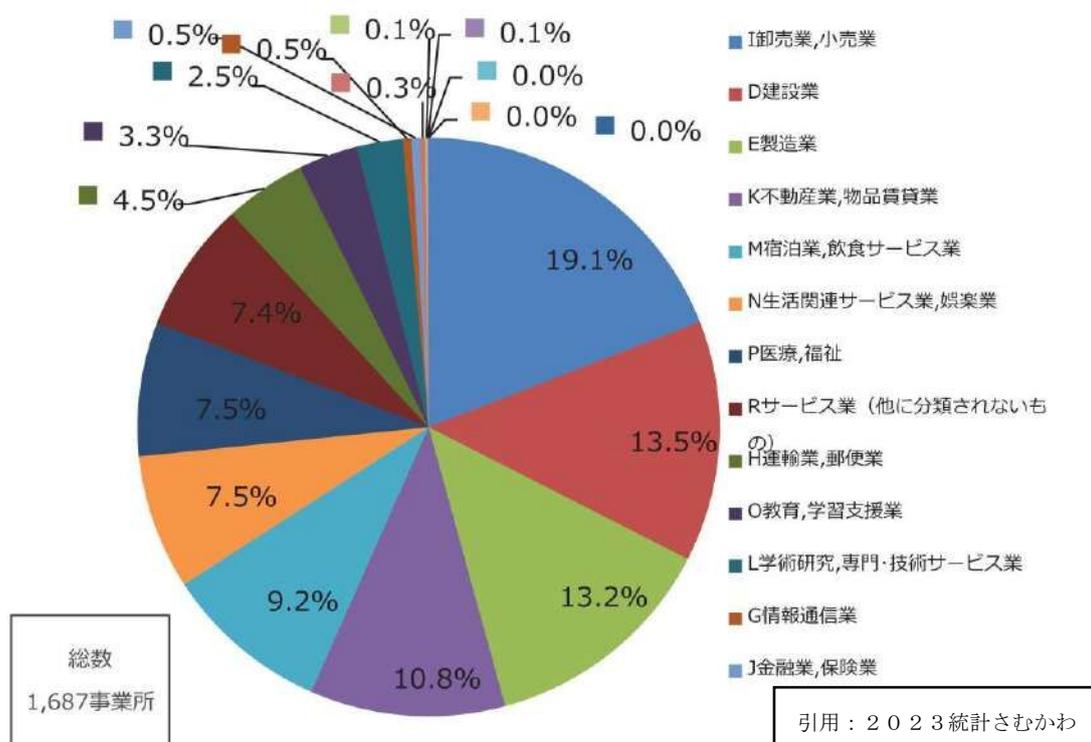


図 2-7 産業大分類別事業者数（令和3年6月1日現在）

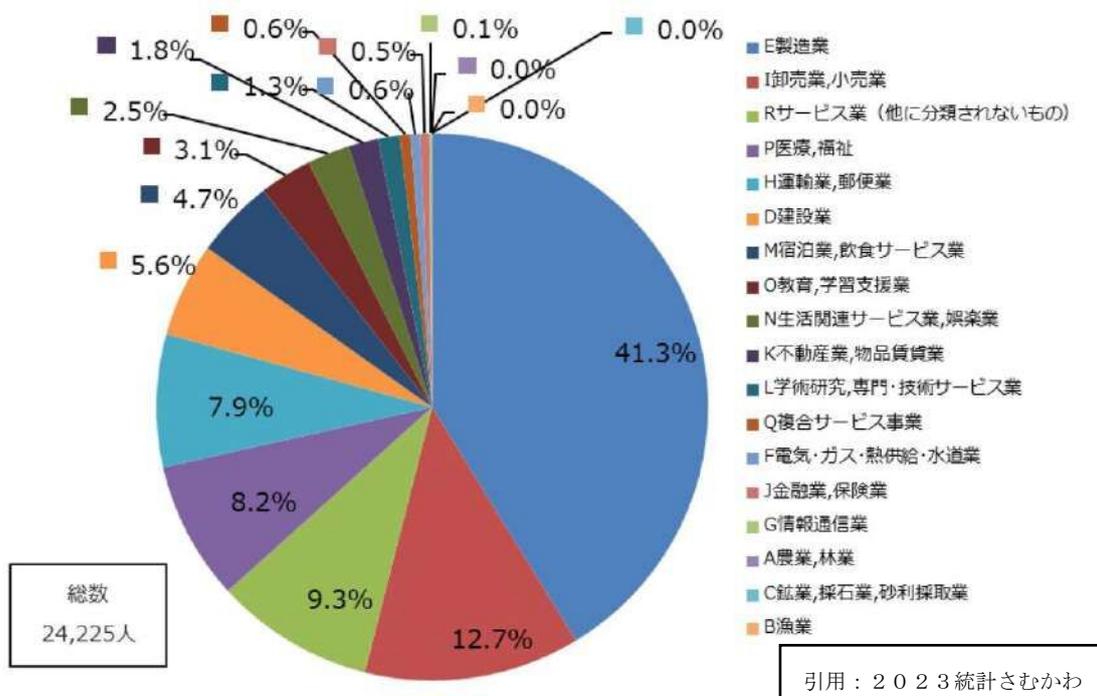


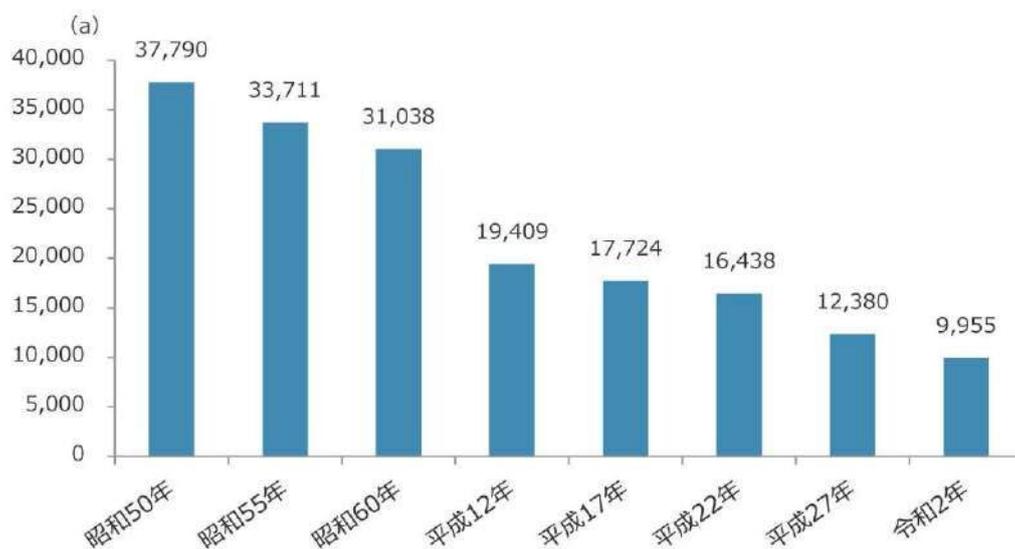
図 2-8 産業大分類別従事者数（民間）（令和3年6月1日現在）

(第1次産業：農業関係)



引用：2023統計さむかわ

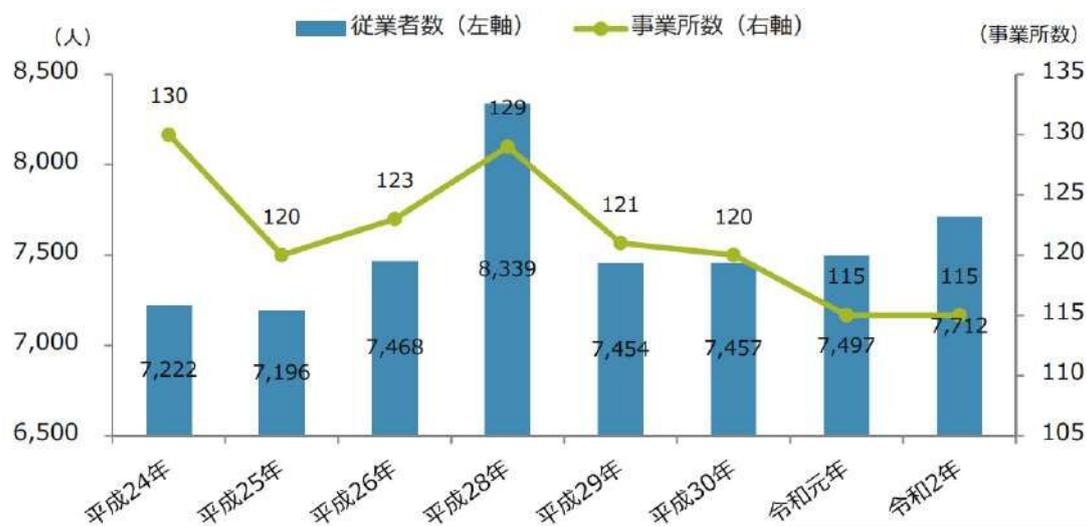
図 2-9 農家数・農業就業人口（販売農家）



引用：2023統計さむかわ

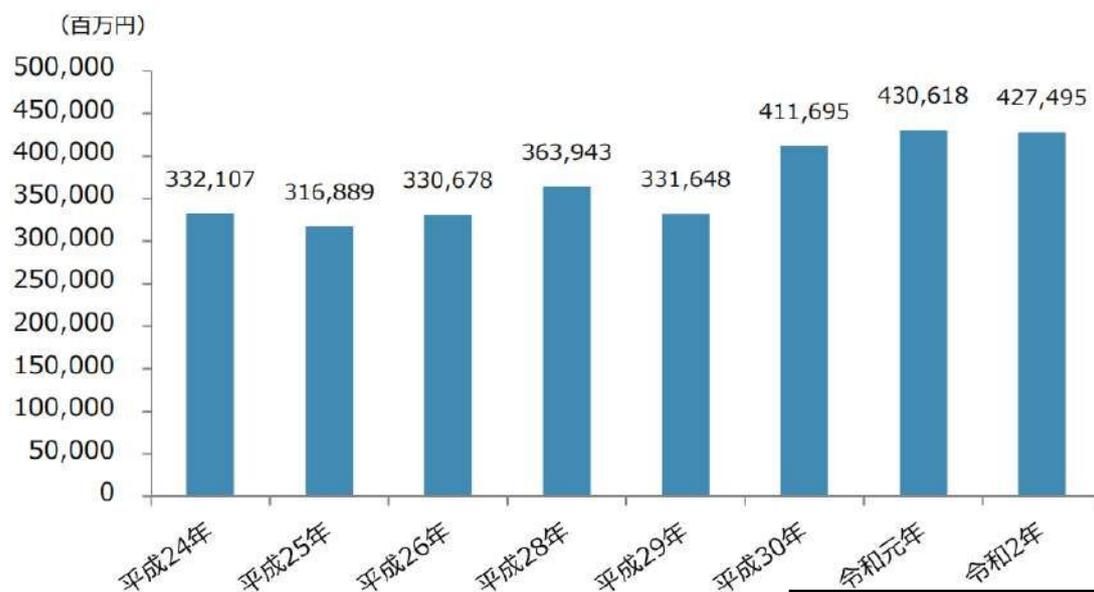
図 2-10 経営耕作面積（総農家）

(第2次産業：工業関係)



引用：2023統計さむかわ

図 2-11 工業従業者数及び工業事業所数の推移 (従業者 4 人以上)



引用：2023統計さむかわ

図 2-12 製造品出荷額の推移 (従業者 4 人以上)

(第3次産業：商業関係)

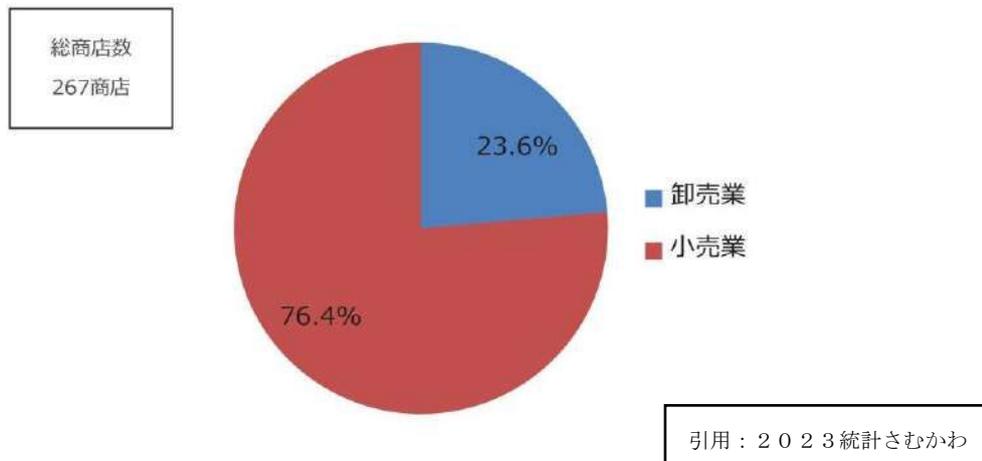


図 2-13 業態別商店割合（令和3年6月1日現在）

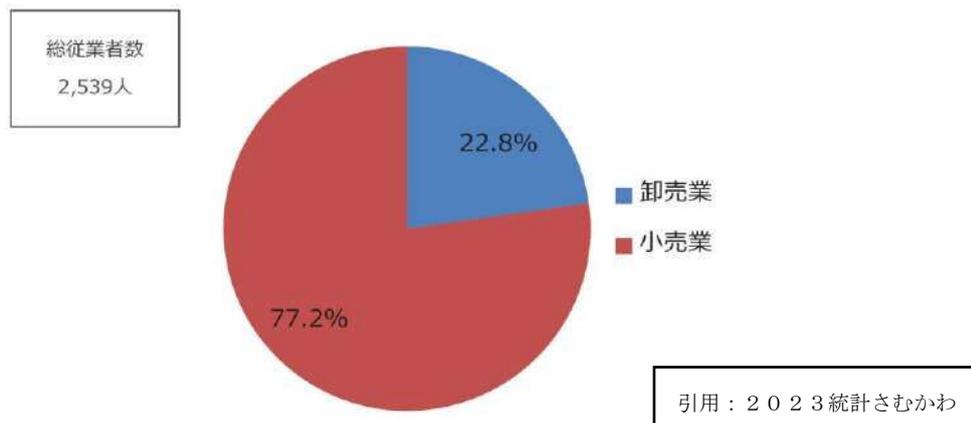


図 2-14 業態別従業者割合（令和3年6月1日現在）

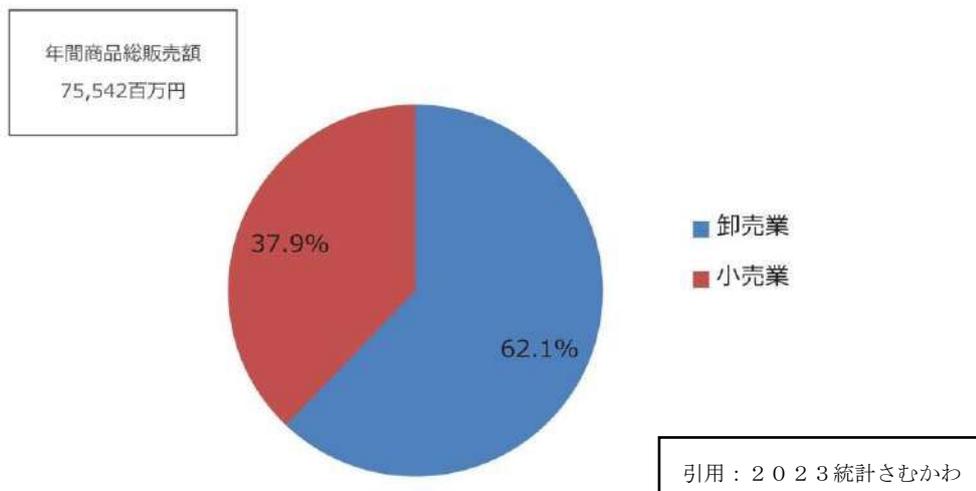


図 2-15 業態別年間商品販売額割合（令和3年6月1日現在）

4. 土地利用について

町内の土地利用状況について、次のとおり現況を把握します。

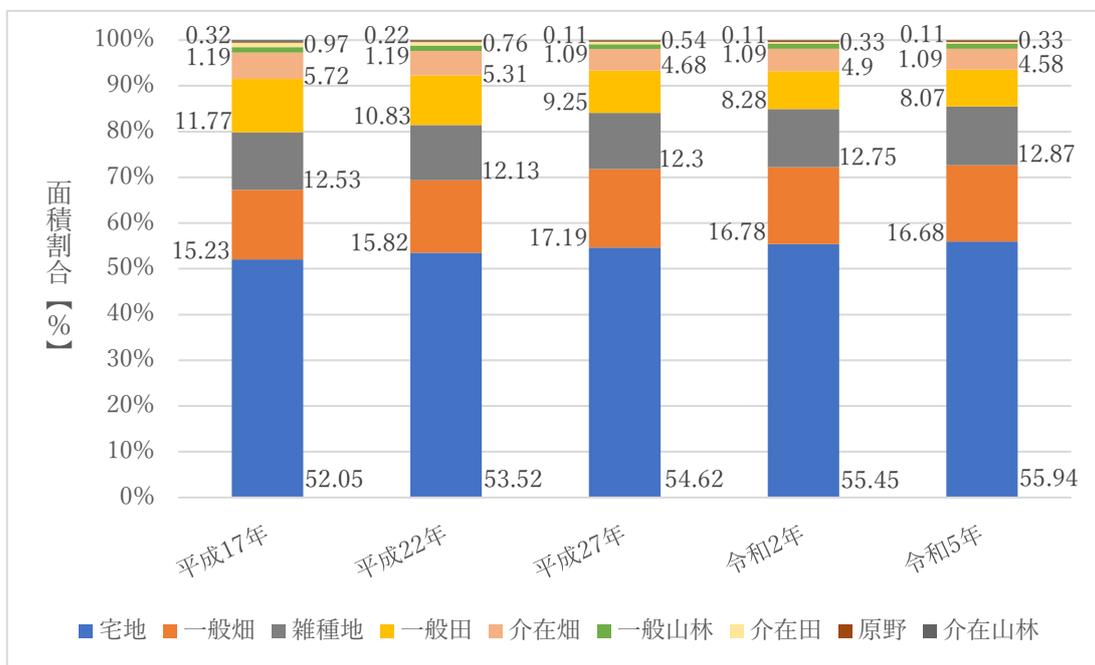


図 2-16 地目別土地面積割合の推移

参照：統計さむかわ

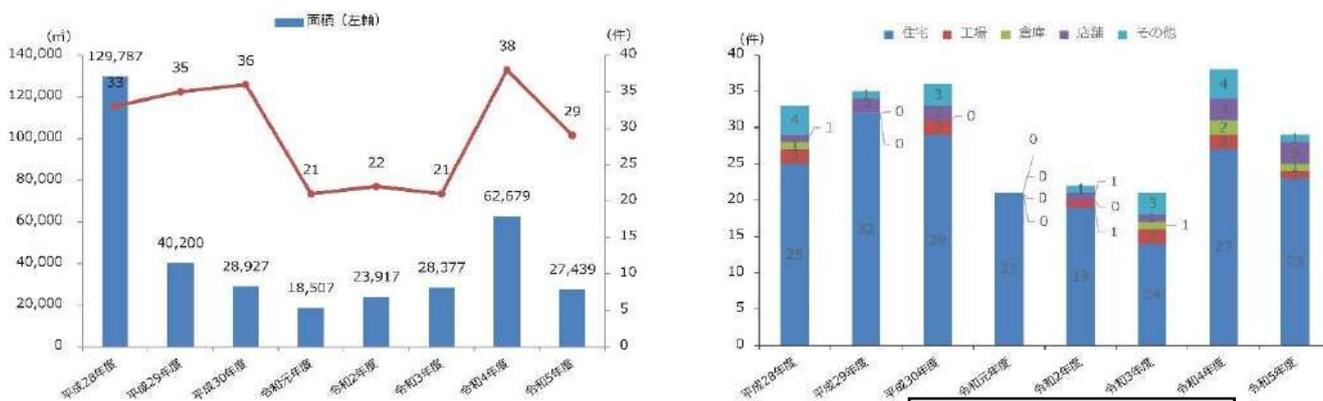
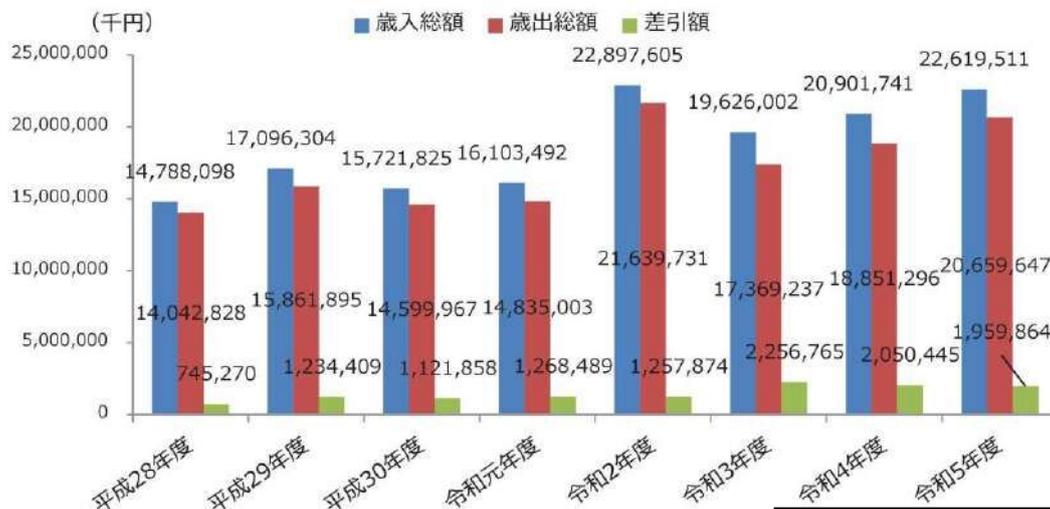


図 2-17 開発行為件数、面積、用途別内訳

引用：2023統計さむかわ

5. 財政状況について

町の歳入・歳出等財政状況について、次のとおり現況を把握します。



引用：2023統計さむかわ

図 2-18 財政状況の推移（歳入・歳出）



引用：2023統計さむかわ

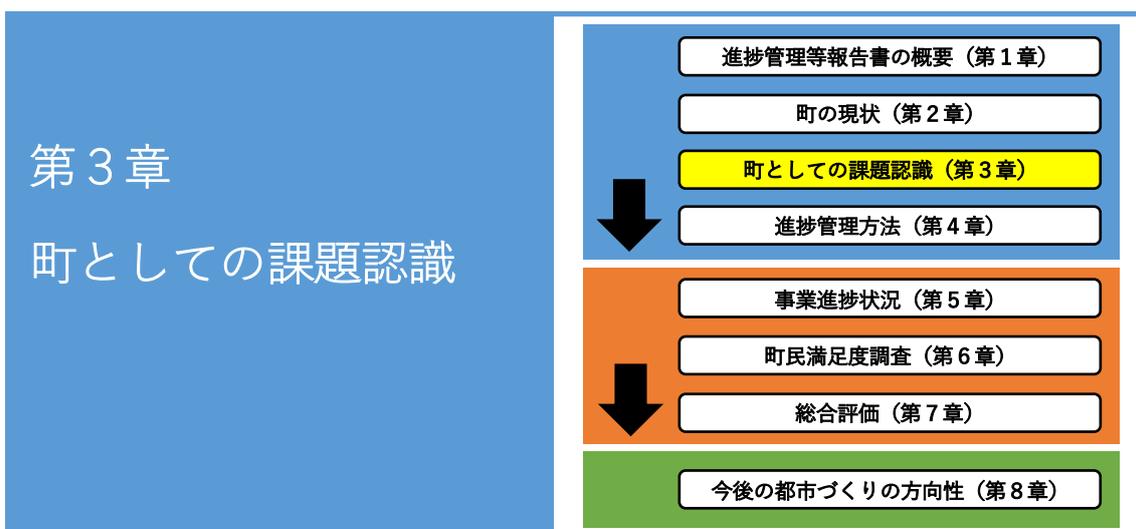
図 2-19 財政状況の推移（指数等）

以上、町の現状を踏まえた上で、次章以降にて町としての課題認識等を検討します。

第3章

町としての課題認識

寒川町都市マスタープラン
進捗管理等報告書

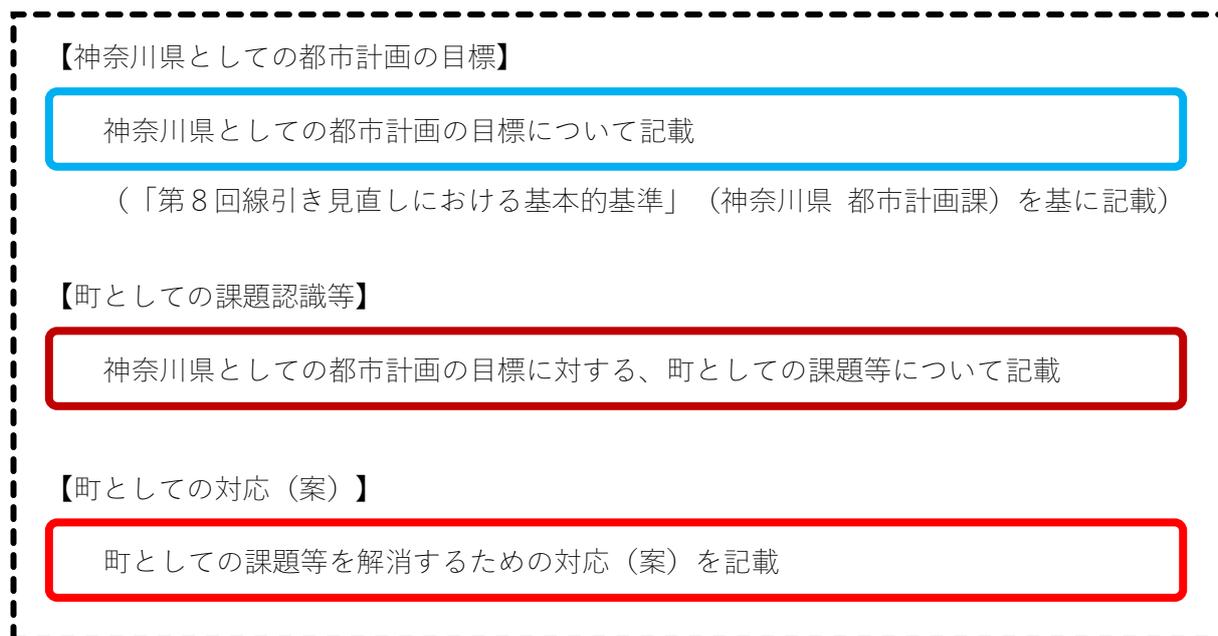


都市マスタープランを適切に管理し、「目指す暮らしぶりと町のすがた」を実現するためには、都市計画の目標及びそれに対する課題を把握する必要があります。

都市計画の目標について、地域の視点で検討することも重要ですが、本報告書では広域的な視点から考えることを基本とし、それに対する町としての課題認識等を整理します。

広域的な視点から考える都市計画の目標については、都市マスタープランの上位・関連計画であり、令和7年11月に見直しを行った「茅ヶ崎都市計画区域 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」を策定する上での基準として、令和4年11月に神奈川県が策定した「第8回線引き見直しにおける基本的基準」を基に5つの項目にて整理します。

本章における構成は次のとおりです。



1. 集約型都市構造の 実現に向けた都市づくりについて

【神奈川県としての都市計画の目標】

本県では、これまで市街地の無秩序な拡大を防止してきており、市街地の人口密度は比較的高く維持されていることから、直ちに人口減少による都市構造の再編を要する段階にはない。しかしながら、今後本格化する少子高齢化・人口減少社会に備え、長期的な視点に立って、集約すべき拠点の明示や市町による立地適正化計画などにより、引き続き、地域の実情に応じた集約型都市構造化に向けた取組を進める。

集約型都市構造の実現にあたっては、中心市街地を含めた既成市街地の活力維持が必要となっていることから、地域の実情に応じた様々な手法を活用しながら、拠点となる既成市街地の魅力向上を図るとともに、その効果を高めるために拠点間や拠点と周辺地域を結ぶ交通ネットワークの確保を常に意識しながら、脱炭素化にも資するまちづくりを進める。

また、県全体の人口減少が見込まれる中であっても、人口や産業の伸びが見込まれる地域等においては、災害ハザードエリアを考慮しながら、集約型都市構造化に寄与する区域に限定して新市街地の創出を図る。

【町としての課題認識等】

- ・人口は急速に減少し、将来的にはエリア価値の減衰、経済規模の縮小や生活利便性の低下を招き、町としての持続すら危うくなる可能性がある
- ・人口減少に伴う居住の低密度化や、都市のスプロール現象が予想される
- ・道路の整備等により、意図していない無秩序な土地利用形成が予想される

【町としての対応（案）】

- ・集約型都市構造化に向け、都市機能、居住等を集約すべき拠点の明示など、立地適正化計画の策定等を見据えた検討を進める
- ・拠点となる既成市街地等の魅力向上を図るのみならず、都市全体の土地利用を再検討し、地域の実情に合った交通ネットワークの確保について検討を進める
- ・人口や産業の伸びを適切に把握し、新たな道路整備等を踏まえた上で、必要に応じ、集約型都市構造化に寄与する区域に対する新市街地の創出等を図る

2. 災害からいのちと暮らしを守る都市づくりについて

【神奈川県としての都市計画の目標】

激甚化・頻発化する災害に対応するため、市町による立地適正化計画の策定過程などを通じて災害リスクの評価・分析を行い、集約型都市構造化の取組とあわせて、災害リスクを踏まえたまちづくりを目指すものとする。そのため、都市計画を定めるにあたっては、常に最新の災害ハザード情報を十分に把握しておくことが重要である。

さらに、各法令に基づく行為規制が行われている災害レッドゾーンについては、都市的土地利用を行わないことを基本的な考え方とし、県民のいのちと暮らしを守るため、防災対策工事や避難体制の整備等のこれまでのハード対策・ソフト対策に加えて、土地利用の面からも防災・減災に取り組む。

【町としての課題認識等】

・激甚化、頻発化する災害に対応するため、既成市街地及び新市街地の検討について、土地利用の面における対策を検討する必要がある

【町としての対応（案）】

・立地適正化計画の策定等を見据えた検討を進め、策定の際には災害リスクの評価及び分析を行う
・地域防災計画等の関連計画と連携し、災害リスクに備えたまちづくりを目指す
・国土交通省が策定している「事前復興まちづくり計画検討のためのガイドライン」を基に、当町における「事前復興まちづくり計画」策定の必要性を検討する

3. 地域の個性や魅力を生かした 活力ある都市づくりについて

【神奈川県としての都市計画の目標】

今後、人口減少社会が本格化する中であっても、地方創生の観点から、地域の活力を維持・形成していくことが求められていることから、豊かな自然や歴史・文化、景観など地域の様々な個性や魅力を生かすとともに、ライフスタイルの多様化など社会情勢の変化にも対応した活力ある都市づくりに向けて、都市計画制度を活用しながら柔軟に対応していくものとする。

【町としての課題認識等】

- ・寒川町のイメージである「自然」、「のどか」、「程よい田舎」と都市的土地利用の共生をどのように捉え、どのように体現していくのか検討する必要がある
- ・地方創生の観点から、寒川町の活力を維持・形成していくための取組みを積極的に検討する必要がある

【町としての対応（案）】

- ・社会情勢の変化や、新たな道路整備等により生じる土地利用転換を予測し、人口や産業の伸びを適切に把握したうえで、地域の活力を維持・形成し、魅力を活かした活力あるまちづくりに必要な新市街地等の創出を図る
- ・「町民等参加によるまちづくり」の体制を整え、地域の個性や魅力を活かしたまちづくりを実現するため、まちづくり条例の策定等を検討する
- ・地方創生の観点から寒川町が目指すべきまちづくりのあり方を検討し、必要に応じて神奈川県等関係機関と連携して土地利用の見直しに係る取組みを行う

4. 循環型、脱炭素型、 自然共生型の都市づくりについて

【神奈川県としての都市計画の目標】

本県の豊かな自然は、地域の個性や魅力を形づくっているものの、気候変動の影響や都市化の進展などにより、本来自然が有する浄化や循環などの機能の低下が懸念され、地球温暖化対策などへの対応や自然的環境の整備・保全の必要性が高まっている。このため、環境負荷の少ない循環型、脱炭素型の社会を目指すとともに、自然と共生する持続可能で魅力ある都市づくりに向けて、グリーンインフラの考え方も踏まえながら、防災・減災、地域振興、環境など多面的な機能を有する都市内の農地や緑地等を適切に整備・保全する。

【町としての課題認識等】

・ 自然環境が有する多様な機能を活用しつつ、公共交通機関等による対応などにより、町としてどのように循環型、脱炭素型社会の実現を目指すのか検討する必要がある

【町としての対応（案）】

・ 令和3年に表明をした「茅ヶ崎市・寒川町気候非常事態宣言」の考えを基本とし、「寒川町みどりの基本計画」や「寒川町地域公共交通計画」との連携を図り、循環型、脱炭素型社会の実現に向けてさらに推進するよう取組みを整理する

5. 広域的な視点を踏まえた都市づくりについて

【神奈川県としての都市計画の目標】

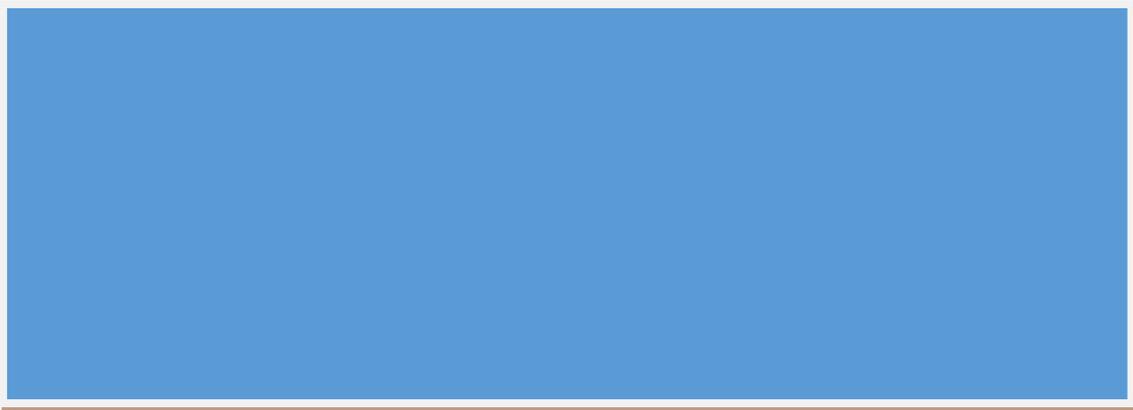
都市計画に関する決定権限が市町へ移譲され、広域的な課題に県と市町が連携して取り組むことの必要性が高まっていることから、広域的な緑地の配置や流域治水プロジェクトの取組など都市計画区域を超える課題や、災害ハザードエリアにおける土地利用、脱炭素など各都市計画区域で共通する課題については、広域的な都市の将来像を共有しながら、対応していくものとする。

【町としての課題認識等】

- ・必要に応じて広域で連携した計画の策定等を検討する必要がある
- ・神奈川県との連携強化を図る必要がある

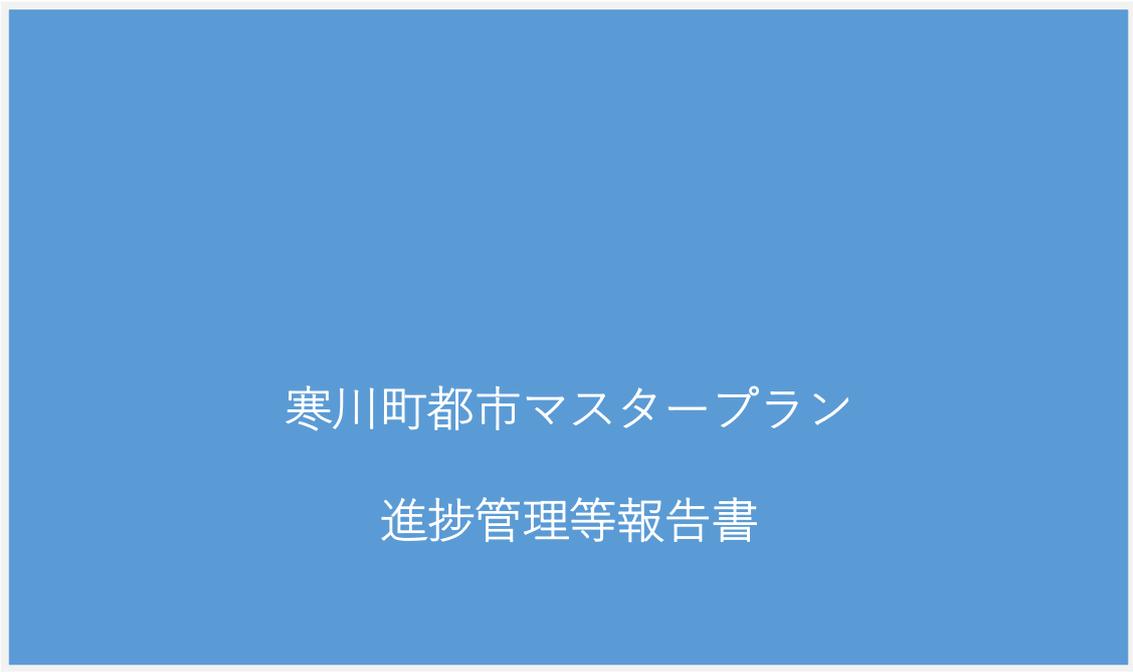
【町としての対応（案）】

- ・町としてふさわしい都市像を体現するため、土地利用や都市施設等の検討に際しては、近隣市町との連携を意識し、広域的な観点からの検討を進める
- ・神奈川県との連携を密にして、県内他事例等を参考に「より良いまちづくりの実現」に向けた検討を進める



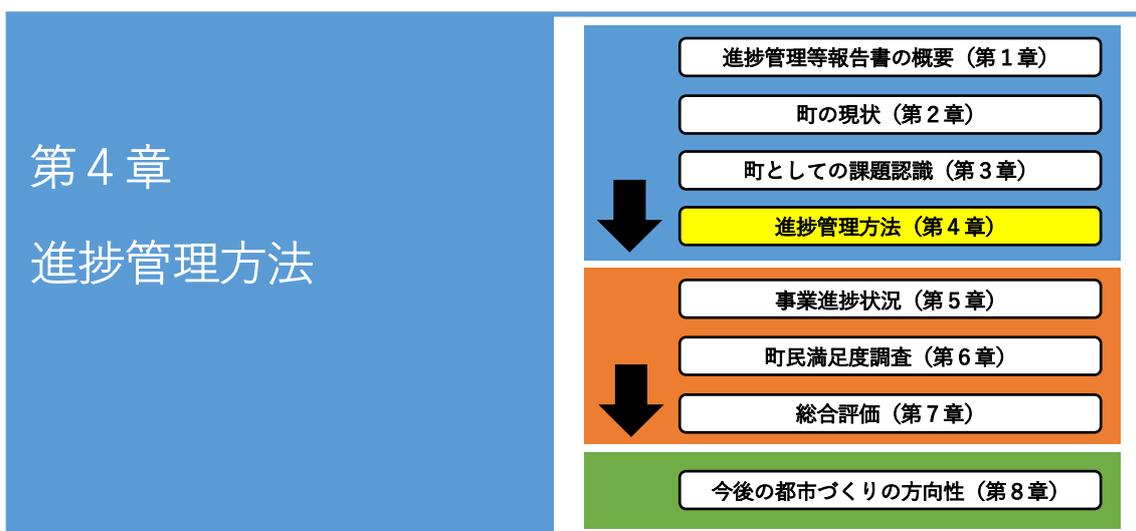
第4章

進捗管理方法



寒川町都市マスタープラン

進捗管理等報告書



1. 進捗管理について

本報告書は、現行の都市マスタープランを改定した令和3（2021）年度以降における土地利用や都市施設等の「事業進捗状況」に加え、本報告書作成に向けて実施した調査結果を基にした「町民満足度」の視点により都市の動向等を確認するものです。

表 4-1 本報告書の公表に係る全体スケジュール

年度	総合計画 基本構想	総合計画 実施計画	都市マスタープラン	都市計画基礎調査	主な都市計画の変更等
R3(2021)	寒川町総合計画2040	第1次実施計画 (R3~R6)	計画改定	調査実施	・用途地域の変更 ・高度地区の変更 ・地区整備計画の追加
R4(2022)					
R5(2023)					・都市計画道路3・3・4号倉見大神線の変更
R6(2024)					・相模川流域下水道の変更
R7(2025)		第2次実施計画 (R7~R10)	町民満足度調査 (アンケート)		・線引き見直しに関連する方針の変更 ・用途地域の変更 ・高度地区の変更 ・防火地域及び準防火地域の変更
R8(2026)			進捗管理等報告書の公表	調査実施	

2. 進捗管理方法の考え方について

都市マスタープランにおける進捗管理は、「事業進捗状況の把握」及び「町民満足度の把握」に分けて検討を行います。

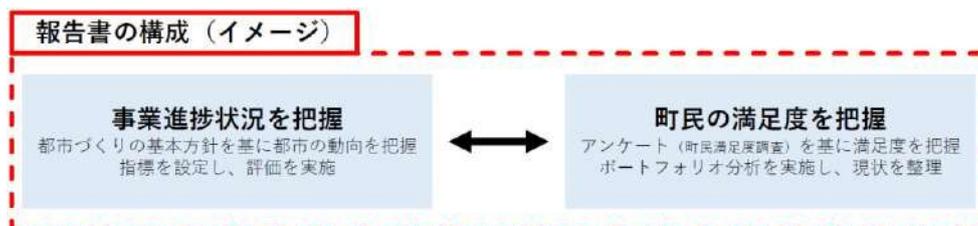


図 4-1 進捗管理方法のイメージ

「事業進捗状況の把握」については、都市計画法第6条に基づき、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するため、おおむね5年ごとに実施する都市計画基礎調査の結果等を活用し、都市の動向を把握します。

「町民満足度の把握」については、満18歳以上の町民全般を対象とした、e-kanagawa 電子申請システムによるアンケート調査の結果により、まちづくりに対する満足度や、今後重点を置くべき事業分野を把握します。

3. 事業進捗状況の把握について

都市マスタープランでは「目指す暮らしぶり」と町のすがた」を実現するため、都市づくりの基本となる考え方として「都市づくりの基本方針」を定めています。



図 4-2 都市マスタープランに記載の「寒川町が目指す暮らしぶり」と町のすがた」

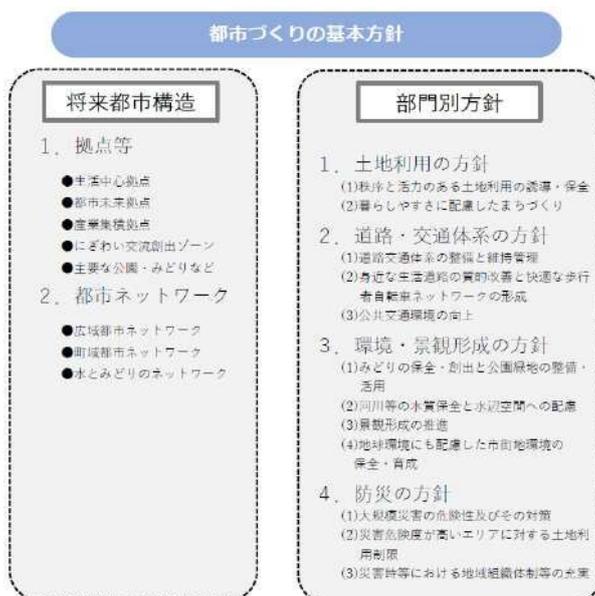


図 4-3 都市マスタープランに記載の「都市づくりの基本方針」

事業進捗状況を把握する上で「目指す暮らしぶりと町のすがた」はやや抽象的なため、本報告書では「都市づくりの基本方針」に記載している「将来都市構造」及び「部門別方針」を基に都市づくりの方向性を確認するため、任意に評価指標を設定します。なお、指標の中には現時点で傾向を把握できないものもありますが、それらの進捗状況については、次期報告書もしくは次期都市マスタープラン改定の際に検討を行うこととします。

4. 町民満足度調査の実施結果について

町民の都市計画行政に対する満足度や今後重点を置くべき分野、まちづくりに対する意見などを把握し、都市マスタープランの進捗管理並びに見直しの必要性を判断する基礎資料とすることを目的として、令和7年度に町民満足度調査を実施しました。

「寒川町都市マスタープラン（令和3年4月改定）」

進捗管理等に向けた町民満足度調査

- 調査票 -

この調査は、令和3年4月に改定した寒川町都市マスタープランの進捗管理等を行うにあたり、町民の皆さまからいただいたご意見を基に現在行っている取組みに関する「現状把握」及び「将来に向けた取組み」の再検討を目的として実施するものです。

寒川町を取り巻く環境は、気候変動による大規模災害の発生や高齢者人口の増加・人口減少型社会の到来などが予測されています。一方で、圏央道寒川北インターチェンジから藤沢市湘南台方面へ整備を予定している「都市計画道路3・3・3号官山線」や「寒川町立小・中学校適正化等基本計画（改定版）」に基づく再編など、今後大規模な土地利用変化などが予測され、これらの対応などについて検討していく必要があります。

今回お寄せいただいたご意見は、集計・分析の後、寒川町都市マスタープランの「進捗管理等報告書」の一部としてホームページ等にて公開を予定しています。
お手数をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◇ご回答の方法
本アンケートは無記名式です。ご回答は、本調査票に直接ご記入いただき、添付の返信用封筒に入れて郵送でご返送下さい。
回答の内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

◇ご回答の期限
令和7年5月16日（金）までに、郵便ポストへご投函下さい。（※消印有効）

◇お問い合わせ先

担当：寒川町役場 都市建設部 都市計画課 都市計画・開発指導担当 上条
電話 74-1111（内線324）

★都市マスタープランとは？
都市計画法に基づく市町村の都市計画に関する基本的な方針です。おおむね20年後の寒川町の将来計画を示すとともに、都市づくりの課題とこれに対応する整備の方針等を明らかにしていくものです。



寒川町HP（「寒川町都市マスタープラン」）



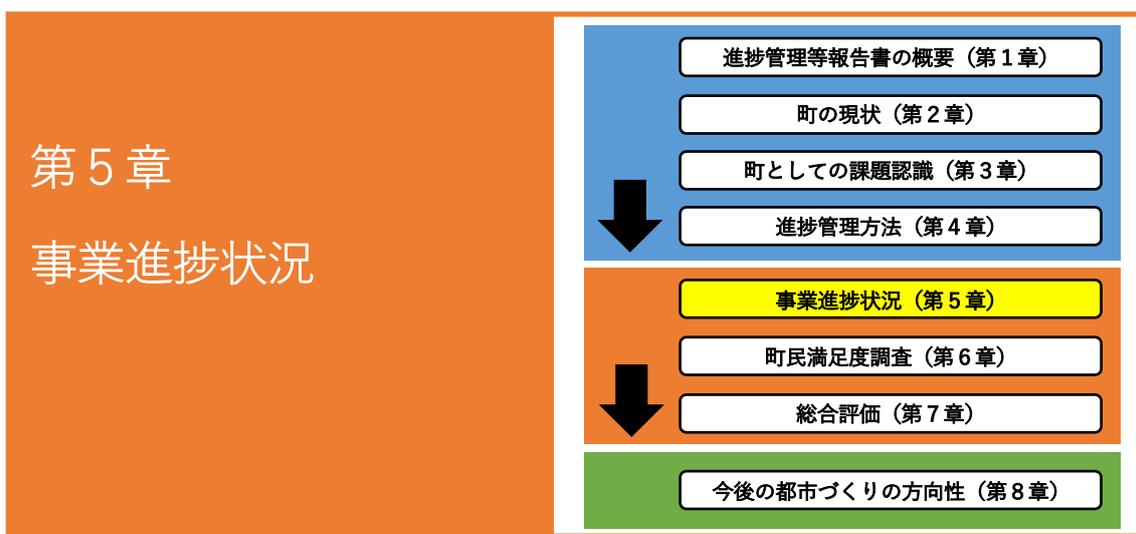
1

図 4-4 町民満足度調査の調査票表紙



第5章 事業進捗状況





1. 評価指標について

都市づくりの方向性を確認するために、次のとおり評価指標を設定します。また、ここで設定する評価指標を基に、事業進捗状況の評価を実施します。

表 5-1 事業進捗管理 評価指標について

項目別方針	評価項目	評価指標	設定趣旨	関連計画等
拠点等	(1) 生活中心拠点	拠点の整備状況	「拠点」及び拠点に準じた「ゾーン」の位置付けをしていますが、都市機能を効果的に配置するため、整備・検討状況等の現況を整理し評価します。	-
	(2) 都市未来拠点	拠点の検討状況		ツインシティ整備計画、ツインシティ倉見地区まちづくり基本計画
	(3) 産業集積拠点	拠点の整備状況		-
	(4) にぎわい交流創出ゾーン	ゾーンの検討状況		-
土地利用	(1) 都市機能の適切な配置	都市機能施設の配置状況	「寒川らしさ」を大切にしながらまちづくりの実現が求められていることより、都市機能や土地利用の適切な配置について、都市の現況を整理し評価します。	都市計画基礎調査資料
	(2) 地域地区の適切な指定	各地区における土地利用の現況		都市計画基礎調査資料
	(3) 自然環境等への配慮	農地、山林等の自然的土地利用の現況		都市計画基礎調査資料
	(4) 新たな土地利用転換に応じた検討	予想される土地利用転換に係る検討状況		寒川町立小・中学校適正化等基本計画改定版 寒川町公共施設再編計画改定版
道路・交通体系	(1) 道路の整備	都市計画道路の整備率	主要な交通手段は自家用車が多く、次いで自転車、徒歩となっている状況から、道路整備に加え、歩行者空間及び自転車走行空間の適切な確保等が求められ、これらを実現するため、現況を整理し評価します。	-
	(2) 狭あい道路の状況	狭あい道路率		都市計画基礎調査資料
	(3) 歩行者・自転車ネットワークの検討	自転車走行空間の確保等に係る検討状況		寒川町地域公共交通計画
	(4) 公共交通環境の向上	公共交通の利用率		-
	(5) 鉄道駅周辺環境の向上	鉄道駅周辺の整備に係る検討状況		-
環境・景観形成	(1) 公園緑地の整備	都市計画公園等の整備率	寒川町の特徴である「富士山がきれいに見える」、「自然・みどりが多いのんびりしている」などの特徴を活かした取組を検討し、現状の環境・景観を次世代へ継承するために、現況を整理し評価します。	寒川町みどりの基本計画
	(2) 公共下水道の整備	公共下水道の整備率		寒川町公共下水道事業ストックマネジメント計画 雨水管理総合計画
	(3) 景観形成への配慮	景観の保全等に係る検討状況		-
	(4) 地球環境への配慮	再生可能エネルギー等の普及状況		第3次寒川町環境基本計画
	(5) 空き家の状況	空き家実態調査等に係る空き家件数		寒川町空き家等対策計画
	(6) バリアフリー関連の検討	バリアフリー関連対策に係る検討状況		-
防災	(1) 住宅の耐震化状況	住宅の耐震化率	防災意識を向上させ、「安心・安全に暮らし続けられるまち」を実現するために、現況を整理し評価します。	寒川町耐震改修促進計画
	(2) 公共施設の耐震化状況	公共施設の耐震化率		寒川町耐震改修促進計画
	(3) 事前復興の検討	事前復興まちづくり計画の策定に係る検討状況		-
その他	(1) 地域主体のまちづくりについて	地域主体のまちづくり体制づくりの検討状況	地域の主体となる住民等が、自ら発意し、考えてまちづくりを促進していくことが望ましいため、その体制づくりの検討について、現況を整理し評価します。	-
	(2) 地域まちづくりのルールについて	地区計画の策定状況	多様な主体と協働で地域の将来像を実現するため、地区計画などのルールづくりに係る取組について、現況を整理し評価します。	-
	(3) 総合的なまちづくりについて	まちづくり条例等の検討状況	「寒川らしい暮らしがりの実現に向けて、開発関連分野や、住民等参加によるまちづくりなど、総合的な観点から検討を進める必要があるため、現況を整理し評価します。	寒川町開発指導要綱

2. 拠点等について

都市機能を効果的に配置するために、暮らしやすさを支える商工業業務機能やサービス機能の集積を図るとともに、町の魅力を生み出し、発信する機能を充実させていく地区として「拠点」、暮らしやすさや町の魅力向上につながる機能の集積は一定程度あるものの、現段階では計画的な市街地整備の見通しが明らかではなく、農林漁業との調整が今後必要となる箇所、暮らしに身近な公園・みどりなどを「拠点に準じたゾーン等」として位置付けており、各拠点及びゾーン等の整備・検討状況の現況を整理し評価します。

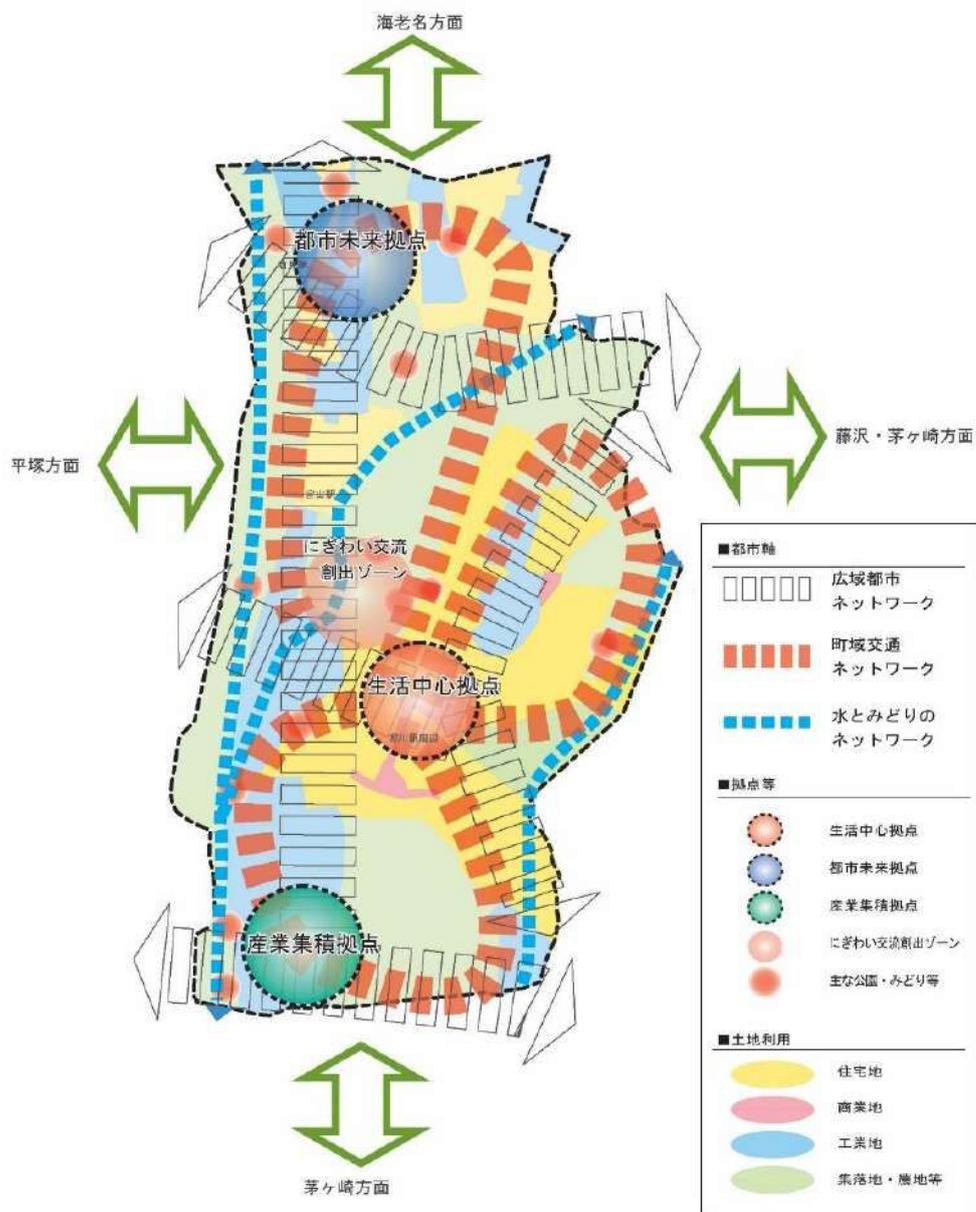


図 5-1 将来都市構造図

1) 生活中心拠点について

生活中心拠点として位置付けている寒川駅周辺については、昭和57年に基本構想の作成、平成元年に土地区画整理事業の都市計画決定を行いました。また、平成4年6月から令和6年3月の期間で町施行による土地区画整理事業を実施し、都市基盤の整備や商業施設及び生活利便施設等の集積を図りました。

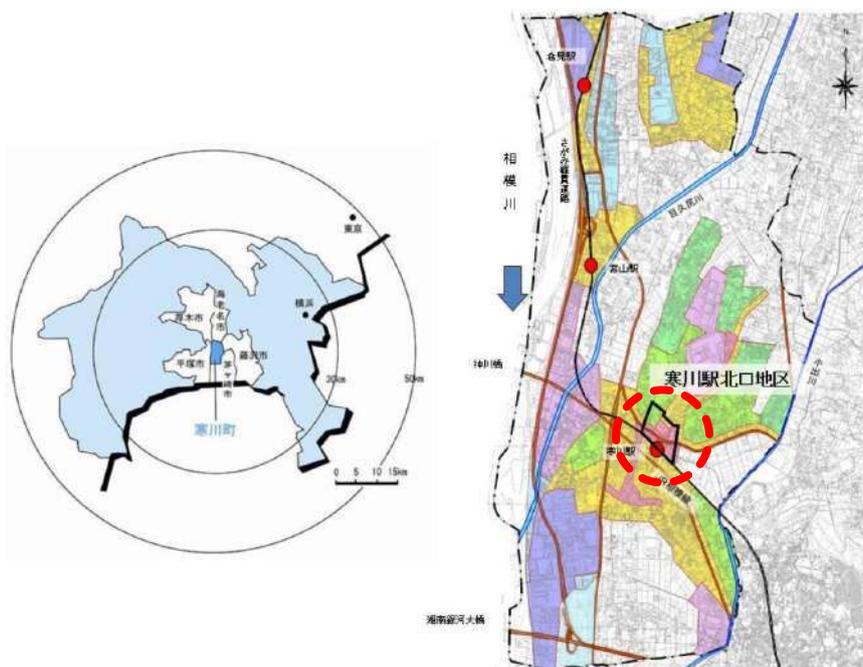


図 5-2 寒川駅北口位置図（寒川町 HP）



図 5-3 寒川駅北口事業前後の様子（寒川町 HP）

今後の生活中心拠点については、寒川駅南口駅前広場の必要性を含めた土地利用の再検討をすることに加え、寒川駅周辺の利便性等を活かした土地利用の検討など、近隣商業地域に隣接し、北側及び南側を第一種住居地域に囲まれている市街化調整区域の将来像についても検討する必要があります。



図 5-4 寒川駅周辺航空写真（令和6年1月撮影）

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-2 生活中心拠点の整備状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	生活中心拠点の一部である寒川駅北口地区については、平成4年から令和6年の期間で土地区画整理事業を実施し、地区計画の策定などのルールのもと整備等を進めてきた。 寒川駅南口を含む寒川駅北口以外の区域については、土地利用の方向性等具体的な検討ができていない。
今後の取組方針	寒川駅北口については、都市を適切に管理するための手法を検討する。 寒川駅南口については駅前広場の用地確保が困難であったことから、当面の間は利用者の乗降場及び転回場の整備を行う。 近隣商業地域に隣接し、北側及び南側を第一種住居地域に囲まれている市街化調整区域の土地利用等については、寒川町立小・中学校適正化等基本計画に基づき、土地利用変化に対応した検討を進める。

2) 都市未来拠点について

都市未来拠点として位置付けているツインシティ倉見地区については、東海道新幹線新駅の誘致とともに圏央道（さがみ縦貫道路）寒川北インターチェンジ周辺のポテンシャルを生かした、広域的な交流機能を担う新たな交通結節点としてふさわしい文化・交流、商業・業務などの機能集積を図るための検討を進めています。

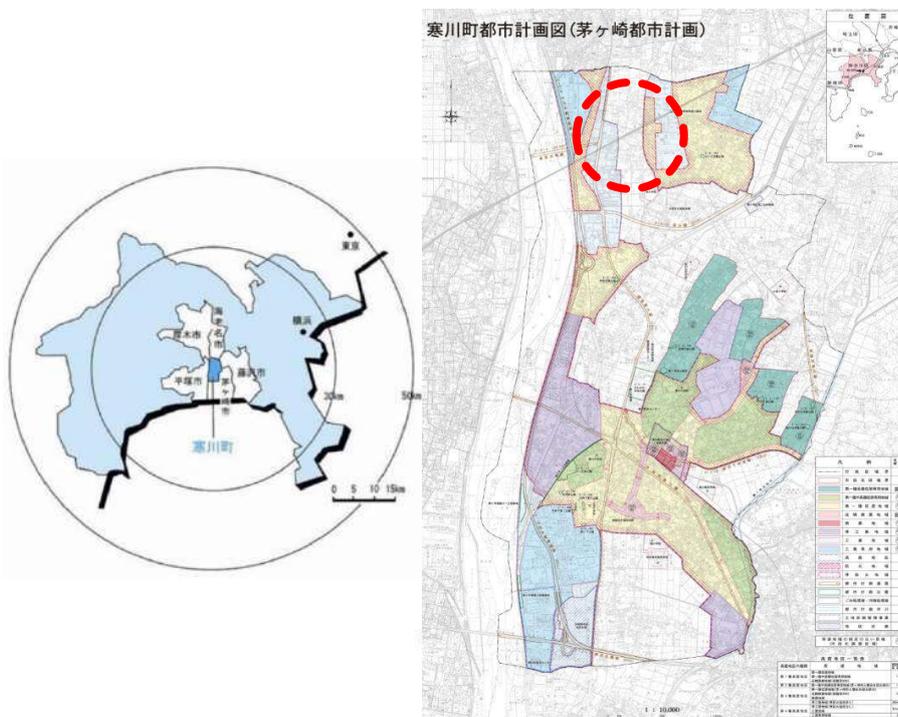


図 5-5 ツインシティ倉見地区位置図（寒川町 HP）



図 5-6 ツインシティ倉見地区面整備検討区域、新駅周辺整備検討区域

<各エリア（一部のみ）について>

倉見大神線
広域交通結節点として、公共交通網を強化します。
交通広場
広域交流拠点として、利便性・防災性の高い交通空間を創出します。
商業・業務エリア
いずみ野線延伸を想定した商業・サービスの機能集積により、にぎわいの創出を図ります。
業務エリア
国・県等の広域行政機能やオフィスビル等の都市の魅力向上に資する交流機能の充実を促します。
公園・緑地
地域住民の憩いの場としての利用や、新駅を中心とした緑の拠点を創出します。



図 5-7 新駅周辺整備検討区域の将来の土地利用（広報さむかわ 2023 年 10 月号）

ツインシティ倉見地区の面整備検討区域（約 63ha）のうち、重点的にまちづくりを検討する区域として設定している新駅周辺整備検討区域（約 24ha）については、上図のような土地利用の方向性を基に地元地権者等との協議・調整を行っています。また、令和 5 年 9 月 1 日（金）～9 月 2 9 日（金）に実施した、将来のまちづくりに対する意向調査では、土地利用の方向性等について一定の理解を得られていることが分かりました。

意向調査の結果と町の見解、分析に向けた考え方をお伝えします

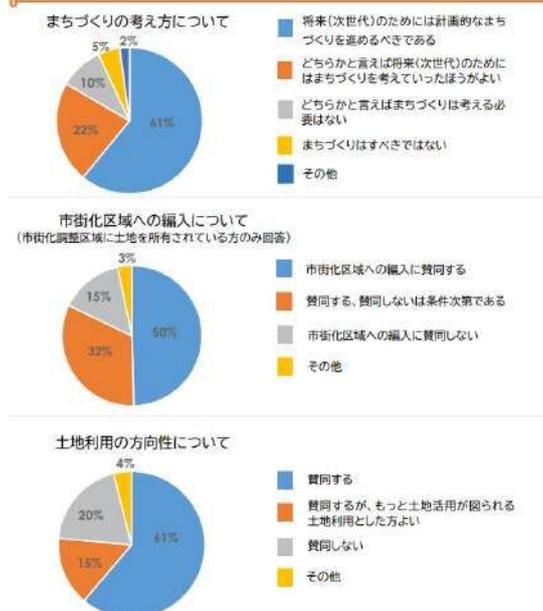


図 5-8 意向調査の結果（ツインシティ倉見地区まちづくりニュース第 45 号）

今後の都市未来拠点については、新駅周辺整備検討区域の検討に加え、面整備検討区域及び都市計画道路3・3・3号宮山線（県道410号）の整備を見据えたその周辺土地利用等について検討する必要があります。

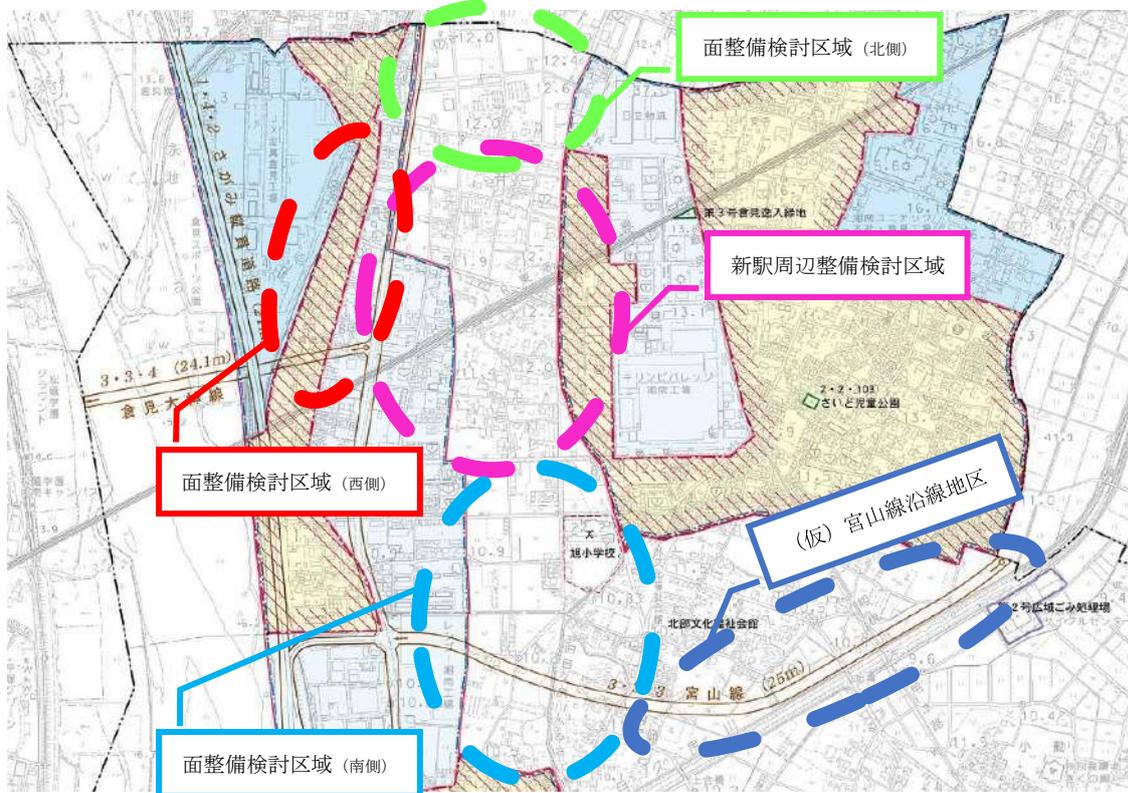


図 5-9 東海道新幹線新駅誘致地区周辺都市計画図

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-3 都市未来拠点の検討状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	<p>新駅の実現に向け、JR東海に対しては従来の要望活動に加え、令和元年より技術相談も継続して実施している。</p> <p>まちづくりに関しては、新駅周辺整備検討区域では神奈川県と連携して将来の事業化に向けた測量、土地利用検討、駅舎等に関する検討等を進めるとともに、県道410号（湘南台大神伊勢原）の事業進捗に伴い、新駅周辺整備検討区域以外の土地利用のあり方についても検討を進めている。</p>
今後の取組方針	<p>新駅設置に向けた要望活動を継続するとともに、新駅周辺整備検討区域については引き続き地元地権者等と合意形成に向けた調整を行う。また、新駅周辺整備検討区域だけでなく、既存のJR倉見駅とのアクセスや、新駅周辺整備検討区域以外の周辺も含めた町北部地区全体の土地利用について検討を進める。</p>

3) 産業集積拠点について

産業集積拠点として位置付けている圏央道（さがみ縦貫道路）寒川南インターチェンジ周辺については、交通の要衝としての特性を活かしつつ、周辺環境に配慮した良好な産業の集積を図るため、令和元年に土地区画整理事業の都市計画決定を行っており、令和元年9月から組合施行による土地区画整理事業を実施しています。

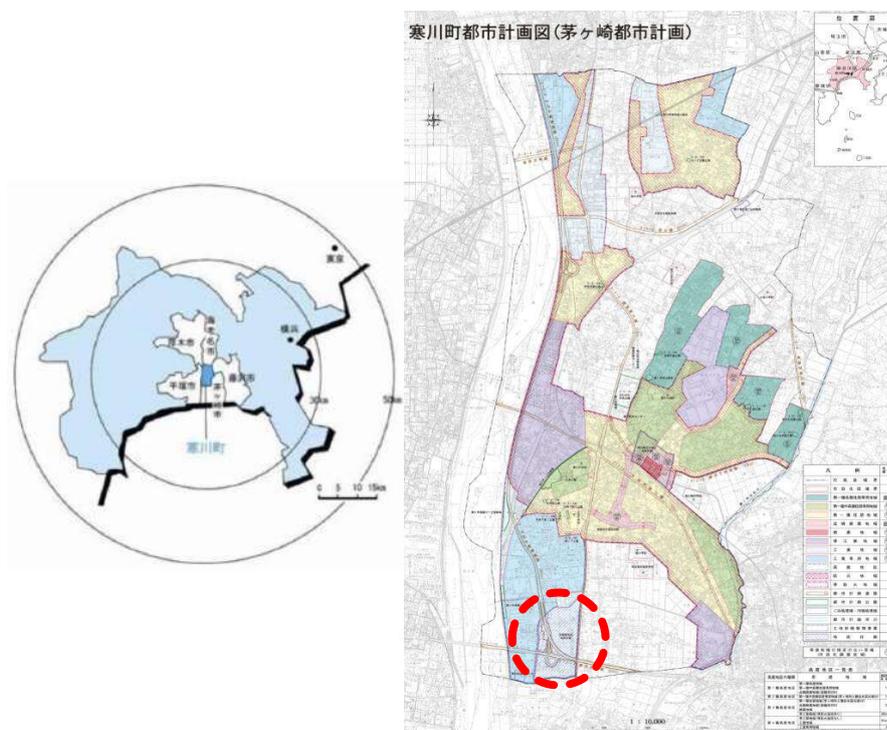


図 5-10 田端西地区位置図（寒川町 HP）

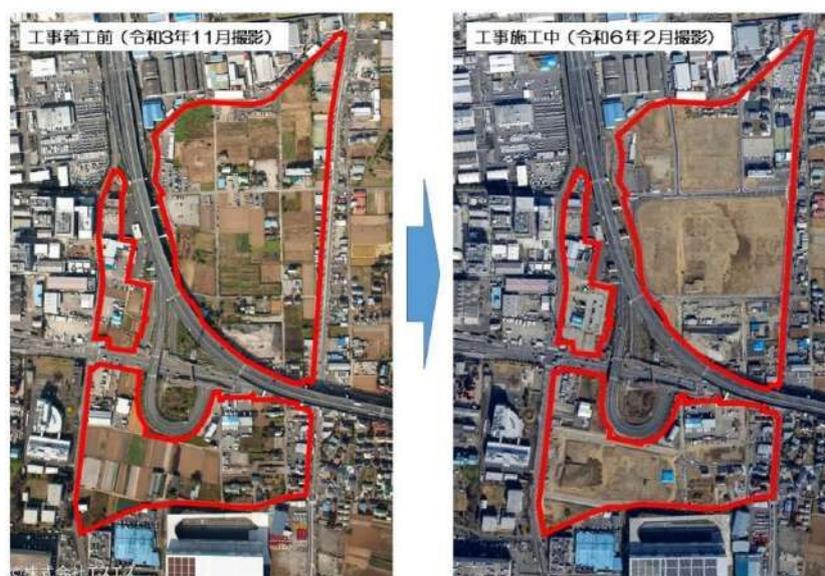


図 5-11 田端西地区航空写真（寒川町 HP）

今後の産業集積拠点については、組合施行による土地区画整理事業について、令和8年度中に事業完了（組合解散）を目指して引き続き整備し、その後は地区計画等による土地利用等の適正化に努めていきます。



図 5-12 産業集積拠点周辺航空写真（令和6年1月撮影）

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-4 産業集積拠点の整備状況評価表

事業進捗評価	◎(進捗している)
現状の評価	田端西地区については、令和元年から事業を実施し、令和8年度中の事業完了を目指して整備を進めている。
今後の取組方針	土地区画整理事業完了後については、地域の方々と定めた田端西地区地区計画等により、土地利用等の適正化に努める。

4) にぎわい交流創出ゾーンについて

にぎわい交流創出ゾーンとして位置付けているさむかわ中央公園周辺を含む地区については、現段階では計画的な市街地整備の見通しが明らかではないものの、町民センターや総合体育館などの公共施設が集積しており、また、寒川神社は町の歴史文化シンボルとして多くの方々から親しまれています。さらに、町役場の隣接地には既存の公共施設を複合化した新たな複合施設の建設の検討を進めています。

これらの特性を活かし、町内のにぎわいと町外との交流を創出するために検討を進めています。

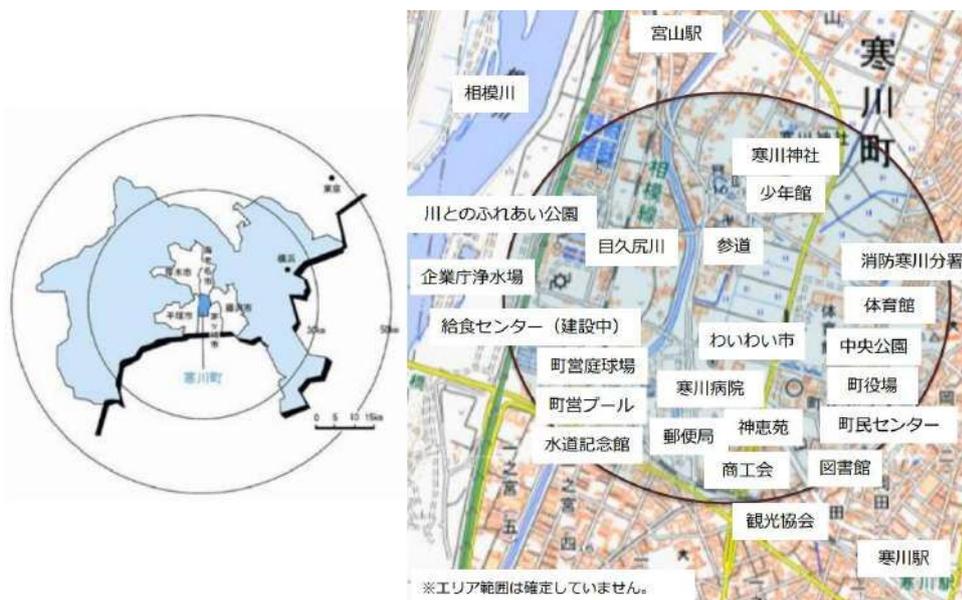


図 5-13 にぎわい交流創出ゾーンの概要



図 5-14 にぎわい交流創出ゾーンのエリアイメージ図

引用：寒川町にぎわい交流創出ゾーンビジョン

今後のにぎわい交流創出ゾーンについては、令和5年3月から4月にパブリックコメント等を実施し策定した「エリアビジョン」を基にして、土地利用の方向性及び目指す将来像について検討する必要があります。

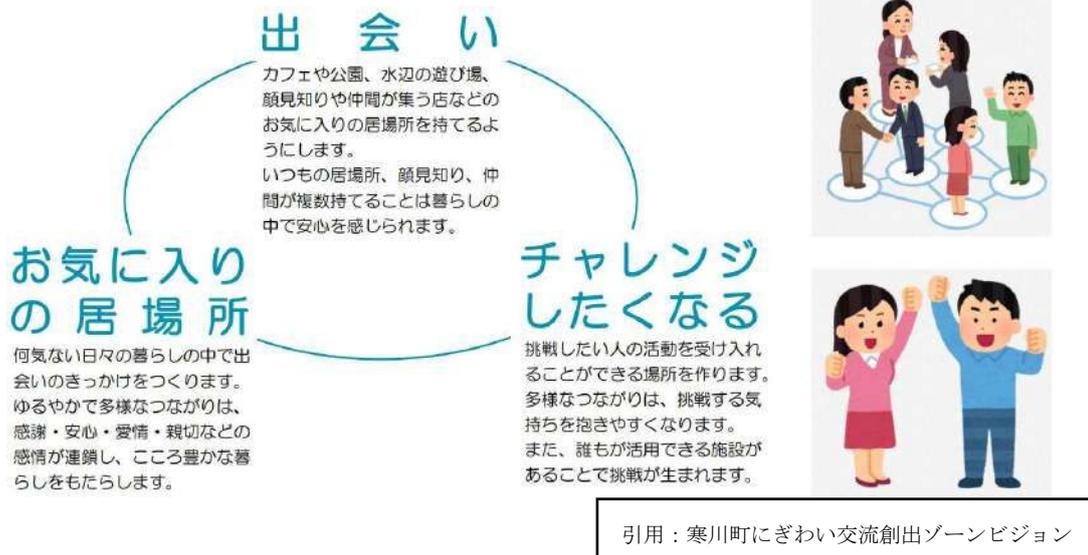


図 5-15 県道より東側のエリアイメージ

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-5 にぎわい交流創出ゾーンの検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	令和5年3月～4月の期間にてパブリックコメント等を実施してエリアのビジョンを策定し、一定の方向性を示したが、目指す将来像など具体的な土地利用の方向性等の検討はできていない。
今後の取組方針	エリアビジョンを基にして土地利用の方向性等目指す将来像及び、目指す将来像を実現するに至るまでの手法等検討を進める。

3. 土地利用について

土地利用は大きく住宅地、商業地、工業地、集落地、農地等に分かれていますが、「寒川らしさ」を大切にしたまちづくりの実現をするため、土地利用や都市機能などの適正な配置について都市の現況を整理し評価します。

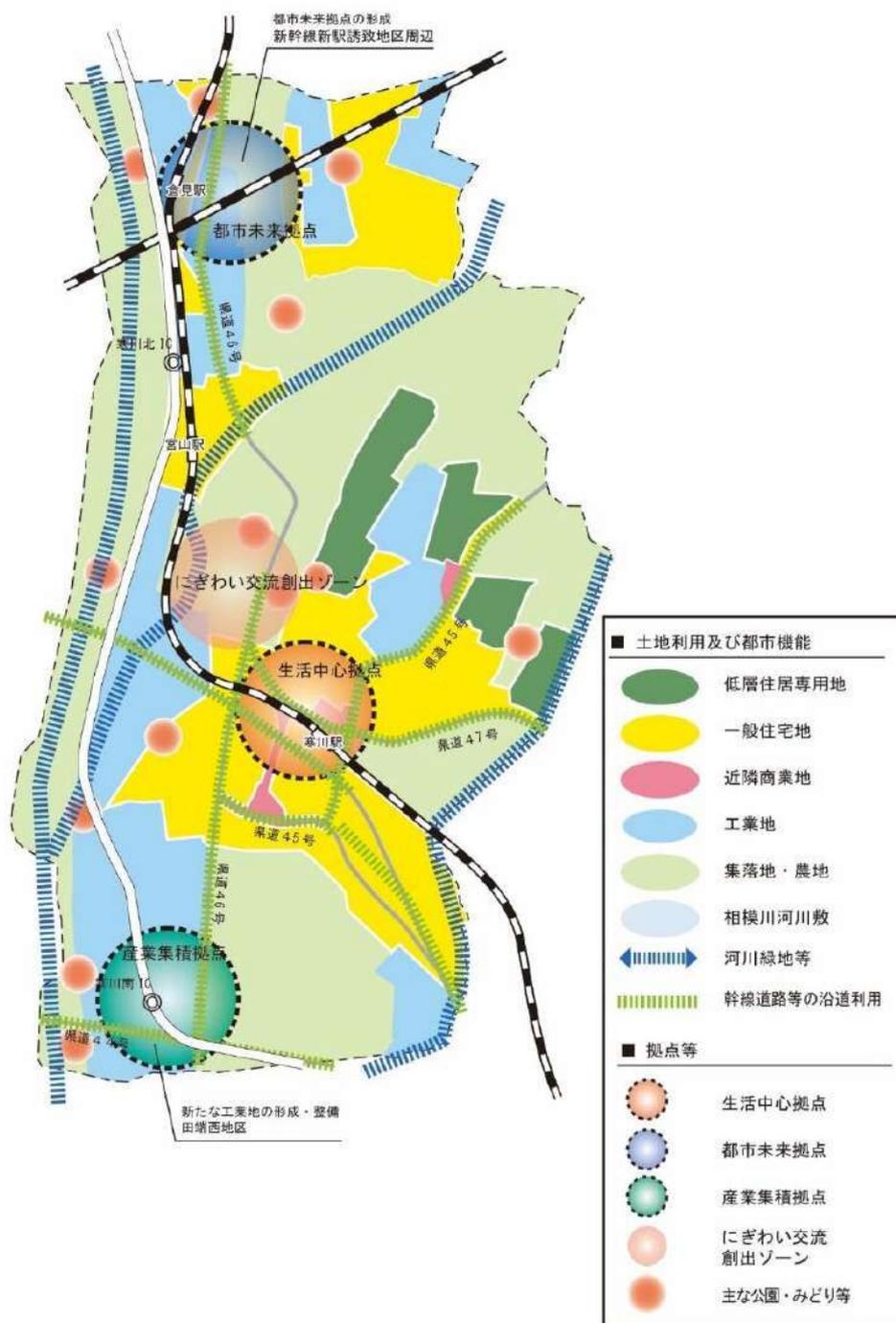


図 5-16 土地利用方針図

1) 都市機能の適切な配置について

人口減少や高齢化等による社会情勢の変化に対応し、持続可能な都市を形成するためには、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまった箇所に立地し、住民等が生活利便施設等にアクセスできるなど、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方で都市機能を配置することが重要です。立地適正化計画の策定に向けた検討など、都市機能を適切に配置するための検討を進める必要がありますが、国土交通省が策定している「立地適正化計画作成の手引き」に示されている都市機能誘導区域に誘導する機能のイメージを基に現状を把握します。

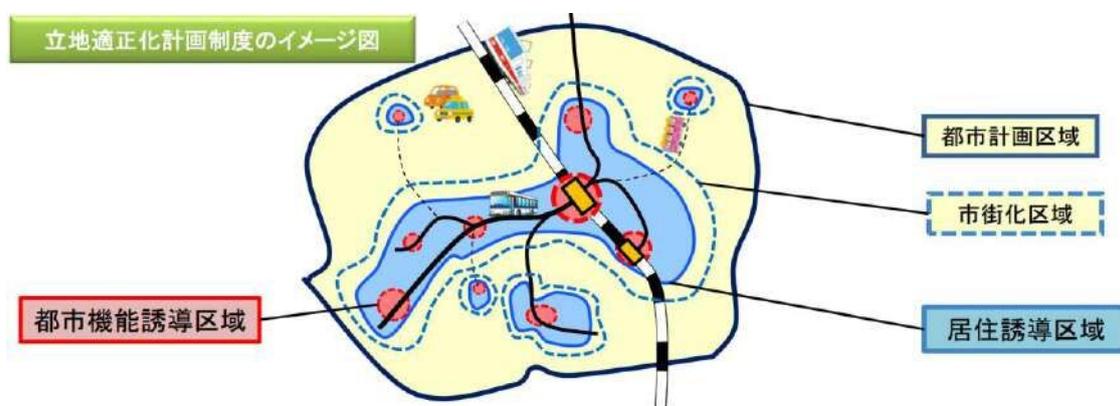


図 5-17 立地適正化計画制度のイメージ図

表 5-6 都市機能誘導区域に誘導する施設のイメージ

	中心拠点	地域/生活拠点
行政機能	■中核的な行政機能 例. 本庁舎	■日常生活を営む上で必要となる行政窓口機能等 例. 支所、福祉事務所など各地域事務所
介護福祉機能	■市町村全域の市民を対象とした高齢者福祉の指導・相談の窓口や活動の拠点となる機能 例. 総合福祉センター	■高齢者の自立した生活を支え、又は日々の介護、見守り等のサービスを受けることができる機能 例. 地域包括支援センター、在宅系介護施設、コミュニティ等
子育て機能	■市町村全域の市民を対象とした児童福祉に関する指導・相談の窓口や活動の拠点となる機能 例. 子育て総合支援センター	■子どもを持つ世代が日々の子育てに必要なサービスを受けることができる機能 例. 保育所、こども園、児童クラブ、子育て支援センター、児童館等
商業機能	■時間消費型のショッピングニーズなど、様々なニーズに対応した買い物、食事を提供する機能 例. 相当規模の商業集積	■日々の生活に必要な生鮮品、日用品等の買い回りができる機能 例. 延床面積〇m ² 以上の食品スーパー
医療機能	■総合的な医療サービス(二次医療)を受けられることができる機能 例. 病院	■日常的な診療を受けられることができる機能 例. 延床面積〇m ² 以上の診療所
金融機能	■決済や融資などの金融機能を提供する機能 例. 銀行、信用金庫	■日々の引き出し、預け入れなどができる機能 例. 郵便局
教育・文化機能	■市民全体を対象とした教育文化サービスの拠点となる機能 例. 文化ホール、中央図書館	■地域における教育文化活動を支える拠点となる機能 例. 図書館支所、社会教育センター

今後の都市機能の適切な配置については、町域全体に点在している都市機能を、必要とする場所に集約及び誘導し、持続可能な都市づくりのための都市機能のあり方について検討する必要があります。

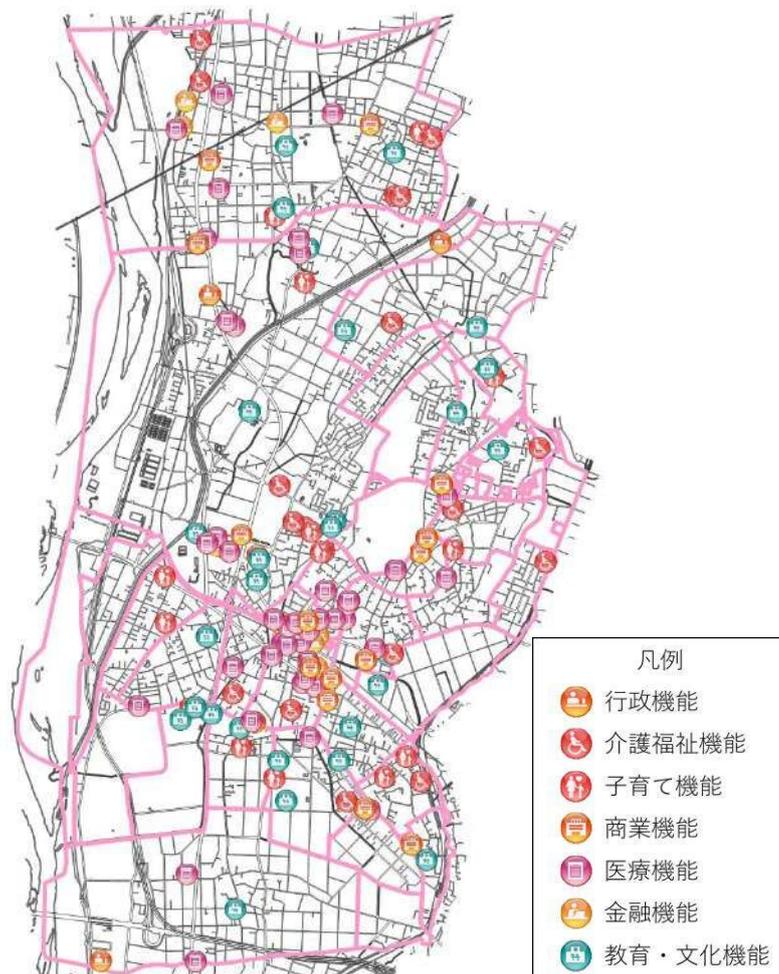


図 5-18 都市機能の配置状況

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-7 都市機能の配置状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	町域全体に医療、子育て機能及び商業施設などの都市機能が点在している状況である。
今後の取組方針	町民の需要等を鑑みた上で、町の将来像としてどの場所に都市機能を集約し、居住を誘導していきたいのか等の方針を検討し、持続可能な都市づくりを目指すため都市機能の再配置等を検討する。

2) 地域地区の適切な指定について

都市計画法第8条第1項各号には地域、地区又は街区をいう「地域地区」が掲げられており、地域地区は建築物の用途、容積、構造等に一定の制限を加え、あるいは土地の区画形質の変更、木竹の伐採等に制限を加えることにより、適正な利用を図ろうとするものです。地域地区には用途地域、特別用途地区、高度地区または高度利用地区などの種類がありますが、寒川町では用途地域、高度地区、防火地域及び準防火地域について定めています。

中でも用途地域とは、住居、商業、工業など土地利用の方向性を定めるものであり、用途地域が指定されることによりそれぞれの目的に応じて建てられる建築物の種類が決まります。寒川町の指定状況としては、法律の改正などの制度変更に合わせて部分的な見直しは行っているものの、各地域、各用途における課題等を抽出し、ふさわしい将来像に向けた見直しを行う等の検討は進んでいません。

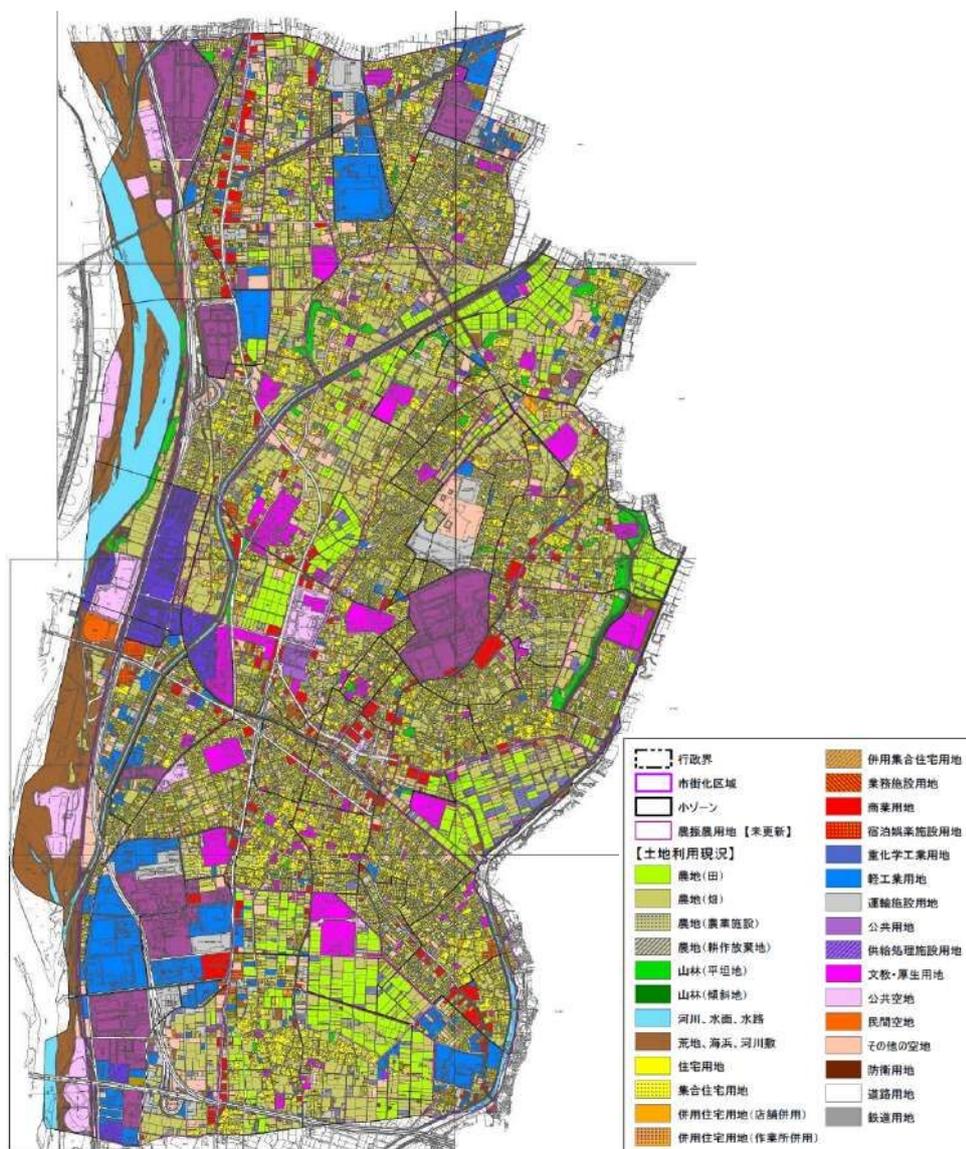


図 5-19 土地利用現況図（令和3年度都市計画基礎調査）

今後の地域地区の適切な指定については、現況の土地利用状況や各地区における課題等を適切に把握し、用途地域の見直し及び地区計画の策定などを必要に応じて検討する必要があります。

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-8 各地区における土地利用現況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	地域地区のうち用途地域について、都市計画法の改正等制度変更に合わせて部分的な見直しは行っているものの、各地区における課題等を把握し、ふさわしい将来像に向けた検討はしていない。
今後の取組方針	現況の土地利用状況や各地区における課題を適切に把握したうえで、地区レベルのふさわしい将来像を検討し、用途地域の見直しや地区計画の策定など、必要に応じた検討を進める。

3) 自然環境等への配慮について

「農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保すべきこと並びにこのためには適正な制限のもとに土地の合理的な利用が図られるべき」という都市計画の基本理念に基づき、無秩序に区域区分の変更等を検討するのではなく、「おおむね十年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域」などについて区域区分の変更等を検討する必要があります。

また、寒川らしさを大切にしまちづくりの実現が求められていることから、農林漁業との健全な調和を図るため農地、山林等の自然的土地利用の現況を把握します。

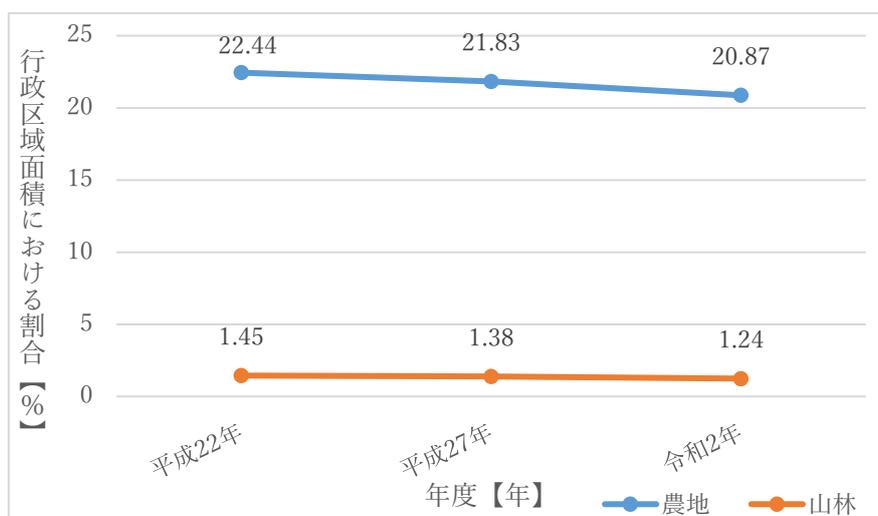


図 5-20 農地、山林等自然的土地利用の割合 (都市計画基礎調査)

今後の自然環境等への配慮については、寒川神社周辺や越の山周辺にまとまった樹林地があるものの、町内の農地、山林等は減少しており、自然環境の効果的な保全及び創出について検討する必要があります。

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-9 農地、山林等の自然的土地利用における現況評価表

事業進捗評価	× (後退している)
現状の評価	都市計画法第6条に基づき、おおむね5年ごとに実施している都市計画基礎調査の結果において、自然的土地利用である農地、山林等の全体に占める割合が減少している。
今後の取組方針	今後新市街地における新たなまちづくり等を検討していくうえで、農用地等の自然的土地利用から宅地等の都市的土地利用への転換を検討することも考えられるが、寒川らしさを大切に、無秩序な転換等とならないよう計画的に検討を進める。また、農業の後継者不足等も課題として捉え、面積での農地保全という視点に限らず、生産性向上という視点等における保全の検討を進める。

4) 新たな土地利用転換に応じた検討について

都市計画道路の整備や寒川町立小・中学校適正化等基本計画、寒川町公共施設再編計画など、大規模な土地利用転換等が予測される地区や市街地の状況、社会情勢の変化等に対応し、持続可能な都市の形成を目指すため、計画的な市街地形成を検討する必要があります。

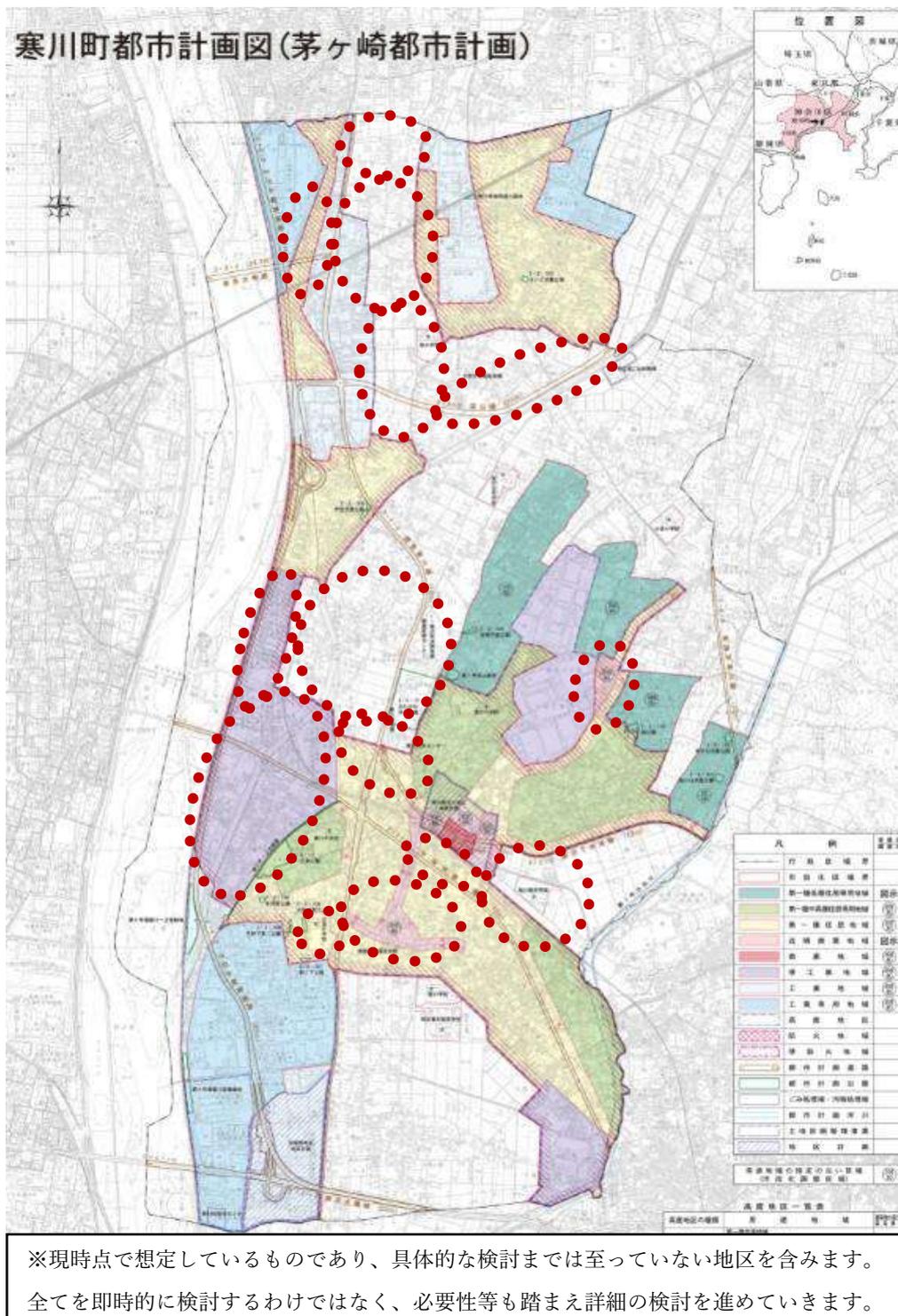


図 5-21 現時点で土地利用転換等が予想される区域図

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-10 予想される土地利用転換に向けた検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	現在の都市マスタープランにおいて、東海道新幹線新駅の設置を目指しているツインシティ倉見地区は、都市未来拠点として位置付け取組みを進めているが、都市計画道路の整備により開発需要が高まると予想される宮山線沿線地区、庁舎周辺及び町全体における土地利用の再配置等に係る検討については上位計画等への位置付けなどをしていない状況である。
今後の取組方針	必要性や時期等について適切な情報収集や検討を行い、地元地権者等の意向を尊重しながら地域と連携して、必要に応じて都市的土地利用等の検討を進める。

4. 道路・交通体系について

町内市街地における区画道路の多くは幅員6m未満で構成されており、交通量の多い裏道などは歩行者の安全な通行に支障が生じている場所があります。こうした道路のうち、特に自動車の交通量が多く歩行者空間の確保が不十分ながら、多くの高齢者や学童などの通行が見込まれる場所については、優先的に交通安全対策等を講じる必要があります。

また、寒川町の主要な交通手段は自家用車が多く、次いで自転車、徒歩となっている状況から、道路整備に加え、歩行者空間及び自転車走行空間の適切な確保が求められ、これらを実現するため、現況を整理し評価します。

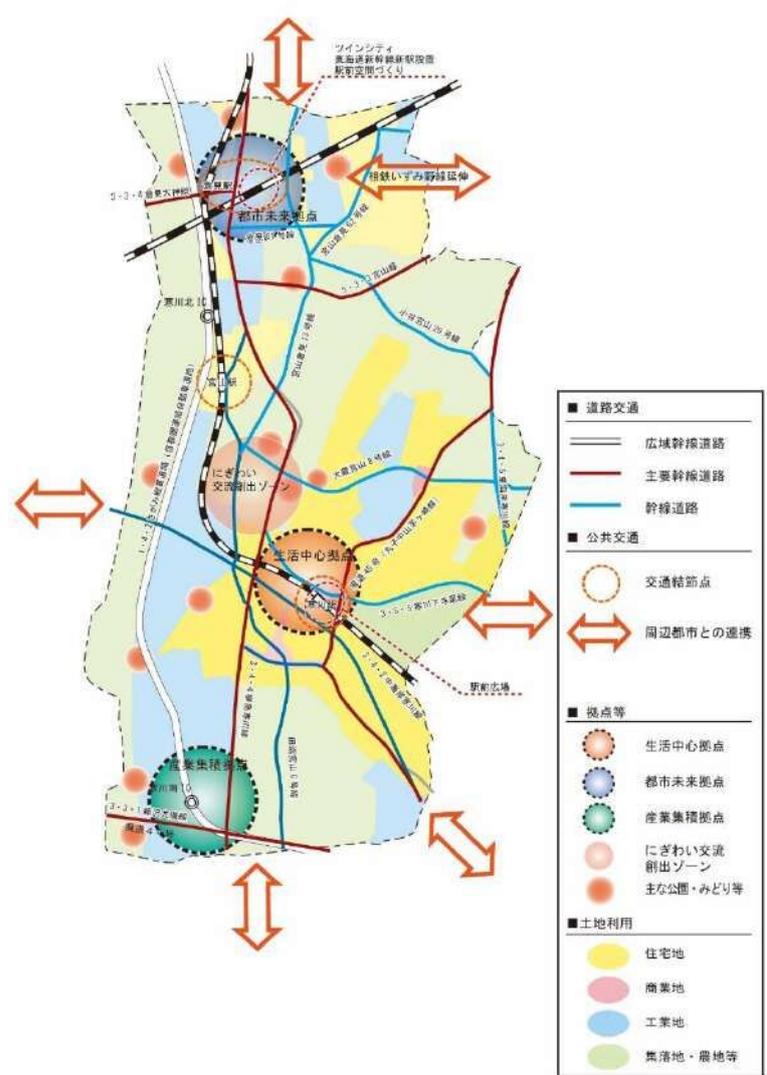


図 5-22 道路・交通ネットワーク整備方針図

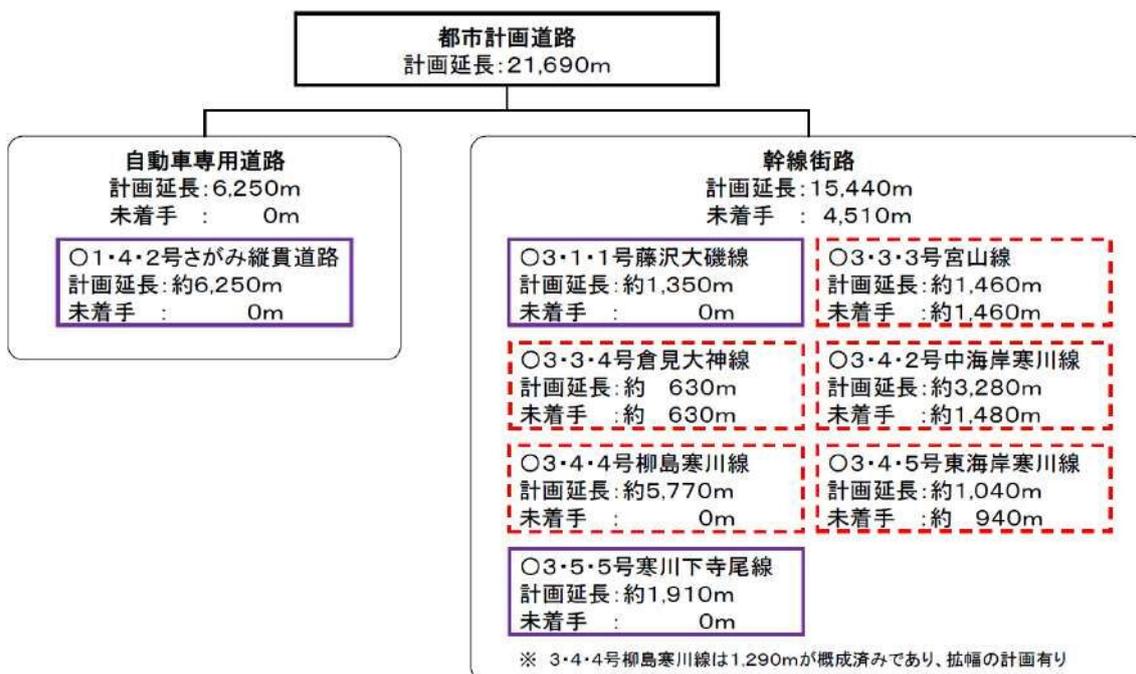


図 5-23 都市計画道路整備状況全体図

表 5-24 都市計画道路整備状況概要図

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-11 都市計画道路事業進捗状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	<p>主な未整備路線である「3・3・3号宮山線」、「3・3・4号倉見大神線」、「3・4・4号柳島寒川線」の3路線については、神奈川県が令和3年3月に県道として路線認定をしており、整備に向けた取組みを進めている。</p> <p>一方「3・4・2号中海岸寒川線」、「3・4・5号東海岸寒川線」の2路線については、都市計画決定から約20年以上が経過していることから、平成23年1月に「都市計画道路の見直し」を行い、見直しによる機能の再検証の結果、必要性が認められるが、事業実施時期の見込みが立たない路線として「留保つき存続」として位置付けを行った。</p>
今後の取組方針	<p>「3・3・3号宮山線」、「3・3・4号倉見大神線」、「3・4・4号柳島寒川線」の3路線については、引き続き、道路整備の事業主体である神奈川県等と連携を図り、早期供用開始に向けた取組みを進めていく。</p> <p>「3・4・2号中海岸寒川線」、「3・4・5号東海岸寒川線」の2路線については、前回の都市計画道路の見直しより約15年が経過していることから、改めて必要性等を整理するため都市計画道路の見直しの実施を検討すると共に、引き続き神奈川県等に対して整備に向けた取組みの要望を行っていく。</p>

2) 狭あい道路の状況について

狭あい道路とは、建築基準法（昭和25年法律第201号）第42条第2項に該当する、1.8m以上4m未満の道路のことです。

狭あい道路を拡幅することにより、緊急時及び災害時における緊急車両の進入が容易になるほか、火災時の延焼防止や避難経路の確保につながります。また、日照や通風等の住環境の改善や、見通しが良くなることによる防犯対策にもつながり、道路環境の向上とともに住環境の向上を図ることができます。

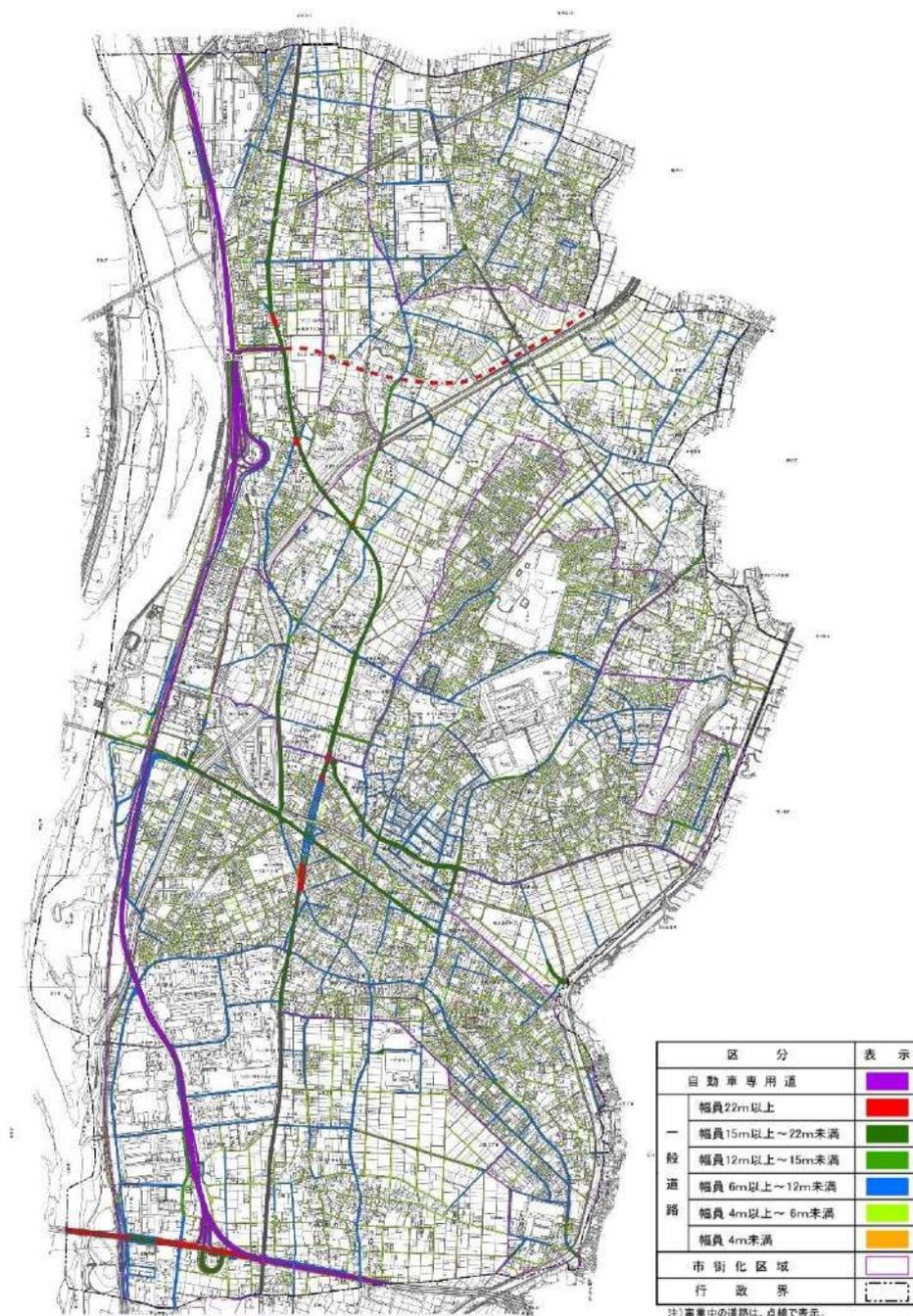


図 5-25 狭あい道路現況図（令和3年度都市計画基礎調査）

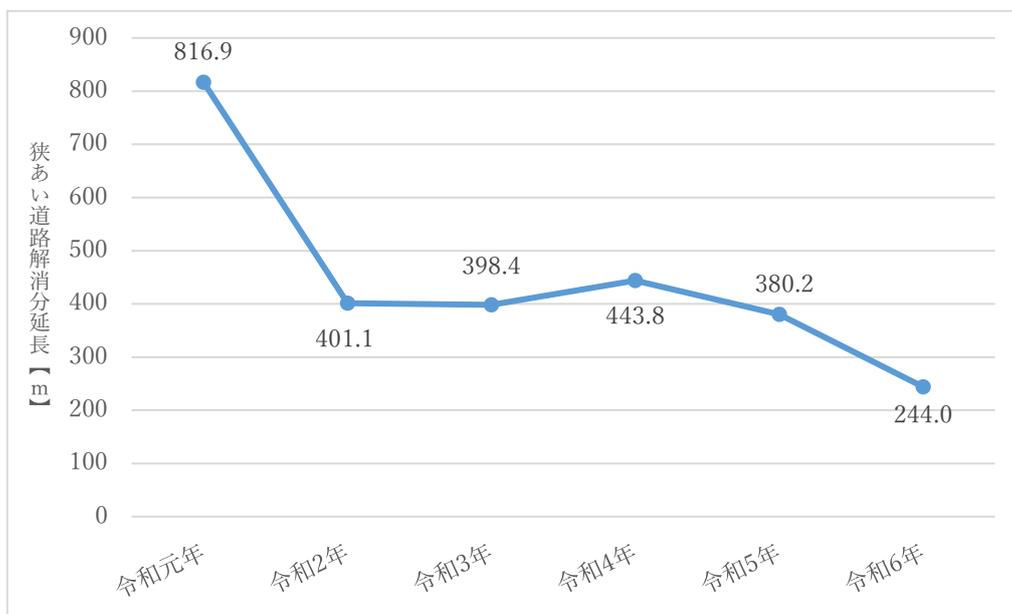


図 5-26 狭あい道路解消分延長

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-12 狭あい道路事業進捗状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	町道路課提供データを基に、町内における各年度の狭あい道路解消分延長を整理したが、有償及び無償等にて用地を取得し、狭あい道路が解消されつつある。
今後の取組方針	今後も引き続き積極的に用地取得を進めていき、町内における狭あい道路を少しでも解消させるよう取組みを進めていく。

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-13 自転車ネットワーク計画検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	<p>都市マスタープランのみならず、令和6年3月に策定した、寒川町地域公共交通計画においても、「安全な歩行者空間、自転車通行空間の確保」の必要性を課題として取り上げており、「安全な通行空間の確保のため、県や隣接自治体とも連携しながら自転車ネットワークの形成に向けた検討を行う」と記載している。</p>
今後の取組方針	<p>用地買収や歩道整備により、歩行者空間の確保に向けた取組みは行っているものの、自転車走行空間の確保に向けた検討は進んでいないため、寒川町自転車ネットワーク計画の策定に向けた検討を進めると共に、計画策定のみならず、計画を基に適正なネットワーク形成が図られるよう実現に向けた取組みを進める。</p>

4) 公共交通環境の向上について

鉄道駅から離れた住宅地において主たる交通手段は自家用車利用が多くなっていますが、公共交通は学生、高齢者等にとって生活を支える貴重な交通手段であることから、交通需要管理の視点を取り込みながら、町の生活拠点と各宅地を安全で快適に結ぶ町内公共交通ネットワークの充実を図る必要があります。

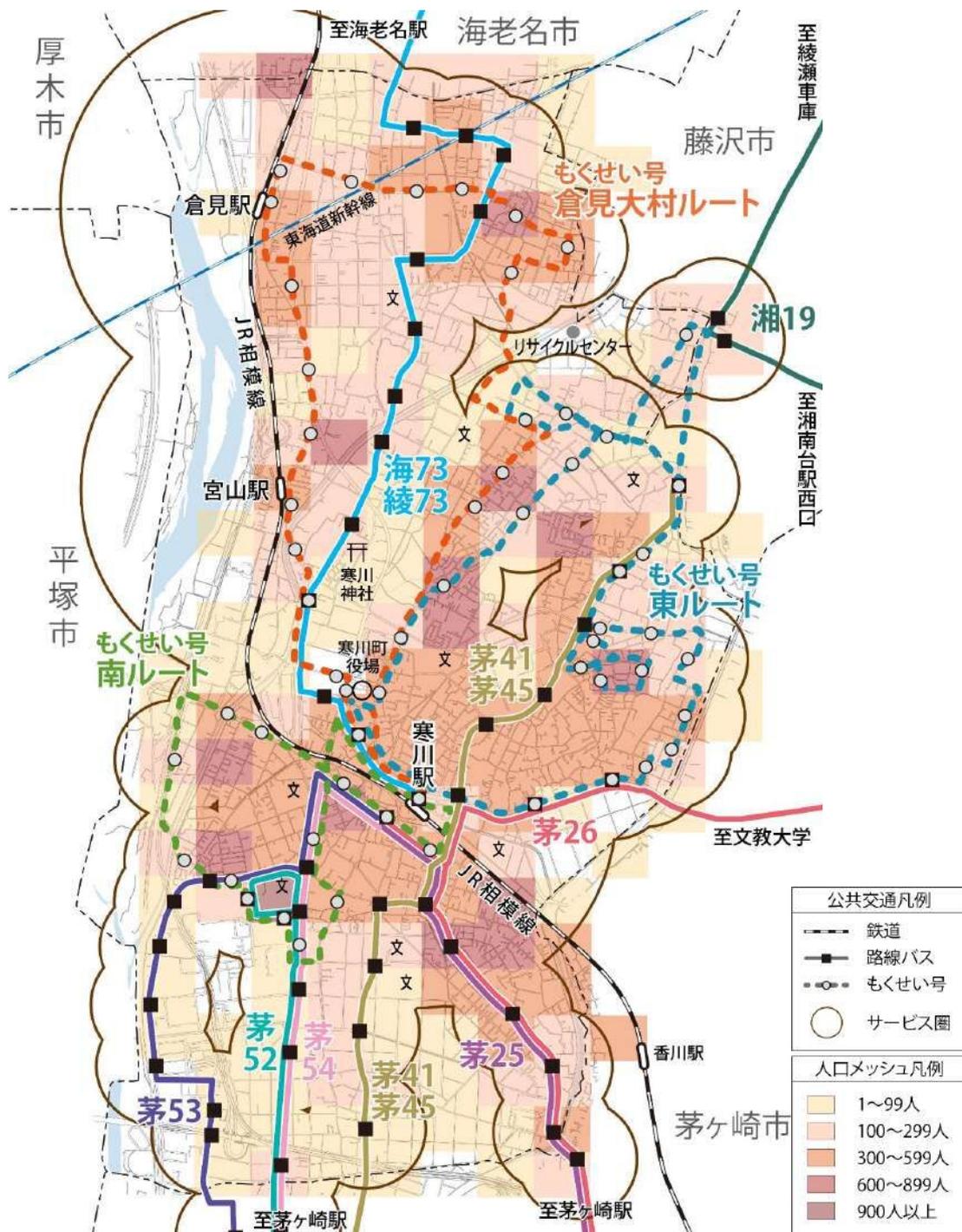


図 5-28 鉄道及び路線バス路線図（寒川町地域公共交通計画）

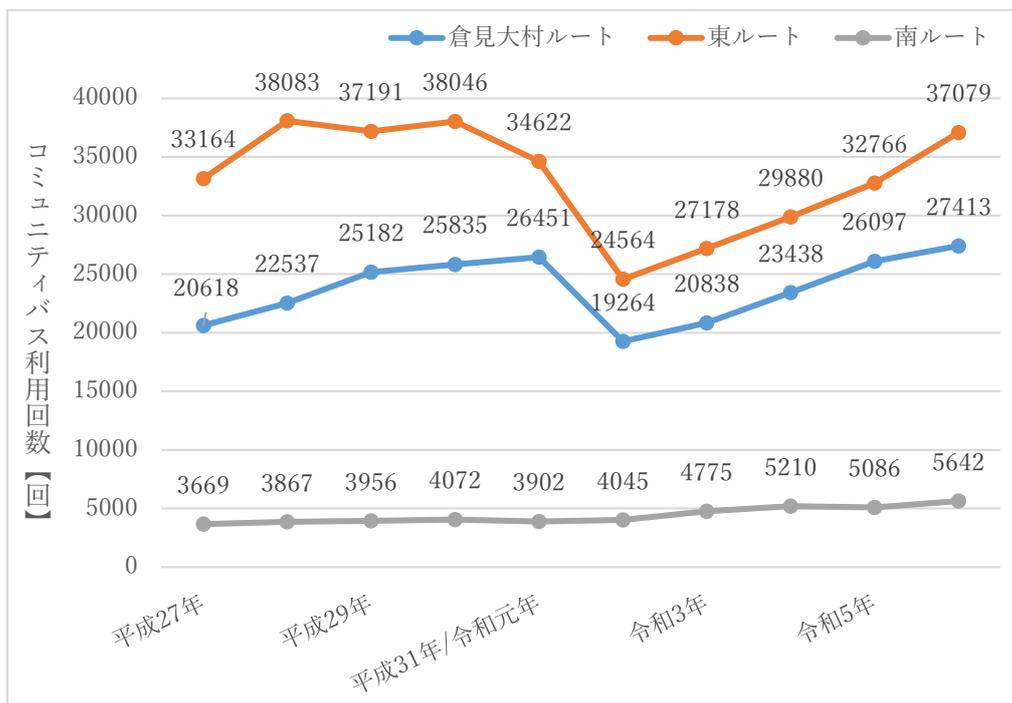


図 5-29 コミュニティバス年間利用回数

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-14 公共交通利用状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、年間公共交通利用回数は令和2年度に急激に落ち込んだが、その後回復に転じており、コロナ前の状態と同程度まで戻ってきている状況である。
今後の取組方針	既存のコミュニティバスの利便性については、居住地区や年齢層によらず、多くの方が維持または向上させるべきと考える方が多いと考える。しかし、持続可能な都市づくりを行うため、今後集約型都市構造の考え方を基に、利用率向上だけでなく効率的な運行、収支率の向上に向けて、アンケート結果や利用実態に応じた経路やダイヤ、運行本数、使用車両、運賃体系などの見直しを図る必要があると考え、その検討を進める。

5) 鉄道駅周辺環境の向上について

鉄道駅周辺は各種交通機関の結節点として、ユニバーサルデザインに配慮した移動空間や歩行者空間等の確保に加え、タクシー利用や自家用車の送迎等を含めた、すべての利用者にやさしい交通施設の整備と管理を進めるなどの取組みを検討する必要があります。

また、今後の社会情勢の変化等に応じた将来の交通結節点の姿を見通し、交通結節点や周辺の施設を個別のものとして捉えるのではなく、駅・駅前広場・周辺市街地を一つの空間として一体的に捉え、「駅まちデザインの手引（駅まちデザイン検討会）」などを参考にした中で、将来の魅力あるまちづくりの中核を担う場所とするための取組みを検討する必要があります。

○ 駅前広場について



図 5-30 駅前広場写真（寒川駅北口）

寒川駅北口については、平成4年6月1日から令和6年3月31日の期間にて「茅ヶ崎都市計画事業寒川駅北口地区土地区画整理事業」を実施し、都市施設として寒川駅北口駅前広場を整備しました。

寒川駅南口については、駅利用者の送迎車両が駅前の道路（町道岡田一之宮15号線）の歩道を横切り、私有地で方向転換することが多かったことから、駅に近接する住宅2軒を用地買収し、令和4年度に車両転回場を整備しました。このことで私有地での方向転換をする車両が無くなり、歩行者の安全性向上が図られましたが、寒川町の玄関口としての利便性向上に向けて、タクシーや一般車両が停車できる施設の整備を検討しています。

倉見駅については、今後神奈川県事業として、平塚市大神地区と寒川町倉見地区を結ぶ（仮称）ツインシティ橋の整備を予定しており、橋の供用開始後には平塚市大神地区からの利用者増が見込まれることなどから、東海道新幹線新駅の誘致を含む町の将来像を見据えた中で、適切な駅前広場の整備に向けて検討しています。

宮山駅については、町の拠点に準ずるゾーンとして位置付けている「にぎわい交流創出ゾーン」との連携を視野に入れた中で、その必要性等について今後検討します。

○ 自転車駐車場について



図 5-31 自転車駐車場等写真（寒川駅北口、南口、倉見駅、宮山駅）

寒川駅北口及び南口については「自転車等駐車場」を配置していますが、倉見駅及び宮山駅については、置場の空間のみを確保しているという状況です。

現状自転車駐車場を整備していない各駅について、自転車で駅を利用する方が非常に多く、自転車置場の空間からはみ出して駐車している状況も多々見受けられる状況ですが、自転車駐車場の配置により、自宅-駅間の自転車移動を促進し、健康維持や運動不足解消に寄与すること、環境への配慮ができること並びに安全性が向上することなどの効果が見込まれることから、駅前広場と併せた整備に向けて検討しています。

なお、倉見駅については、駅前広場の整備と同様、東海道新幹線新駅の誘致を含む町の将来像を見据えた中で、適切な駅前広場の整備に向けて検討しています。

○ 駅周辺のユニバーサルデザイン化について



図 5-32 駅前広場写真（倉見駅、寒川駅）

寒川駅についてはエレベーターやバリアフリートイレ、点字運賃表並びにシニアカー利用経路等が配置されています。

また、倉見駅については、令和 2 年度にエレベーターやバリアフリートイレ等が整備され、宮山駅についてもエレベーターやバリアフリートイレ、点字運賃表等の配置など、一定のユニバーサルデザイン化が図られています。

一方、駅周辺という視点では、令和 6 年 3 月末までの期間で実施した土地区画整理事業に併せて、寒川駅北口周辺の空間を整備しましたが、その他各駅については駅周辺における空間が整備できていない状況です。しかし、誰もが利用しやすい空間整備を目指すため、鉄道駅と公共施設等の生活関連施設を結ぶ生活関連経路等の検討を含めた、バリアフリー基本構想等の策定を見据えた検討を進める必要があります。

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-17 鉄道駅周辺環境評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	<p>○駅前広場について 寒川駅北口:土地区画整理事業の中で整備 寒川駅南口:令和4年に車両転回場を整備 倉見駅:(仮称)ツインシティ橋の整備を見据え、将来像を踏まえた中で整備に向けて検討中 宮山駅:にぎわい交流創出ゾーンとの連携を視野に入れた中で、必要性等について検討が必要であると認識している</p> <p>○自転車駐車場について 寒川駅北口:自転車等駐車場を配置 寒川駅南口:自転車等駐車場を配置 倉見駅:自転車置場の空間のみ配置 宮山駅:自転車置場の空間のみ配置</p> <p>○駅周辺のユニバーサルデザイン化について 寒川駅北口:駅周辺の一定の空間を含め、土地区画整理事業の中で整備 寒川駅南口:駅周辺の一定の空間は未整備 倉見駅:駅周辺の一定の空間は未整備 宮山駅:駅周辺の一定の空間は未整備</p>
今後の取組方針	<p>○駅前広場について 寒川駅北口:今後も継続して駅前広場を配置する。 寒川駅南口:タクシーや一般車両が停車できる施設の整備等、さらなる利便性向上に向けた検討を進める。 倉見駅:(仮称)ツインシティ橋の整備に併せた駅前広場の整備に向けて検討を進める。 宮山駅:必要性等について改めて検討を進める。</p> <p>○自転車駐車場について 寒川駅北口:今後も継続して自転車駐輪場を配置する。 寒川駅南口:今後も継続して自転車駐輪場を配置する。 倉見駅:(仮称)ツインシティ橋の整備に併せた自転車駐輪場の整備に向けて検討を進める。 宮山駅:駅前広場と併せた整備に向けて検討を進める。</p> <p>○駅周辺のユニバーサルデザイン化について エレベーターやバリアフリートイレ等については引き続き配置し、生活関連経路等の検討を含めた、バリアフリー基本構想の策定を見据えた検討を進める。</p>

5. 環境・景観形成について

「富士山がきれいに見える」や「自然・みどりが多いのんびりしている」などの特徴を活かした環境・景観形成を目指し、併せて生活利便性の向上等を図るため、現況を整理し評価します。

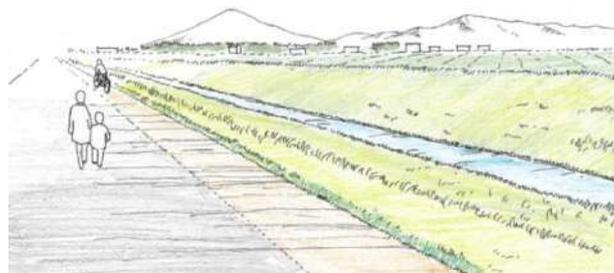
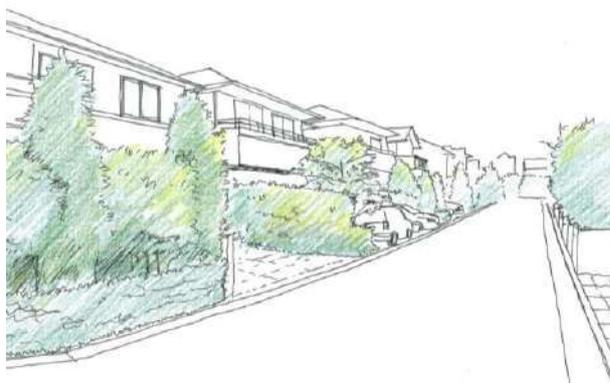


図 5-33 景観・環境イメージ図

1) 公園緑地の整備について

公園緑地はレクリエーション空間として利用されるほか、災害時における防災機能や景観形成機能など様々な役割を担うことから必要に応じて機能の確保に努めることに加え、維持管理については、公園愛護会等の制度を活用した、住民の方と協働で実施できる手法を引き続き推進、支援していきます。

表 5-18 寒川町の緑地の現況量（令和2年3月現在）

区画分別緑地量			市街化区域		都市計画区域	
			現況量		現況量	
緑地種別			ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)
住区基幹公園	街区公園	28	2.14	32	2.48	
	近隣公園	0	0.00	1	1.50	
	地区公園	0	0.00	1	4.77	
都市基幹公園	運動公園	0	0.00	1	7.22	
	基幹公園計	28	2.14	35	15.97	
都市緑地			4	0.48	4	0.48
緑道			3	1.83	4	2.36
都市公園計			35	4.45	43	18.81
公共施設緑地			30	24.14	37	37.85
都市公園等計			65	28.59	80	56.67
民間施設緑地			16	3.26	27	10.29
施設緑地計			81	31.85	107	66.95
法によるもの			2	16.23	6	321.91
条例等によるもの			2	0.52	10	1.81
地域制緑地計			4	16.75	16	323.72
施設・地域制間の重複				0.00		11.62
緑地総計			85	48.80	123	379.05
緑地現況割合			市街地面積に対する割合		6.96%	
			都市計画区域面積に対する割合		28.25%	

※各緑地面積の数値は㎡単位で集計し、四捨五入により算出しています。

表 5-19 寒川町の緑地の現況量（令和6年3月現在）

区画分別緑地量			市街化区域		都市計画区域	
			現況量		現況量	
緑地種別			ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)
住区基幹公園	街区公園	28	2.14	32	2.48	
	近隣公園	0	0.00	1	1.50	
	地区公園	0	0.00	1	4.77	
都市基幹公園	運動公園	0	0.00	1	7.22	
	基幹公園計	28	2.14	35	15.97	
都市緑地			4	0.48	4	0.48
緑道			4	1.90	5	2.43
都市公園計			36	4.52	44	18.88
公共施設緑地			30	24.14	37	37.85
都市公園等計			66	28.66	81	56.74
民間施設緑地			16	3.26	27	10.29
施設緑地計			82	31.92	108	67.02
法によるもの			2	16.23	6	321.91
条例等によるもの			2	0.52	10	1.81
地域制緑地計			4	16.75	16	323.72
施設・地域制間の重複				0.00		11.62
緑地総計			86	48.67	124	379.12
緑地現況割合			市街地面積に対する割合		6.97%	
			都市計画区域面積に対する割合		28.25%	

※各緑地面積の数値は㎡単位で集計し、四捨五入により算出しています。

引用：寒川町みどりの基本計画

表 5-20 目標年次（2040年）までに確保を図る緑地の内訳一覧

区域区分別目標緑地量			将来市街地		都市計画区域	
緑地種別			整備量		整備量	
			ヶ所	面積(ha)	ヶ所	面積(ha)
住区基幹公園	街区公園		37	3.54	41	3.89
	近隣公園		0	0.00	1	1.50
	地区公園		0	0.00	1	4.77
都市基幹公園	総合公園		0	0.00	0	0.00
	運動公園		0	0.00	1	7.22
基幹公園計			37	3.54	44	17.38
都市緑地			6	2.25	6	2.25
緑道			4	1.90	5	2.43
都市公園計			47	7.70	55	22.06
公共施設緑地			31	24.83	37	37.85
都市公園等計			78	32.53	92	59.92
民間施設緑地			16	3.26	27	10.29
施設緑地計			94	35.78	119	70.20
特別緑地保全地区			0	0.00	0	0.00
その他法によるもの			2	16.23	6	319.91
法によるもの計			2	16.23	6	319.91
条例等によるもの			7	0.81	9	1.93
小計			9	17.04	15	321.84
地域制緑地計			9	17.04	15	321.84
施設・地域制間の重複				0.35		11.97
緑地総計			103	52.46	134	380.07
緑地の確保目標水準			将来市街地面積に対する割合		7.10%	
			都市計画区域面積に対する割合		28.32%	

※各緑地面積の数値は㎡単位で集計し、四捨五入により算出しています。

引用：寒川町みどりの基本計画

令和2年3月から現在までの整備進捗状況としては、河童徳利ひろばが新規に整備され、市街化区域及び都市計画区域における緑道の数値が0.07ha増加しました。

また、平成11年より都市計画緑地として位置付けをしている茅ヶ崎都市計画緑地第5号相模川一之宮緑地については、令和7年5月に「(仮称)寒川町ストリートスポーツパーク整備に係る基本構想 (仮称)相模川一之宮公園整備に係る基本計画」を定め、都市公園として(仮称)相模川一之宮公園の整備を予定しています。

なお、その他各街区公園や茅ヶ崎都市計画緑地第4号相模川田端緑地については、今後求められる機能や必要性、実現性、代替性など、社会情勢の変化等を踏まえた検討をし、必要に応じて確保目標の見直しを図る必要があると認識しています。

表 5-21 都市計画決定している公園・緑地の状況

公園（近隣公園、地区公園）					
告示年月日 告示番号	告示内容				備考
	番号	名称	種別	面積(ha)	
昭和58年8月26日 神奈川県告示第495号	3-3-11号	一之宮公園	近隣公園	約 1.5	昭和59年6月23日
平成5年10月29日 神奈川県告示第971号	4-4-11号	さむかひ中央公園	地区公園	約 4.8	平成10年9月1日

緑地					
告示年月日 告示番号	告示内容				備考
	番号	名称	種別	面積(ha)	
昭和57年12月23日 神奈川県告示第26号	第1号	富山緑地	緑地	約 0.3	昭和60年4月1日
昭和60年3月8日 茅ヶ崎町告示第44号 (昭和41年 茅ヶ崎町告示第42号)	第2号	一之宮緑道	緑地	約 0.07	昭和61年4月1日
平成5年4月8日 茅ヶ崎町告示第20号	第3号	舟形池入緑地	緑地	約 0.06	平成6年4月1日
平成11年8月3日 茅ヶ崎町告示第62号	第4号	相模川田端緑地	緑地	約 0.07	未整備
平成11年8月3日 茅ヶ崎町告示第62号	第5号	相模川一之宮緑地	緑地	約 1.1	未整備

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-22 公園緑地の整備評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	前回の都市マスタープラン改定以降新たに河童徳利ひろばの整備が行われ、現在は(仮称)相模川一之宮公園の供用開始に向けた検討を進めている。なお、都市計画決定している公園・緑地については、必要性等の再検討が進んでいない状況である。
今後の取組方針	現在未検討の主な公園・緑地として、2040年までに茅ヶ崎都市計画緑地第4号相模川田端緑地の整備を目標としているが、整備に向けた検討の中で、今度の社会情勢の変化等を踏まえ、持続可能な都市づくりを目指すためには現況の区域で良いのかなど、必要性・実現性・代替性などを踏まえた検討をする。

2) 公共下水道の整備について

河川や水路等については、水質保全や生態系に配慮した水辺空間の保全がされるように適切な維持管理などをする必要があり、特に生活排水の処理については、公共下水道汚水施設を良好に保つとともに、公共下水道等処理区域外では、合併処理浄化槽の利用も含めて公共用水域の水質保全を進める必要があります。また、雨水処理については公共下水道雨水施設を良好に保つ必要があるため、関係機関との調整を図ります。

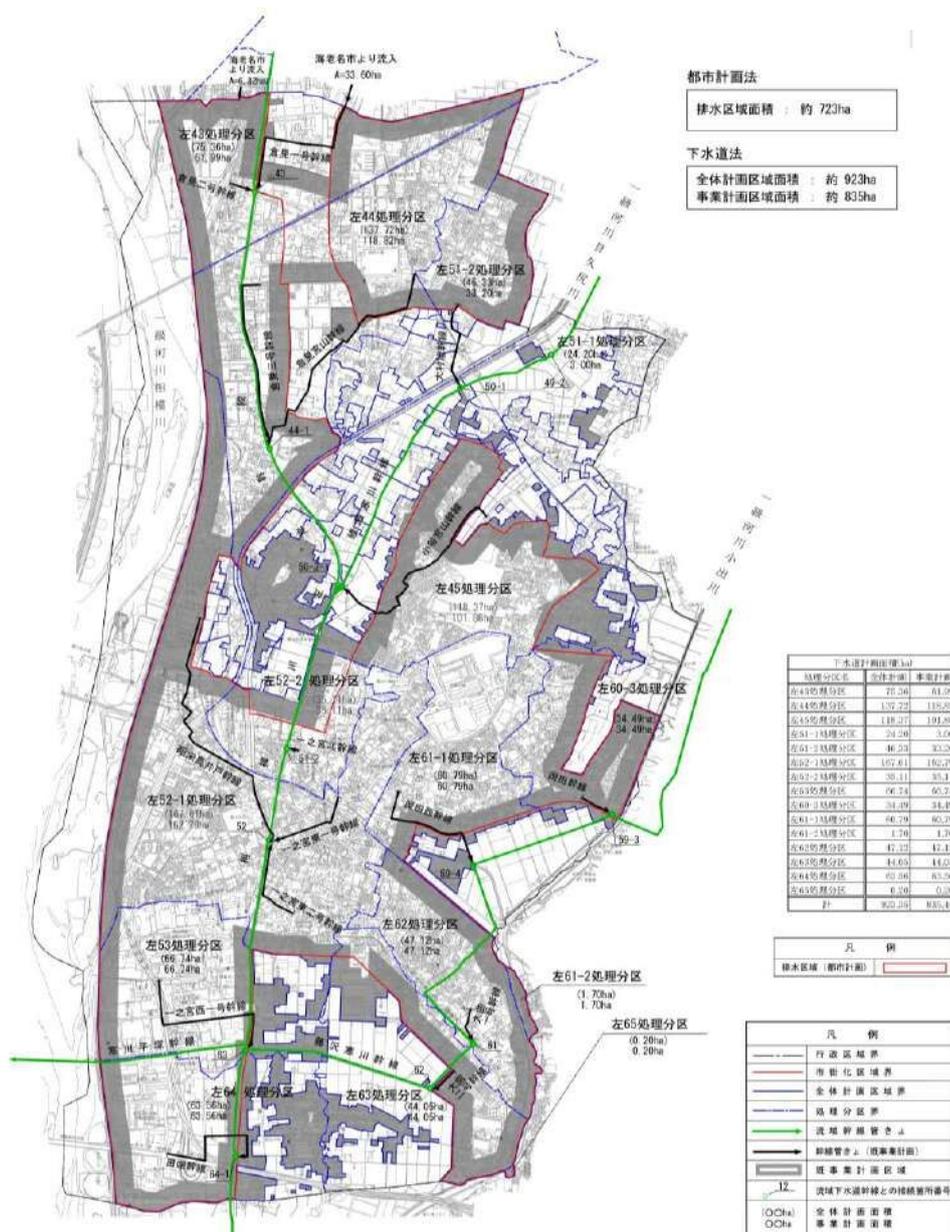


図 5-34 寒川町公共下水道計画一般図 (汚水)

寒川町における公共下水道は、神奈川県が事業主体である相模川流域下水道に接続する流域関連公共下水道（污水）として、昭和49年度に約177haの下水道法の事業認可を受け、昭和59年4月に供用を開始しました。その後、事業計画の拡大を重ね計画排水面積約923haのうち污水は約8割が、雨水は約6割が整備済となっています。総人口普及率も9割を超えており水洗化率もほぼ100%近くです。また、市街化区域についての整備の状況は、計画面積約723haに対し約9割強の進捗状況で概成となっており、今後は市街化調整区域の整備を進めるとともに、維持管理や改築更新に重点を移すこととなります。

表 5-23 寒川町の下水道計画の概要

項 目	平成 29 年度末	平成 30 年度末	令和元年度末
① 行政面積 (ha)	1,342	1,342	1,342
②市街化区域面積 (ha)	698.00	698.00	698.00
③全体計画面積 (ha)	923.00	923.00	923.00
④認可区域面積 (ha)	795.46	834.66	834.66
⑤行政人口 (人)	48,457	48,581	48,700
⑥世帯数 (戸)	21,004	21,266	21,477
⑦整備面積 (ha)	766.34	766.99	770.18
⑧整備人口 (人)	45,224	45,331	45,477
⑨処理区域面積 (ha)	757.08	757.45	758.06
⑩処理区域人口 (人)	45,151	45,256	45,404
⑪処理区域戸数 (戸)	19,695	19,940	20,149
⑫水洗化人口 (人)	43,859	44,069	44,322
⑬水洗化戸数 (戸)	19,013	19,299	19,547
⑭総人口普及率(%)⑩/⑤	93.17%	93.15%	93.23%
⑮水洗化率(人口比%)⑫/⑩	97.13%	97.37%	97.61%
⑯水洗化率(戸数比%)⑬/⑪	96.53%	96.78%	97.01%
⑰管渠延長 (m)	145,902.3	146,309.9	146,605.0

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-24 公共下水道の整備率評価表

事業進捗評価	◎(進捗している)
現状の評価	計画排水面積約923haのうち、污水は約8割、雨水は約6割が整備済みとなっており、市街化区域の整備状況についても、計画面積約723haに対し約9割が概成となっている。
今後の取組方針	下水道施設の新設や接続促進など生活環境改善を進めていくとともに、少子高齢化による人口減少などの社会構造の変化や、集中豪雨などの自然リスクに適切に対応するため、浸水対策、耐震対策、維持管理など、適切な収支管理を行い健全な運営に努めて行く。なお、令和9年度以降については、「寒川町汚水処理施設整備構想」により、合併処理浄化槽など公共下水道以外の手法を選定するよう検討する。

3) 景観形成への配慮について

寒川町の特徴である富士山への眺望、幹線道路沿道や参道の並木、神社仏閣境内の風情、駅前空間、住宅地の街並み景観などの保全等を図るため、町に住む人々が親しみを込めて住みやすいと思える環境と連動した空間づくりを進める検討をする必要があります。

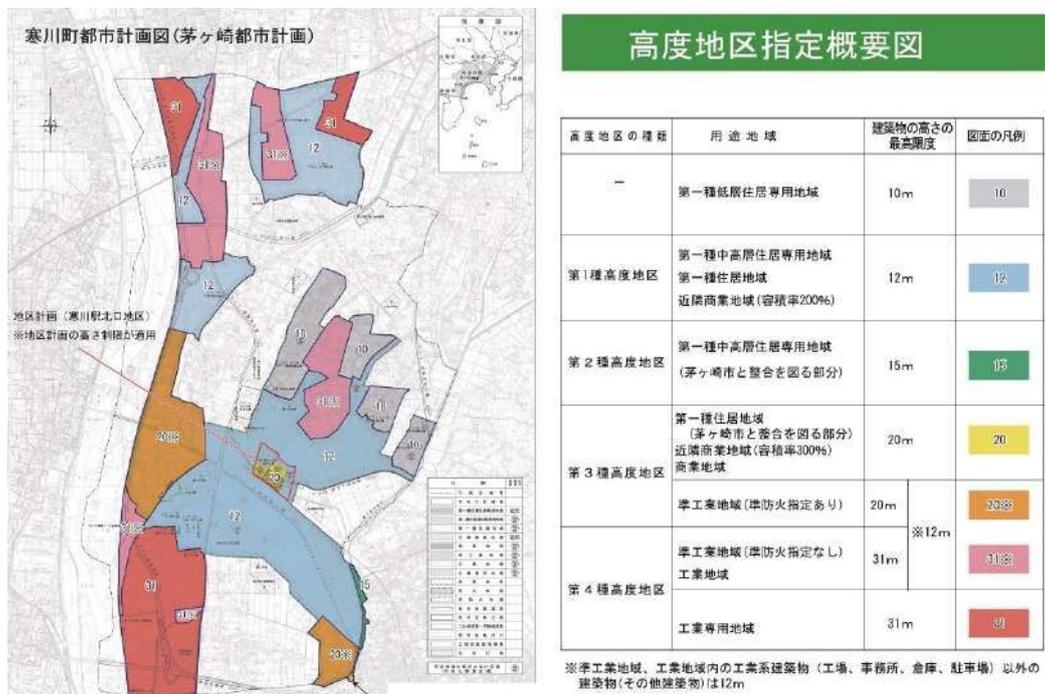


図 5-35 寒川町高度地区指定状況

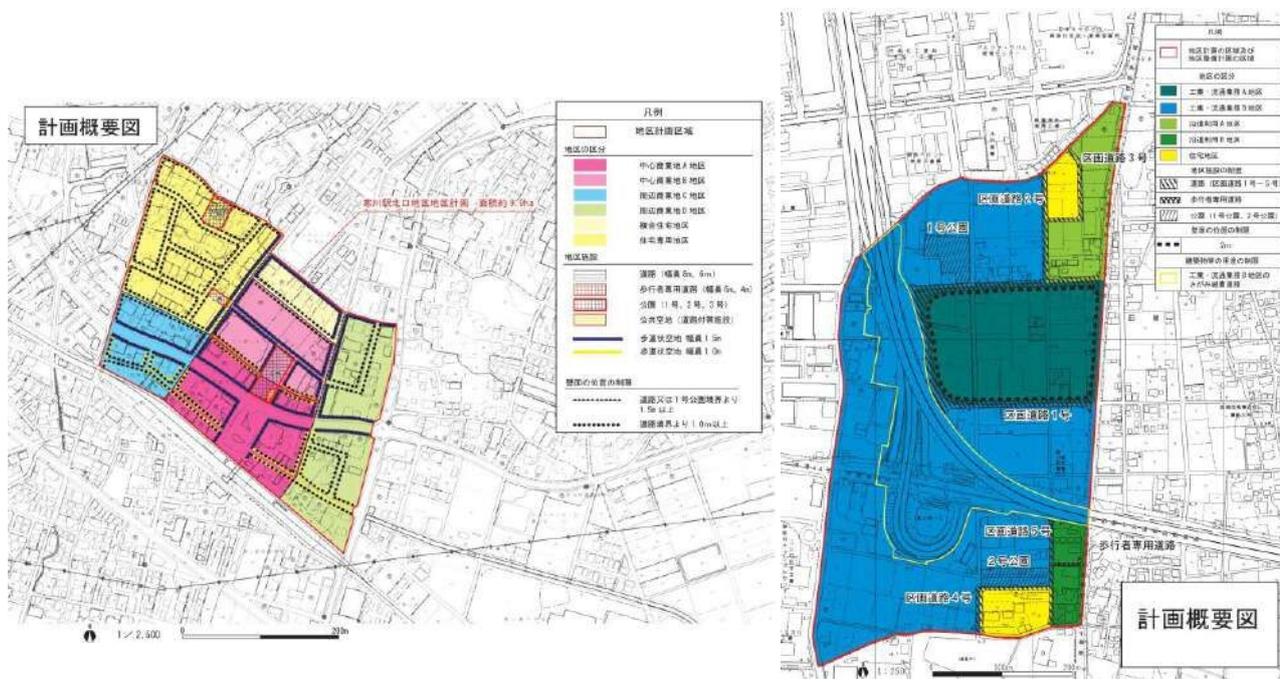


図 5-36 寒川町地区計画策定状況(寒川駅北口地区、田端西地区)

寒川町では、「空が広くのんびりした環境が楽しめるまち」という特性を大切にするため、町内市街化区域全域を対象とした高度地区を平成25年に指定しており、寒川町の特徴を生かした空間づくりを目指しています。

また、寒川駅北口地区や田端西地区において策定している地区計画では、各地区における土地利用の方針や壁面位置の制限、建築物における高さの最高限度並びに形態又は意匠の制限等を設けており、各地区に適切な景観形成の推進に取り組んでいます。

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-25 町の景観における検討状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	高度地区の指定や地区計画の策定などにより、一定のルールに基づき良好な景観形成が図れている。しかし、町全体においては現状のルール等では包括しきれない課題があると認識している。
今後の取組方針	現状の高度地区の内容を踏まえた上で、町全体という広い視点のみならず、各地区における課題等を整理し、個々の課題を解決していけるような取組を検討する。また、地区ごとにおいて新たに地区計画の策定等を検討するなど、町に住む人々がより親しみを込めて住みやすいと思える環境形成を目指して検討をする。

4) 地球環境への配慮について

地球環境の維持保全については、地球温暖化対策として省資源化や再生可能エネルギーの普及に向けた検討を進める必要があります。

また、廃棄物処理施設についても、町民の協力のもと適切な整備を進めるとともに、施設の省エネ化など環境に配慮した維持管理に努める必要があります。

さらには、水とみどり環境の保全・創出を図るとともに、公共交通機関や自転車の利用促進などにより、人と環境に優しいまちづくりを進める必要があります。



寒川町では、地球温暖化防止のために、町域の脱炭素化(CO2の
実質排出ゼロ)に寄与する設備等の導入に対して助成を行っています。

(1)助成対象設備等の種類と付与ポイント (令和7年度:500万ポイント)

No	設備等の種類	付与ポイント	備考(助成対象)
1	住宅用太陽光発電システム 【ZEH認定】の場合	1式 50,000 ポイント 【は100,000 ポイント】	住宅用太陽光発電システムを設置した専用住宅等がZEHの認定を受けた場合は【 】のポイントを助成。
2	家庭用燃料電池システム (エネファーム)	1台 50,000 ポイント	一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA)に登録された機器。
3	定置用リチウムイオン蓄電池	1台 50,000 ポイント	国の補助金の交付対象として一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)に登録された機器。
4	電気自動車(EV)	1台 50,000 ポイント	購入し自ら使用するもの(リース車両として使用する場合は除く)
5	プラグインハイブリッド自動車(PHV)	1台 50,000 ポイント	購入し自ら使用するもの(リース車両として使用する場合は除く)
6	燃料電池自動車(FCV)	1台 50,000 ポイント	購入し自ら使用するもの(リース車両として使用する場合は除く)

※助成を受けるにはさむかわPayのアプリのダウンロードとアカウント登録が必要です。
 ※助成はすべて先着順です。ポイントの助成申請は上記の範囲内で受け付けます。
 ※申請にあたっては、事前に必ず寒川町ホームページで手続き等の詳細をご確認ください。

重要! 令和7年2月16日(日)から、令和8年2月15日(日)までに設置又は購入した助成対象設備等が助成の対象となります。
 ・助成対象設備等の導入後に添付書類を添えて申請してください。

図 5-37 ゼロカーボン推進対策設備等導入助成のチラシ

町公共施設に環境に優しい再生可能エネルギー比率100%の電力を導入しました

更新日：2023年06月27日

ページID：17589

町では茅ヶ崎市・寒川町気候非常事態宣言に位置付けた「二酸化炭素排出実質ゼロ」に資する取り組みの一つとして、役場庁舎をはじめとした14の町公共施設に、電力の使用にあたって二酸化炭素の排出を伴わない再生可能エネルギー比率100%の電力を導入しました。これにより町公共施設全体の二酸化炭素排出量が約63.5%削減される計算です。

※すでに再生エネルギー100%電力の導入済の施設（寒川広域リサイクルセンター等）における削減割合の合計▲7.9%と合わせて

▲63.5%（端数調整あり）のCO2排出量の削減を見込んでいます。

図 5-38 再生可能エネルギーに係る取組み（寒川町 HP）

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-26 再生可能エネルギー等の普及状況の評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	町の公共施設に、環境に優しい再生可能エネルギー比率100%の電力を導入するなど、環境保全に向けた取組みをしている。また、地球温暖化防止のため、町域の脱炭素化に寄与する設備等を導入する町民に対して、助成制度を導入している。
今後の取組方針	電力消費の大きい事業所における太陽光発電などの創エネルギーを促進するとともに、導入に際しては、周辺の住環境や景観との調和に配慮した設置を促すなど適切な誘導を進める。

5) 空き家の状況について

適切に管理されていない空き家は、建物倒壊の危険性があるだけでなく、建物が老朽化し雑草が高く伸びているなどの状況であれば、不法投棄や害虫及び害獣の繁殖の原因になるなど、その周辺環境に大きな悪影響を及ぼす可能性があります。

また、空き家の影響による治安悪化や周辺不動産価値の低下などを引き起こす原因になる可能性もあり、適切に維持・管理できるよう現状を把握し、寒川町空家等対策計画に基づく検討を進める必要があります。



図 5-39 町内の空き家事例（イメージ写真）

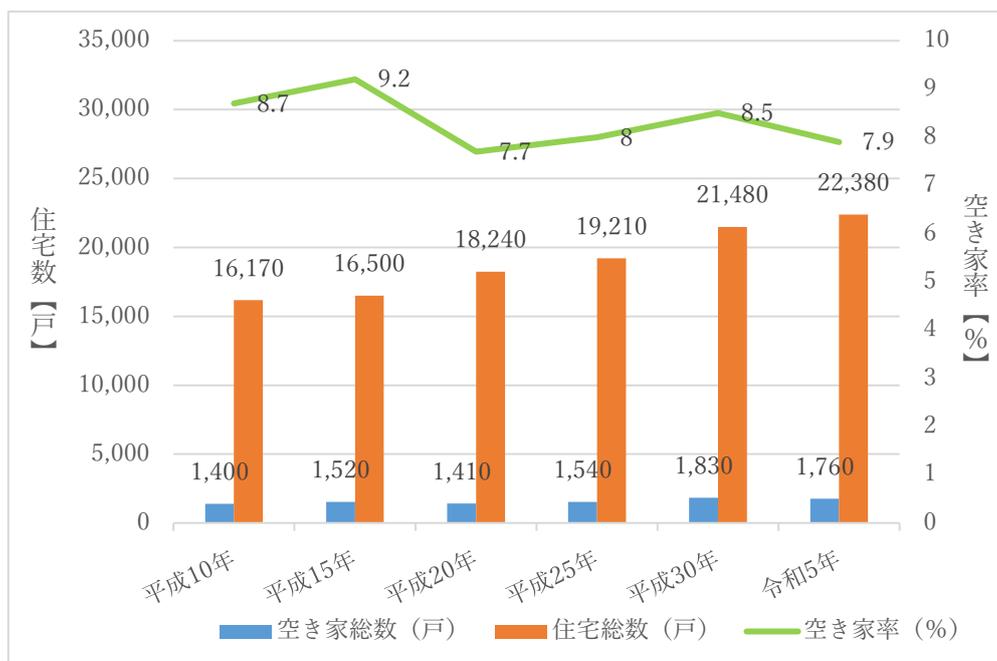


図 5-40 住宅総数、空き家総数、空き家率

参照：統計概要（国勢調査）

町として把握している空き家の現状としては、平成30年に実施した空き家実態調査で145件の空き家が確認されましたが、令和6年1月時点において、滅失・売却等によりこのうち52件は空き家状態が解消されています。また、近隣住民からの苦情等で把握した空き家について、町から所有者へ適正な管理を促す対応を行っており、令和2～5年度にかけて55件の適正管理依頼をし、21件が空き家状態の解消に至っています。

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-27 空き家実態調査等における空き家件数等状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	平成30年に実施した空き家実態調査以降調査を実施しておらず、現状の空き家件数を適切に把握していない。 空き家対策については近隣住民からの苦情等があった際に適正管理依頼をしている等の対応をしている。
今後の取組方針	改めて空き家実態調査の実施を検討し、実態調査にて明らかになった空き家の動向を把握するような体制を検討する。また、町の空き家に対する姿勢としては、適正管理依頼だけでなく、空き家の利活用を促し、災害時の避難場所として一時的に小広場や緑地として利用できるような仕組みを検討するなど、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な防災環境の充実を検討するとともに町内景観形成を維持するような取組みを検討する。

6) バリアフリー関連の検討について

高齢者、障がい者等の移動及び施設の利用に係る利便性・安全性向上の促進を図り、公共の福祉の増進に資する町にするためには、個々の施設におけるバリアフリー化だけでなく、建築物や道路等の連続性を確保した、面的・一体的なバリアフリー化が必要です。

今後の新たなまちづくりや公共施設の建替え等を検討していく上では、高齢者、障がい者等の移動等円滑化の促進における検討は必要不可欠であり、町としてどのような方針でバリアフリー化の促進をしていくのか検討する必要があります。



図 5-41 さむかわしょうがいふくしまップ

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-28 バリアフリー化検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	寒川町地域自立支援協議会において、施設を有効に利用し、障がいのある人が地域で安心して外出ができるように、また、災害時には避難用マップとして利用できるようなさむかわしょうがいふくしマップを作成している。しかし、今後の新たなまちづくりや公共施設の建替えに向けた、面的・一体的なバリアフリー化に向けた検討はできていない。
今後の取組方針	現状の建物の状況を把握し、かつ、今後の面的・一体的なバリアフリー化に向けた取組みを進めるため、まずは庁内において、バリアフリーに関する基本的な考えである基本構想の策定に向けた検討を進める。

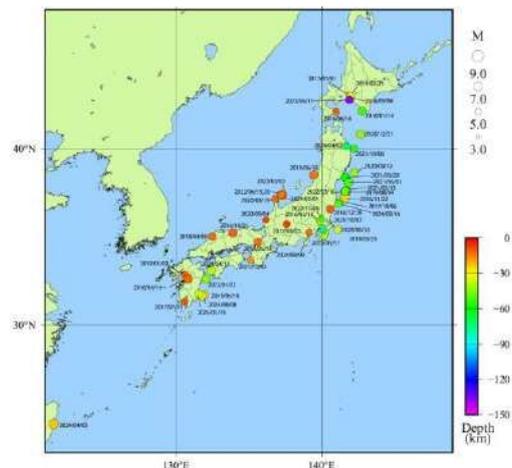
6. 防災について

寒川町は相模川、目久尻川、小出川などの河川の間位置しており標高の低い平坦地が多いことから、市街地において浸水・冠水等の被害が発生する可能性があります。

また、寒川町地域防災計画において記載している地震等の想定を踏まえ、震前対策を講じ、有事の際には迅速な復旧活動等に努める必要があります。震前対策の一環として、建築物の耐震化や事前復興まちづくり計画を検討するなど「安全・安心に暮らし続けられるまち」を実現するため、現況を整理し評価します。

発生日	発生原因	被災市町村	被害状況
1907年8月(明治40年)		厚木町	死者・行方不明者：4名、家屋全・半壊及び流出：267戸、床上・床下浸水：2828戸
1910年8月(明治43年)			死者・行方不明者：4名、家屋全・半壊及び流出：66戸、床上・床下浸水：14677戸
1947年9月(昭和22年)	カスリーン台風	厚木市、相模原市	死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：1戸、床上・床下浸水：76戸
1974年9月(昭和49年)	台風16号	厚木市、登陸市など	死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：1戸、床上・床下浸水：54戸
1982年8月(昭和57年)	台風10号	厚木市	死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：2戸、床上・床下浸水：256戸
1982年9月(昭和57年)	台風18号	厚木市	死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：10戸、床上・床下浸水：691戸
1983年8月(昭和58年)	台風5号、6号	厚木市	死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：1戸、床上・床下浸水：1戸
1999年8月(平成11年)	酷暑暴雨		死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：1戸、床上・床下浸水：7戸
2007年9月(平成19年)	台風9号		死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：1戸、床上・床下浸水：1戸
2011年9月(平成23年)	台風15号		死者・行方不明者：1名、家屋全・半壊及び流出：1戸、床上・床下浸水：1戸

出典：国土交通省、厚川 謙



引用：国土交通省HP

図 5-42 相模川の洪水被害記録(左)、平成 28 年以降に日本付近で発生した主な被害地震の震央分布(右)



図 5-43 防災・避難イメージイラスト

1) 住宅の耐震化状況について

昭和 56 年の建築基準法改正以前の基準である旧耐震基準（震度 5 程度の地震に耐え得る）に基づき建築工事に着手した建物については、新耐震基準（震度 6 強の地震で倒れない）及び現行の基準（震度 6 強の地震で倒れない）よりも倒壊する恐れが高いことから、町内の住宅の耐震化状況を把握し、耐震補強の促進に努める必要があります。

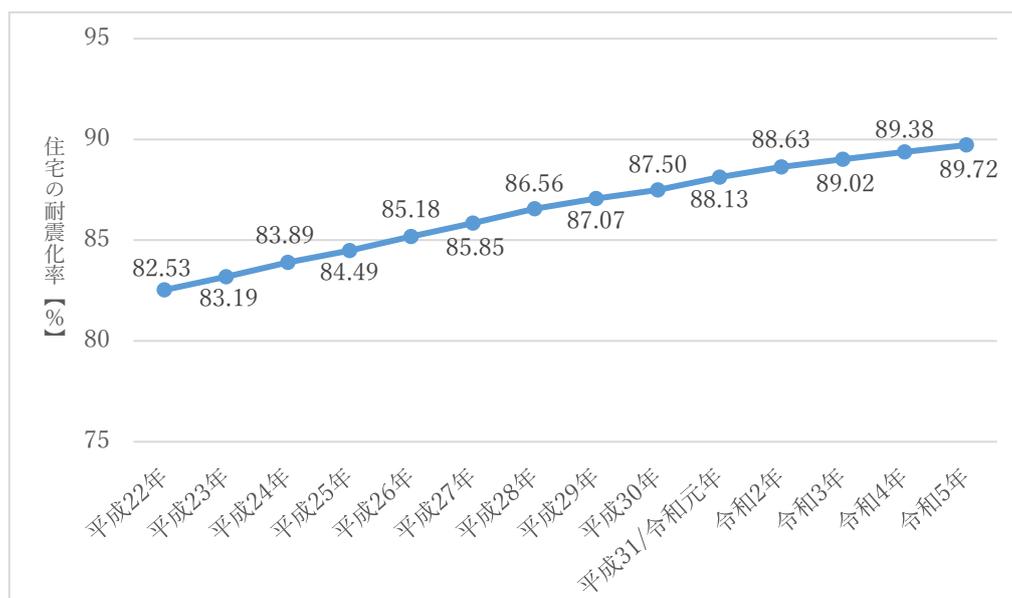


図 5-44 住宅の耐震化率

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-29 住宅の耐震化状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	町内の住宅における耐震化率は年々減少傾向にあるものの、いまだ一定の住宅については耐震化されていない状況である。
今後の取組方針	引き続き住宅の耐震化等に向けた取組みを町民へ周知するとともに、現行の耐震化率の基準を見直し、必要性に応じて割合ではなく件数による管理を検討していく必要がある。また、令和7年度より取組みを開始した「耐震シェルター」についても、必要に応じて活用されるよう周知を図る。 住宅の耐震化に限らず、倒壊する危険生のあるブロック塀等の除却を促進するなど、町の助成制度を改めて広く周知する。

2) 公共施設の耐震化状況について

町が所有する建築物のうち、防災対策上重要な施設や多数の町民が使用する町有公共施設は74棟ありますが、一定の規模を有する公共施設等については、災害時に避難所等の機能を有しており、災害時に機能を発揮できるよう耐震化等の対策を講じておく必要があります。

	総棟数 A	昭和56年以前の棟数					昭和57年以降の棟数 D	耐震性を有する棟数 B+C+D+E	耐震化率 E/A	
		昭和56年以前の棟数	耐震診断実施済			耐震診断未実施				
			耐震性あり B	耐震性なし						
				補強済 C	未補強					
防災対策上重要な施設	町庁舎、消防本部、小・中学校、体育館、集会所、公民館等	50	21	5	16	0	0	29	50	100%
その他	図書館、健康管理センター等	24	6	2	3	1 ※	0	18	23	96%
合計		74	27	7	19	1	0	47	73	99%

※取壊し予定

図 5-45 公共施設の耐震化の現状（寒川町耐震改修促進計画）

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-30 公共施設の耐震化状況評価表

事業進捗評価	○(やや進捗している)
現状の評価	町有建築物74棟のうち、旧耐震基準で建築された建築物は27棟となっているが、73棟については補強工事等を実施し、耐震性を有している。残りの1棟については、取り壊し予定であるため、防災対策上重要な施設や多数の町民が使用する町有公共建築物については、耐震補強工事等耐震化が完了している状況である。
今後の取組方針	引き続き地震等に備えた事前準備に取り組むとともに、その他の建築物や町有でない公共建築物においても耐震化を促進し、町内の公共建築物の耐震化率を向上するような取組みを検討する。

3) 事前復興に向けた検討について

阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害における復興まちづくりの課題及び教訓を踏まえて、災害時に必要な基礎データの未整備や大規模災害時の復興まちづくりに対応できる人材不足等を生じさせないためにも、過去の災害からの復興まちづくり等を参考とし、被災後早期に的確な復興まちづくりに着手できるよう平時にできることから事前準備等を検討する必要があります。

また、事前復興まちづくりの検討においては、寒川町地域防災計画と連携をして、復興まちづくりの目標、実施手法、進め方等に関する都市マスタープランへの位置付け等を検討し、さらに、復興体制、手順、訓練、基礎データの整理、分析、復興まちづくりの実施方針等を含めた総合的な計画である、事前復興まちづくり計画の策定に向けた取組みを検討する必要があります。

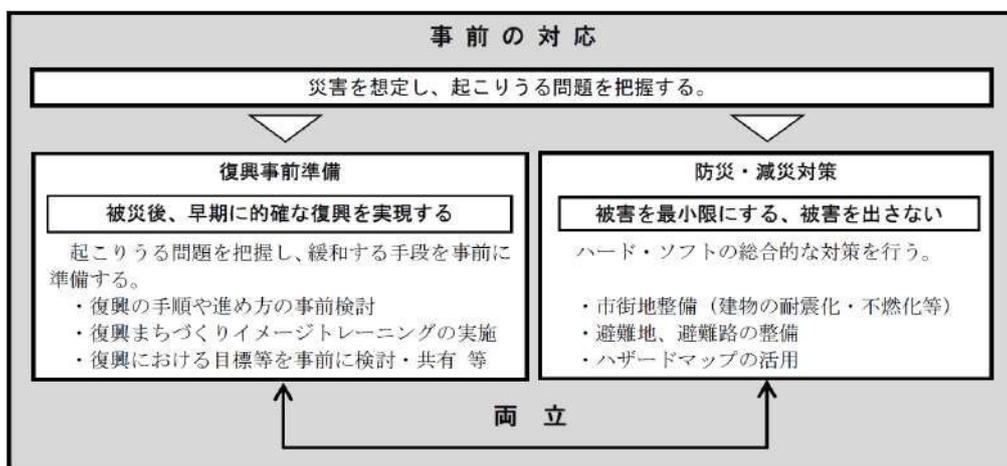


図 5-46 事前復興準備に向けた事前対応

（「復興まちづくりのための事前準備ガイドライン」平成 30 年 7 月 国土交通省）

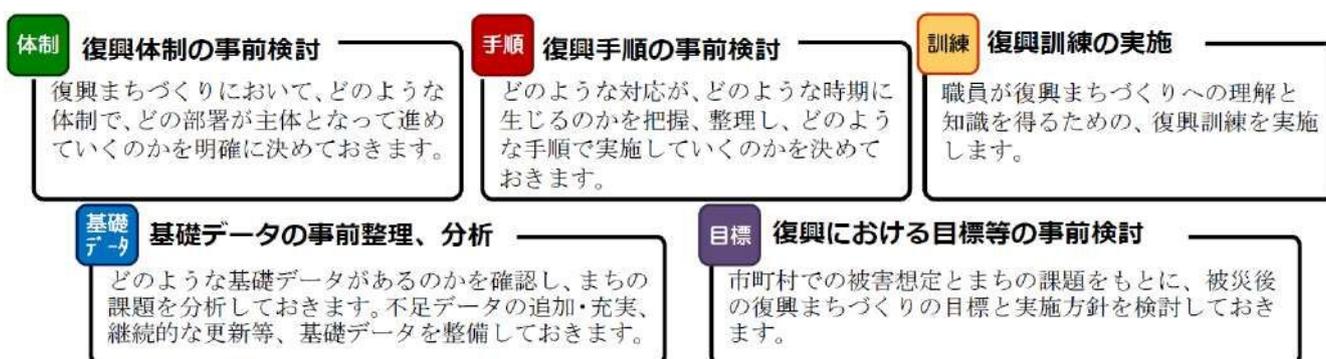


図 5-47 事前復興準備の取組み内容について

（「復興まちづくりのための事前準備ガイドライン概要版」平成 30 年 7 月 国土交通省）

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-31 事前復興まちづくり計画の検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	寒川町地域防災計画において、災害時の行動等について記載しており、また、減災に向けた取組みとして、住宅の耐震化等に係る周知や助成制度を設けているが、都市マスタープランにおける明確な位置づけや、復興まちづくりに向けた検討は行っていない。
今後の取組方針	寒川町地域防災計画等と連携を意識しつつ、まずは復興事前準備の取組みの必要性を再認識し、基礎データの収集をはじめとした事前復興まちづくりに向けた計画等の策定を視野に入れた検討を進める。また、立地適正化計画の策定に向けた検討の中で災害リスクの分析をし、それらと連携をした取組を検討する。

7. その他について

都市づくりの基本方針で示している考え方に沿ったまちづくりを実現し、総合的なまちづくりの推進を行うためには、まちづくりの各段階において、行政だけではなく住民等の各主体が担う役割を認識するとともに、協働の取組みが欠かせないと考えることから、まちづくりを進めるための仕組みやルールづくりの現況を整理し評価します。

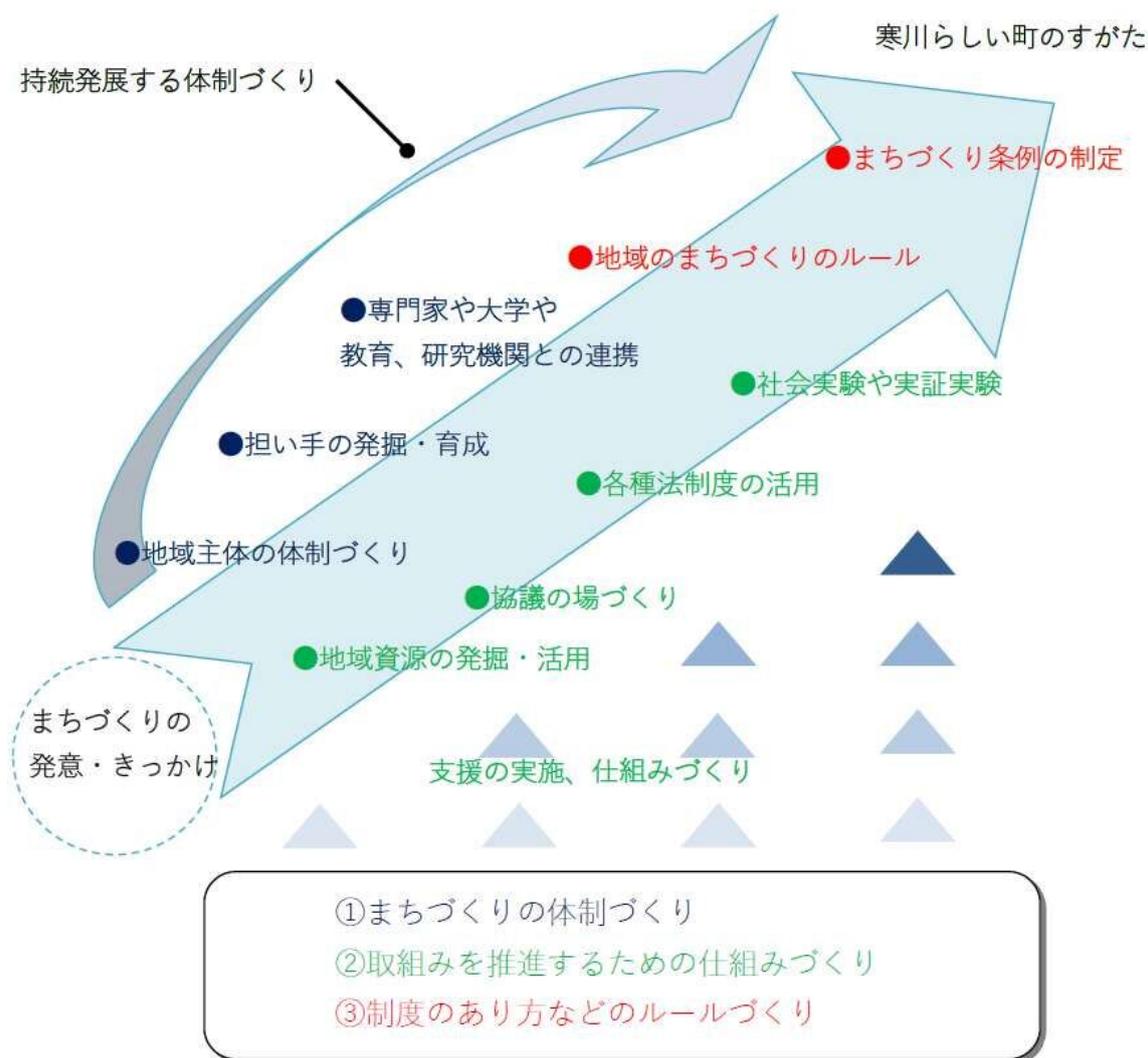


図 5-48 まちづくりを進めるための仕組みやルールづくりのイメージ

1) 地域主体のまちづくりについて

都市が健全な発展を続けていくためには、住民等が自分の住むまちに対して興味を持ち、そこに住み続けたいと思えるような環境づくりをする必要があります。そのためには、地域に住む住民等が自ら課題等を認識し、考えてまちづくりを促進していくことが望ましいと考え、まずはまちづくりへの関心・意識を高めていくための情報提供や勉強会の開催などの実施を検討するなど、まちづくり参加のきっかけづくりの支援等を進める必要があります。

【ポスターセッション等町民の意見募集】



写真左：産業まつり（2016年）でのポスターセッション 右：町民意見交換会



写真左右：庁舎1階ロビーでのポスターセッション

図 5-49 現行の都市マスタープラン策定に向けた取り組み

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-32 地域主体のまちづくり体制づくりの検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	都市マスタープランの策定時に実施したポスターセッションや、都市計画変更を行う際に住民等を対象とした説明会などを開催しているが、まちづくりを検討するための仕組みやルールづくりの検討はできていない。
今後の取組方針	地域の担い手の発掘や育成、専門家や大学などの教育・研究機関との連携などを視野に入れ、地域の主体となる住民等がまちづくりに関わる機会や場の創出を目指すため、定期的な勉強会の開催等を視野に入れた仕組みやルールづくりの検討を進める。

2) 地域まちづくりのルールについて

地域の将来像やまちづくりを実現するためには、多様な主体と協働で検討し、地域での協議・合意形成や地区計画等の策定によるルールの公的な担保など、地域ごとに適切なルールづくりを検討する必要があります。

茅ヶ崎都市計画地区計画の変更（寒川町決定）

茅ヶ崎都市計画地区計画の変更（寒川町決定）

都市計画寒川駅北口地区地区計画を次のように変更する。

都市計画田端西地区地区計画を次のように変更する。

名称	寒川駅北口地区地区計画	名称	田端西地区地区計画
位置	寒川町岡田一丁目、岡田二丁目及び宮山地区	位置	寒川町田端地内
面積	約 9.9ha	面積	約 24.7ha
地区計画の目標	<p>本地区は、JR相模線寒川駅北口に位置し、町の中心的商業地となだらかな斜面の住宅地で、土地区画整理事業により道路、公園、駅前広場等の公共施設及び宅地の整備を進めている地区である。</p> <p>そこで本計画は、この事業の効果を高度に維持、増進させ、町の顔、町の中心地として、商業地は商業及び業務機能の集積を回り、住宅地は便利で快適な住環境の形成を図り、適正かつ合理的な土地利用を行うこと、公衆の利用に供する施設や都市型住宅等は高齢者、障害者等に配慮した整備をすることにより、良好な都市環境を形成、保全することを目的とする。</p>	<p>本地区は、JR相模線寒川駅から南西約1.3km、茅ヶ崎市との市町境に位置する、東西約400m、南北約600m、面積約24.7haの地区であり、地区内に位置する都市計画道路1・4・2さがみ縦貫道路(首都圏中央連絡自動車道)寒川南インターチェンジが供用されている。また、地区内を都市計画道路3・1・1藤沢大磯線が横断していることや、地区東側を都市計画道路3・4・4柳島寒川線に接しており、交通結節点であることから、産業集積拠点として整備を進める地区である。</p> <p>このため、地区計画の策定により、交通の利便性を活かした新たな産業の拠点として、周辺環境に配慮した良好な市街地形成を実現することを目標とする。</p>	
区域の整備、開発及び保全の方針	<p>地区の特性を活かし良好な都市環境の形成、保全が図られるよう、中心商業地(A地区、B地区)、周辺商業地(C地区、D地区)、複合住宅地区、住宅専用地区に区分し、次の方針に基づき土地利用を図る。</p> <p>(1) 中心商業地(A地区、B地区)</p> <p>駅前広場、公園を中心とした、集い、ふれあい、文化を包括する商業核の形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A地区は店舗、事務所の集積を高めつつ、それらの上層は住居を許容する。また一部に飲食、娯楽を中心とした繁華な商業地の形成を図る。 ・B地区は町の中心商業地として、商業施設の共同化、協調化によりその集積を促進するとともに、魅力や利便性を高めるため公共施設等を整備し、商業と文化の交流による個性ある商業地の形成を図る。 <p>(2) 周辺商業地(C地区、D地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C地区は都市計画道路沿道に店舗、事務所等を主体とした商業地の形成を図る。 ・D地区は都市計画道路及び県道沿道に店舗、事務所等の立地を促し、住宅との共存環境に配慮した商業地の形成を図る。 <p>(3) 複合住宅地区</p> <p>都市型住宅等を主体として、中心商業地と本地区周辺の住宅地との融合を図る。</p> <p>(4) 住宅専用地区</p> <p>都市型住宅等を主体とした緑豊かな街並みの整った良好な住環境の形成を図る。また、一部の区画道路沿いについては店舗等の立地を可能とし、隣接する商業地との土地利用の調和を図る。</p>	<p>地区の特性を考慮し、それぞれ次のように土地利用を誘導する。</p> <p>(工業・流通業専A地区)</p> <p>大規模な工業や流通業務、研究開発等の分野の企業の立地誘導を図る。</p> <p>(工業・流通業専B地区)</p> <p>既存の工場等の再配置や新たな工業や流通業務、研究開発等の分野の企業の立地誘導を図る。</p> <p>(沿道利用A地区)</p> <p>近隣の住民や工業・流通業専地区の就業者のための生活利便施設の立地誘導を図る。</p> <p>(沿道利用B地区)</p> <p>既存の沿道施設の再配置や新たな近隣の住民や工業・流通業専地区の就業者のための生活利便施設の立地誘導を図る。</p> <p>(住宅地区)</p> <p>住環境の維持・保全をするため、地区内住宅の再配置等、住宅を主体とした土地利用を図る。</p>	
土地利用の方針		区域の整備、開発及び保全の方針	<p>産業活動の基軸として区画道路を整備し、適正な街区を形成することで、歩行者及び自動車等の安全性、利便性を確保する。</p> <p>また、環境・景観に配慮した公園を配置する。</p>
		建築物等の整備の方針	<p>土地利用の方針に基づき、建築物等の用途、敷地面積の最低限度、壁面の位置、高さの最高限度、建築物等の形態又は意匠及び軒又はさくの構造について制限を定める。</p>
		緑化の方針	<p>周辺環境と調和した緑豊かな産業用地を創出するため、敷地内の適正な緑化を図る。</p>

図 5-50 寒川町北口地区及び田端西地区地区計画（概要）

《寒川駅北口地区・まちづくりガイドブック》

寒川駅北口地区のまちづくりのルール・“地区計画”と“まちづくり協定”について

目次

はじめに

1. 寒川駅北口地区が目指すまちづくり
 2. まちづくりを実現するためのルール
 - 1) まちづくりルールの概要
 - 2) まちづくりルールの関係
 3. まちづくりルールの運用方法
 - 1) まちづくりの体制
 - 2) まちづくりの流れとその手続き
 4. まちづくりルールの構成と内容
 - 1) まちづくりルールの基本的な構成
 - 2) 土地利用毎のまちづくりルールの適用イメージ
 - (1) 住宅地における適用イメージ
 - (2) 商店街における適用イメージ
 - (3) 駅前の商業地における適用イメージ
 - 3) まちづくりルールの具体的な内容
 - (1) 地区施設についてのルール
 - ① 歩道状空地（地区計画）
 - ② 歩道状空地の利用等（まちづくり協定）
 - (2) 建築物・工作物等についてのルール
 - ① 建築物等の用途（地区計画・建築物制限条例）
 - ② 建築物の敷地面積（地区計画・建築物制限条例）
 - ③ 建築物等の壁面の位置（地区計画・建築物制限条例）
 - ④ 建築物の高さ（地区計画・建築物制限条例）
 - ⑤ 建築物等の配置、開口部の位置及び形状（まちづくり協定）
 - ⑥ 建築物等の外装（まちづくり協定）
 - ⑦ 建築物の屋根及び庇の形状（まちづくり協定）
 - ⑧ 建築物等の色彩（地区計画・まちづくり協定）
 - ⑨ 店舗の一階部分（まちづくり協定）
 - ⑩ 敷地及び建物の利用（まちづくり協定）
 - ⑪ 屋外広告物等（まちづくり協定）
 - ⑫ 屋外付帯設備等（まちづくり協定）
 - ⑬ 自動販売機等（まちづくり協定）
 - ⑭ かき又はさくの構造（地区計画）・緑化（まちづくり協定）
 - (3) その他のルール
 - ① 駐車場・駐輪スペース（まちづくり協定）
 - ② 維持管理（まちづくり協定）
- (参考)
- 1) 寒川駅北口地区“花と青空”・“輝きとふれあい”のまちづくり協定（まちづくり協定書）
 - 2) 寒川駅北口地区まちづくり協議会要綱
 - 3) 寒川駅北口地区地区計画（区域の整備・開発又は保全の方針、地区整備計画）



図 5-51 寒川町北口地区まちづくりガイドブック（概要）

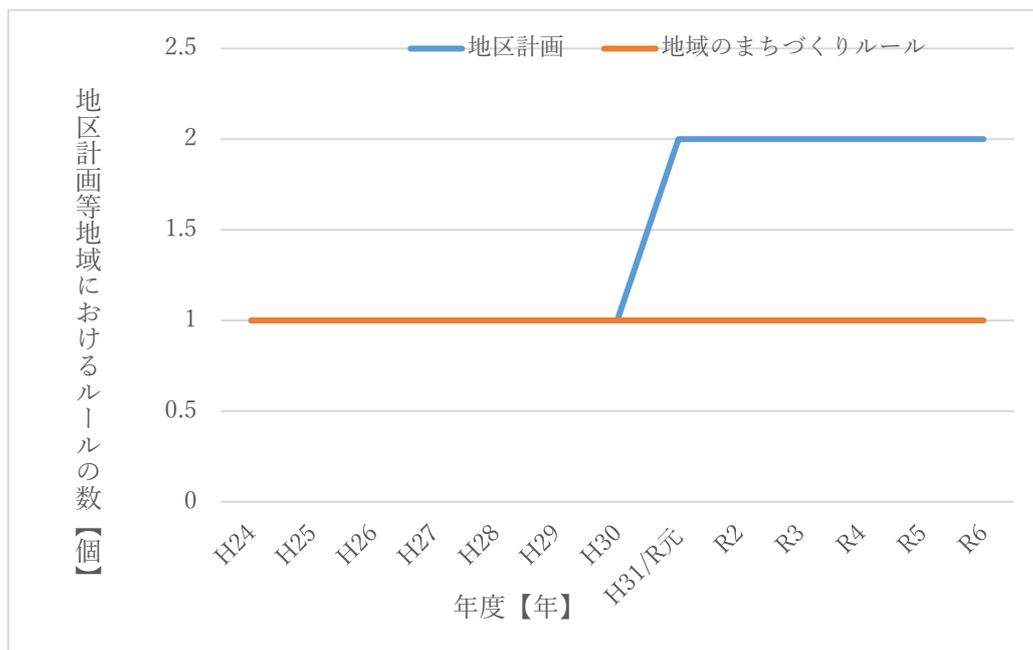


図 5-52 地区計画等地域におけるルールの数

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-33 地域主体のまちづくり体制づくりの検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	寒川駅北口地区や田端西地区など、土地区画整理事業を実施した地区については事業と併せて地区計画等を策定しているが、その他の地区については地域のルールづくりの検討ができていない。
今後の取組方針	各地区における課題や将来像を町として検討し、地域の主体となる住民等と共有した上で各地域の将来像を実現するためのルールづくりに係る取組みを、地域と連携して進める。

3) 総合的なまちづくりについて

地域ごとの将来像も重要ではありますが、町全体としての将来像を検討する際、寒川らしい暮らしぶりの実現に向けて、都市計画や土地利用調整などの開発関連分野や住民等参加によるまちづくりに関する条例の制定などを検討する必要があります。

【検討項目（案）】

◇開発や建築等の調整に関する事項

- ・ 開発行為、建築等における地域環境づくりに係る調整手続きの仕組み
- ・ 良質な地域環境形成に向けた基準づくり

◇大規模土地利用転換等に関する事項

- ・ 土地取引等に係る事前協議
- ・ 周辺地域との調和やまちづくりの誘導、地域貢献と優遇措置等の仕組み

◇景観まちづくりに関する事項

- ・ 開発や建築等における景観誘導
- ・ 空き家・空き地の管理、ルールづくり

◇町民等参加によるまちづくりに関する事項

- ・ 町民発意のまちづくり提案等の仕組みづくり
- ・ 地区計画策定等の手続き
- ・ 地域活動支援



図 5-53 まちづくり条例策定イメージ

以上の現況を踏まえて、次のように評価します。

表 5-34 まちづくり条例等の検討状況評価表

事業進捗評価	△(進捗していない)
現状の評価	開発行為等について、寒川町開発指導要綱に基づき一定の指導・協議を行っているが、条例としての規制はしていない。また、住民等参加によるまちづくりの手法を検討できていない。
今後の取組方針	立地適正化計画策定に向けた検討などと併せて町としての土地利用の整序の方針を再検討し、改めて寒川町開発指導要綱のあり方を検討する。また、開発指導要綱の条例化の検討に併せて、住民等参加によるまちづくりの手法についても検討し、まちづくり条例として適切な規制及び運用ができるよう検討を進める。

8. 事業進捗状況のまとめについて

以上の評価を踏まえ、都市づくりの方向性を確認するために設定した評価指標の総評を次のとおりまとめます。

表 5-35 事業進捗状況評価の総評表

項目別方針	評価項目	評価指標	評価
拠点等	(1) 生活中心拠点	拠点の整備状況	○(やや進捗している)
	(2) 都市未来拠点	拠点の検討状況	○(やや進捗している)
	(3) 産業集積拠点	拠点の整備状況	◎(進捗している)
	(4) にぎわい交流創出ゾーン	ゾーンの検討状況	△(進捗していない)
土地利用	(1) 都市機能の適切な配置	都市機能施設の配置状況	△(進捗していない)
	(2) 地域地区の適切な検討	各地区における土地利用の現況	△(進捗していない)
	(3) 自然環境等への配慮	農地、山林等の自然的土地利用の現況	×(後退している)
	(4) 新たな土地利用転換に応じた検討	予想される土地利用転換に向けた検討状況	△(進捗していない)
道路・交通体系	(1) 道路の整備	都市計画道路の整備率	○(やや進捗している)
	(2) 狭あい道路の状況	狭あい道路率	○(やや進捗している)
	(3) 歩行者・自転車ネットワークの検討	自転車走行空間等に係る検討状況	△(進捗していない)
	(4) 公共交通環境の向上	公共交通の利用率	△(進捗していない)
	(5) 鉄道駅周辺環境の向上	鉄道駅周辺の整備に向けた検討状況	○(やや進捗している)
環境・景観形成	(1) 公園緑地の整備	都市計画公園等の整備率	○(やや進捗している)
	(2) 公共下水道の整備	公共下水道の整備率	◎(進捗している)
	(3) 景観形成への配慮	景観の保全などにおける検討状況	○(やや進捗している)
	(4) 地球環境への配慮	再生可能エネルギーなどの設置基準等の検討状況	○(やや進捗している)
	(5) 空き家の状況	空き家実態調査等における空き家件数	△(進捗していない)
	(6) バリアフリー関連の検討	バリアフリー関連対策に係る検討状況	△(進捗していない)
防災	(1) 住宅の耐震化状況	住宅の耐震化率	○(やや進捗している)
	(2) 公共施設の耐震化状況	公共施設の耐震化率	○(やや進捗している)
	(3) 事前復興に向けた検討	事前復興まちづくり計画の検討状況	△(進捗していない)
その他	(1) 地域主体のまちづくりについて	地域主体のまちづくり体制づくりの検討状況	△(進捗していない)
	(2) 地域まちづくりのルールについて	地区計画策定状況	△(進捗していない)
	(3) 総合的なまちづくりについて	まちづくり条例等の検討状況	△(進捗していない)

以上の結果より、任意に設定した評価指標に対して検討が進捗している項目や、停滞している項目、やや後退してしまっている項目があることが改めて整理できました。以上の整理を踏まえ、全ての事業を同時に進行していくことは困難のため、優先度を検討しながら庁内各課連携して進捗管理等を行っていきたいと考えています。

また、第6章で記載する町民満足度調査の分析結果等を考慮した上で、第7章にて今回の進捗管理等における「総合評価」として、今後、より優先的に検討していくべき事項を整理します。



第6章

町民満足度調査



寒川町都市マスタープラン
進捗管理等報告書

第6章

町民満足度調査

進捗管理等報告書の概要（第1章）

町の現状（第2章）

町としての課題認識（第3章）

進捗管理方法（第4章）

事業進捗状況（第5章）

町民満足度調査（第6章）

総合評価（第7章）

今後の都市づくりの方向性（第8章）

1. 調査概要について

今回実施したアンケート調査の対象は、「満18歳以上の町民全般」とし、意見集約を行いました。

アンケート調査の結果概要については、次の表のとおりです。

表 6-1 アンケート調査の概要

対象	満18歳以上の町民全般
(参考)人口	48,426人（令和7年5月1日時点） ※満18歳以上の人数ではありません。
回答数	164（うち、同一人物疑い5）
有効回答数	159 同一人物疑い《回答者属性（年齢、お住まい、職業、居住年数、家族構成、お住まいの形態、主な通勤・通学場所、日常的に最もよく使用する交通手段）が完全一致した者》の回答は、最初の回答のみ有効とした
抽出方法	全数調査
周知方法	町広報5月号、町HP、 各町内会回覧、LINEプッシュ通知
調査方法	e-kanagawa 電子申請システムによる Web 調査
調査期間	令和7年4月14日（月） から 令和7年5月16日（金）

※希望者には、紙媒体で回答も可としたが、希望者なし。

2. 集計・分析方法について

1) 集計方法の考え方

町民満足度調査については、町民全般を対象として実施しましたが、回答をいただいた属性により対象を再分化し再分類することで、より確度の高い集計となることから、「世代別意向」、「地域別意向」で分類しクロス集計をしました。

なお、アンケート結果の詳細については、令和7年7月7日に「寒川町都市マスタープラン進捗管理等に向けた町民満足度調査結果報告書(参考資料1)」でお示しをしているため、本報告書ではアンケート結果を基にした分析結果をお示しします。

【クロス集計とは】

「クロス集計」は、異なる変数間の関連性を明らかにするため、2つのカテゴリ変数を組み合わせて同時に集計するものです。

クロス集計を行うことにより、単純集計では把握することができない「世代別」や「地域別」といった、より確度の高い意向を把握することができます。

なお、集計方法及び地域別の区分のイメージは次のとおりです。

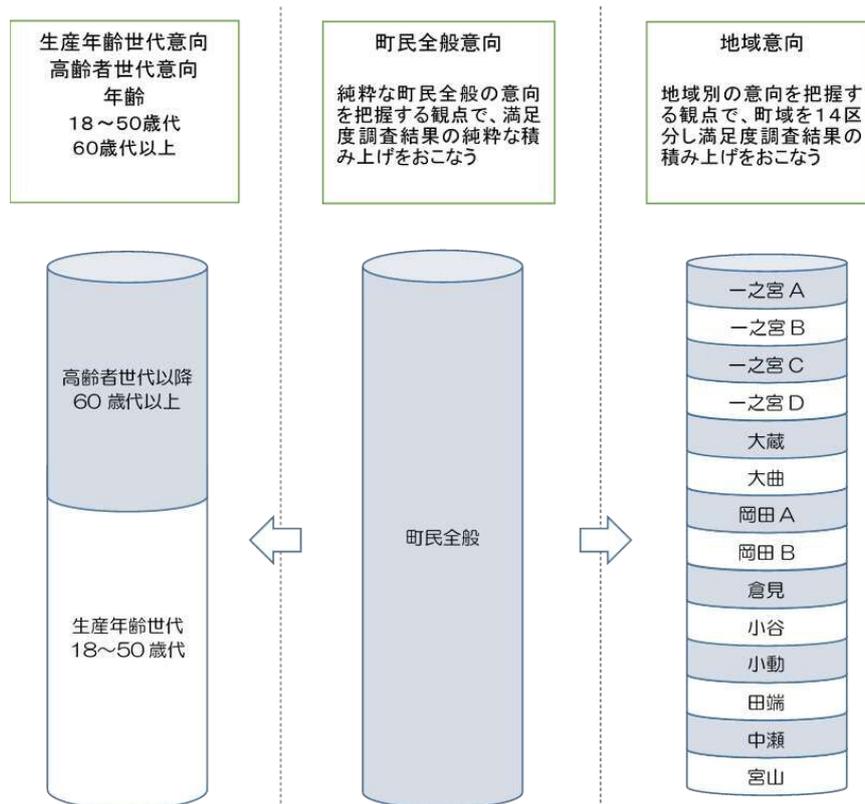


図 6-1 集計方法（世代別意向）、（地域別意向）

※今回の調査における「地域意向」については、各地域の回答数を考慮し「北地域」、「東地域」、「南地域」の3地域にて再集計・分析を行いました。

地区区分		集計区分		再集計区分
倉見	➡	倉見	➡	北地域
宮山		宮山		
小動	➡	小動	➡	東地域
小谷一丁目～四丁目		小谷		
大蔵		大蔵		
岡田、 岡田一丁目～三丁目		岡田 A		
岡田四丁目～八丁目		岡田 B		
一之宮、 一之宮三丁目～五丁目	➡	一之宮 A	➡	南地域
一之宮一丁目～二丁目		一之宮 B		
一之宮六丁目～七丁目		一之宮 C		
一之宮八丁目～九丁目		一之宮 D		
中瀬	➡	中瀬	➡	南地域
大曲一丁目～四丁目		大曲		
田端		田端		

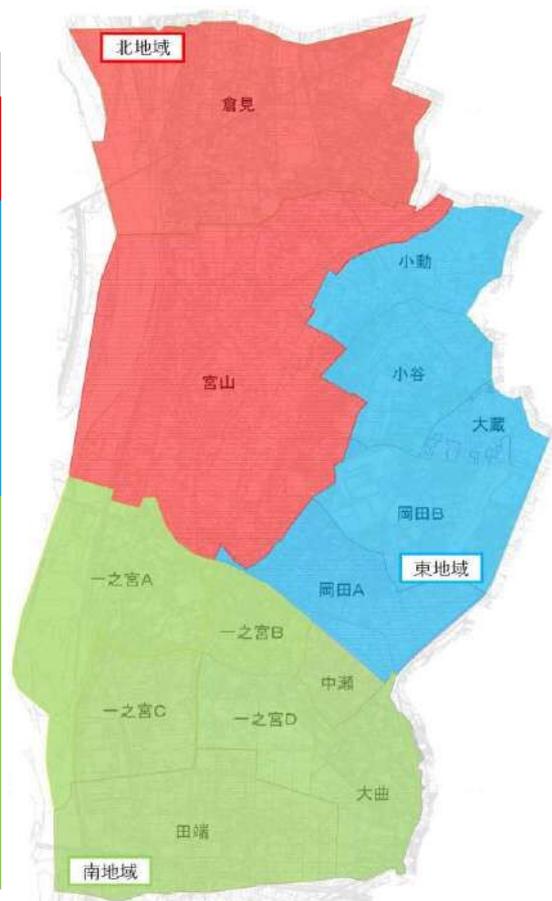


図 6-2 地域別の区分（北地域、東地域、南地域）

2) 分析方法の考え方

集計データの分析については、「1) 集計方法の考え方」の結果に基づき、ポートフォリオ分析をしました。

【ポートフォリオ分析とは】

「ポートフォリオ分析」は、どの施策等に重点的に資源配分を行えば良いかを判定するため、アンケート結果をもとに各施策を4つのタイプに分類し考察するものです。

分類は各項目等における「現状の満足度」と「今後の取組みの重要度」の平均値を求め、その関係性を散布図で表し分類しました。散布図は、X軸（横軸）を「満足度」とし、プラスの方向（右）に位置するほど満足度が高いことを示しています。またY軸（縦軸）を「重要度」とし、プラスの方向（上）に位置するほどその項目が重要であることを示しています。

散布図を4つに区分する基準となる値（補助線）は「満足度」と「重要度」の全項目の平均値を採用しました。各施策のタイプの判定は、「満足度」の全項目の平均値を基準とした項目の値の高低及び「重要度」の全項目の平均値を基準とした施策の値の高低により分類をしています。

【タイプの区分について】

- ★タイプ①：「満足度」が全体平均以下で、「重要度」が全体平均以上のもの
⇒「優先度の高い項目」として評価する
- ★タイプ②：「満足度」が全体平均以上で、「重要度」が全体平均以上のもの
⇒「現状維持を図る項目」として評価する
- ★タイプ③：「満足度」が全体平均以下で、「重要度」が全体平均以下のもの
⇒「状況に応じて取り組む項目」として評価する
- ★タイプ④：「満足度」が全体平均以上で、「重要度」が全体平均以下のもの
⇒「優先度の低い項目」として評価する

【散布図の見方について】

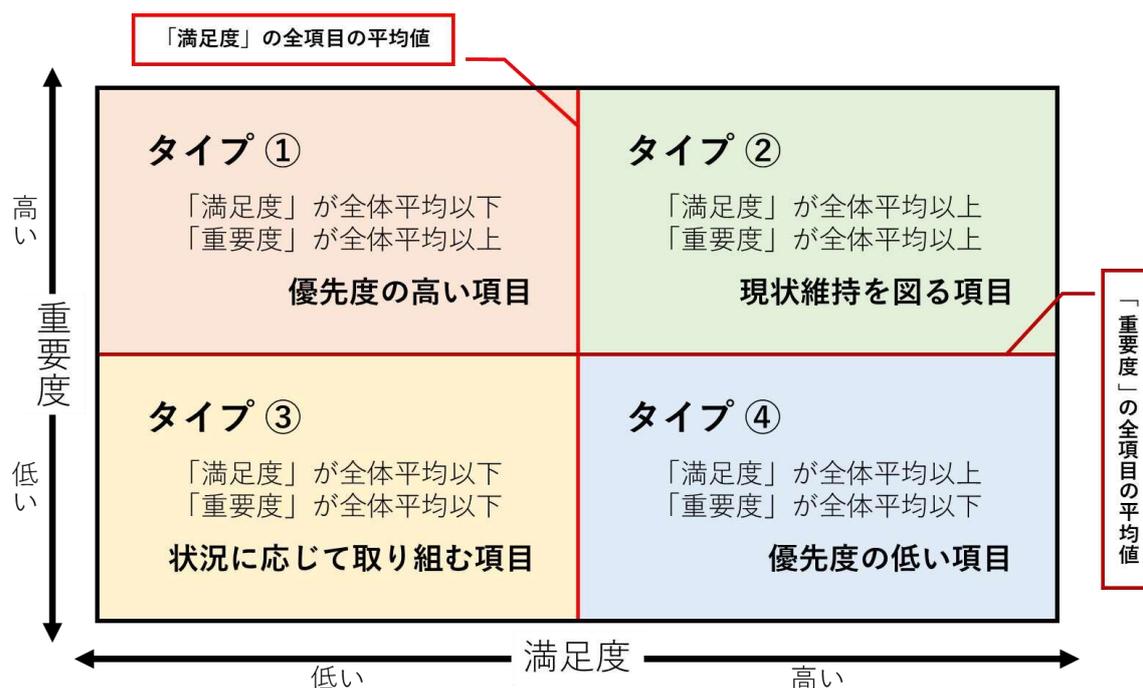


図 6-3 町民満足度の項目別相对比较イメージ

3) 評価の考え方

アンケート調査において、各項目の満足度を「満足」～「不満」、重要度を「重要」～「重要でない」の5段階の尺度を使用し結果の集計をしました。

その結果を基に、加重平均を用いて満足度・重要度の評価を行います。

【加重平均とは】

平均値を出す項目それぞれの重みを加味して割り出す平均値のことです。

$$\text{加重平均値} = \frac{A \times 5 + B \times 4 + C \times 3 + D \times 2 + E \times 1}{\text{有効回答数}}$$

A：「 高い （満足 / 重要）」 5 ポイント

B：「やや高い（やや満足 / やや重要）」 4 ポイント

C：「 普通 （普通 / 普通）」 3 ポイント

D：「やや低い（やや不満 / あまり重要でない）」 2 ポイント

E：「 低い （不満 / 重要でない）」 1 ポイント

3. 分析結果について

1) 回答結果の基本情報について

・「年齢（年代）」の回答結果

区分	回答数	割合
10歳代	1	0.6%
20歳代	7	4.4%
30歳代	37	23.3%
40歳代	50	31.4%
50歳代	31	19.5%
60歳代	23	14.5%
70歳代以上	10	6.3%
合計	159	100.0%

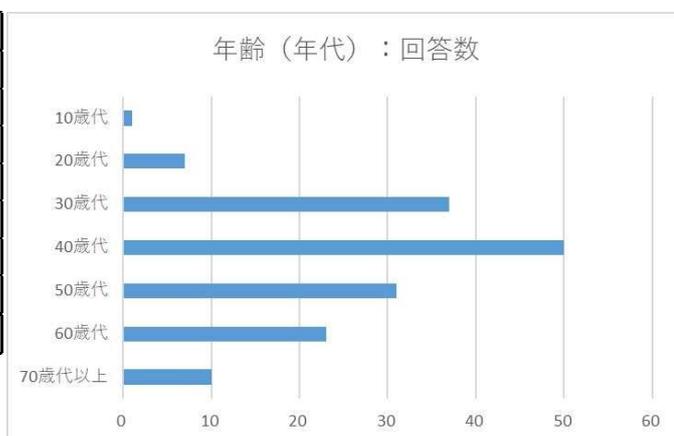


図 6-4 町民満足度調査結果（年齢別回答数）

上記結果を基に、各設問において、「生産年齢世代」、「高齢者世代以降」の2区分によって、世代別集計・分析を行った結果をお示しします。

・「お住まいの地域」の回答結果

区分	回答数	割合
一之宮	39	24.5%
岡田	24	15.1%
倉見	14	8.8%
宮山	14	8.8%
小谷	13	8.2%
大曲	9	5.7%
中瀬	4	2.5%
田端	4	2.5%
大蔵	3	1.9%
小動	2	1.3%
町外	33	20.7%
合計	159	100.0%

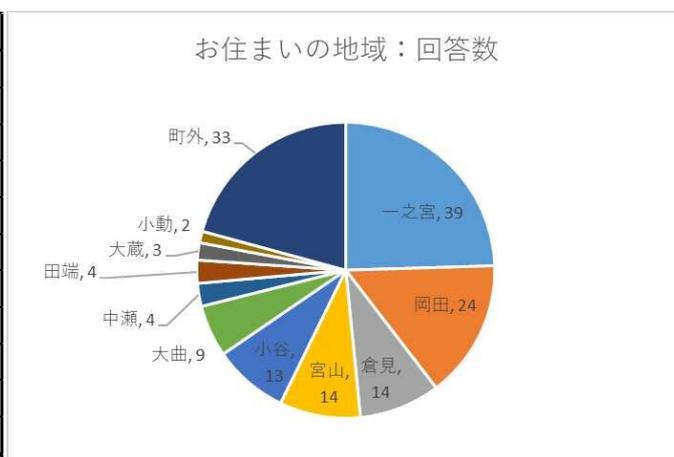


図 6-5 町民満足度調査結果（地域別回答数）

上記結果を基に、各設問において、町外を除く「北地域」、「東地域」、「南地域」の3区分によって、地域別集計・分析を行った結果をお示しします。

2) 分析結果（満足度・重要度）について

「寒川町都市マスタープラン進捗管理等に向けた町民満足度調査結果報告書（参考資料1）」を基に、「町民全般」、「世代別」、「地域別」の3パターンで集計した、町民満足度・重要度のポートフォリオ分析及び項目別相対比較は次のとおりです。

(1) 「目指す暮らしぶりと町のすがた」に関連する事項について

【町民全般の分析について】

表 6-2 「目指す暮らしぶりと町のすがた」の加重平均値（町民全般）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」	「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」	「安全・安心に暮らし続けられるまち」	「生き生きと働くことができるまち」	「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」	平均値
満足度【加重平均値】	3.09	3.84	3.21	3.00	3.18	3.26
重要度【加重平均値】	4.39	3.87	4.52	3.96	4.26	4.20

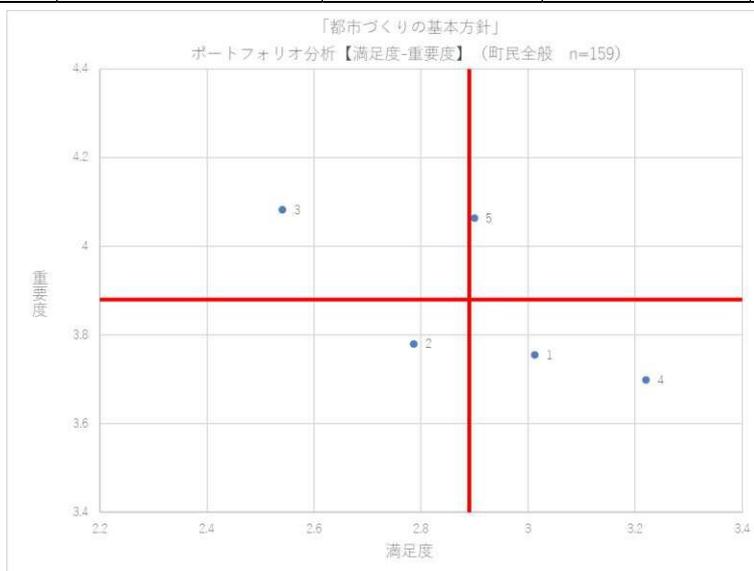


図 6-6 「目指す暮らしぶりと町のすがた」の散布図（町民全般）

【年齢別の分析について】

表 6-3 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の加重平均値（生産年齢世代）

番号	1	2	3	4	5	平均値
項目	「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」	「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」	「安全・安心に暮らし続けられるまち」	「生き生きと働くことができるまち」	「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」	3.20
満足度【加重平均値】	3.05	3.75	3.15	2.97	3.08	3.20
重要度【加重平均値】	4.39	3.71	4.50	3.92	4.24	4.15

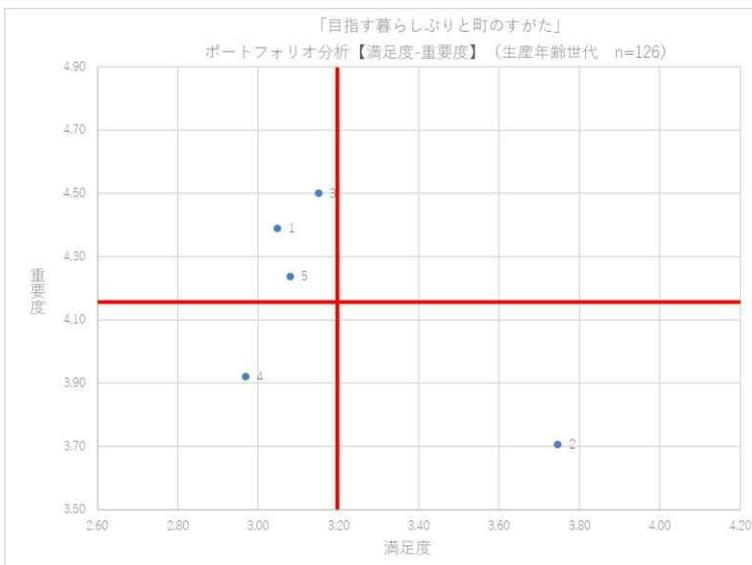


図 6-7 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の散布図（生産年齢世代）

表 6-4 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の加重平均値（高齢者世代以降）

番号	1	2	3	4	5	平均値
項目	「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」	「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」	「安全・安心に暮らし続けられるまち」	「生き生きと働くことができるまち」	「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」	3.51
満足度【加重平均値】	3.27	4.18	3.42	3.12	3.55	3.51
重要度【加重平均値】	4.39	4.48	4.58	4.12	4.36	4.39

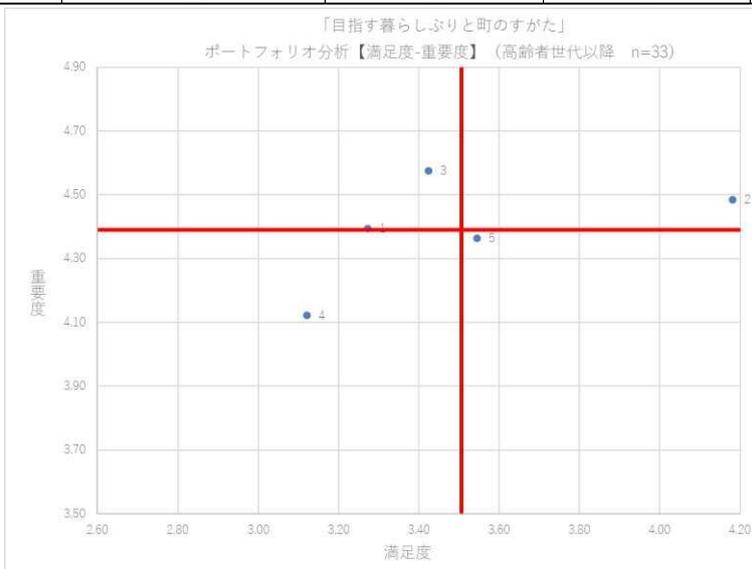


図 6-8 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の散布図（高齢者世代以降）

【地域別の分析について】

表 6-5 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の加重平均値（北地域）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「毎日の暮らしやすさを感じられるまち」	「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」	「安全・安心に暮らし続けられるまち」	「生き生きと働くことができるまち」	「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」	平均値
満足度【加重平均値】	2.79	3.89	3.11	2.71	3.29	3.16
重要度【加重平均値】	4.32	3.57	4.61	3.79	4.25	4.11

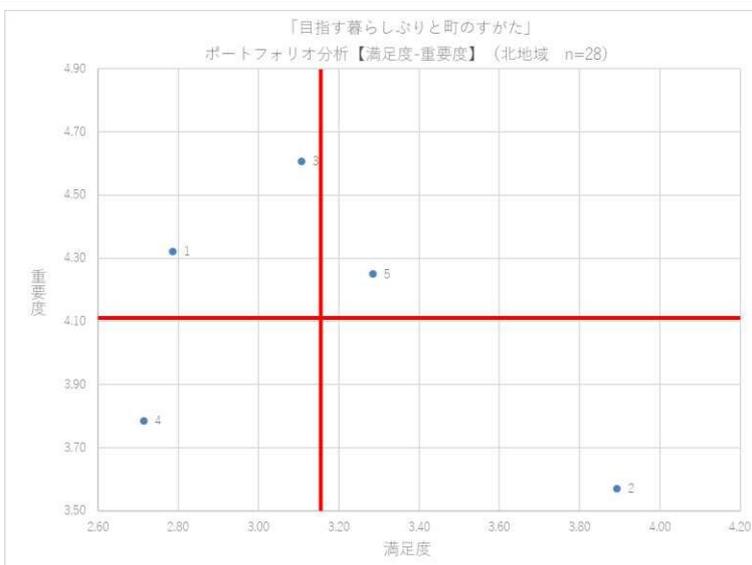


図 6-9 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の散布図（北地域）

表 6-6 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の加重平均値（東地域）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「毎日の暮らしやすさを感じられるまち」	「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」	「安全・安心に暮らし続けられるまち」	「生き生きと働くことができるまち」	「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」	平均値
満足度【加重平均値】	3.24	4.02	3.33	3.10	3.36	3.41
重要度【加重平均値】	4.48	3.95	4.71	4.02	4.38	4.31

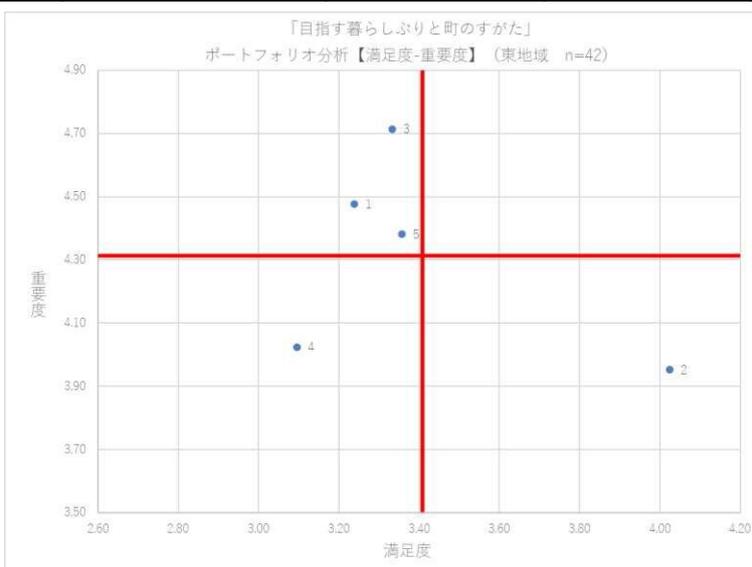


図 6-10 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の散布図（東地域）

表 6-7 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の加重平均値（南地域）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」	「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」	「安全・安心に暮らし続けられるまち」	「生き生きと働くことができるまち」	「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」	平均値
満足度【加重平均値】	3.23	3.70	3.13	2.96	3.00	3.20
重要度【加重平均値】	4.54	4.11	4.57	4.07	4.32	4.32

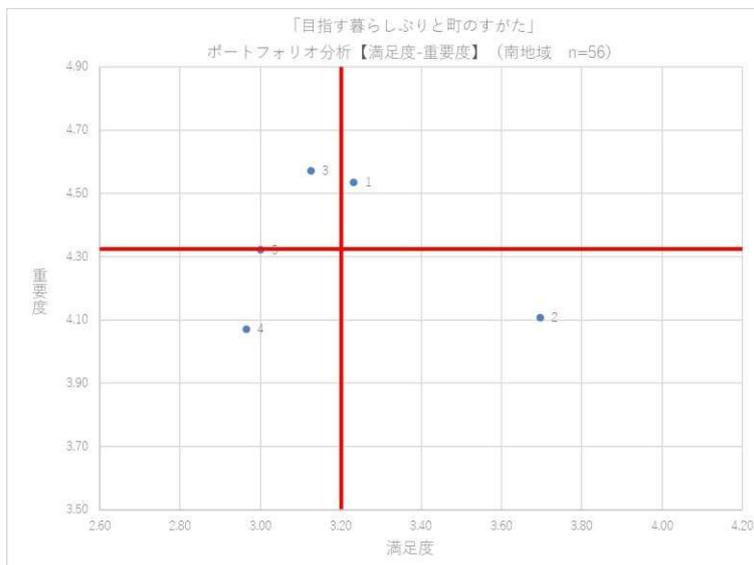


図 6-11 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の散布図（南地域）

以上ポートフォリオ分析の結果より、「目指す暮らしぶり」と町のすがた」について調査結果を次のように整理します。

表 6-8 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の分析結果まとめ

	タイプ① 優先度の高い項目	タイプ② 優先維持型項目	タイプ③ 状況に応じて取り組む項目	タイプ④ 優先度の低い項目
町民全般	安全・安心に暮らし続けられるまち 毎日の暮らしやすさが感じられるまち のびのびと元気な子どもを育てられるまち	—	生き生きと働くことができるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち
年齢別（生産年齢世代）	安全・安心に暮らし続けられるまち 毎日の暮らしやすさが感じられるまち のびのびと元気な子どもを育てられるまち	—	生き生きと働くことができるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち
年齢別（高齢者世代以降）	安全・安心に暮らし続けられるまち 毎日の暮らしやすさが感じられるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち	生き生きと働くことができるまち	のびのびと元気な子どもを育てられるまち
地域別（北地域）	安全・安心に暮らし続けられるまち 毎日の暮らしやすさが感じられるまち	のびのびと元気な子どもを育てられるまち	生き生きと働くことができるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち
地域別（東地域）	安全・安心に暮らし続けられるまち 毎日の暮らしやすさが感じられるまち のびのびと元気な子どもを育てられるまち	—	生き生きと働くことができるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち
地域別（南地域）	安全・安心に暮らし続けられるまち	毎日の暮らしやすさが感じられるまち	のびのびと元気な子どもを育てられるまち 生き生きと働くことができるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち

本結果より、町民全般、年齢別、地域別の意向について、共通して「安全・安心に暮らし続けられるまち」及び「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」に関連する施策が求められていることが整理できました。また、「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」は優先度の低い項目となっていますが、自由記載の中では「空を感じる」や「富士山が見える」場所がお気に入りと回答している町民の方も一定数いることより、本結果を参考にしつつ、総合的な視点で施策の優先度を検討していきたいと考えています。

(2) 「拠点、ゾーン等」に関連する事項について

【町民全般の分析について】

表 6-9 「拠点、ゾーン等」の加重平均値（町民全般）

	1	2	3	4	
項目	「生活中心拠点」	「都市未来拠点」	「産業集積拠点」	「にぎわい交流創出ゾーン」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.63	2.62	3.02	3.09	2.84
重要度 [加重平均値]	4.09	3.63	3.35	3.90	3.74

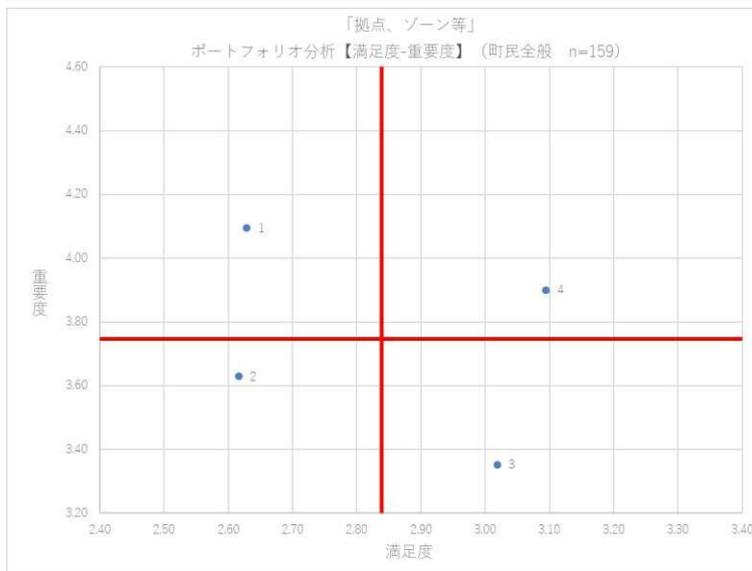


図 6-12 「拠点、ゾーン等」の散布図（町民全般）

【年齢別の分析について】

表 6-10 「拠点、ゾーン等」の加重平均値（生産年齢世代）

番号	1	2	3	4	
項目	「生活中心拠点」	「都市未来拠点」	「産業集積拠点」	「にぎわい交流創出ゾーン」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.56	2.53	2.95	3.03	2.77
重要度 [加重平均値]	4.06	3.65	3.32	3.85	3.72

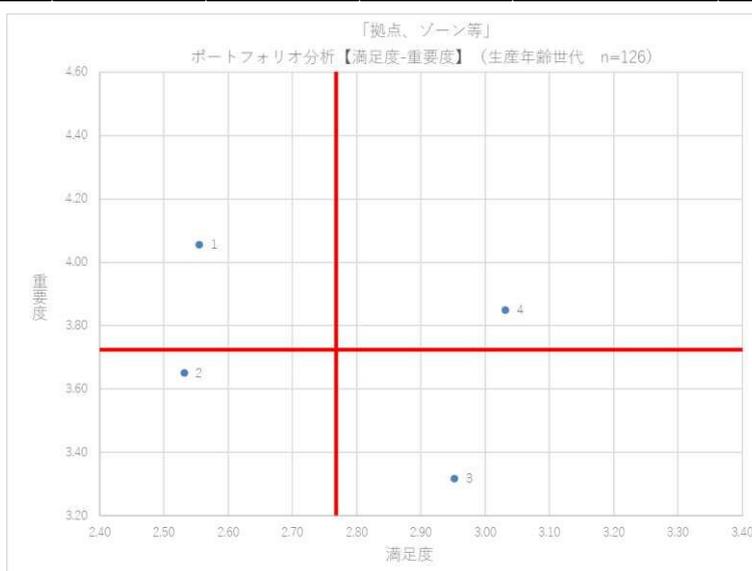


図 6-13 「拠点、ゾーン等」の散布図（生産年齢世代）

表 6-11 「拠点、ゾーン等」の加重平均値（高齢者世代以降）

番号	1	2	3	4	
項目	「生活中心拠点」	「都市未来拠点」	「産業集積拠点」	「にぎわい交流創出ゾーン」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.91	2.94	3.27	3.33	3.11
重要度 [加重平均値]	4.24	3.55	3.48	4.09	3.84

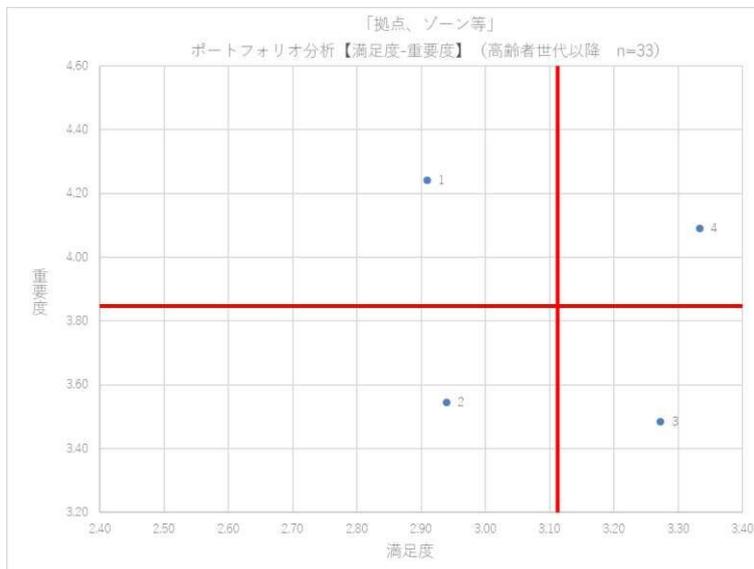


図 6-14 「拠点、ゾーン等」の散布図（高齢者世代以降）

【地域別の分析について】

表 6-12 「拠点、ゾーン等」の加重平均値（北地域）

番号	1	2	3	4	
項目	「生活中心拠点」	「都市未来拠点」	「産業集積拠点」	「にぎわい交流創出ゾーン」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.46	2.57	3.21	3.11	2.84
重要度 [加重平均値]	4.00	3.89	3.36	3.93	3.79

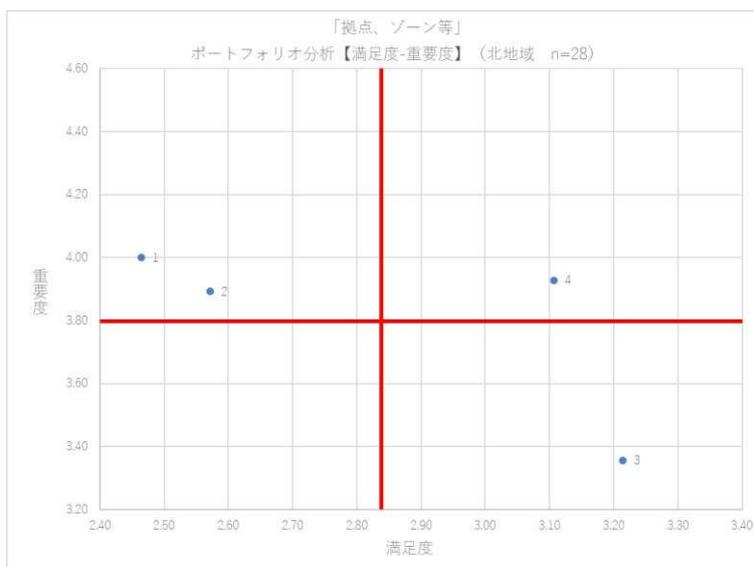


図 6-15 「拠点、ゾーン等」の散布図（北地域）

表 6-13 「拠点、ゾーン等」の加重平均値（東地域）

番号	1	2	3	4	
項目	「生活中心拠点」	「都市未来拠点」	「産業集積拠点」	「にぎわい交流創出ゾーン」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.48	2.71	2.95	3.12	2.82
重要度 [加重平均値]	4.43	3.95	3.57	4.05	4.00

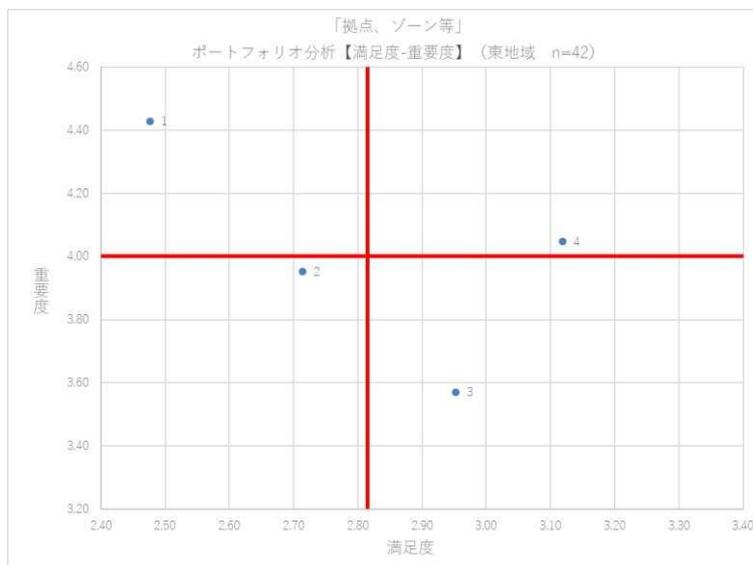


図 6-16 「拠点、ゾーン等」の散布図（東地域）

表 6-14 「拠点、ゾーン等」の加重平均値（南地域）

番号	1	2	3	4	
項目	「生活中心拠点」	「都市未来拠点」	「産業集積拠点」	「にぎわい交流創出ゾーン」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.73	2.68	2.93	3.11	2.86
重要度 [加重平均値]	4.09	3.29	3.25	3.82	3.61

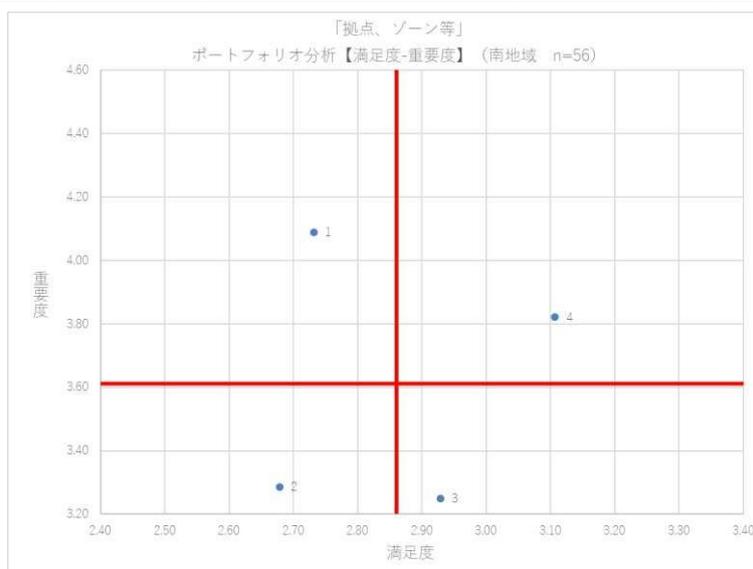


図 6-17 「拠点、ゾーン等」の散布図（南地域）

以上ポートフォリオ分析の結果より、「拠点、ゾーン等」について調査結果を次のように整理します。

表 6-15 「拠点、ゾーン等」の分析結果まとめ

	タイプ①：優先度の高い項目	タイプ②：現状維持を要する項目	タイプ③：状況に応じて取り込む項目	タイプ④：優先度の低い項目
町民全般	生活中心拠点	にぎわい交流創出ゾーン	都市未来拠点	産業集積拠点
年齢別（生産年齢世代）	生活中心拠点	にぎわい交流創出ゾーン	都市未来拠点	産業集積拠点
世代別（高齢者世代以降）	生活中心拠点	にぎわい交流創出ゾーン	都市未来拠点	産業集積拠点
地域別（北地域）	生活中心拠点 都市未来拠点	にぎわい交流創出ゾーン	—	産業集積拠点
地域別（東地域）	生活中心拠点	にぎわい交流創出ゾーン	都市未来拠点	産業集積拠点
地域別（南地域）	生活中心拠点	にぎわい交流創出ゾーン	都市未来拠点	産業集積拠点

本結果より、町民全般、年齢別、地域別の意向について、共通して「生活中心拠点」に関連する施策が求められていることが整理できました。また、北地域では「都市未来拠点」に関する施策の優先度が高いなど、一定程度地域特性が見られる結果となりました。

この結果を参考に、今後の拠点、ゾーン等の取組みとして、引き続き、東海道新幹線新駅誘致地区周辺である「都市未来拠点」に関連する取組みを継続しつつ、土地区画整理事業が完了した寒川駅北口地区について、「いかに継続して街並みを誘導していくか」等の施策を検討していきたいと考えます。

(3) 「都市づくりの基本方針」に関連する事項について

【町民全般の分析について】

表 6-16 「都市づくりの基本方針」の加重平均値（町民全般）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「拠点等」	「土地利用」	「道路・交通体系」	「環境・景観形成」	「防災」	平均値
満足度 [加重平均値]	3.01	2.79	2.54	3.22	2.90	2.89
重要度 [加重平均値]	3.75	3.78	4.08	3.70	4.06	3.88

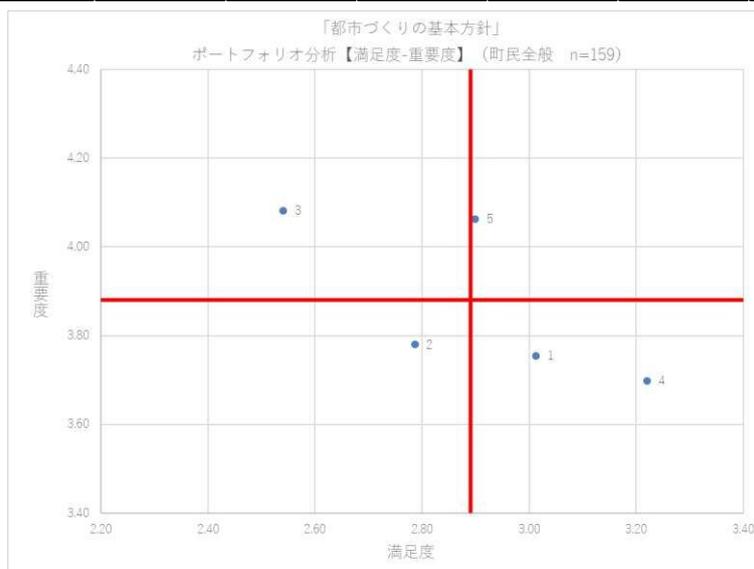


図 6-18 「都市づくりの基本方針」の散布図（町民全般）

【年齢別の分析について】

表 6-17 「都市づくりの基本方針」の加重平均値（生産年齢世代）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「拠点等」	「土地利用」	「道路・交通体系」	「環境・景観形成」	「防災」	平均値
満足度 [加重平均値]	3.01	2.76	2.52	3.22	2.88	2.88
重要度 [加重平均値]	3.71	3.73	4.03	3.66	3.99	3.82

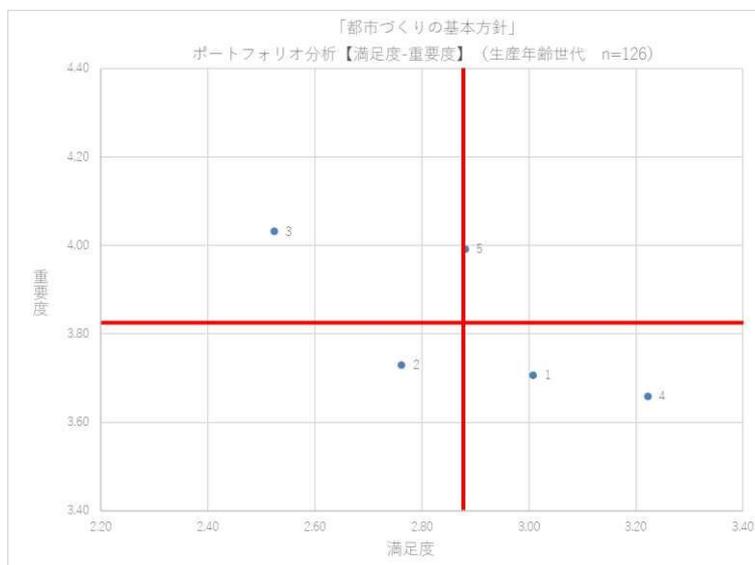


図 6-19 「都市づくりの基本方針」の散布図（生産年齢世代）

表 6-18 「都市づくりの基本方針」の加重平均値（高齢者世代以降）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「拠点等」	「土地利用」	「道路・交通体系」	「環境・景観形成」	「防災」	平均値
満足度 [加重平均値]	3.03	2.88	2.61	3.21	2.97	2.94
重要度 [加重平均値]	3.94	3.97	4.27	3.85	4.33	4.07

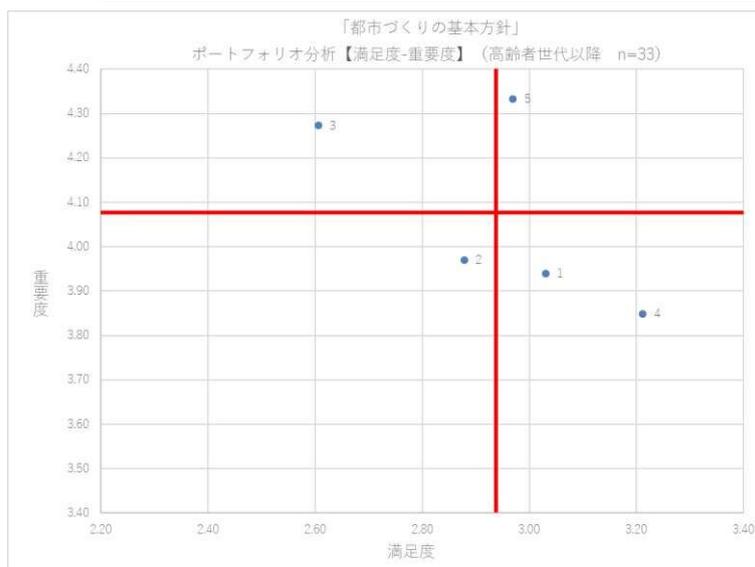


図 6-20 「都市づくりの基本方針」の散布図（高齢者世代以降）

【地域別の分析について】

表 6-19 「都市づくりの基本方針」の加重平均値（北地域）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「拠点等」	「土地利用」	「道路・交通体系」	「環境・景観形成」	「防災」	平均値
満足度 [加重平均値]	2.89	2.79	2.25	3.21	2.57	2.74
重要度 [加重平均値]	3.68	3.79	3.96	3.46	4.00	3.78

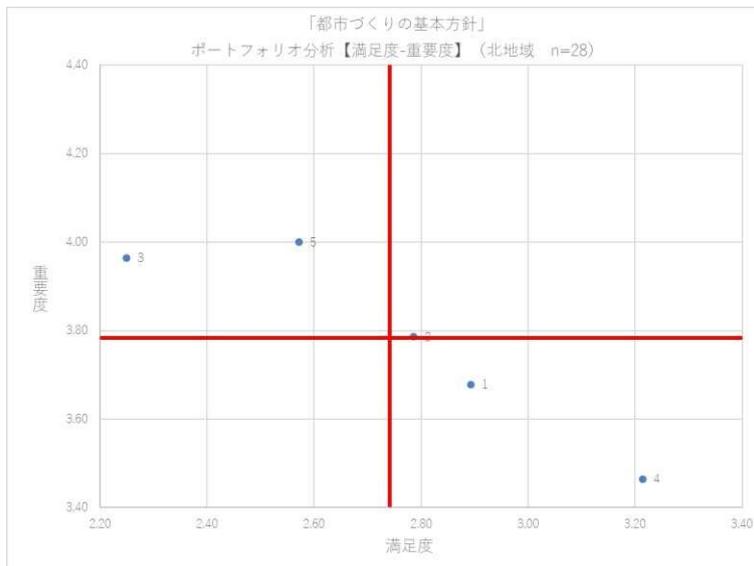


図 6-21 「都市づくりの基本方針」の散布図（北地域）

表 6-20 「都市づくりの基本方針」の加重平均値（東地域）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「拠点等」	「土地利用」	「道路・交通体系」	「環境・景観形成」	「防災」	平均値
満足度 [加重平均値]	3.00	2.79	2.50	3.24	2.76	2.86
重要度 [加重平均値]	3.93	3.83	4.21	3.64	4.26	3.98

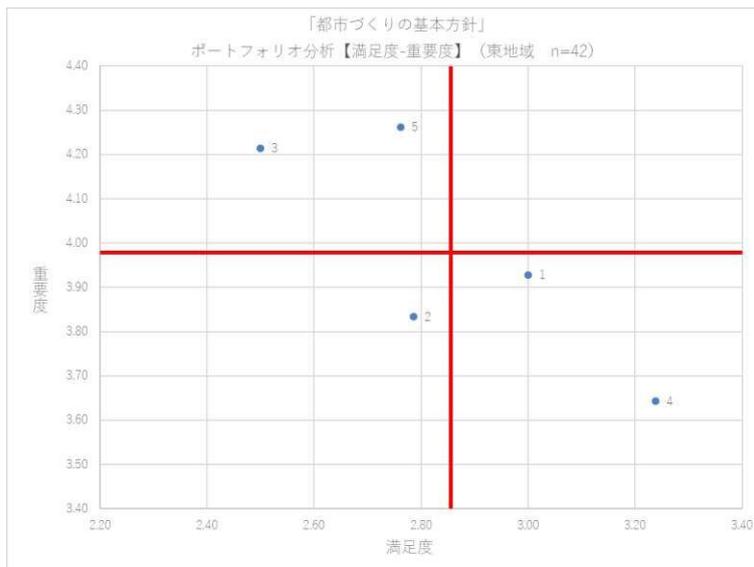


図 6-22 「都市づくりの基本方針」の散布図（東地域）

表 6-21 「都市づくりの基本方針」の加重平均値（南地域）

番号	1	2	3	4	5	
項目	「拠点等」	「土地利用」	「道路・交通体系」	「環境・景観形成」	「防災」	平均値
満足度 [加重平均値]	3.11	2.75	2.63	3.23	3.04	2.95
重要度 [加重平均値]	3.77	3.86	4.20	3.91	4.27	4.00

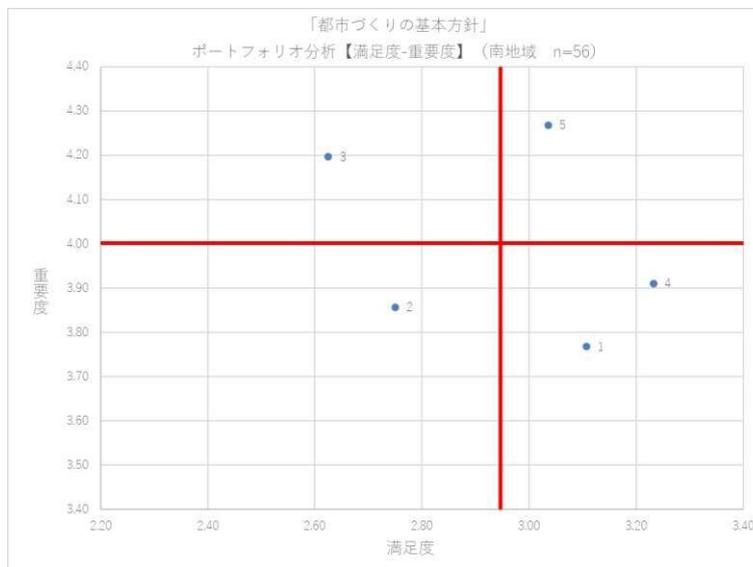


図 6-23 「都市づくりの基本方針」の散布図（南地域）

以上ポートフォリオ分析の結果より、「都市づくりの基本方針」について、調査結果を次のように整理します。

表 6-22 「都市づくりの基本方針」の分析結果まとめ

	タイプA 優先度の高い項目	タイプB 現状維持を望む項目	タイプC 状況に応じて取りたい項目	タイプD 優先度の低い項目
町民全般	道路・交通体系	防災	土地利用	拠点等 環境・景観形成
年齢別（若年世代）	道路・交通体系	防災	土地利用	拠点等 環境・景観形成
年齢別（高齢者世代以降）	道路・交通体系	防災	土地利用	拠点等 環境・景観形成
地域別（北地域）	道路・交通体系 防災	土地利用	—	拠点等 環境・景観形成
地域別（東地域）	道路・交通体系 防災	—	土地利用	拠点等 環境・景観形成
地域別（南地域）	道路・交通体系	防災	土地利用	拠点等 環境・景観形成

本結果より、町民全般、年齢別、地域別の意向について、共通して「道路・交通体系」に関連する施策が求められていることが整理できました。また、「拠点等」や「環境・景観形成」は優先度の低い項目となっていますが、「拠点等」や「環境・景観形成」と「道路・交通体系」の相関関係等を踏まえ、本結果を参考にしつつ、総合的な視点で施策の優先度を検討していきたいと考えています。

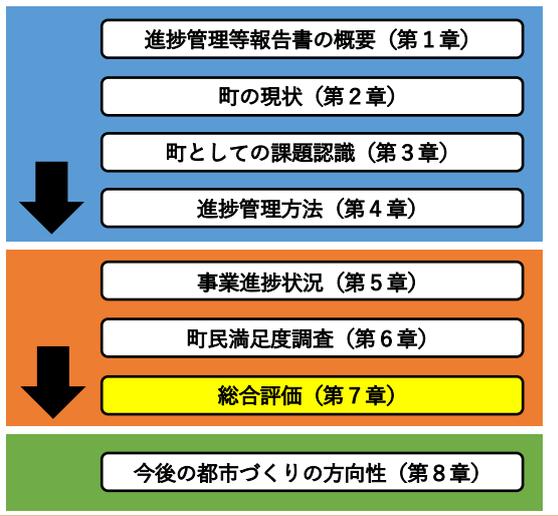


第7章 総合評価 (進捗管理等評価)



第7章 総合評価

(進捗管理等評価)



第5章における「事業進捗状況の把握」及び第6章における「町民満足度調査結果」により、本報告書を作成する目的である「定期的にまちづくりの進み具合を把握する」ことができると考え、本章では第5章及び第6章の結果を統合した総合評価を整理します。

なお、町民満足度調査では、「目指す暮らしぶり」と町のすがたに関する項目についても伺いましたが、本章では事業進捗状況の把握と併せて評価をする関係より、「拠点、ゾーン等」及び「都市づくりの基本方針」の結果について取りまとめます。

表 7-1 「事業進捗状況の把握」 - 「町民満足度調査結果」の総合評価（単純比較評価）

項目別方針	評価項目	第5章「事業進捗状況の把握」	第6章「町民満足度調査結果」(拠点、ゾーン等)	第6章「町民満足度調査結果」(都市づくりの基本方針)
拠点等	(1)生活中心拠点	○(やや進捗している)	タイプ① 優先度の高い項目	タイプ④ 優先度の低い項目
	(2)都市未来拠点	○(やや進捗している)	タイプ③ 状況に応じて取り組む項目	
	(3)産業集積拠点	◎(進捗している)	タイプ④ 優先度の低い項目	
	(4)にぎわい交流創出ゾーン	△(進捗していない)	タイプ② 現状維持を図る項目	
土地利用	(1)都市機能の適切な配置	△(進捗していない)		タイプ③ 状況に応じて取り組む項目
	(2)地域地区の適切な指定	△(進捗していない)		
	(3)自然環境等への配慮	×(後退している)		
	(4)新たな土地利用転換に応じた検討	△(進捗していない)		
道路・交通体系	(1)道路の整備	○(やや進捗している)		タイプ① 優先度の高い項目
	(2)狭い道路の状況	○(やや進捗している)		
	(3)歩行者・自転車ネットワークの検討	△(進捗していない)		
	(4)公共交通環境の向上	△(進捗していない)		
	(5)鉄道駅周辺環境の向上	○(やや進捗している)		
環境・景観形成	(1)公園緑地の整備	○(やや進捗している)		タイプ④ 優先度の低い項目
	(2)公共下水道の整備	◎(進捗している)		
	(3)景観形成への配慮	○(やや進捗している)		
	(4)地球環境への配慮	○(やや進捗している)		
	(5)空き家の状況	△(進捗していない)		
	(6)バリアフリー関連の検討	△(進捗していない)		
防災	(1)住宅の耐震化状況	○(やや進捗している)		タイプ② 現状維持を図る項目
	(2)公共施設の耐震化状況	○(やや進捗している)		
	(3)事前復興に向けた検討	△(進捗していない)		
その他	(1)地域主体のまちづくりについて	△(進捗していない)		
	(2)地域まちづくりのルールについて	△(進捗していない)		
	(3)総合的なまちづくりについて	△(進捗していない)		

上記結果のとおり、町民満足度調査結果により「優先度の高い / 現状維持を図る」となった項目、かつ、事業進捗状況の把握により「進捗していない」となっている項目を優先的に検討する必要があると考えます。また「生活中心拠点」について、事業進捗状況としては「やや進捗している」という評価をしていますが、町の中心地として魅力的な空間となるよう引き続き機能充実を図る必要があると考え、優先的に検討する必要があると考えます。

表 7-2 「事業進捗状況の把握」 - 「町民満足度調査結果」の総合評価（町追加項目）

項目別方針	評価項目	第5章「事業進捗状況の把握」	第6章「町民満足度調査結果」（拠点、ゾーン等）	第6章「町民満足度調査結果」（都市づくりの基本方針）
拠点等	(1)生活中心拠点	○(やや進捗している)	タイプ① 優先度の高い項目	タイプ④ 優先度の低い項目
	(2)都市未来拠点	○(やや進捗している)	タイプ③ 状況に応じて取り組む項目	
	(3)産業集積拠点	◎(進捗している)	タイプ④ 優先度の低い項目	
	(4)にぎわい交流創出ゾーン	△(進捗していない)	タイプ② 現状維持を図る項目	
土地利用	(1)都市機能の適切な配置	△(進捗していない)		タイプ③ 状況に応じて取り組む項目
	(2)地域地区の適切な指定	△(進捗していない)		
	(3)自然環境等への配慮	×(後退している)		
	(4)新たな土地利用転換に応じた検討	△(進捗していない)		
道路・交通体系	(1)道路の整備	○(やや進捗している)		タイプ① 優先度の高い項目
	(2)狭あい道路の状況	○(やや進捗している)		
	(3)歩行者・自転車ネットワークの検討	△(進捗していない)		
	(4)公共交通環境の向上	△(進捗していない)		
	(5)鉄道駅周辺環境の向上	○(やや進捗している)		
環境・景観形成	(1)公園緑地の整備	○(やや進捗している)		タイプ④ 優先度の低い項目
	(2)公共下水道の整備	◎(進捗している)		
	(3)景観形成への配慮	○(やや進捗している)		
	(4)地球環境への配慮	○(やや進捗している)		
	(5)空き家の状況	△(進捗していない)		
	(6)バリアフリー関連の検討	△(進捗していない)		
防災	(1)住宅の耐震化状況	○(やや進捗している)		タイプ② 現状維持を図る項目
	(2)公共施設の耐震化状況	○(やや進捗している)		
	(3)事前対策に向けた検討	△(進捗していない)		
その他	(1)地域主体のまちづくりについて	△(進捗していない)		
	(2)地域まちづくりのルールについて	△(進捗していない)		
	(3)総合的なまちづくりについて	△(進捗していない)		

上記表は、表 7-1 でまとめた「単純比較評価」に加え、町として優先的に検討する必要があると考えている項目をまとめました。なお、追加でお示しした各項目における町の考え（概要）は次のとおりです。

【項目追加に対する町の考え（概要）】

1) 拠点等 「(2) 都市未来拠点」

東海道新幹線新駅誘致地区周辺を中心とした都市未来拠点が実現すれば、神奈川県「県央・湘南都市圏の南のゲート」として、広域的な交流機能を担う新たな拠点を創出することができると考え、町として検討を推進します。

2) 土地利用 「(1) 都市機能の適切な配置」

人口減少や高齢化等による社会情勢の変化に対応し、持続可能な都市を形成するためには、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、都市機能の適正な配置を検討することが重要であると考え、町として検討を推進します。

3) 土地利用 「(2) 地域地区の適切な指定」

町として、住みよい環境形成を体現するためには、各地区における課題を適切に把握した上で、地区レベルでのふさわしい将来像を検討することが重要であると考え、町として検討を推進します。

4) 土地利用 「(4) 新たな土地利用転換に応じた検討」

都市計画道路の整備など大規模な土地利用転換等が予測される地区について、好機を逃さず戦略的に市街地形成を検討するとともに、無秩序な開発等を未然に防止し、適切な土地利用を計画的に誘導する必要があると考えます。なお、直近においては、都市計画道路3・3・3号宮山線の整備を見据え、町の様相が大きく変貌すると想定される町域北部地区についてその必要性等を含めた検討を推進します。

5) その他 「(1) 地域主体のまちづくりについて」

都市が健全な発展を続けていくためには、地域に住む住民等が自ら課題等を認識し、考えてまちづくりを促進していくことが望ましいと考え、今回実施した町民満足度調査をはじめとして、ポスターセッションや地域別のワークショップ等、まちづくりへの関心・意識を高めていくための取組みに係る検討を推進します。

6) その他 「(2) 地域まちづくりのルールについて」

「(1) 地域主体のまちづくりについて」と一部重複しますが、地域での協議・合意形成や地区計画等の策定によるルールの公的な担保など、地域ごとに適切なルールづくりを検討することが重要であると考え、町として体制づくり等を含めた検討を推進します。

7) その他 「(3) 総合的なまちづくりについて」

町民満足度調査のうち、特に「目指す暮らしぶりと町のすがた」の各項目について、寒川らしい暮らしぶりの実現に向けた検討を推進します。

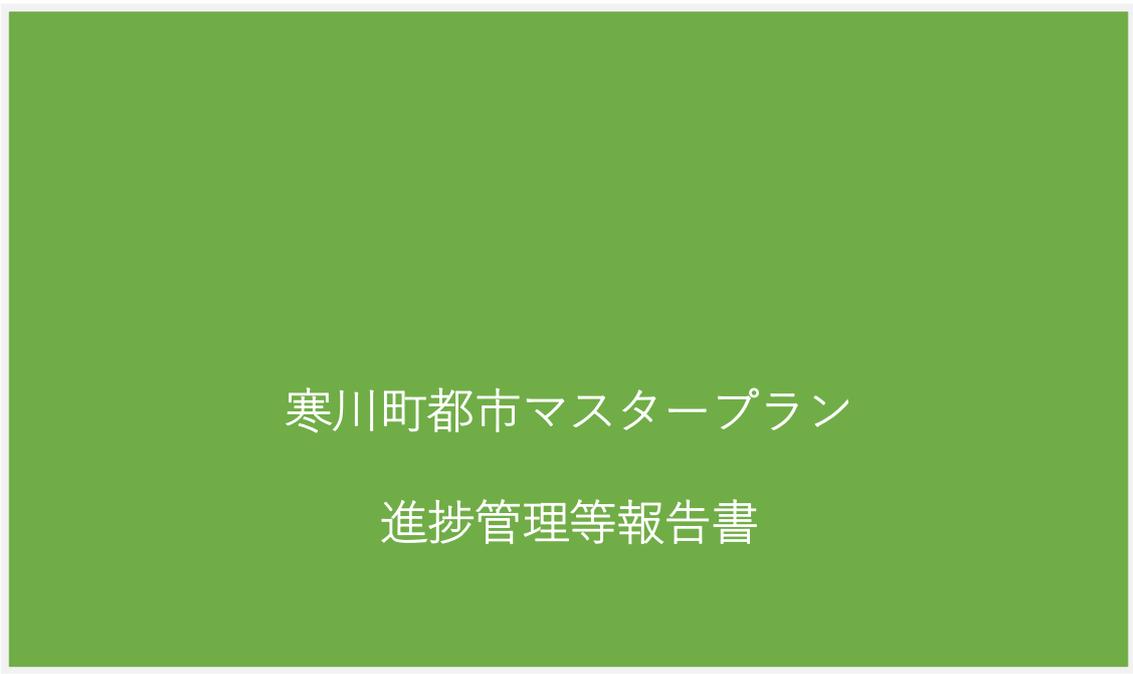
以上の結果及び考え等により、表 7-1 及び表 7-2 に記載のとおり、「優先的に検討する必要がある項目」を整理します。

また、第 5 章における「事業進捗状況の把握」及び第 6 章における「町民満足度調査結果」の比較だけではなく、町民満足度調査の「自由記載」でいただいたご意見も積極的に検討に取り入れていくため、自治体 AI「ZEVO(ゼヴォ)」などを活用して作成した「町民満足度調査自由記載(頻出キーワードの整理)(参考資料 4)」にて内容を整理します。

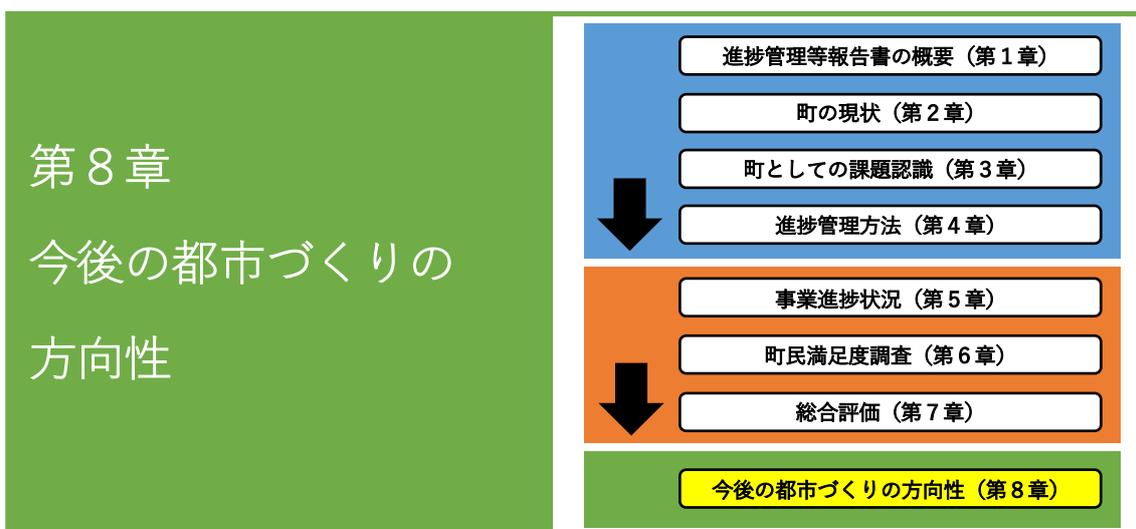


第8章

今後の都市づくりの方向性



寒川町都市マスタープラン
進捗管理等報告書



第7章にて整理した「総合評価」を基に、優先的に検討する必要があると考えている項目について、今後どのように検討を進めていくのかをお示しします。また、本報告書のような進捗管理等に向けた取組みについて、現時点における今後の方針をお示しします。

1. 総合評価を踏まえた今後の方針について

第7章において優先的に検討する必要があると考えている項目について、町として考える今後の方針は次のとおりです。

1) 拠点等 「(1) 生活中心拠点」

【現状 / 取組み状況等】

- ・寒川駅北口地区：平成4年から令和6年の期間で町施行による土地区画整理事業を実施
- ・寒川駅南口周辺：タクシーや一般車等の乗降場及び転回場の整備に向けて検討している
- ・隣接する市街化調整区域：土地利用の方向性等具体的な検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

- ・寒川駅北口地区：町の中心地として魅力的な空間となるようにぎわい創出を図る
- ・寒川駅南口周辺：必要性を検証した上で駅前広場の整備を推進する
- ・隣接する市街化調整区域：今後予測される土地利用変化に対して柔軟な対応をする

【取組み(案)】

- ・寒川駅北口地区：今後は特にソフト面を重視し、継続的に町が発展するよう、駅前公園を活用したイベント等にぎわい創出につながる取組みを検討する
- ・寒川駅南口周辺：当面の間、利用者の乗降場及び転回場の整備に向けた検討をする
- ・隣接する市街化調整区域：即時に対応するため、庁内にて方針を検討する

2) 拠点等 「(2) 都市未来拠点」

【現状 / 取組み状況等】

- ・新駅周辺整備検討区域：土地利用検討及び地元地権者等との調整をしている
- ・新駅周辺整備検討区域以外：検討するべき区域、土地利用の方針を検討している

【目指すべき姿 / 方針】

- ・新駅周辺整備検討区域：東海道新幹線新駅誘致を見据えた都市機能の誘導を実現する
- ・新駅周辺整備検討区域以外：幹線道路の整備等に併せ、機会を逸しないよう周辺土地利用方策の検討を推進する

【取組み(案)】

- ・新駅周辺整備検討区域：引き続き土地利用検討及び地元地権者等との調整を推進する
- ・新駅周辺整備検討区域以外：早期に町が考える土地利用方針(案)を取りまとめる

3) 拠点等 「(4) にぎわい交流創出ゾーン」

【現状 / 取組み状況等】

- ・令和5年にエリアビジョンを策定したものの、土地利用方針等の検討が進んでいない

【目指すべき姿 / 方針】

- ・早期に土地利用方針等を検討し、実現に向けた取組みを推進する

【取組み(案)】

- ・庁内各課で連携し、早期に町が考える土地利用方針(案)を取りまとめた後、関係する団体等と調整を行う

4) 土地利用 「(1) 都市機能の適切な配置」

【現状 / 取組み状況等】

- ・町域全体に都市機能が点在しており、将来を見据えた誘導等方針の検討が進んでいない

【目指すべき姿 / 方針】

- ・人口減少や高齢化等社会情勢の変化に対応するため、都市機能等を計画的に誘導する

【取組み(案)】

- ・将来を見据えた配置を検討するため、立地適正化計画の策定を見据えた検討を行う

5) 土地利用 「(2) 地域地区の適切な指定」

【現状 / 取組み状況等】

・制度変更に合わせて部分的な見直しは行っているが、各地区のあるべき姿、将来像に向けた検討が進んでいない

【目指すべき姿 / 方針】

・地区レベルでのふさわしい将来像を検討し、用途地域の見直しや地区計画の策定など必要に応じた検討を進める

【取組み(案)】

・地区の課題等を抽出するため、説明会やポスターセッションの開催等町民の方と接する機会を増やし、ゆくゆくは地区別のワークショップ等の開催を検討する

6) 土地利用 「(4) 新たな土地利用転換に応じた検討」

【現状 / 取組み状況等】

・都市計画道路の整備等により開発需要が高まると予想される、宮山線沿線をはじめとする北部地区や、寒川町立小・中学校適正化等基本計画並びに寒川町公共施設再編計画に基づき、土地利用転換が予測される庁舎周辺などについて、上位計画の位置付けや土地利用の検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・寒川町全体の将来像を見据えた中で、早期に土地利用方針等を検討し、好機を逃さず戦略的に市街地形成を図るとともに、無秩序な開発等を未然に防止し、適切な土地利用を計画的に誘導する

【取組み(案)】

・令和15年度に供用開始を見据えている都市計画道路3・3・3号宮山線沿線を中心とした北部地区について、早期に町が考える土地利用方針(案)を取りまとめる
・立地適正化計画の策定を見据えた検討の中で町全体の将来像を再考し、機会を逸しないよう検討を進める

7) 道路・交通体系 「(3) 歩行者・自転車ネットワークの検討」

【現状 / 取組み状況等】

・歩行者空間、自転車走行空間を確保することの必要性及び重要性は感じているものの、計画の策定等具体的な検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・自転車ネットワーク計画を策定し、計画に基づき各種空間の確保に向けた検討及び整備を推進する

【取組み(案)】

・今後新たに整備を予定している道路も含め、町の全体像を想定し、早期に自転車ネットワーク計画等の策定に向けた検討を進める

8) 道路・交通体系 「(4) 公共交通環境の向上」

【現状 / 取組み状況等】

・特にコミュニティバスの利便性を維持、向上させるべきであるという声が寄せられている状況ではあるものの、利用率向上を目指すだけでなく、継続的に維持等を行うため、効率的な運行等が必要であると認識しているが、検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・立地適正化計画の策定に向けた検討に併せ、アンケート結果や実態調査に基づき経路やダイヤ、運行本数等を柔軟に見直す。

【取組み(案)】

・アンケート調査や実態調査により現状を把握し、改善に向けた検討を進める

9) 防災 「(3) 事前復興に向けた検討」

【現状 / 取組み状況等】

・防災に対する意識を多くの方に持っていただいているが、都市計画的な視点における震前対策について、都市マスタープランにおける明確な位置付けや検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・復興事前準備に係る基礎データ収集をし、有事の際に迅速に対応できる体制づくりを行う

【取組み(案)】

・立地適正化計画の策定を見据えた検討の中で、基礎データの収集や災害リスクの分析を行い、それらを活用した上で、事前復興まちづくり計画の策定の必要性等を検討する

10) その他 「(1) 地域主体のまちづくりについて」

【現状 / 取組み状況等】

・町民の方がまちづくりに関わる機会の創出やルールづくりの検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・地域の担い手の発掘や育成、専門家や大学などの教育、研究機関との連携などを視野に入れた取組みや仕組みづくりを行う

【取組み(案)】

・多くの方にまちづくりに関する興味を持ってもらえるよう、定期的な勉強会やワークショップの開催等を視野に入れた仕組みやルールづくりの検討を進める

11) その他 「(2) 地域まちづくりのルールについて」

【現状 / 取組み状況等】

・土地区画整理事業を実施した地区以外については、地域のルールづくり等の検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・各地区における課題や将来像を共有し、地域と連携して必要に応じた取組みを進める

【取組み(案)】

・説明会やポスターセッション、ワークショップ等を通じて地域の課題を把握し、課題解消等に向けた検討を進める

12) その他 「(3) 総合的なまちづくりについて」

【現状 / 取組み状況等】

・開発行為等について、一定の指導及び協議は行っているものの、条例として規制をしていない
・住民等参加のまちづくりの検討ができていない

【目指すべき姿 / 方針】

・まちづくり条例の策定などを視野に入れた中で、適切な規制、誘導に向けた対策を講じ、併せて住民等参加によるまちづくりの手法についても適切な運用ができるような位置付けをする

【取組み(案)】

・まちづくり条例の策定に向けた検討の中で地域の意向等を把握するとともに、立地適正化計画等も併せて検討することにより、町として望ましい将来像に向けた検討を進める

以上、第7章「総合評価」を基に今後の都市づくりの方向性をまとめましたが、上記検討に対応できる職員定数も限られていることも考慮し、「できるところからできる体制で、少しずつ、時には実験的な取組みも行う」という考えのもと、適時適切に検討し、また、継続して進捗管理等を行っていきます。

2. 進捗管理等に係る今後の方針について

1) 町民満足度調査について

都市マスタープランには、「町民の満足度調査を2～3年ごとに実施、まちづくりの成果として公表」と記載していますが、同じ内容を何度も伺うなど、目的を持たない調査はあまり効果が無いと考えています。また、都市マスタープランの進捗管理等適切に検証、評価を行うためには、意見反映をするタイミングも非常に重要であると考えているため、記載の2～3年ごとに実施ということに捉われず、柔軟に検討を行っていきたいと思います。

なお、今回の満足度調査実施のタイミングについては、都市マスタープラン改定の必要性検討に併せた、令和9年度中の実施を想定しています。

2) 都市マスタープラン見直しの必要性及び改定に向けた検討について

都市マスタープランはおおむね20年後を見据えた方針をお示ししており、高頻度で改定を行うものではないと考えていますが、制度改正や大規模な土地利用転換が見込まれる際には、「位置付けが無いから検討ができない」という状況にならないよう、柔軟に改定に向けた検討が必要になると考えます。

直近においては、都市計画道路3・3・3号宮山線をはじめとした都市計画道路の整備に向けた進捗状況や、寒川町立小・中学校適正化等基本計画、寒川町公共施設再編計画の改定を踏まえ、今後町として必要と考える検討が現在の都市マスタープランで対応できるのか、また、改定をする必要があるのかについて、本報告書を公表した以降速やかに検討していきます。

3) 進捗管理等報告書の作成について

今回は実験的な取組みとして、「事業進捗状況の把握」及び「町民満足度の把握」を踏まえた「今後の方向性」について、本報告書に取りまとめました。

なお、今後については、本報告書作成に伴う説明会やポスターセッション、パブリックコメントの反響や、作成後以降の町民の方との関わり方などを踏まえて、今回の形式で取りまとめるのが効果的であったのかを検討した上で、本報告書の形式に縛られずに、柔軟に検討していきます。また、町民の満足度調査を実施した際には、何かしらの形で公表できる成果を作成していきます。

(本編) 参考資料 1

寒川町都市マスタープラン
進捗管理等に向けた町民満足度調査
結果報告書

寒川町都市マスタープラン

進捗管理等報告書



寒川町都市マスタープラン 進捗管理等に向けた町民満足度調査 結果報告書

(令和7年4月14日～5月16日実施)

令和7年7月7日



【目次】

1. 寒川町都市マスタープラン進捗管理等に向けた町民満足度調査 … 2
 - 1) 町民満足度調査について … 2
 - 2) 調査対象と回答数について … 2

2. 町民満足度調査 … 3
 - 1) 集計方法の考え方について … 3
 - 2) 調査概要について … 4
 - 3) 調査集計結果について … 5
 - 4) クロス集計結果について … 34

(参考)

- | | |
|--------|--------------------|
| 参考資料 1 | 自由記載項目 回答内容一覧 … 38 |
| 参考資料 2 | 町民満足度調査用紙 … 61 |

「地域意向」等の集計、回答結果に伴う「分析」は、
後日「進捗管理等報告書」の中でお示いたします。

1. 寒川町都市マスタープラン進捗管理等に向けた町民満足度調査

1) 町民満足度調査について

【目的】

令和3年4月に改定した寒川町都市マスタープランの進捗管理等を行うにあたり、町民の皆さまからいただいたご意見を基に、現在行っている取組みに関する「現状把握」及び「将来に向けた取組み」の再検討を目的としています。

本調査結果は分析の後、寒川町都市マスタープラン「進捗管理等報告書」の一部とすることを予定しています。

【調査対象】

町民満足度調査の対象は、「満18歳以上の町民全般」とし、意見集約を行いました。
(※「町民」とは、寒川町自治基本条例第3条に規定する「在住者、在勤者」等のこと。)

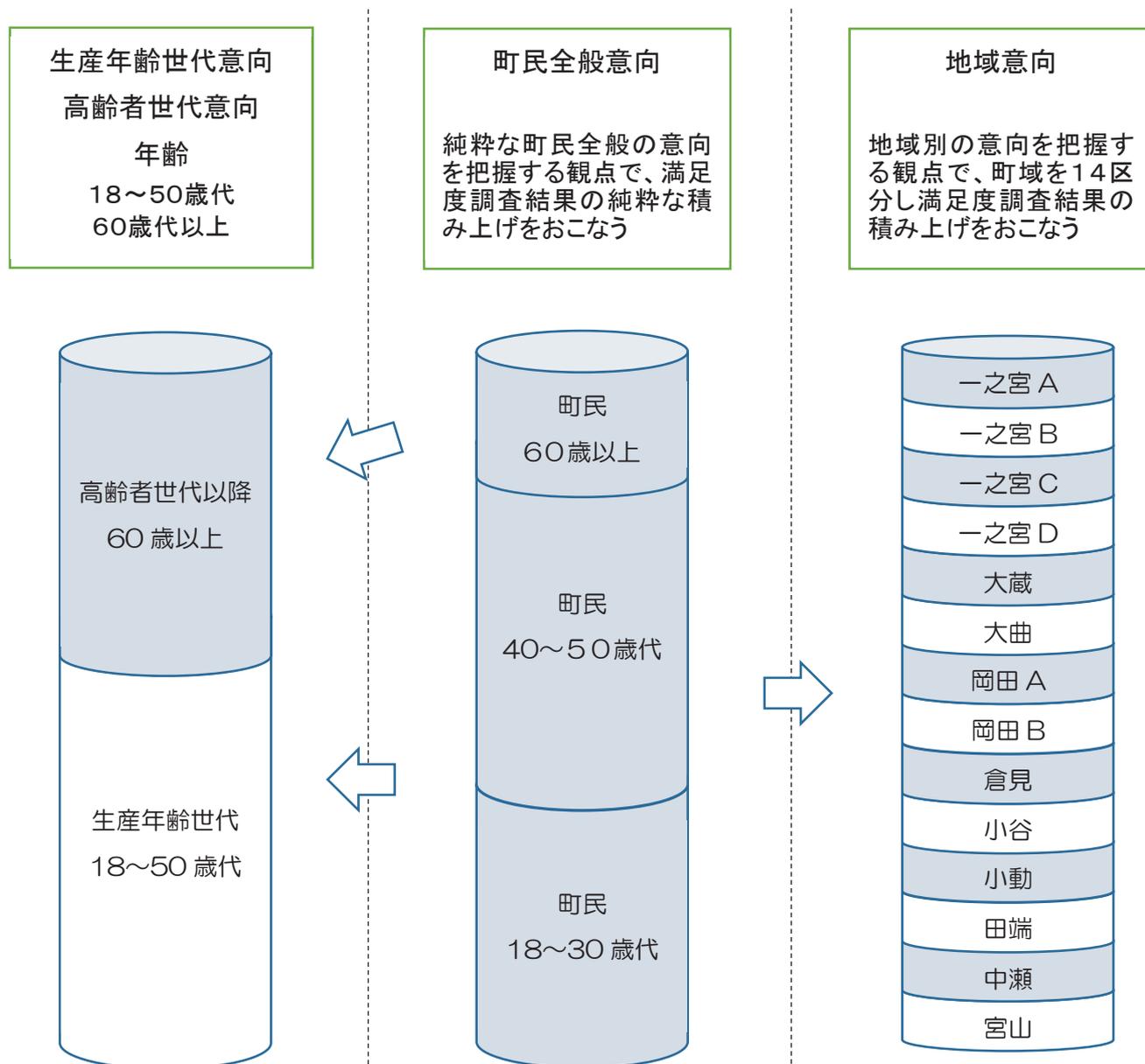
2) 調査対象と回答数について

対象	満18歳以上の町民全般
(参考)人口	48,426人(令和7年5月1日時点) ※満18歳以上の人数ではありません。
回答数	164 (うち、同一人物疑い5)
有効回答数	159 同一人物疑い(回答者属性(年齢、お住まい、職業、居住年数、家族構成、お住まいの形態、主な通勤・通学場所、日常的に最もよく使用する交通手段)が完全一致した者)の回答は、最初の回答のみ有効とした
抽出方法	全数調査
周知方法	町広報5月号、町HP、 各町内会回覧、LINEプッシュ通知
調査方法	e-kanagawa 電子申請システムによるWeb調査
調査期間	令和7年4月14日(月) から 令和7年5月16日(金)

※希望者には、紙媒体で回答も可としたが、希望者なし。

2. 町民満足度調査

1) 集計方法の考え方について



※本報告書では単純な集計のみを実施し、
「地域意向」等は、後日「進捗管理等報告書」の中でお示しいたします。

2) 調査概要について

今回の町民満足度調査は、次の設問構成で実施しました。

- ① 回答者属性について
(選択形式)
- ② 「目指す暮らし」と町のすがた」の満足度・重要度について
(5段階評価)
- ③ 「都市づくりの基本方針」に関連する事項の満足度・重要度について
(5段階評価+自由記載)
- ④ 「都市づくりの基本方針」に関する事項の満足度・重要度について
(5段階評価+自由記載)
- ⑤ 「まちづくりへの参加」に関連する満足度及び今後の意向について
(選択形式+自由記載)

【集計の注意点】

満足度・重要度の平均値は、5段階評価の各評価値に回答数を掛け、それぞれを足した合計に回答の合計数(「イメージもなく評価できない」を除く)で除したものです。

(満足度について … 不満:1、やや不満:2、普通:3、やや満足:4、満足:5)

(重要度について … 重要でない:1、あまり重要でない:2、

普通:3、やや重要:4、重要:5)

(参考例)

区分	回答数
不満	8
やや不満	18
普通	105
やや満足	20
満足	8



区分	点数
不満(回答数8)×1	8
やや不満(回答数18)×2	36
普通(回答数105)×3	315
やや満足(回答数20)×4	80
満足(回答数8)×5	40
平均	3.01

区分	回答数
重要でない	2
あまり重要でない	7
普通	62
やや重要	45
重要	43



区分	点数
重要でない(回答数2)×1	2
あまり重要でない(回答数7)×2	14
普通(回答数62)×3	186
やや重要(回答数45)×4	180
重要(回答数43)×5	215
平均	3.75

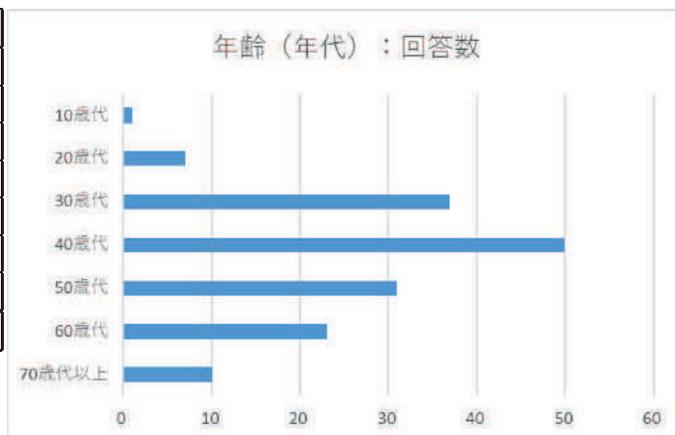
※単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

3) 調査集計結果について

【回答者属性について】

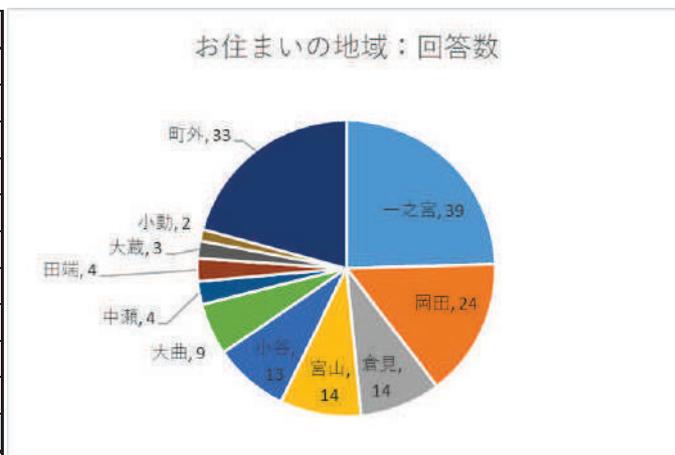
(1) 年齢(年代)

区分	回答数	割合
10歳代	1	0.6%
20歳代	7	4.4%
30歳代	37	23.3%
40歳代	50	31.4%
50歳代	31	19.5%
60歳代	23	14.5%
70歳代以上	10	6.3%
合計	159	100.0%



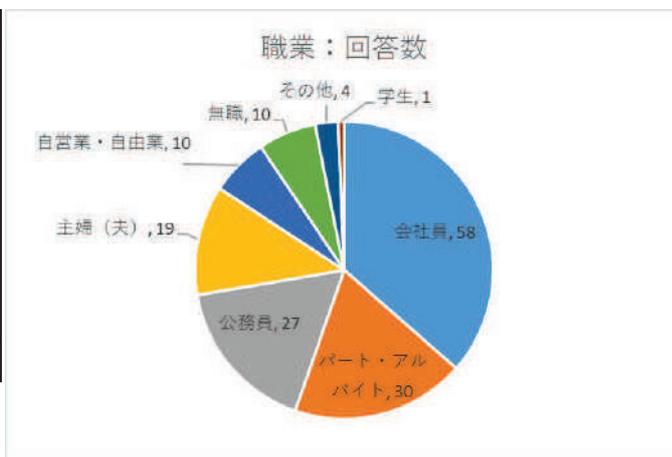
(2) お住まいの地域

区分	回答数	割合
一之宮	39	24.5%
岡田	24	15.1%
倉見	14	8.8%
宮山	14	8.8%
小谷	13	8.2%
大曲	9	5.7%
中瀬	4	2.5%
田端	4	2.5%
大蔵	3	1.9%
小動	2	1.3%
町外	33	20.7%
合計	159	100.0%



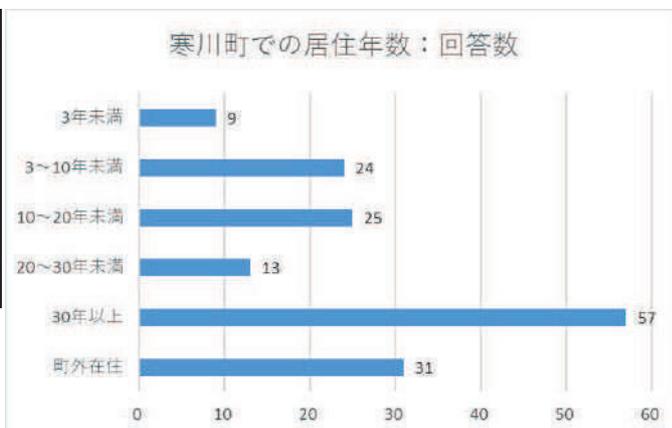
(3) 職業

区分	回答数	割合
会社員	58	36.5%
パート・アルバイト	30	18.9%
公務員	27	17.0%
主婦（夫）	19	11.9%
自営業・自由業	10	6.3%
無職	10	6.3%
その他	4	2.5%
学生	1	0.6%
合計	159	100.0%



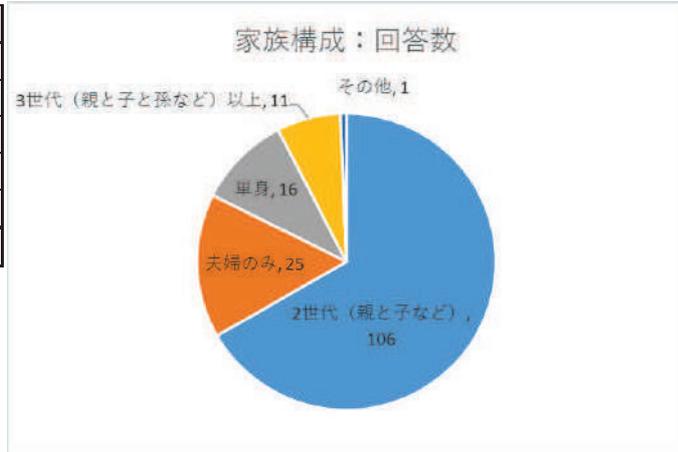
(4) 寒川町での居住年数

区分	回答数	割合
3年未満	9	5.7%
3～10年未満	24	15.1%
10～20年未満	25	15.7%
20～30年未満	13	8.2%
30年以上	57	35.8%
町外在住	31	19.5%
合計	159	100.0%



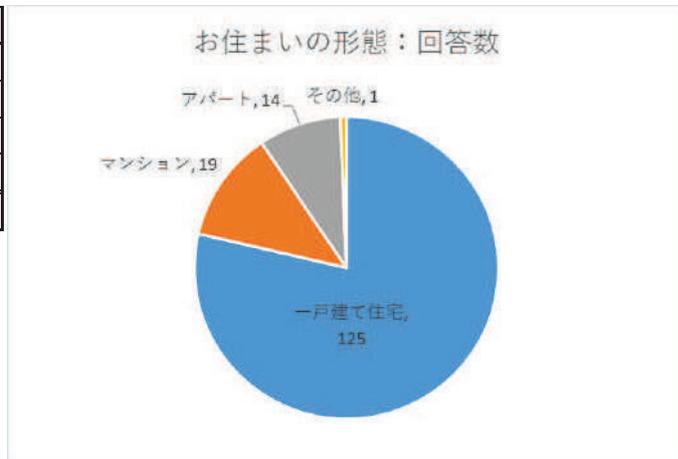
(5) 家族構成

区分	回答数	割合
2世代（親と子など）	106	66.7%
夫婦のみ	25	15.7%
单身	16	10.1%
3世代（親と子と孫など）以上	11	6.9%
その他	1	0.6%
合計	159	100.0%



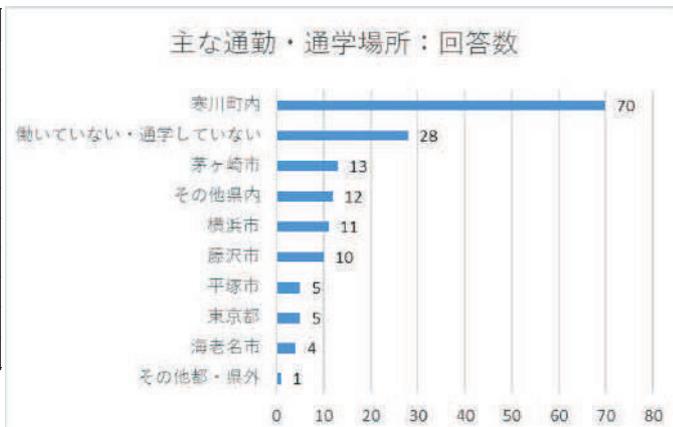
(6) お住まいの形態

区分	回答数	割合
一戸建て住宅	125	78.6%
マンション	19	12.0%
アパート	14	8.8%
その他	1	0.6%
合計	159	100.0%



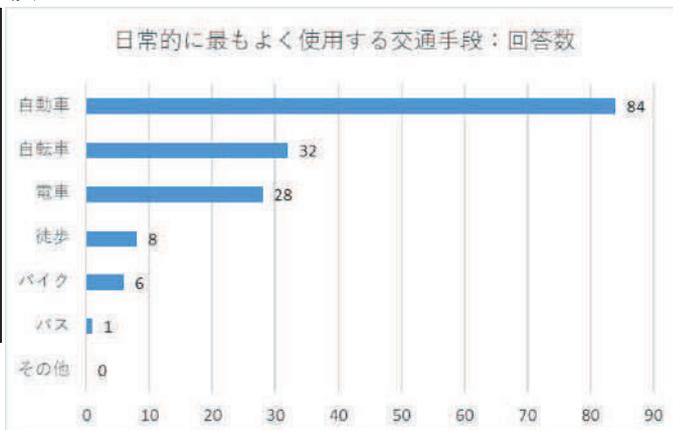
(7) 主な通勤・通学場所

区分	回答数	割合
寒川町内	70	44.0%
茅ヶ崎市	13	8.2%
藤沢市	10	6.3%
海老名市	4	2.5%
平塚市	5	3.2%
横浜市	11	6.9%
その他県内	12	7.6%
東京都	5	3.1%
その他都・県外	1	0.6%
働いていない・通学していない	28	17.6%
合計	159	100.0%



(8) 日常的に最もよく使用する交通手段

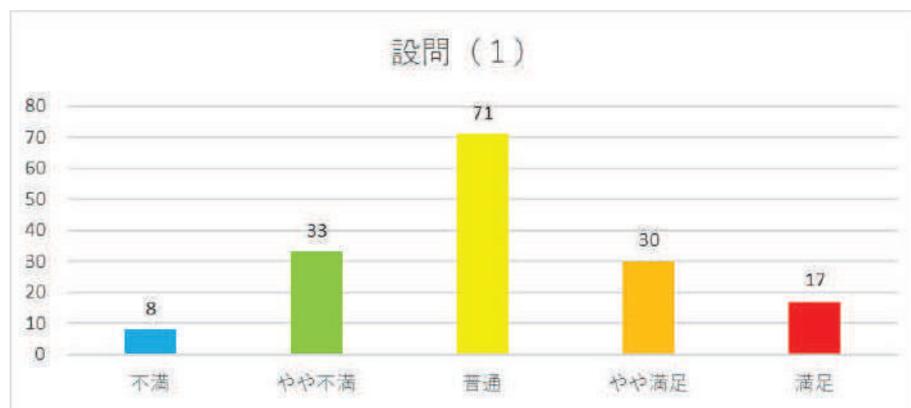
区分	回答数	割合
自動車	84	52.8%
電車	28	17.6%
バイク	6	3.8%
自転車	32	20.1%
バス	1	0.6%
徒歩	8	5.1%
その他	0	0.0%
合計	159	100.0%



【「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の満足度・重要度について】

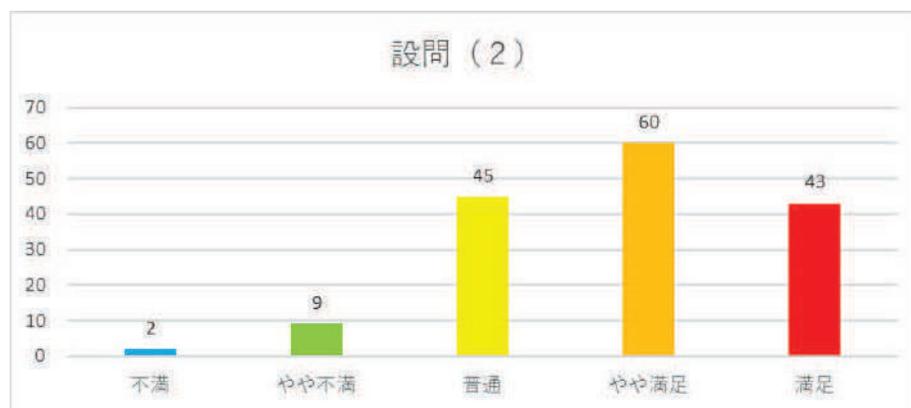
(1) 1-I. 毎日の暮らしやすさが感じられるまちの満足度

区分	設問(1)
不満	8
やや不満	33
普通	71
やや満足	30
満足	17
平均	3.09



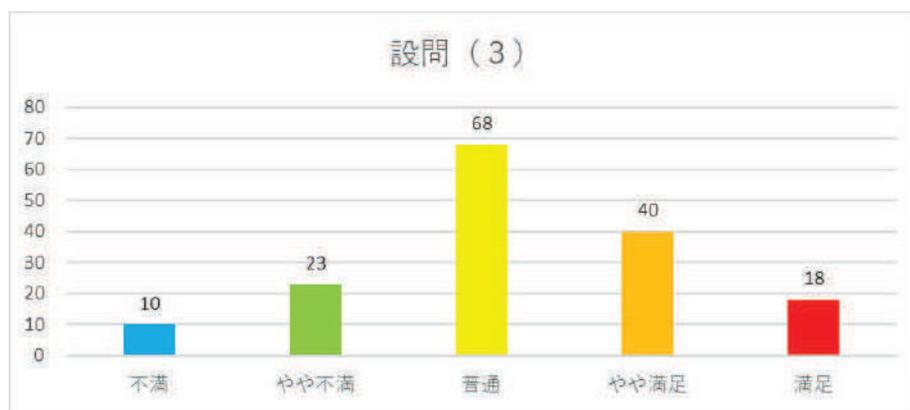
(2) 1-II. 空が広くのんびりとした環境が楽しめるまちの満足度

区分	設問(2)
不満	2
やや不満	9
普通	45
やや満足	60
満足	43
平均	3.84



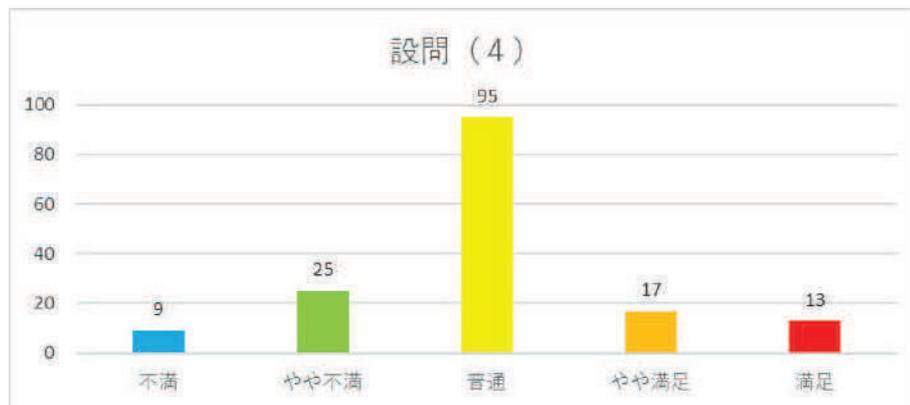
(3) 1-Ⅲ.安全・安心に暮らし続けられるまちの満足度

区分	設問 (3)
不満	10
やや不満	23
普通	68
やや満足	40
満足	18
平均	3.21



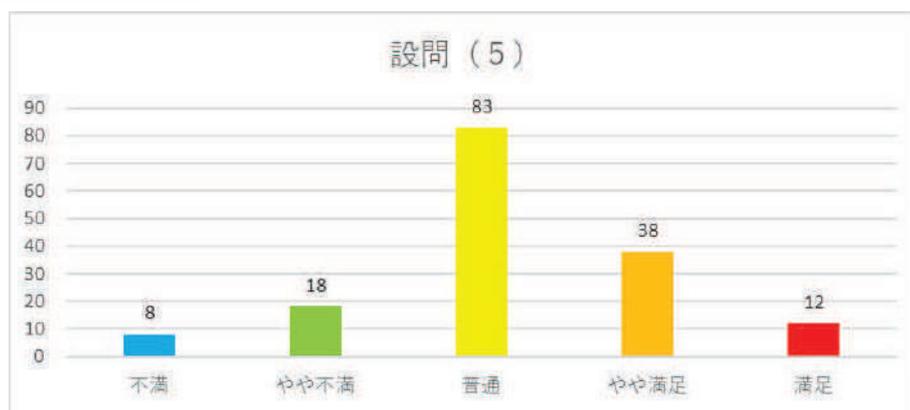
(4) 1-Ⅳ.生き生きと働くことができるまちの満足度

区分	設問 (4)
不満	9
やや不満	25
普通	95
やや満足	17
満足	13
平均	3.00



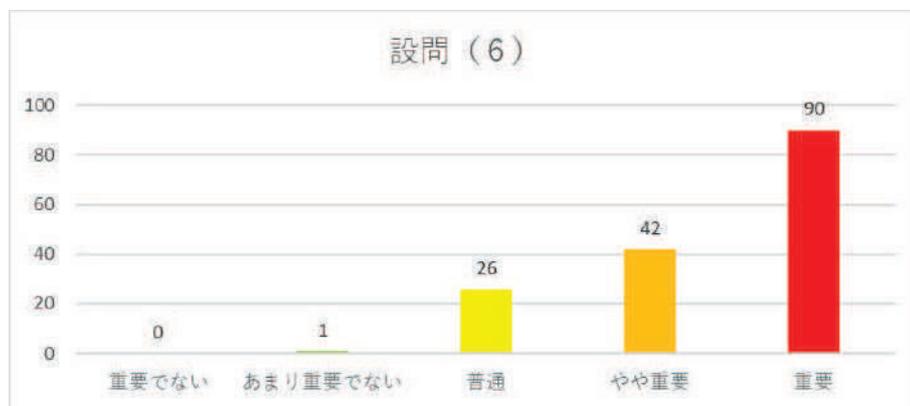
(5) 1-V.のびのびと元気な子どもを育てられるまちの満足度

区分	設問 (5)
不満	8
やや不満	18
普通	83
やや満足	38
満足	12
平均	3.18



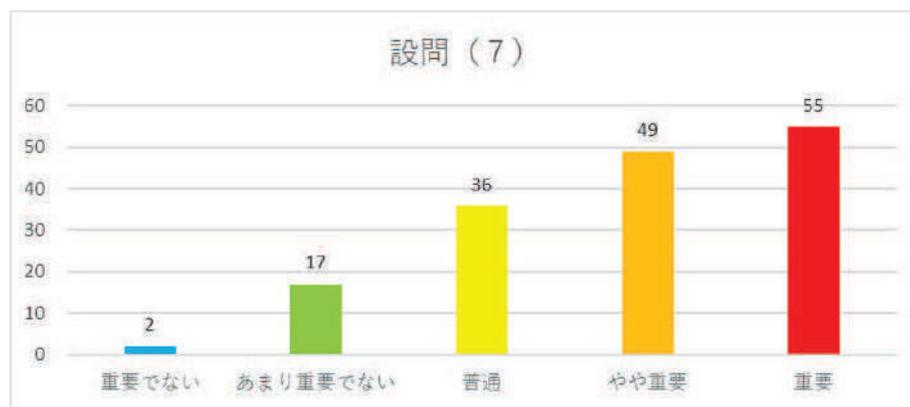
(6) 2-I. 毎日の暮らしやすさが感じられるまちの重要度

区分	設問 (6)
重要でない	0
あまり重要でない	1
普通	26
やや重要	42
重要	90
平均	4.39



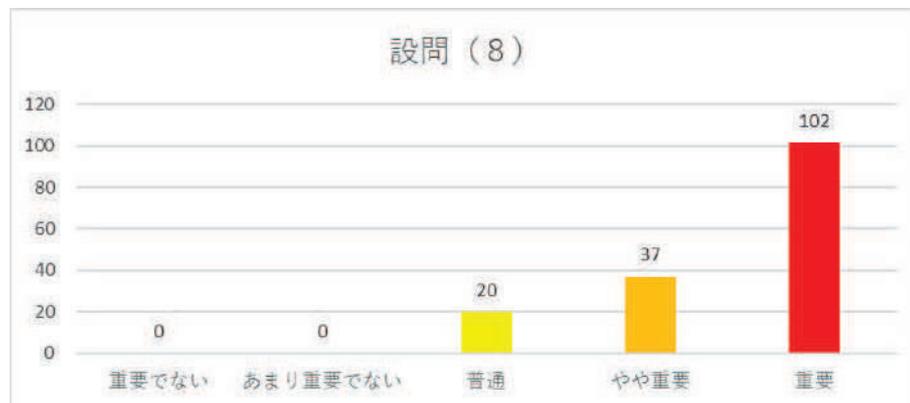
(7) 2-II.空が広くのんびりとした環境が楽しめるまちの重要度

区分	設問 (7)
重要でない	2
あまり重要でない	17
普通	36
やや重要	49
重要	55
平均	3.87



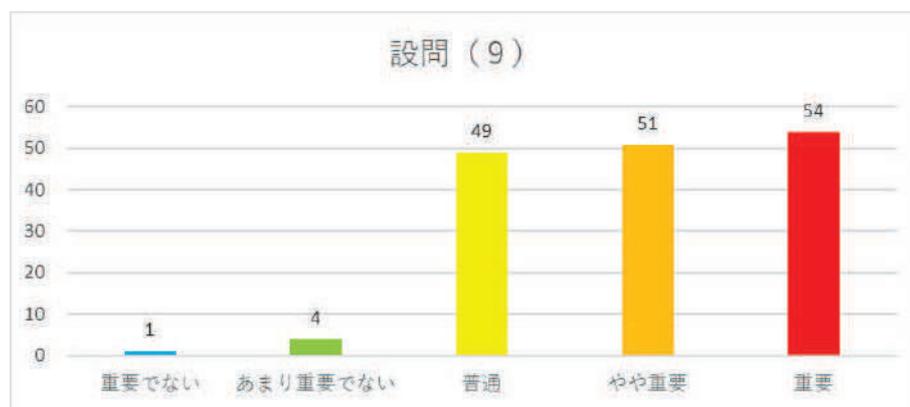
(8) 2-III.安全・安心に暮らし続けられるまちの重要度

区分	設問 (8)
重要でない	0
あまり重要でない	0
普通	20
やや重要	37
重要	102
平均	4.52



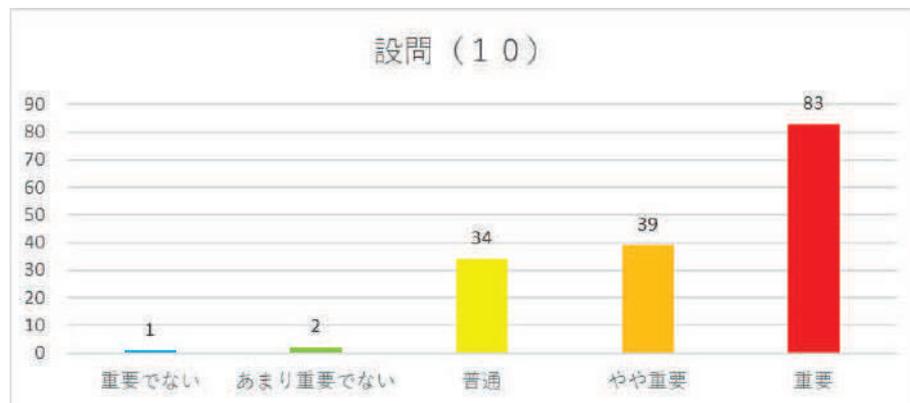
(9) 2-IV.生き生きと働くことができるまちの重要度

区分	設問 (9)
重要でない	1
あまり重要でない	4
普通	49
やや重要	51
重要	54
平均	3.96



(10)2-V.のびのびと元気な子どもを育てられるまちの重要度

区分	設問 (10)
重要でない	1
あまり重要でない	2
普通	34
やや重要	39
重要	83
平均	4.26



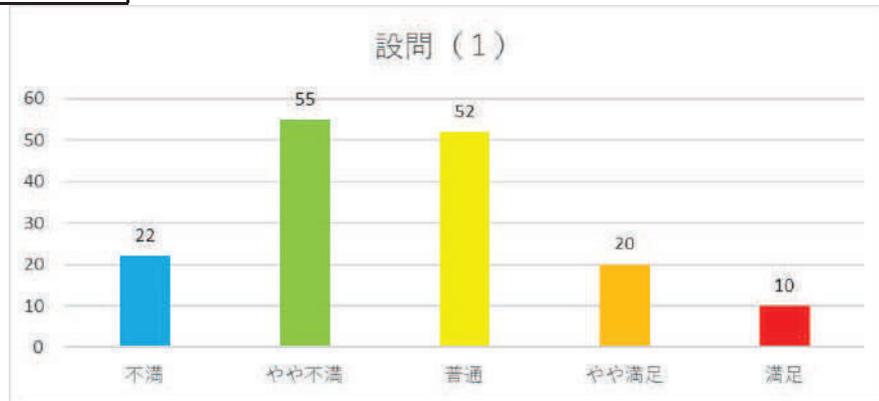
【「都市づくりの基本方針」に関連する事項について】

I. 「拠点等」の満足度・重要度について

(1) 1-I. 生活中心拠点についての満足度

寒川駅周辺の生活利便性、寒川駅周辺の魅力

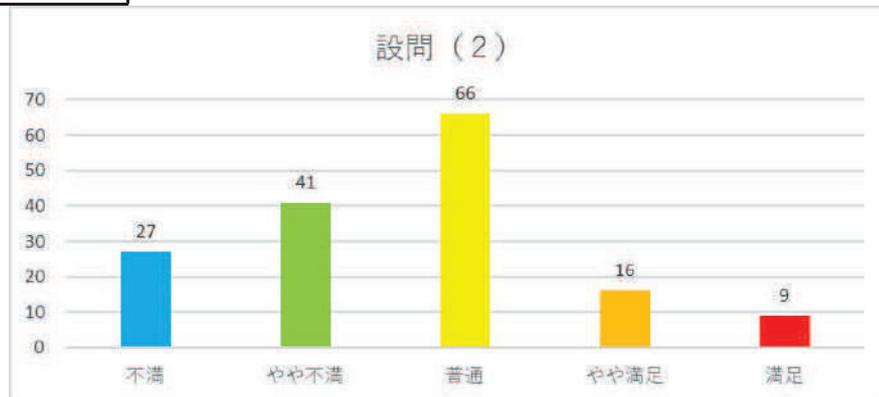
区分	設問(1)
不満	22
やや不満	55
普通	52
やや満足	20
満足	10
平均	2.63



(2) 1-II. 都市未来拠点についての満足度

東海道新幹線新駅誘致地区周辺など圏央道寒川北インターチェンジ周辺のポテンシャルを生かした まちづくり実現に向けた検討

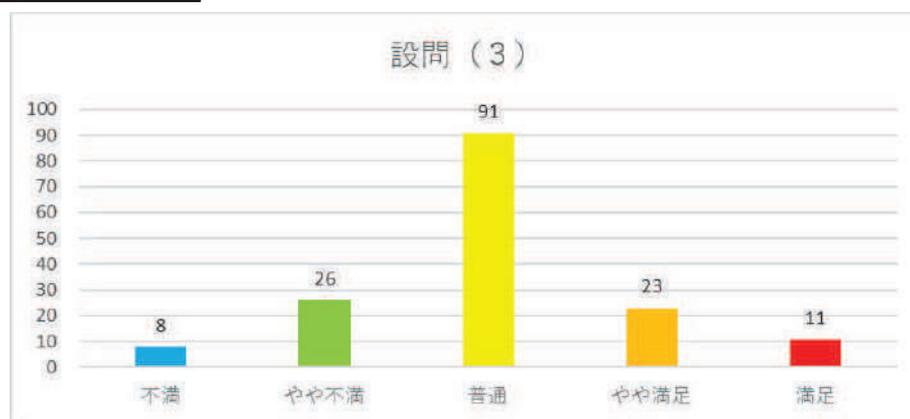
区分	設問(2)
不満	27
やや不満	41
普通	66
やや満足	16
満足	9
平均	2.62



(3) 1-Ⅲ.産業集積拠点についての満足度

圏央道寒川南インターチェンジ周辺で実施されている農地を工業地に転換する取組み

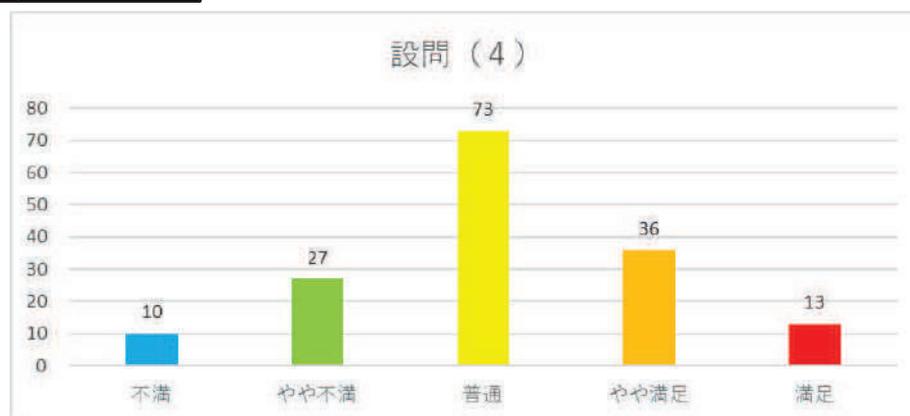
区分	設問（3）
不満	8
やや不満	26
普通	91
やや満足	23
満足	11
平均	3.02



(4) 1-Ⅳ.にぎわい交流創出ゾーンについての満足度

さむかわ中央公園周辺の交流場所、さむかわ中央公園周辺の魅力

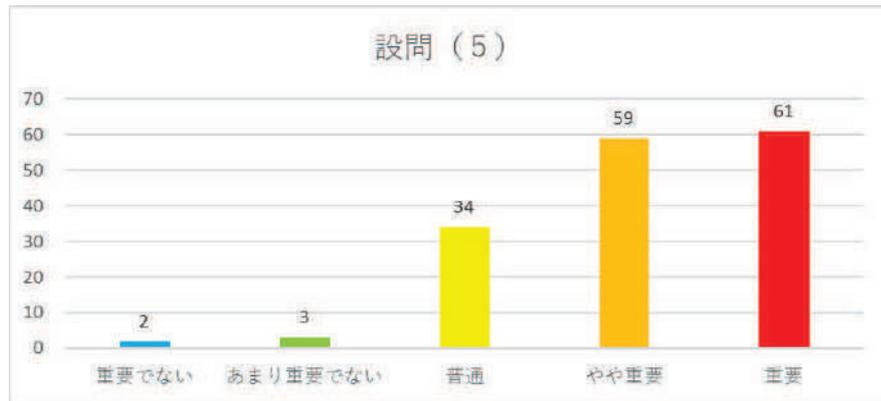
区分	設問（4）
不満	10
やや不満	27
普通	73
やや満足	36
満足	13
平均	3.09



(5) 2-I.生活中心拠点についての重要度

寒川駅周辺の生活利便性、寒川駅周辺の魅力

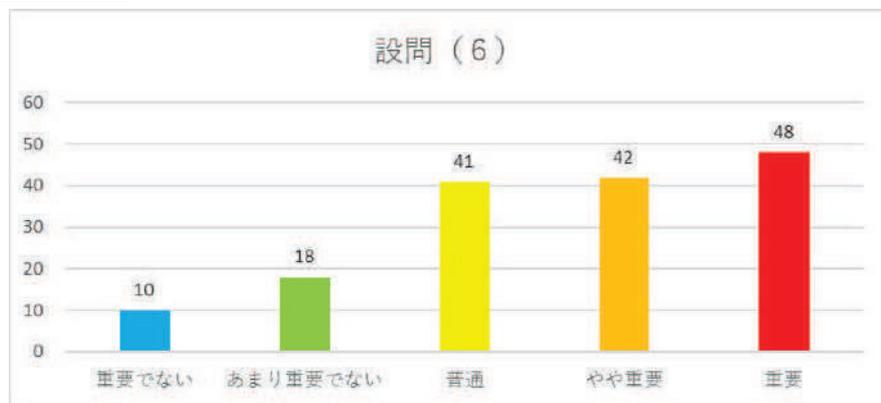
区分	設問(5)
重要でない	2
あまり重要でない	3
普通	34
やや重要	59
重要	61
平均	4.09



(6) 2-II.都市未来拠点についての重要度

東海道新幹線新駅誘致地区周辺など圏央道寒川北インターチェンジ周辺のポテンシャルを生かしたまちづくり実現に向けた検討

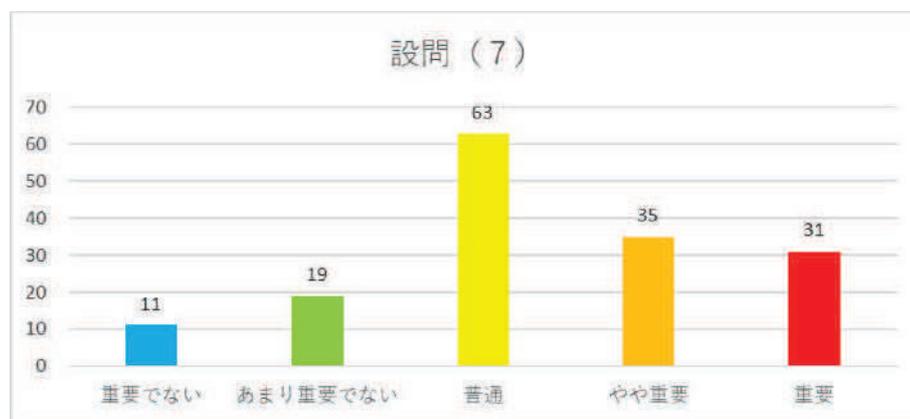
区分	設問(6)
重要でない	10
あまり重要でない	18
普通	41
やや重要	42
重要	48
平均	3.63



(7) 2-Ⅲ.産業集積拠点についての重要度

圏央道寒川南インターチェンジ周辺で実施されている農地を工業地に転換する取組み

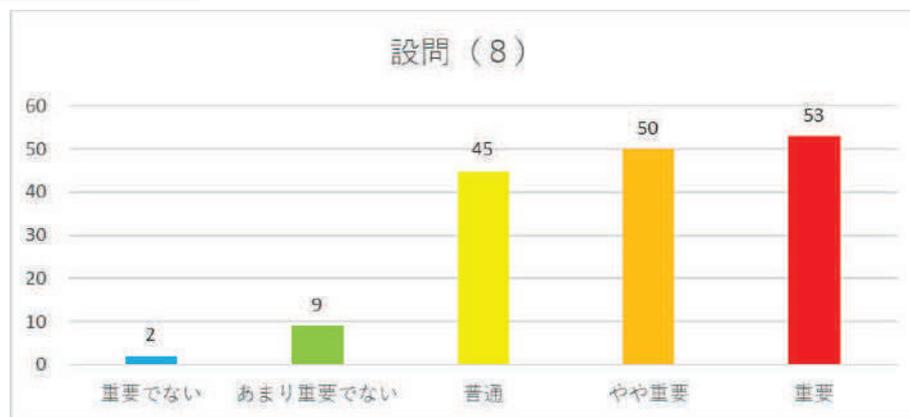
区分	設問（7）
重要でない	11
あまり重要でない	19
普通	63
やや重要	35
重要	31
平均	3.35



(8) 2-Ⅳ.にぎわい交流創出ゾーンについての重要度

さむかわ中央公園周辺の交流場所、さむかわ中央公園周辺の魅力

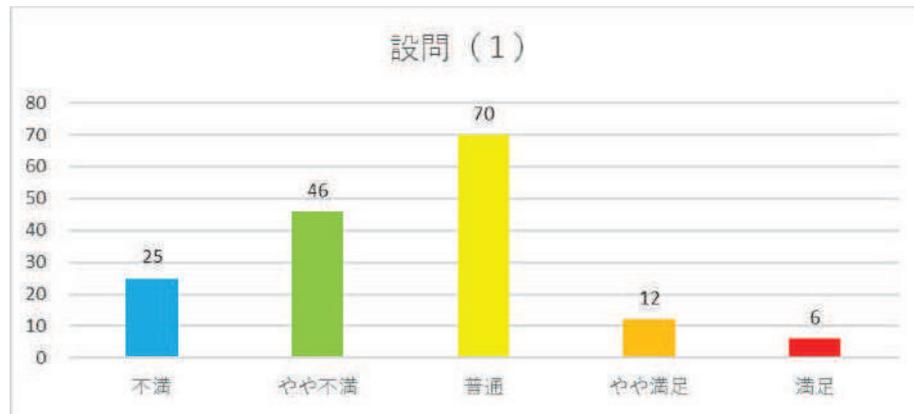
区分	設問（8）
重要でない	2
あまり重要でない	9
普通	45
やや重要	50
重要	53
平均	3.90



Ⅱ.「土地利用」の満足度について

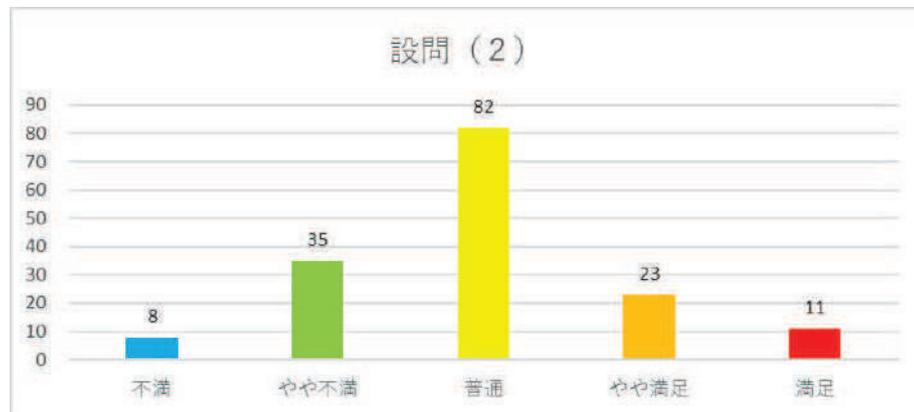
(1) 住宅地内の道路整備についての満足度

区分	設問(1)
不満	25
やや不満	46
普通	70
やや満足	12
満足	6
平均	2.55



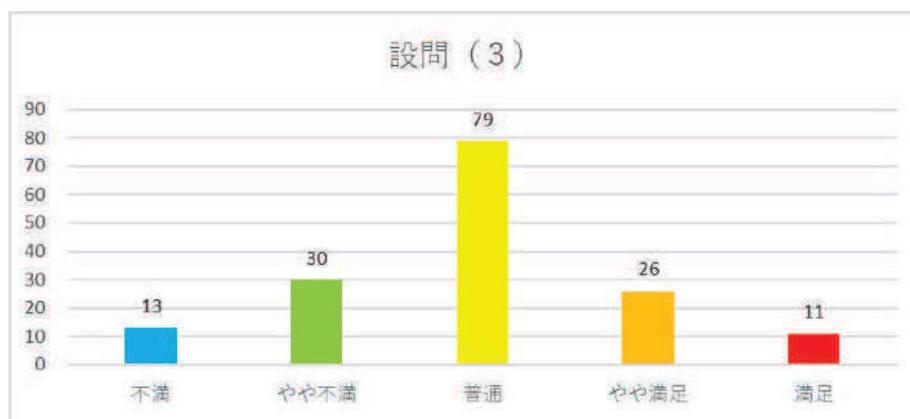
(2) 良好な住環境の形成についての満足度

区分	設問(2)
不満	8
やや不満	35
普通	82
やや満足	23
満足	11
平均	2.96



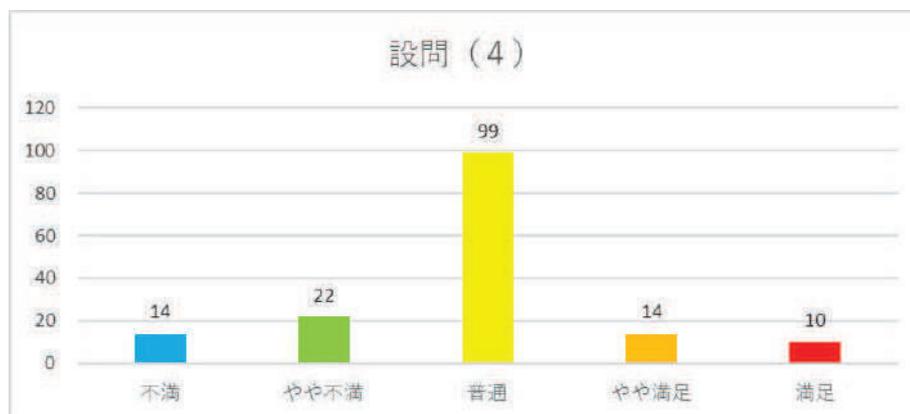
(3) 住宅地内の公園緑地の整備についての満足度

区分	設問 (3)
不満	13
やや不満	30
普通	79
やや満足	26
満足	11
平均	2.95



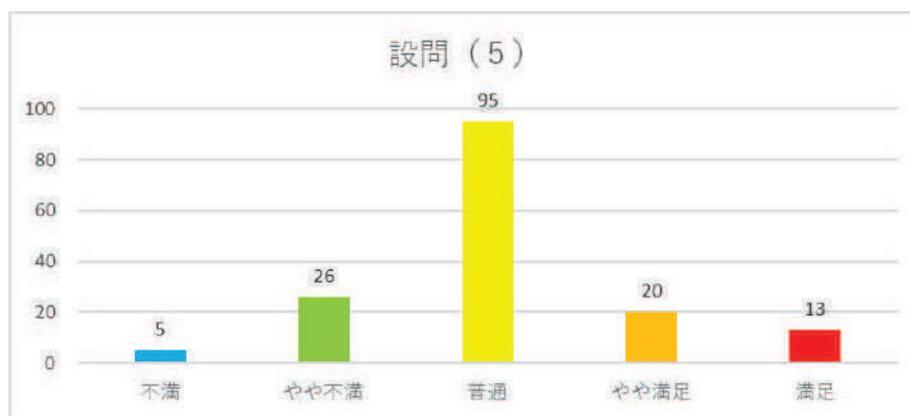
(4) 優良な農地の保全についての満足度

区分	設問 (4)
不満	14
やや不満	22
普通	99
やや満足	14
満足	10
平均	2.90



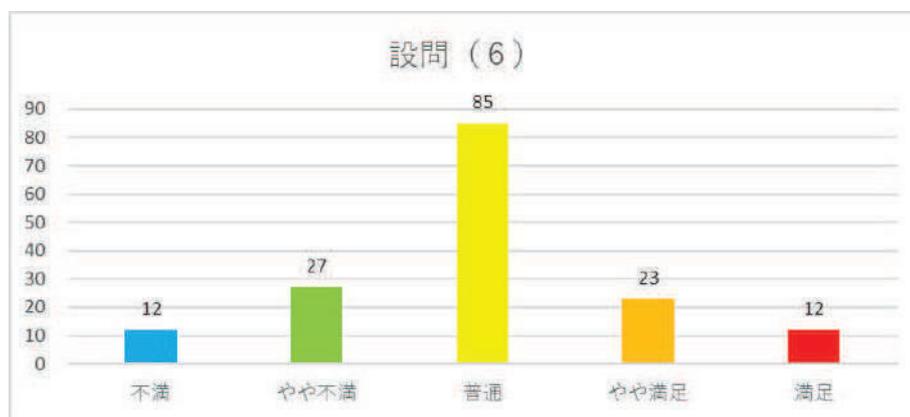
(5) 相模川など河川の水辺環境の保全についての満足度

区分	設問 (5)
不満	5
やや不満	26
普通	95
やや満足	20
満足	13
平均	3.06



(6) インターチェンジ周辺の工業地等土地利用の検討についての満足度

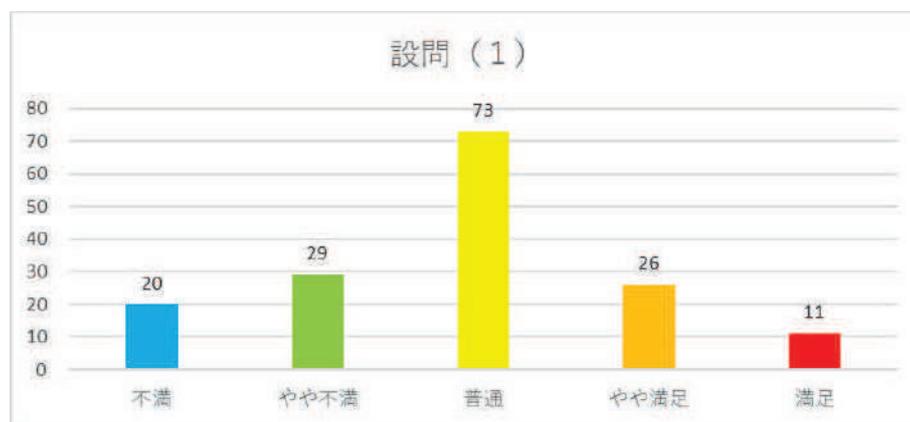
区分	設問 (6)
不満	12
やや不満	27
普通	85
やや満足	23
満足	12
平均	2.97



Ⅲ.「道路・交通体系」の満足度について

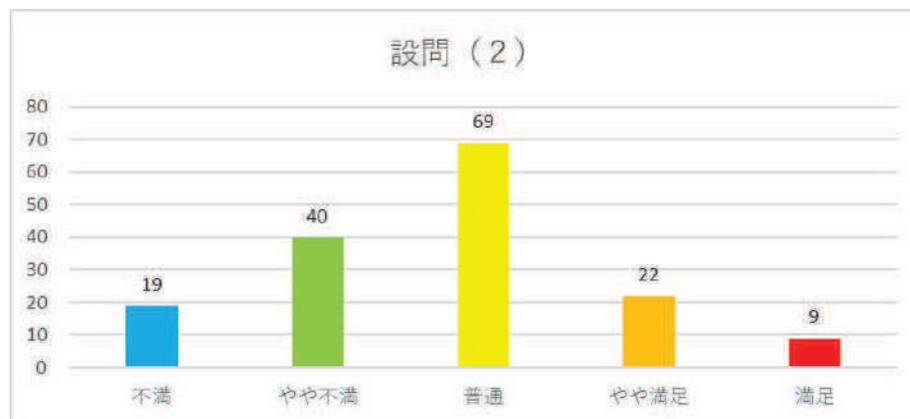
(1) 周辺都市を結ぶ広域的な道路網の連携強化、充実についての満足度

区分	設問(1)
不満	20
やや不満	29
普通	73
やや満足	26
満足	11
平均	2.87



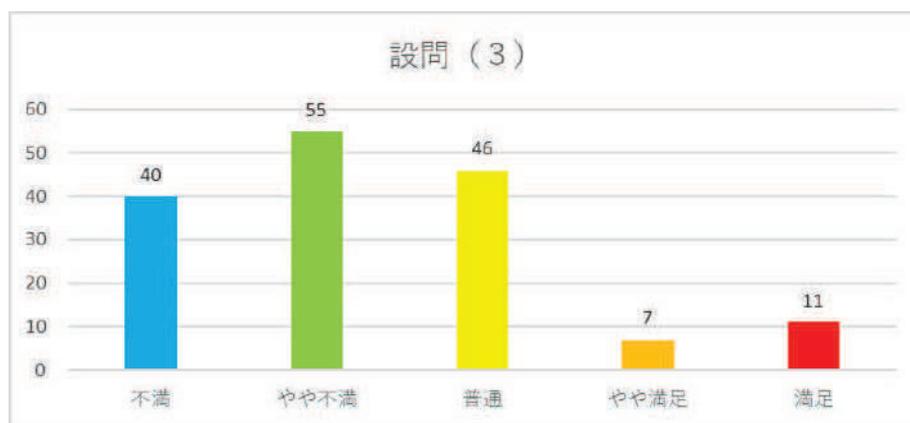
(2) 町内の身近な市街地等における道路網の充実についての満足度

区分	設問(2)
不満	19
やや不満	40
普通	69
やや満足	22
満足	9
平均	2.76



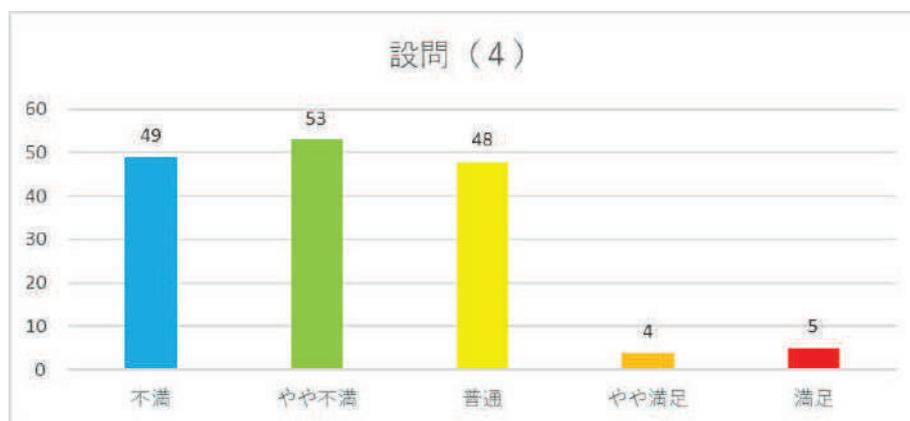
(3) 歩行者空間の整備についての満足度

区分	設問 (3)
不満	40
やや不満	55
普通	46
やや満足	7
満足	11
平均	2.33



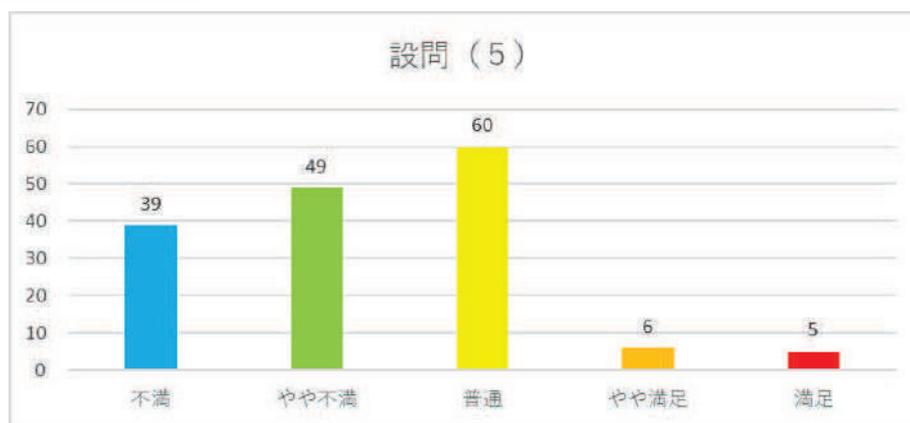
(4) 自転車走行空間の整備についての満足度

区分	設問 (4)
不満	49
やや不満	53
普通	48
やや満足	4
満足	5
平均	2.14



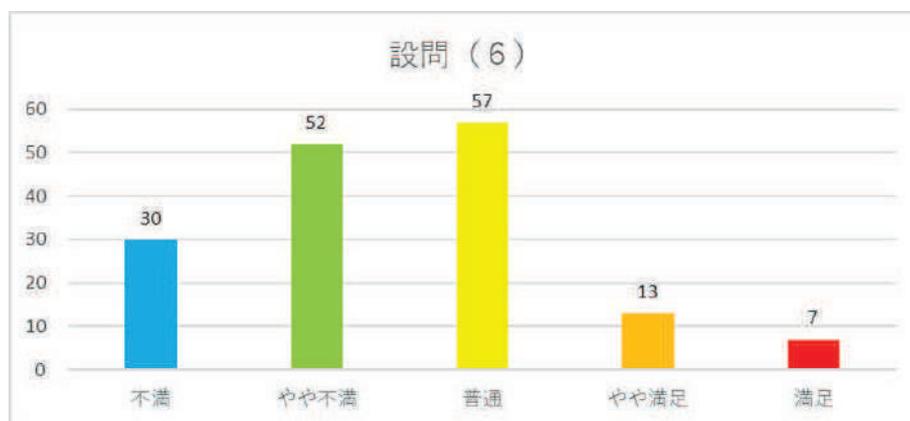
(5) 身近なバス路線の整備、充実についての満足度

区分	設問 (5)
不満	39
やや不満	49
普通	60
やや満足	6
満足	5
平均	2.30



(6) 鉄道駅周辺の利便性についての満足度

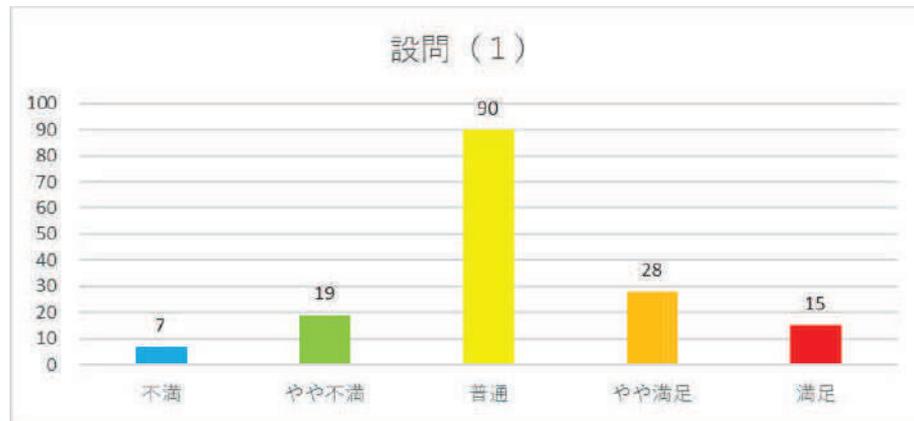
区分	設問 (6)
不満	30
やや不満	52
普通	57
やや満足	13
満足	7
平均	2.47



IV.「環境・景観形成」の満足度について

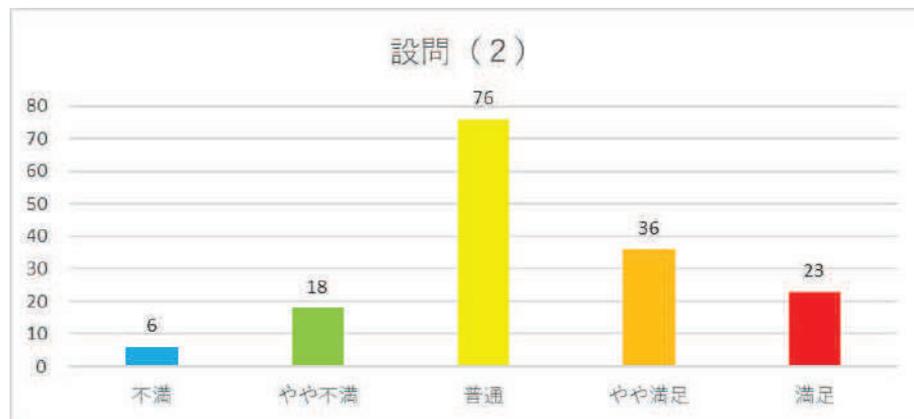
(1) 相模川河川敷の旧堤の活用、みどりの保全についての満足度

区分	設問(1)
不満	7
やや不満	19
普通	90
やや満足	28
満足	15
平均	3.16



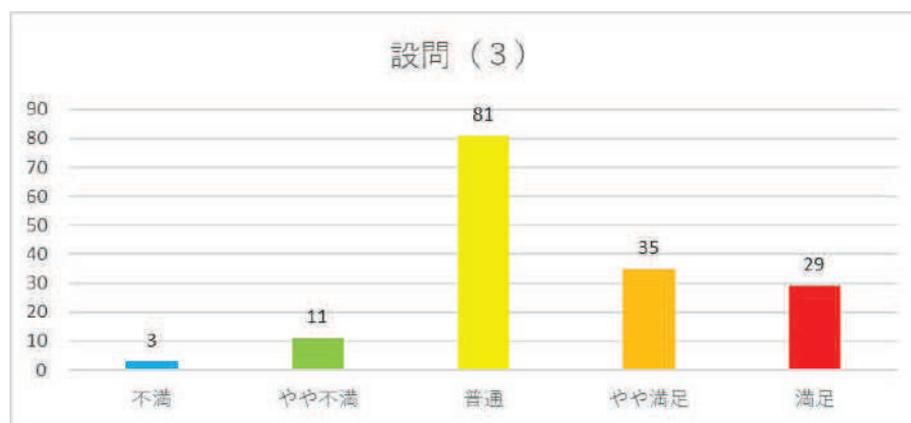
(2) 越の山(岡田地区)周辺や寒川神社参道などの自然環境保全についての満足度

区分	設問(2)
不満	6
やや不満	18
普通	76
やや満足	36
満足	23
平均	3.33



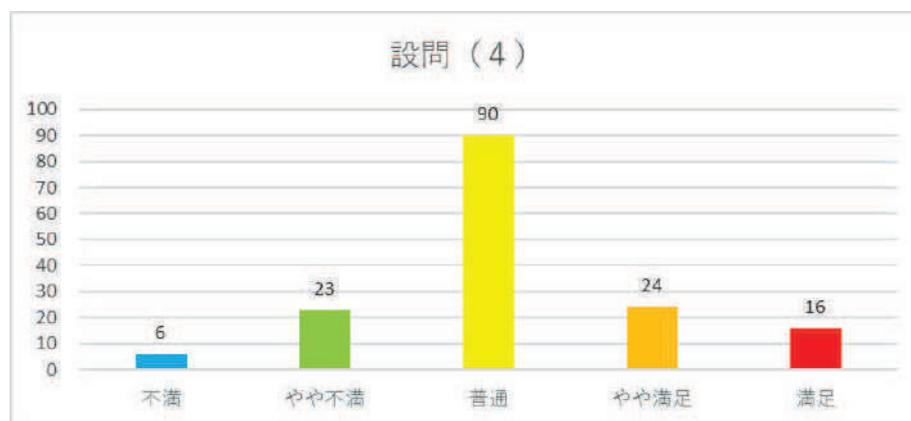
(3) 社寺などの歴史的環境の保全についての満足度

区分	設問 (3)
不満	3
やや不満	11
普通	81
やや満足	35
満足	29
平均	3.48



(4) 個性的な都市景観及び良好なまちなみ景観の創出、保全についての満足度

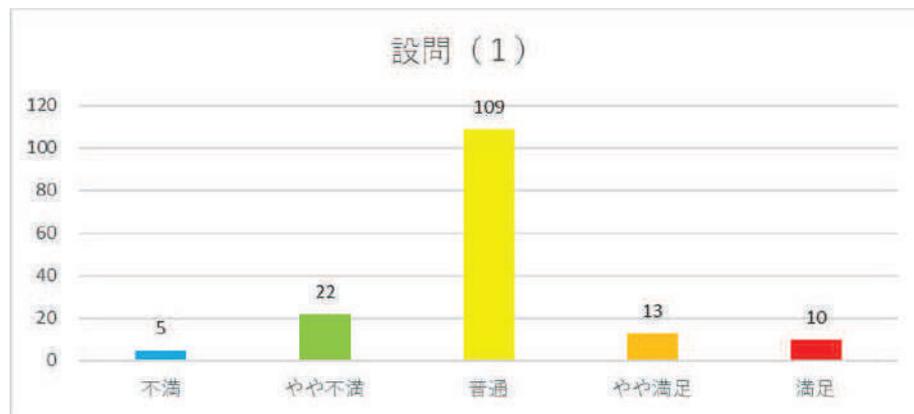
区分	設問 (4)
不満	6
やや不満	23
普通	90
やや満足	24
満足	16
平均	3.13



V.「防災」の満足度について

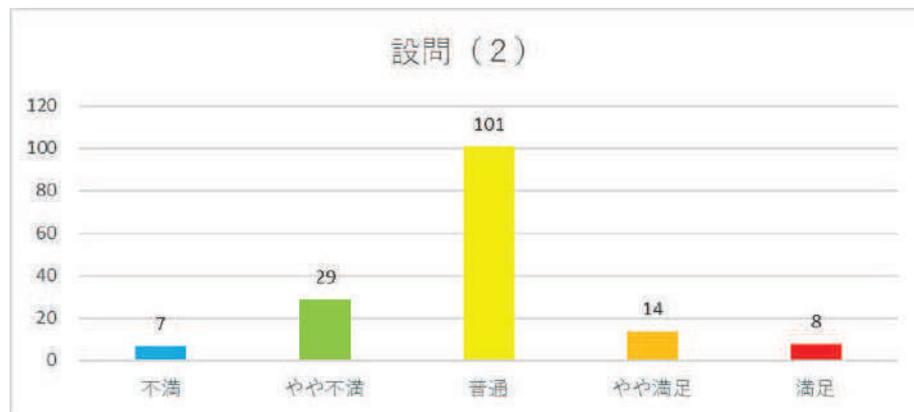
(1) 広域避難場所等防災施設の充実についての満足度

区分	設問(1)
不満	5
やや不満	22
普通	109
やや満足	13
満足	10
平均	3.01



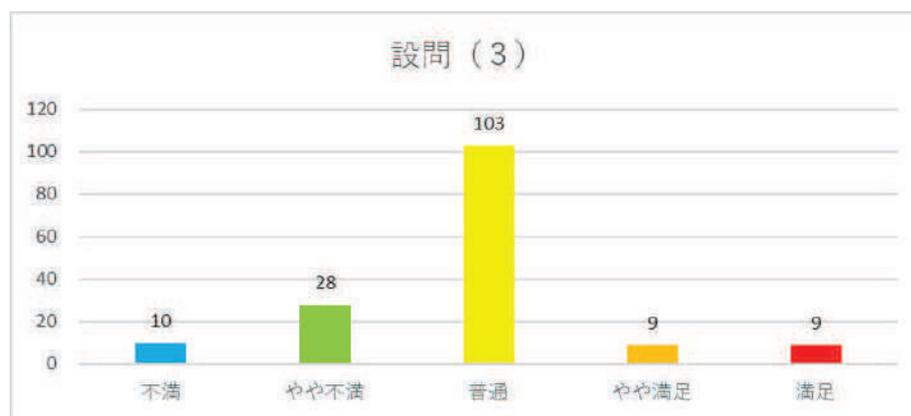
(2) 災害対策の充実についての満足度

区分	設問(2)
不満	7
やや不満	29
普通	101
やや満足	14
満足	8
平均	2.92



(3) 災害情報の共有化、迅速化についての満足度

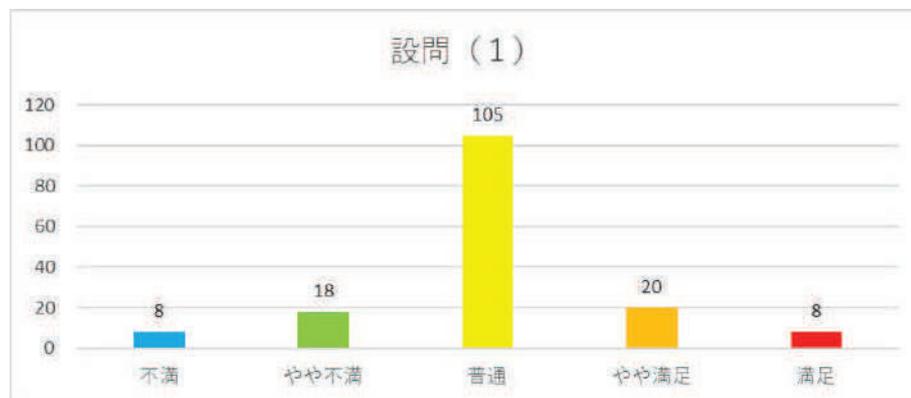
区分	設問 (3)
不満	10
やや不満	28
普通	103
やや満足	9
満足	9
平均	2.87



【「都市づくりの基本方針」に関する事項の満足度・重要度について】

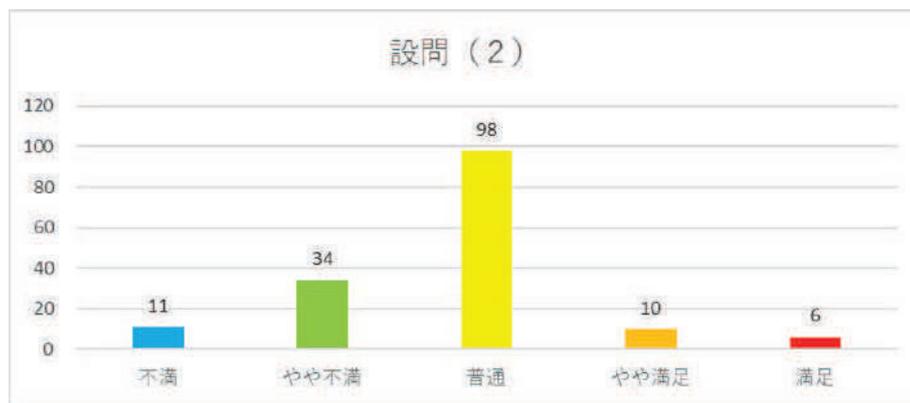
(1) 1-I.「拠点等」についての満足度

区分	設問 (1)
不満	8
やや不満	18
普通	105
やや満足	20
満足	8
平均	3.01



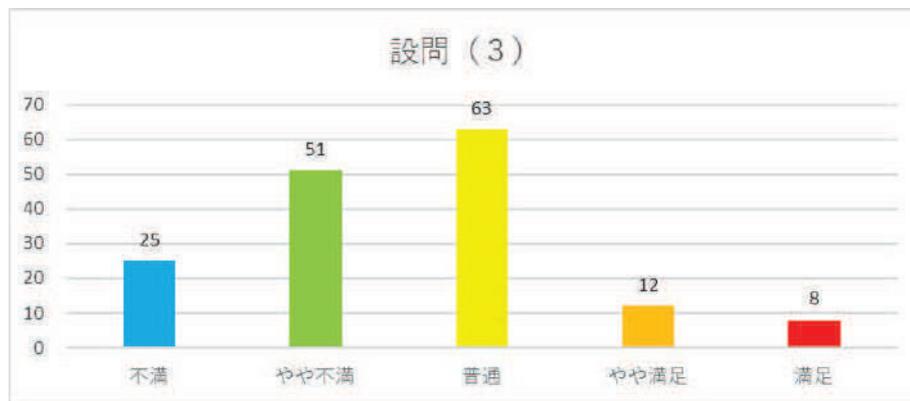
(2) 1-Ⅱ.「土地利用」についての満足度

区分	設問(2)
不満	11
やや不満	34
普通	98
やや満足	10
満足	6
平均	2.79



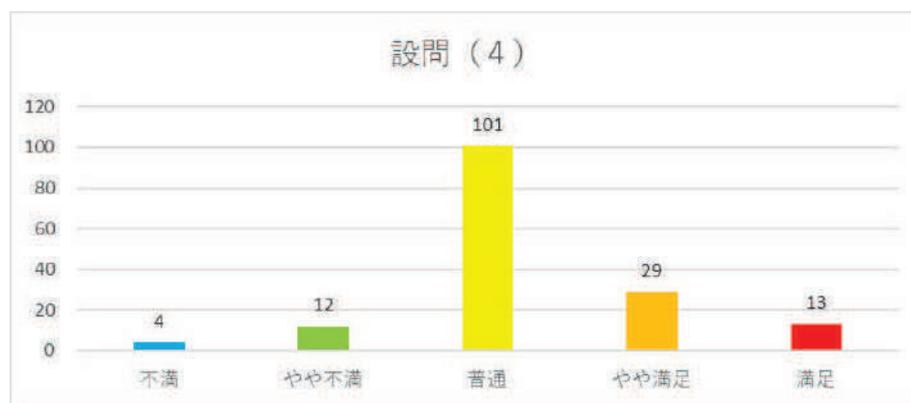
(3) 1-Ⅲ.「道路・交通体系」についての満足度

区分	設問(3)
不満	25
やや不満	51
普通	63
やや満足	12
満足	8
平均	2.54



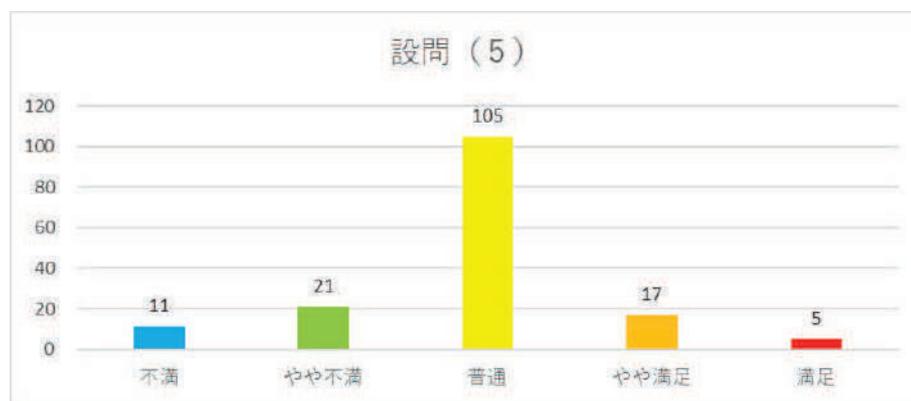
(4) 1-IV.「環境・景観形成」についての満足度

区分	設問(4)
不満	4
やや不満	12
普通	101
やや満足	29
満足	13
平均	3.22



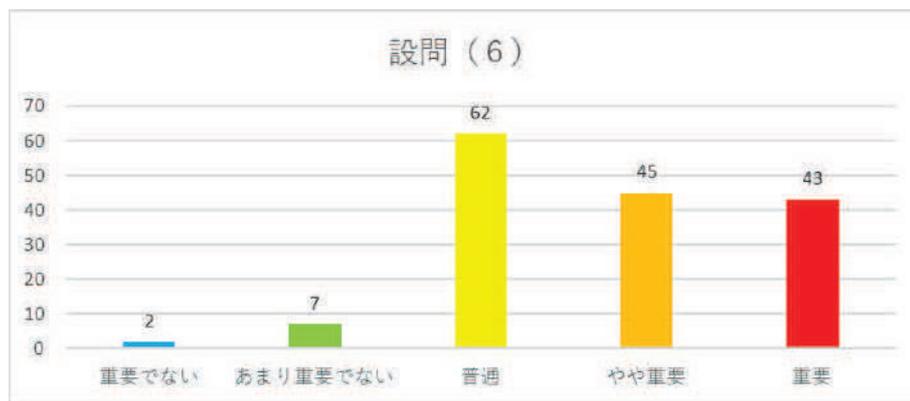
(5) 1-V.「防災」についての満足度

区分	設問(5)
不満	11
やや不満	21
普通	105
やや満足	17
満足	5
平均	2.90



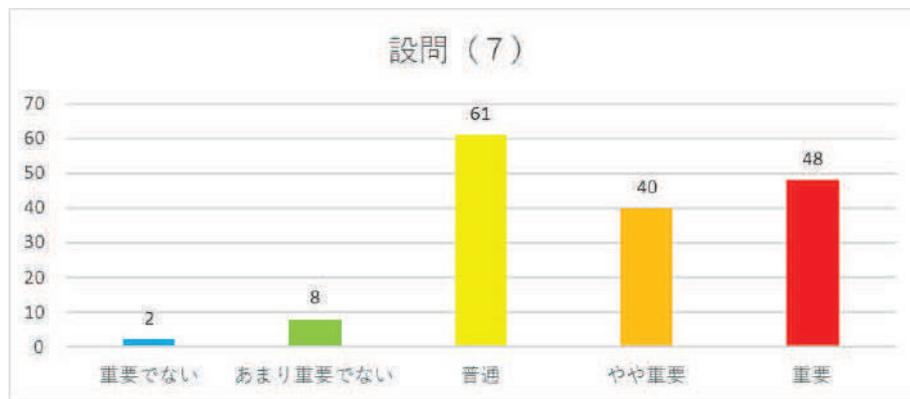
(6) 2-I.「拠点等」についての重要度

区分	設問(6)
重要でない	2
あまり重要でない	7
普通	62
やや重要	45
重要	43
平均	3.75



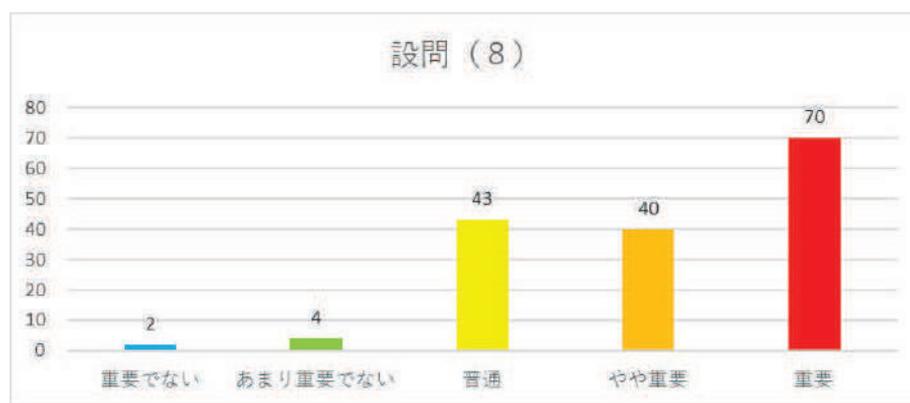
(7) 2-II.「土地利用」についての重要度

区分	設問(7)
重要でない	2
あまり重要でない	8
普通	61
やや重要	40
重要	48
平均	3.78



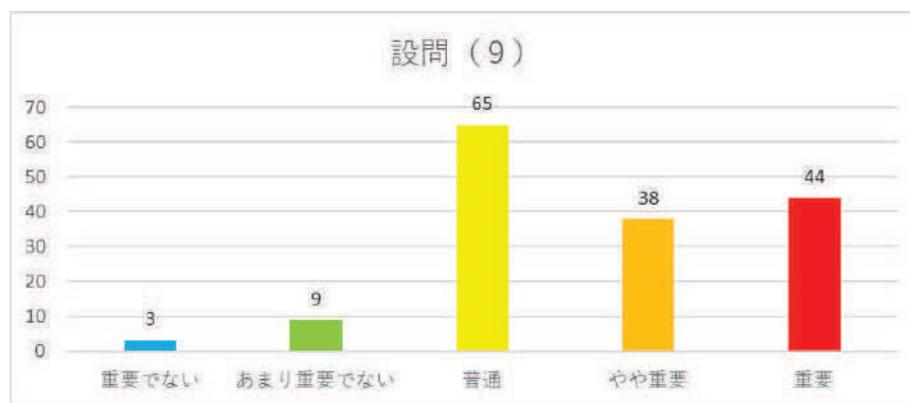
(8) 2-Ⅲ.「道路・交通体系」についての重要度

区分	設問(8)
重要でない	2
あまり重要でない	4
普通	43
やや重要	40
重要	70
平均	4.08



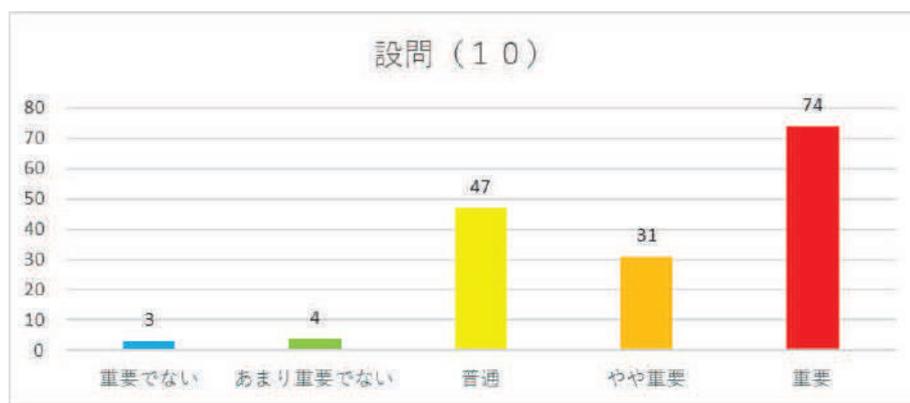
(9) 2-Ⅳ.「環境・景観形成」についての重要度

区分	設問(9)
重要でない	3
あまり重要でない	9
普通	65
やや重要	38
重要	44
平均	3.70



(10) 2-V.「防災」についての重要度

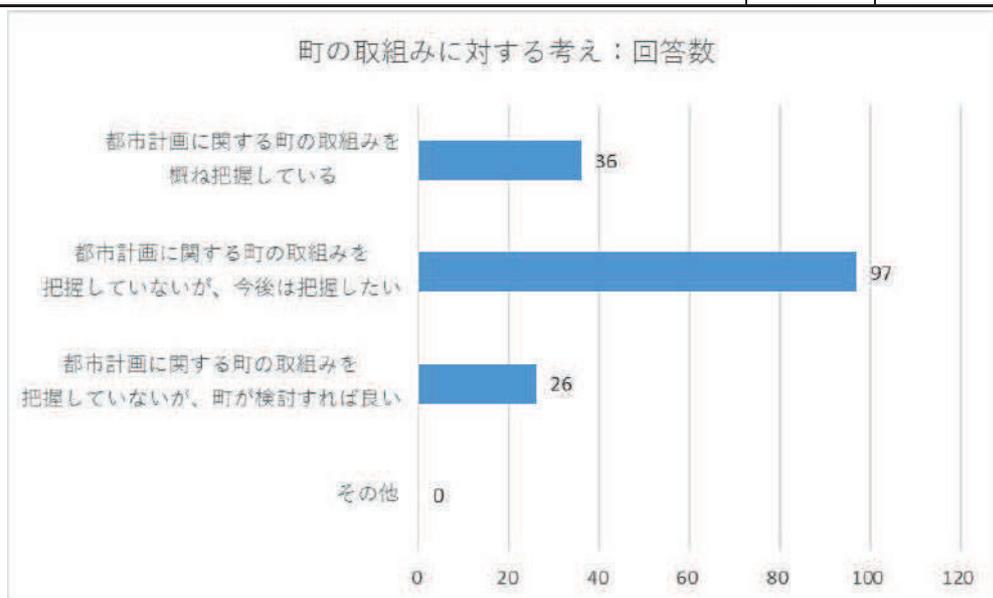
区分	設問（10）
重要でない	3
あまり重要でない	4
普通	47
やや重要	31
重要	74
平均	4.06



【「まちづくりへの参加」に関連する満足度及び今後の意向について】

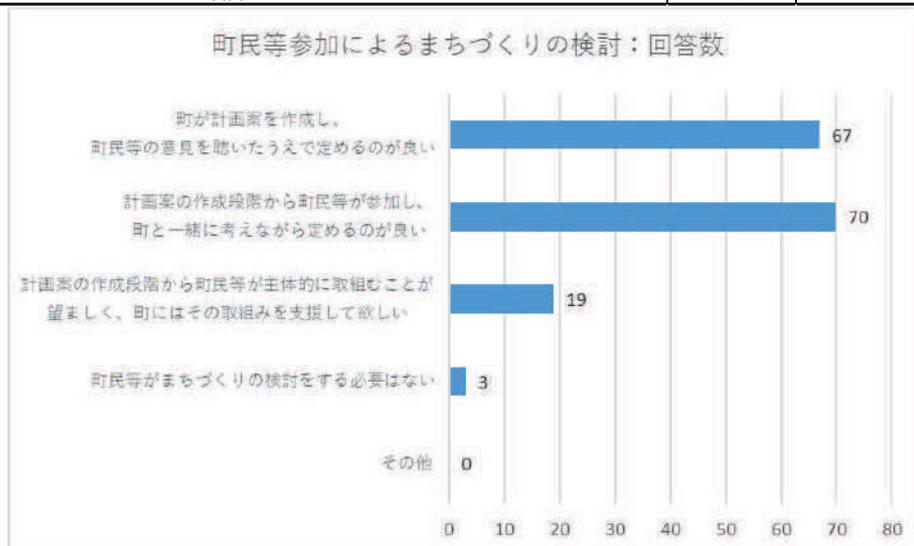
(1) 町の取組みに対する考えについて

区分	回答数	割合
都市計画に関する町の取組みを概ね把握している	36	22.6%
都市計画に関する町の取組みを把握していないが、今後は把握したい	97	61.0%
都市計画に関する町の取組みを把握していないが、町が検討すれば良い	26	16.4%
その他	0	0.0%
合計	159	100.0%



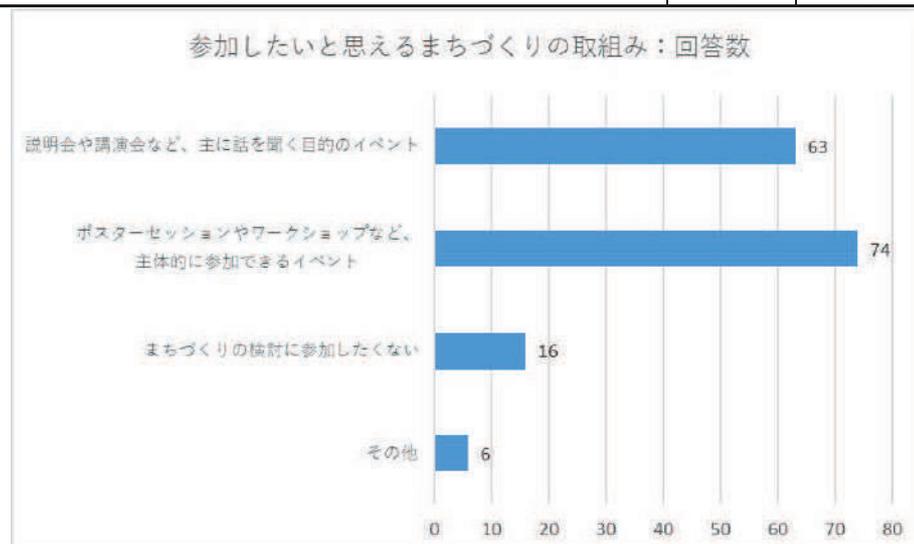
(2) 町民等参加によるまちづくりの検討について

区分	回答数	割合
町が計画案を作成し、町民等の意見を聴いたうえで定めるのが良い	67	42.1%
計画案の作成段階から町民等が参加し、町と一緒に考えながら定めるのが良い	70	44.0%
計画案の作成段階から町民等が主体的に取り組むことが望ましく、町にはその取り組みを支援して欲しい	19	12.0%
町民等がまちづくりの検討をする必要はない	3	1.9%
その他	0	0.0%
合計	159	100.0%



(3) 参加したいと思えるまちづくりの取組みについて

区分	回答数	割合
説明会や講演会など、主に話を聞く目的のイベント	63	39.6%
ポスターセッションやワークショップなど、主体的に参加できるイベント	74	46.5%
まちづくりの検討に参加したくない	16	10.1%
その他	6	3.8%
合計	159	100.0%



4)クロス集計結果について

(1) 毎日の暮らしやすさが感じられるまちの満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(1)	問2-1(1)「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」の満足度						
		回答	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	8	33	71	30	17
問2-1(2)「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」の重要度	重要でない	0	0	0	0	0	0
	あまり重要でない	1	0	0	1	0	0
	普通	26	0	2	21	3	0
	やや重要	42	0	12	19	9	2
	重要	90	8	19	30	18	15

(2) 空が広くのんびりとした環境が楽しめるまちの満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(2)	問2-2(1)「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」の満足度						
		回答	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	2	9	45	60	43
問2-2(2)「空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち」の重要度	重要でない	2	1	0	0	1	0
	あまり重要でない	17	0	3	6	5	3
	普通	36	0	1	24	8	3
	やや重要	49	0	2	9	32	6
	重要	55	1	3	6	14	31

(3) 安全・安心に暮らし続けられるまちの満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(3)	問2-3(1)「安全・安心に暮らし続けられるまち」の満足度						
		回答	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	10	23	68	40	18
問2-3(2)「安全・安心に暮らし続けられるまち」の重要度	重要でない	0	0	0	0	0	0
	あまり重要でない	0	0	0	0	0	0
	普通	20	0	1	19	0	0
	やや重要	37	1	7	14	15	0
	重要	102	9	15	35	25	18

(4) 生き生きと働くことができるまちの満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(4)	問2-4(1)「生き生きと働くことができるまち」の満足度						
		回答	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	9	25	95	17	13
問2-4(2)「生き生きと働くことができるまち」の重要度	重要でない	1	0	0	0	0	1
	あまり重要でない	4	0	1	2	1	0
	普通	49	1	4	42	2	0
	やや重要	51	3	9	30	8	1
	重要	54	5	11	21	6	11

(5) のびのびと元気な子どもを育てられるまちの満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(5)	問2-5(1)「のびのびと元気な子どもを育てられるまち」の満足度						
	回答	回答数	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	重要でない	1	0	0	1	0	0
	あまり重要でない	2	0	0	2	0	0
	普通	34	0	0	32	2	0
	やや重要	39	1	4	21	12	1
	重要	83	7	14	27	24	11

(6) 「生活中心拠点」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(6)	問3-1(1)「生活中心拠点」の満足度						
	回答	回答数	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	重要でない	2	2	0	0	0	0
	あまり重要でない	3	0	0	3	0	0
	普通	34	1	7	22	4	0
	やや重要	59	6	26	17	10	0
	重要	61	13	22	10	6	10

(7) 「都市未来拠点」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(7)	問3-2(1)「都市未来拠点」の満足度						
	回答	回答数	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	重要でない	10	6	1	2	0	1
	あまり重要でない	18	2	6	9	1	0
	普通	41	2	8	30	1	0
	やや重要	42	2	13	20	5	2
	重要	48	15	13	5	9	6

(8) 「産業集積拠点」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(8)	問3-3(1)「産業集積拠点」の満足度						
	回答	回答数	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
	重要でない	11	3	3	5	0	0
	あまり重要でない	19	1	10	7	0	1
	普通	63	0	6	56	1	0
	やや重要	35	0	3	18	14	0
	重要	31	4	4	5	8	10

(9) 「にぎわい交流創出ゾーン」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(9)	問3-4(1)「にぎわい交流創出ゾーン」の満足度			やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	不満				
問3-4(2)「にぎわい交流創出ゾーン」の重要度	重要でない	2	0	0	2	0	0
	あまり重要でない	9	0	1	7	0	1
	普通	45	0	5	34	6	0
	やや重要	50	3	8	18	18	3
	重要	53	7	13	12	12	9

(10) 「拠点等」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(10)	問4-1(1)「拠点等」の満足度			やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	不満				
問4-1(2)「拠点等」の重要度	重要でない	2	1	0	1	0	0
	あまり重要でない	7	1	1	4	0	1
	普通	62	1	2	57	2	0
	やや重要	45	1	7	28	9	0
	重要	43	4	8	15	9	7

(11) 「土地利用」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(11)	問4-2(1)「土地利用」の満足度			やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	不満				
問4-2(2)「土地利用」の重要度	重要でない	2	1	0	0	1	0
	あまり重要でない	8	0	3	5	0	0
	普通	61	0	3	57	1	0
	やや重要	40	0	17	20	3	0
	重要	48	10	11	16	5	6

(12) 「道路・交通体系」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(12)	問4-3(1)「道路・交通体系」の満足度			やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	不満				
問4-3(2)「道路・交通体系」の重要度	重要でない	2	2	0	0	0	0
	あまり重要でない	4	0	0	2	1	1
	普通	43	0	5	37	1	0
	やや重要	40	1	20	10	9	0
	重要	70	22	26	14	1	7

(13)「環境・景観形成」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(13)	問4-4(1)「環境・景観形成」の満足度			やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	不満				
	回答	回答数	4	12	101	29	13
問4-4(2)「環境・景観形成」の重要度	重要でない	3	1	0	1	0	1
	あまり重要でない	9	0	2	6	1	0
	普通	65	0	1	59	5	0
	やや重要	38	1	4	23	9	1
	重要	44	2	5	12	14	11

(14)「防災」の満足度・重要度のクロス集計

クロス集計項目(14)	問4-4(1)「防災」の満足度			やや不満	普通	やや満足	満足
	回答	回答数	不満				
	回答	回答数	11	21	105	17	5
問4-4(2)「防災」の重要度	重要でない	3	3	0	0	0	0
	あまり重要でない	4	0	0	4	0	0
	普通	47	0	0	45	2	0
	やや重要	31	0	7	19	5	0
	重要	74	8	14	37	10	5



参考資料 1

自由記載項目 回答内容一覧

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
1	幹線道路沿線沿道サービス施設の配置など、ふさわしい土地利用を検討すべき
2	寒川神社周辺神社の参道や周辺に美味しい食事やお茶が飲めるお店があると良いです。
3	寒川町北側にも何かがあると良い。 現状だとえびがすぐなので寒川自身に魅力がない。いつも中心部から南側のことばかりで、中央公園以北はなにもないイメージ
4	倉見地区は病院が無さ過ぎる！
5	行政が計画しても住民を引っ張るだけの職員がいないため、知識と能力とやる気のある職員採用が必要不可欠である。
6	場所 防災対策ゾーン 理由 台風などの洪水の際に避難所となっている小学校や中学校が氾濫していることがあり、避難所自体が危険エリアである。事前に防災対策に向いている土地に組織を配置した方が良いかと思った。 また昨年の一之宮の自動車部品工場火災の際に煙が駅前まで流れ多くの町民が焦げた煙を吸い込んだ際に寒川町役場に火事発生の一時間後にテレビでも中継で大きくニュース報道されていたが役場では「工場の火事について役場ではホームページで情報発信はしない」「テレビを見て情報収集してください」との対応であった。せめて町役場からは防災無線やホームページで火災の情報を周知する必要があったと多くの町民からは意見が出ている。 今後の寒川町の防災意識に危機感を持ち、消防署とは別の夜でも迅速対応出来る組織改革が必要と思った。
7	田端周辺の工場の煙が気になることが未だにあります。 空気が綺麗な寒川町になればもっと良いかと思えます。
8	小さな土地面積なのでそんなに拠点や中心地的な考え方はしなくてよいと思う。
9	寒川駅周辺に大型ショッピングモールが欲しい 寒川町にKALDIの店舗ができて欲しい 子育てしやすい町
10	健康促進ゾーン川沿い遊歩道 小谷付近の川沿いは現在砂利道で斜面に柵は無く凸凹しており老人の散歩には危険、自転車は走りにくい状況ですがアスファルトに整備して明るい街灯が設置されたら健康作りに程よいゾーンになるではないでしょうか。
11	寒川神社周りを観光客がもう少し楽しめるように駐車場とかお土産屋さん増やせませんか、 神社ゾーンとして… 名物みたいなお土産も弱いし
12	福祉に関する拠点が重要です。 今後健康管理センターの移転が、計画されていますが、仮の建物に福祉関係のボランティアが利用出来る拠点が、限られる様になると思われます。 拠点が無く活動が制限されると継続が難しくなる団体も多くなると思われます。 是非ご検討お願い致します。
13	新たなゾーン等よりは、生活中心拠点をもっと賑やかにして欲しいです。特に駅周りはいち早く賑やかに明るくなればと思います。
14	海老名市などの小田急線沿いの人口が増加しており、北部地域のまちづくりの重要性が高まっている。 新幹線やいずみ野線、寒川北インター、藤沢市から北インターへの新設道路など、ポテンシャルを秘めている。 寒川町の20年後、30年後を見据えて、しっかり準備をしてほしい。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
15	寒川神社を中心に町外からの集客ポテンシャルはあるのにそれを町の経済活性化に生かしてきていないと思います。 残念です。
16	拠点と言うより交通網や駐車場の整備を！
17	考え方に異論はありません。工業は発展して欲しいし、近場で生活に必要なイベント(買い物や病院)が完結するならば是非進めていただきたいです。ただ、枠の外に住んでいる人はどうなるのか、その人たちは今より不便になるのではないかと感じるためその部分に対する説明は欲しい(コミュニティバスを使うとかで解消されるものではないと思います)
18	誰もが使える場所
19	周辺の市(というか平塚)アクセスの改善を早くした方がいい。橋を早く作って欲しい。 どこの道も渋滞、道が細い等で大型ショッピングセンターが複数あるにも関わらず行きにくい。 寒川町の店にお金を落とすことは勿論必要かもしれないが、周辺の自治体に恵まれているのだから、それを利用するのも手(例えば、ららぽーとやアウトレットにも行きやすいと地価も周辺より少し安いから子育て世代の人口が高まり移住者が増えるかも…?)だと思ふ
20	寒川町は何を目指しますか？ベッドタウンであればもう少し暮らしやすくなるよう道路の整備や交通手段など充実すべき。産業はなんでしょう？中途半端なのではないでしょうか？ 面積が狭い割りに町民が町のことを周知していないように思います。
21	寒川神社の周りに人が集まるような施設があるとちょっと観光客が来るのではないかと。道の駅のような、ご当地グルメなどが食べられるもの。
22	【場所】小谷 【理由】大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い小谷で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべき。避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい。
23	県道46号線は寒川町のメイン道路ですが、46号やそこにつながる道路に物流倉庫が建設され、トラック台数等が増加して交通量が増えている道路事情が悪い、その様な所にぎわいゾーン等作っても町民が安心安全に活用出来るか疑問です。 目新しい事を計画中の様ですが、足下の公園や緑道に絶えず雑草が生えている。その様な場所で子供達を安心安全に遊ばせられるのですか？
24	拠点やゾーンを作ることも重要だが、そこに行く手段(コミュニティバス等)がきちんと作られていないと人は集まらないと思ふ
25	もっと寒川神社周辺を整備して町を盛り上げるようにしてほしい。 遠くから寒川神社に来てくれる人がたくさんいるのに周りに何もなさすぎる。 もったいないと思います。 (寒川神社の周り何もないと他の街の人に言われます)
26	わいわい市場の北側に大きいショッピングモールを造り、川を渡らずに買い物や医療センター等を利用出来るようになると良い。同時に周辺道路を整備してバイパスを作り圏央道の下を通し、東側を宅地開発する。相模線各駅までバス専用道路を循環させる。人気の茅ヶ崎が近いので、移住者は増加すると思う。 市制に移行し、拡大を図る。
27	中心部だけでなく、北部にも、大きな公園 田端にも今のうちに大きな公園 福祉のゾーンが必要である。
28	駅周辺。第3次産業企業の誘致を検討してほしいと思います。第3次産業は都心である必要がいまやありません。町と企業双方のメリットを見いだすことは可能と考えます。あわよくば、高齢者の就業先としても、いままでは町にはあまりなかった職種の雇用の産出を期待します。
29	倉見駅周辺の新幹線駅新設を含めた整備。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
30	<p>拠点化は賛成です 町の財源を得つつ拠点化を加速することが重要だと思います ただ実現化が遅いと感じています 少子高齢化が進む中で町の人口も減少することを想定しなければなりません 計画倒れになりかねない さらに地球温暖化や自然災害のことを考えると駅の周辺には極力ゆとりを持たせる、公園や学校など公共施設、ホテルあたりとして、商業施設や住む場所は駅周辺ではなく町と隣の市の境界周辺あたりを囲むようにした方が、交通網の整備、周辺地区からの集客、すむひとの利便性も計れるのではないのでしょうか</p>
31	<p>一之宮や田端の地域にスーパーなど施設が出来ると嬉しい</p>
32	<p>場所 寺社仏閣 理由 歴史を重視した観光等での町の活性化を図る</p>
33	<p>人口に対して住宅ばかりが増えている、また、高層道路が出来たせいで、利便性は高まったが物流拠点が増えている、もっと、自然や町らしい感じがする地域が必要と考える。</p>
34	<p>今直ぐには思い浮かばない。</p>
35	<p>寒川南インター付近 大きな商業施設、コストコやIKEAなどがほしい 相模線の複線化とスピードアップ、本数の増加、優等種別の運行</p>
36	<p>各学校を交流拠点と考えていってはどうか</p>
37	<p>にぎわい交流創出ゾーンについて、個人的にはわいわい市から寒川神社にかけての田んぼが広がる景色に心いやされることがあり、また、そのことが寒川町に移り住むきっかけとなったので、にぎわいを創出することには賛成なものの、田んぼをつぶして店舗を増やすようなことになるのは嫌だなと思っています。</p>
38	<p>倉見産業道路は店舗充実高いが、駅前の活性化について検討求めたい</p>
39	<p>道路などインフラの整備をしっかりと欲しい</p>
40	<p>倉見駅西側、農地や圏央道下の道路開発を進めてもらいたいです。 圏央道下の平塚から海老名まで早く繋いで頂きたいです</p>
41	<p>寒川町内に病院が少なすぎる為、近隣の市に行かなければならない。 行くためには車がないと不便な事が多々あります。 もっと病院を増やして欲しいです。</p>
42	<p>保育園や学校、病院など。 子育て世帯を呼び込む事で、活性化されると思うが、子育てしやすい魅力が足りない。商業施設は近隣の市で済ませられるが、地域において、必ず利用するのは、学校だったり、保育園だったりする。その施設が魅力あるものだったら、子育て世帯を呼びこみ、町の活性化につながると思う。自然はあるので、あとプラスで教育に力を入れて、町の魅力にして行ってほしい。</p>
43	<p>にぎわい交流はとても良いが、渋滞は一概に喜べない。</p>
44	<p>一之宮地区の荒地を駐車場も余裕で作れるし公民共同の夜間も、対応してくれる医療機関を建設してほしい。 コロナ禍中も以降も内科などは診察券を持って、継続して通院してる患者優先で急患はお断りと私は3件の病院から言われ、仕方なく茅ヶ崎市立病院に行きました。具合悪くしてるのにそんなことがあって良いのでしょうか？寒川神社ばかりにおんぶに抱っこはもう辞めにして町と民間協力した医療機関ができないのでしょうか？</p>
45	<p>寒川神社近辺の活性化 例えば鎌倉の商店街の様な街づくり</p>
46	<p>商業施設を増やして欲しい</p>
47	<p>町民が大勢集まる場所が屋外の公園しかなく、商業施設が無い。</p>

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
48	ゾーンの進捗が何もわからない。
49	農地の工業化はあまり重要と思えない
50	寒川駅東側の農地を工業や商業で活性化すべきだと思う。 (農業は後継者不足だと聞いているので、限界が来ていると思う) 寒川北IC周辺の活性化をするべきだと思う。 せっかくのIC周辺の利便性を生かせていない。
51	ただでさえ過密ダイヤの東海道新幹線に、新駅創設はあまり現実的ではないと思います。 箱モノに公費を負担するのは納得いきません。 もっと住民のために投じてほしいです。
52	倉見地区 寒川が細長いので、遠く離れると仲間意識が持てなくなってしまうから
53	にぎわい交流創出ゾーンの活性化。 にぎわい交流創出ゾーンについては調整区域ということもあり、市街地編入に時間を要するかもしれないが、活性化のためにも土地利用の検討をする必要があると考えます。寒川神社に近いこと・交通量も多い県道が通っていることから、仮に店舗が建てられるようになれば、参拝だけ・公園利用だけ・県道をただ通過するだけから、店舗にお金を使うという付加価値が生まれるのではないのでしょうか。何度も検討されていて無理難題かもしれませんが、より活発なにぎわい交流創出ゾーンになったら嬉しいです。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
1	財政が問題なのか、なかなか計画が進まないのが現実ですね。 あるべく姿は時代と共に変わります。 今いる方の住みやすさも、織り込んで行きたい。
2	インターチェンジ周辺には大きな商業施設を設立するべき
3	町及び議会議員に能力が必要不可欠である。
4	浸水エリアの住民への対応 目指すべき姿 洪水が予想される際は三和やフジスーパー屋上や企業などの浸水を免れる駐車場の一時的解放を望みます。 役場よりスーパーと連携を掛け合ってもらいたい 家の駐車場が浸水エリアの住民、会社にとって事前に車を高台に停めておけば水没を免れる。
5	30年前と比べるとかなり綺麗に美化されていると思います。
6	このままで良い。大きく変えなくて。程よい田舎っぽさが大事
7	相模川付近に行く機会がなく行きたくなるような仕掛けもないしどうやって河川敷に行くかも分からない、川の近くで遊んでみたいけどよく分からない、水辺環境が楽しめるような情報が昔から入ってこない…
8	藤沢市からの道路は自動運転がバンバン走るような道路に設計してほしい。 人口減少社会を見据えた土地利用を考えてほしい。持続可能なまちづくりのためには、子育てや教育にお金を使うより、関係人口 や交流人口を確保して、いかにお金が地域に流入するかを考えて土地利用してほしい。
9	ドッグランがほしい
10	町内にはインターが2箇所もあり利便性は高いと思いますが町長をはじめとした行政側の企業誘致活動の熱意が感じられます。 これでは町も発展しないと思います。
11	町に本屋さん スポーツショップ的なお店が無いのが 切ないです ちと 土地利用とは違うかもですが。。
12	不用な農地等の活用方法、処分売却方法など町としてもっと教えてほしい。さむかわの人は土地をたくさん持っている。
13	家を建てすぎているように思う。高齢化で人口が減っているのに、そこまで新築の家が必要なのか。改めて考えて欲しい。
14	空き家がないようにする
15	一之宮公園は死角になるところが沢山あり危険がいっぱい。 公園が完成してから30年以上がたったが手入れされてないところがたくさんある。 もう少し子どもの安全、遊びやすさ等配慮が欲しい
16	台風などでの河川氾濫は、いつ大災害となってもおかしくない状況です。数年前の台風のように氾濫の危険も起こっています。相模川の寒川側の堤防関連工事を早急に行うよう、国県や地域にゆかりのある大臣に働きかけてもらいたい。
17	公園は小さいものがたくさんあるが、公園の数だけ稼ぐためなのか？如何せん遊具がない公園が多い。 大きな公園でたくさんの遊具があれば子どもたちも飽きずに過ごせると思う
18	ストリートスポーツの利用者はどの程度を想定しているのでしょうか？ 分かりづらいです。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
19	<p>人が集まるような施設が欲しい。</p> <p>寒川には寒川神社しかないと言われるし、寒川は知らなくても神社は知ってる人はいて、他にも目的地となるような場所を作った方が活性化するのではないのでしょうか？</p> <p>新幹線の新駅ができて、乗り降りするだけの一時利用するだけの駅になってしまいそう。</p>
20	<p>川とのふれあい公園</p> <p>トイレ、駐車場、神川橋からの歩行者アクセスなど改善し利便性を向上させるべき。</p>
21	<p>寒川町は元々、農業の町です。休耕地が増えています。都会に近い田舎と、もっと農地を活用出来る事を検討したらどうか。</p>
22	<p>場所：旧東洋通信機の敷地</p> <p>理由：倉庫ではなく、公園や、学童に落ちた子等の放課後に過ごせる場所。共働きだと学校の長期休暇の時に、安全に過ごす場所がない。</p> <p>室内のスポーツができる場所が少ない。アリーナを利用しようとしても予約が入っていて気軽に使用することができない。</p>
23	<p>一之宮にスーパー、コンビニが無い為不便。環境はとても満足しているが、これから高齢になるにつれ買い物ができる場所が近くにないと不安。</p>
24	<p>工業用地にすると、大型トラックが増えて住民にとっては交通渋滞、通学の子供達も危険度が増すと思います。町全体も大型の倉庫のような建物が増えるとあまり景観も良くない。</p> <p>倉見の新幹線新駅の計画の場所と宮山インターが近すぎてあまりトラックが増えると将来的に倉見の新駅は活気のある明るい駅にはならないような気がします。</p> <p>今のうちに産業道路のトラックが多い道路とは別に道路を作り飲食店などの店が多くなるようにするなどして、人が集まる明るい町になって欲しいと思います。</p>
25	<p>寒川北インターから東で海老名市の境界迄のところまで工業団地を造成する。空いた跡地を宅地農地にする。</p> <p>散乱している農地、住宅、大型トラックの駐車場等を整理し、商工農住にメリハリをつけること美しい街並みを作る。</p>
26	<p>ドラッグストアの建設ばかりでなく大型スーパーや商業施設があると移住者が増えて高齢住居が新しい世代へと繋がっていくと思います。</p>
27	<p>公共施設の拡散</p>
28	<p>食料の自給率を上げるために農地を大切にしてほしい。</p> <p>今は米やその他の食品が高額で困ってます。</p>
29	<p>河川岸。歩道、サイクリングロードを整備し、利用者が増えると雰囲気良くなると思います。</p>
30	<p>全町域に言える事ですが、自然を残す地域と産業開発を優先する地域のメリハリがもっと必要だと考えます。</p>
31	<p>一次産業の労働人口が高齢化しているのだから、小規模事業は立ち行かなくなる</p> <p>田畑、果樹園、花卉園芸場所などが分散化しているので町が指導しながら、集約化や企業参画を促し、今後の近郊農業の先駆けとなるような土地の利用法を検討して欲しい</p>
32	<p>商業施設が多くなるとよい。</p>
33	<p>静かな町を作って欲しい、高齢社会に合わせて、公園や病院、介護施設などを集約化したモデル地域があれば、近隣市内からの人の流入があつて、街としても発展するのでは。</p>
34	<p>広報にて進捗報告をマメにして欲しい。</p>
35	<p>大きな商業施設がほしい</p>

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
36	車以外の、歩行者、自転車、車椅子などが安心して道路を移動できるための配慮が進んでほしい 歩道はあっても狭く、車が通るための傾きが多くて、小さい子の自転車や車椅子では危なかったり不便だったりが多い
37	河川が多く流れる町なので、見た目の環境はよいのですが、大雨時に内水氾濫が起きたり、目久尻川、小出川が氾濫したりしないか、心配しています。
38	町民が交流できるような公園を増やして欲しい
39	土地が有効に使えるて、便利になりていいですね
40	学校の統合の話がでていますが、登校に片道1時間近くかかる子どもたちが出てくるのでは？と思う事があります。 小学1年生が毎日登校に1時間近くかかっていたら、あまりにも酷だな、と。 統合するならスクールバスの運行まで検討する余地はありますか？
41	空いている農地、家屋。 高齢化に伴い、空き家、空き地が多く、活用しきれていない。 持ち主が亡くなって、親族と連絡が取れなくなる前に土地を有効活用できるように、進めて行ってほしい。
42	災害時の避難場所を増やす等
43	河川周辺を散歩しますが、夏になると草が生い茂り歩けなくなります。
44	緑があるところは守るべきだと思う
45	荒廃地や遊休農地が増えているので、工業や商業用地として転換できないかを検討した方がいいと思う。 寒川町は立地がいいので、その利便性を生かしたまちづくりに転換する時期に来ていると思う。
46	不法投棄が無くなるような土地利用を期待したいです
47	比較的大きい空き地が宅地分譲やアパートになっているケースが多いです。 都市計画法や開発指導要綱を守っているため抑止することは不可能だと思いますが、診療所を建てるなど住民のニーズを叶える土地利用が出来たらいいなと思います。 行政がどこかに肩入れというのは難しいですが、金融機関の一部担当者は、土地を探している個人・法人をデータとして整理しているため、連携することが出来ればより良い土地利用が出来ると考えます。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
1	<p>相模線は本数が少ない 自転車と自動車が共存するには道が狭い (道路・交通より防犯にカテゴライズされるかもしれないが) 街灯が少なく冬場はとても暗い。信号のない横断歩道が多くなかなか車にとまってもらえず横断できない。歩行者が渡っているのに平気で右折左折してくる車が多い印象で(街灯が少なく見えづらいせいもあると思うが) 交通ルールを守られていない車が多く感じる。 とても子どもと暮らそうとは思えない。</p>
2	<p>冠水する場所が多いです。 通勤に不便すぎるため、早期対応願いたい。</p>
3	<p>バスは子供が使う時間帯がなく、通勤時間帯にも使いにくい。 お年寄りも病院や買い物には使いづらい。 誰もが生活しやすい交通機関になると嬉しい</p>
4	<p>運転免許返納の時に、たった1年間仕用のタクシー券が貰えるなら、コミュニティバスの回数券を作って下さい!</p>
5	<p>駅に向かう交通手段が必要不可欠である。</p>
6	<p>駅や主要な施設などへアクセスしやすいよう、バスなどの交通網がもう少し充実してくれると暮らしやすいと思います。</p>
7	<p>コミュニティバスの夕方から夜の本数を増やす 夕方5時前にバスが終わるので夜8時まであればありがたい。 夕方以降の利用者希望者が実は多い。 またコミュニティバスが走っているだけで町内の防犯効果がある。</p>
8	<p>電車バス等の交通機関が不便ですが、昔と比べるとかなり便利になってると思います。 しかしながら、不便を感じ車生活になってます。</p>
9	<p>普段特に渋滞するわけでもないし 圏央道の有り難みを実感できているので このままで良いです</p>
10	<p>町内全体的に道路が狭く歩道や自転車専用レーンなど無いため必要。また、駅南口は迂回路を作るも、雨の日など迎いの車で溢れていて非常に危険である。北口と対照的であるため改善を望みます。また、都市機能としての位置付けをしている各拠点を結ぶ交通手段を今後検討していくべき。例えば各拠点にシェアバイクやループのステーションを作るなど今後検討も必要。</p>
11	<p>歩道駅前以外の道路は全般的に夜道が暗いので街灯を増やしたり道に埋め込む様なライトを道という道各所に設置するなどして明るく安全な町となると良いです。</p>
12	<p>元々住民利用者数が少なく、ラッシュ時にも1時間に3~4本の運行では、満足度の土壌に上がることも出来ないと思います。</p>
13	<p>・ 旭ヶ丘中学校に登校するために小学校から続いている通学路の歩道が狭い、自転車も非常に走りにくい ・ 家族が平塚に通勤しているが平塚まで行けるバスがない、ツインシティが進めば行きやすくなる? とにかくバスがない、茅ヶ崎駅まででもいいからうちの近くのバス停から朝乗りしたい ・ 相模線が単線でとにかく本数が少ない、東海道線との乗り合わせが悪いと地獄</p>
14	<p>歩道、自転車道 もう少し広くなると安心して通行できると思います。 乳母車等が通れる様に。</p>
15	<p>学校の通学路や幼稚園などの通園路、散歩道の安全性を向上させるべきだ。目にあまる危険性があります。</p>

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
16	<p>自転車は軽車両扱いですが、そもそも車道が狭いところが多く成人でも危ないため歩道を走らざるをえないので、十分なスペースを確保して欲しい。</p> <p>1月は寒川神社の参拝客で周辺の道路が混み合うのは仕方がないが、昼夜問わず路駐がひどいため警察と連携して交通整備をするなど繁忙期だけでも改善して欲しい。</p> <p>これに関連して相模線も混み合い本来であれば乗れるはずの電車も乗れないことが増えてしまったので鎌倉市の江ノ島線のように町民は優先的に乗車できるようにするなど町民に対する配慮などもして欲しい。</p>
17	歩道整備が他の市町村より遅れていると感じています。
18	駅前には駐車場があれば！と思う
19	駅周辺の魅力が低いので、商業施設の誘致などで魅力を挙げてほしい。
20	歩道の整備、電灯設置に力を入れてほしい。
21	県道45号線は車道を走る自転車を追い越すのが困難。歩道が狭すぎるため自転車は歩道を走れない。大型車の往来が多いため、早急な対策は必要と感じる。
22	道が整備されていない場所が多い 相模線の本数が少ない
23	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車は、歩道を走るには歩道が狭すぎ、車道を走るには車道の端が凸凹すぎる。車がスピードを出していても狭く危険な区間（変電所から寒川中学校まで、一之宮小から神川橋までなど）だけでも、歩道の広さ改善または車道端の路面の改善をしてもらいたい。 ・車道のひび割れなどを舗装するとき、ひび割れ箇所のみを修復しているので、車と自転車が走る部分が凸凹すぎる。特に自転車だと、転倒して、車にぶつかりそうになったこともある。舗装する方法を改善すべき（特に南小の西側に南北に走っている道路が、路面の凸凹がひどい）
24	全体的にどこも道がとにかく細い。こどもを安心して歩かせられない。
25	<p>【駅南口の道路】</p> <p>南泉寺を通る道路は歩道もなく、朝は多くの車と高校生が通勤、通学している。道幅が狭く車がすれ違わず、端に寄せているので雨の日は歩けない。</p> <p>南口の道路は幅員も狭く、車も多いので安心して歩けるようにしてほしい。</p>
26	<p>道路が狭いのに自転車の規制ができ不満を感じます。</p> <p>歩道に家の木？街路樹などがはみ出している町民のモラルに疑問を感じます。</p>
27	<p>自転車が通行できる道路ない。</p> <p>工場も多く大型の車が通るため怖くて車道は走りにくい。</p>
28	<p>交通量が多い通りで歩道が無いや狭いといった道があちこちにある。</p> <p>地域によってバスの本数がかなり少ない、小さくても本数を増やして欲しい。</p>
29	平塚との公共交通機関でのアクセスを可能にする
30	寒川駅から役場付近は歩道も有りますが、一歩外れると道幅も狭く大変危険な状態です。歩道を確保出来る道幅にして欲しい。
31	<p>相模線複線化</p> <p>小谷方面から茅ヶ崎駅行き</p> <p>茅ヶ崎駅から小谷方面行きのバス本数増便</p>
32	<p>駅前を広くとり、バスロータリーを作ることは必須。</p> <p>駅が町内に3駅もあるので駅との繋がりをメインに横の移動を考える事が必要。</p>
33	<p>東西への移動</p> <p>南北には鉄道やバスが走っており利便性が確保されているが、東西の移動(湘南台,横浜方面および平塚,厚木方面)についてはほぼ皆無に近く自家用車以外では手段がない。県の中心地の横浜や隣接している平塚,厚木あたりへの利便性が良くなれば魅力的になるのではと思う。</p>

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
34	相模線の本数が少なすぎて非常に不便
35	主要道路が混雑すると、住宅街の道路を使用する車が増えスピードを出して走る車が多く危険なため混雑しやすい場所の歩行者、車両の信号の順番を変えたりすると良いかと思います。
36	南部のコミュニティバスは、小さくて、乗るのを躊躇する。利用者が少ない一因だと思う。せめて小さいバスサイズにしてほしい。
37	自転車が歩道を通ると歩行者が危ないし、車道も危ない。 もっと安全に走れるとよい。
38	歩道が狭い。バスは隣接する他市町村に相互乗り入れしてほしい。
39	相模線沿線以外の地域はほぼ自転車か徒歩、自動車移動になるので、歩道の積極的設置など徒歩、自転車移動者と自動車の事故を減らす取り組みを推進したほうが良い。
40	とにかく不便 相模線一本であり、朝夕はひどく混む、他の路線にアクセスできるのはバスでこれも海老名行きのバスのみでこちらも本数が少なく、停車数が多くて時間的に不便湘南台駅にもアクセスできれば良い 駅に向かう道路も狭く、道幅も狭い 自転車も気をつけて通らないと危ない 自転車が悪いのではない！道路整備が悪いことも忘れてはならない 理想的な交通モデルをつくり、トライしてみるのが良いと思う
41	高齢者にも住みやすくするため、電車やバスの本数を増やして欲しい
42	道路が狭く混みやすい
43	住宅地の道路は狭くてすれ違いも出来ない、主要な道路も、歩道が取れていない場所もおおく、健康促進のために歩いて楽しい町になっていないように感じる。
44	車社会には役場周辺や駅周辺での駐車場整備は充分では無いように思いました。
45	相模線の複線化 スピードアップ 優等種別の運行
46	相模線の本数が増えてほしい 各駅だけでも複線化できたらもっと走れそうなのに
47	鉄道は非常に便利だと感じています。 バスも昔に比べて路線が減っていますが、コミュニティバスなどで補ってくださっていて、助かります。 個人的には、海老名行きのバスを重宝しています。
48	[コミュニティバスのルートについて] 利便性（高齢であっても自家用車がなくても行動範囲を拡げられる）や利用率向上のため、「隣接市のコミュニティバスとの連携」「停留所の増加（寒川駅から徒歩10分圏内に居住しており、今は問題なく歩けますが、高齢による歩行困難や悪天候時を考えると、現行のルートのみでは不便です）」「北部福祉会館等公的施設の停留所の設置」
49	自転車道が欲しい。
50	道路がデコボコ過ぎる、もっと整備して欲しい
51	倉見駅前の道が狭いのに乗用車のスピードが早いので歩いているとぶつかりそうで怖い。 物理的にスピードが出なくなるような道路になってくれたら嬉しい。
52	もっとバス路線が広い範囲になり本数も増えるのが理想だが、利用者が少ないのが現象なので、考えるべきところだと思う これから先老人が増えるので高齢者が利用しやすい福祉タクシーなど有れば良いと思います。
53	JRの本数が少ない気がします。 歩道があったかと思えば、突然なくなる場所が多いですし、ガタガタとしている道が多いです。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
54	コミュニティバスの拡充。 高齢者の足となれるようにコースを増やすなど。
55	どこも車がないと不便
56	通勤時間帯の相模線の混雑がひどくなっています。本数をふやしたり車両数をふやすなど対策をとってほしいです。 茅ヶ崎駅ホームもせまいため混雑するのでどうにかできないかと思います。
57	自家用車の利用が多いのは単線で本数が少ない相模線だからでは？ コミュニティバスも平坦な場所ばかり走って、岡田4、5、6丁目の急坂がある地区にも住宅地が多いのですよ。 道は狭いしバスは無理と役場は考えてるのですか？ではその高齢者の足はどうするのか？考えたことありますか？
58	相模線の本数が少なく通勤が不便。 寒川に引っ越したいが相模線の本数の少なさが引っかかるという声をよく聞きます。
59	危険な場所等に信号機の設置
60	寒川駅周辺の踏切で渋滞がおきる。電車が来ないのに踏切が閉まったり。朝、夕の通勤通学時間は、ホントに困ります。 難しいとは思いますが、立体交差などなにか良い方法はないだろうか。
61	相模線の本数が少ない。時間帯によっては混雑している。車両も短い。他路線との乗り継ぎ時間が短く、少しの相模線の遅延でも苦勞する。路線バスや町内バスも少ない。自家用車で子どもの習いごとの送迎が出来ないので、不便。
62	道路が狭く、生け垣が歩道まで伸びている。自転車の交通規則が変わりましたが、自転車に乗りにくいです。歩道もテコボコしていたりで歩きにくいです。子どもの通学の安全性に欠けると思います。
63	今のままで便利だと思っている
64	鉄道駅が3駅もあるのに、駅前が寂しい。 2駅に至っては駅前広場やロータリーすらない。 自転車が多いのに自転車通行帯がなく危ない。 歩道のある道路が少なく、歩道があっても幅が狭く危ない。
65	歩行するのに危険を伴う道路がまだ多いと感じます。 相模線の始発、終電をもう少し早い、遅い時間にしてほしいです。
66	道が狭く自転車が通りにくい。
67	町内の公共交通の充実を進めるべきだと思います。近年、バス会社も減便に次ぐ減便で収支が見込めず、コミュニティバスの本数が少ないのは重々承知です。ただ、他市町村は自動運転バスの実証運行も行っているため、新しいことをしていかないと、減便した先には公共交通が何も無い状態になってしまうのではないのでしょうか。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
1	相模川沿いは自然が多いのでいつか散歩したい
2	もっと自然や歴史的なものを守るべき
3	河川敷など使用されていない。敷地の有効化に努めるべき。例えば町民向けドッグランやBBQ場や公園など。 寒川神社周辺の商業化をさらに進める必要がある
4	宮山駅 環境や景観という点で宮山駅の駐輪場のゴミ捨て場に不法投棄されているゴミは片づけた方が良くと思う。 傘のゴミが束ねて20本くらい集積所に残っていて治安的、景観的にも良くない。 またゴミ袋の改正が町のゴミ収集に支障をきたし、回収されなかったゴミが町内各地のゴミ集積所に残り、4月以降、町全体が汚い景観になっている。 急なゴミ袋のルール改正に納得していない町民は多い。 広報の写真はきれいな風景写真が表紙に使われているが町内の現状は残念ながら汚い景観である。
5	自慢出来る景観は沢山あります。
6	富士山、相模川、大山、丹沢山系が見えなくなるような高い建物や派手な看板、目立つ看板はこれから作らないよう厳しくしてほしい。現状で満足。おしゃれさや最新さなど無理して求めなくて良い。公共施設の駐車場が無料なので近隣の市に住む親子が遊びにきやすいと言っていた。
7	あまり寒川で自然を感じることがない、ただ、田舎としか。 里山公園みたいのが出来たら散歩も楽しいのですが
8	全くの無策だ。ビジョンを示して取り組んでほしい。
9	町内中心部は電線共同溝化し電柱を無くした方が良いです。
10	歴史がわかりやすい姿
11	・美化活動に事業者が参加しないので、会社の駐車場や会社前の道路のゴミがひどい。日々の清掃も美化活動もしていない事業者に、美化活動の参加をさせるような働きかけ、または参加した事業者の公表などをしてほしい。 ・市民から事業所周辺のごみ環境で通報があった際は、町は事業者へのアクションをしてほしい。
12	散歩するのに、川のほとりなど整備してほしいです。
13	富士山に見えるベンチなど増やす 寒川の自然が感じられるバードウォッチングや虫が見える川など増やす
14	町全体の構想が見えない。申し訳ありませんが、良かった景観も悪くなるばかりだと感じています。
15	空き地が少なくなり、アパートやマンションが乱立し始めたので、富士山等が見えないようになった。
16	神社参道はもっと広くし、神社周辺の駐車場は立体化するなどして、楽に駐車できるようにする。周辺住民専用道路を作り、ゲートなどで区切り住民の利便性を確保する。 駐車場は全て町営とし料金を低く抑える。
17	ちゃんと歩ける歩道が続いていることと、街路樹が増えたら嬉しい。
18	参道整備ができていない。昨年 信号で止まっている時、喜が車天上に落ちてきた。神社のひとはこれだけ、木がありますから…と言った。子供の自転車などに落ちたら、大変である。参道の車道は、落ち葉で、自転車が、危ない。
19	緑や花が育成されている素晴らしい町と感じています。地域活動に多くの住民が、それぞれのスタイルで参加することが環境保全に繋がると考えます。
20	どこにでもある「普通の田舎町」になっているので、寒川神社など貴重な存在をもっと生かすべきだと思います。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
21	神社仏閣がそれぞれ整備するのが良いと思います
22	環境はよいと思います。
23	地球温暖化に伴う異常気象、特に水対策を十分にしたい。
24	今直ぐには思い浮かばない。
25	今のままでいい
26	いまの景観を次の世代にも残してあげたいと願っています。
27	寒川町の自然環境や景観は、町が一番誇れるところだと思います。自然を活かしながらも、もう少し観光的な視点で整備、保存されるともっと良いと思います。
28	誰も住んでなさそうな空き家を解体してほしい
29	相模川の回りをもっと整備してほしい
30	寒川神社の参道にある排水溝が詰まっていて、水たまりができやすくなっています。 由緒正しい神社の参道が台無しだな、と思います。
31	道路脇の整備、緑化。 雑草や落ち葉、高木の整備に手が足りていないように感じる。 シルバー人材センターなど、利用して手を加えて整備してほしい。
32	まだまだ知らない素敵などころがあるので、知れるように情報が欲しいです。
33	寒川町は景色のよさをもっと整備しアピールすべきだと思います。歩道などの整備をすべきだと思います
34	景観も大事であるが、狭い町なので、高さ制限を撤廃してほしい。
35	寒川神社周辺の渋滞対策
36	みどりの維持や環境づくりは町が主体として取り組んでいく意識が重要であり、取り組んでいると思います。月に1度くらいの頻度でゴミ拾いを町職員が行っている姿や・県道の花植えを行っている姿を見かけます。単純ですが働いている姿が見えるのは町民にとっても重要であり、意識付けにも繋がるので継続してください。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
1	中央公園からの富士山
2	寒川神社の鳥居と、富士山が田んぼの合間に見える景色
3	寒川中央公園 丘の上から見る富士山の夕焼け
4	富士山と寒川神社
5	相模川沿いから見える、富士山と大山。
6	寒川高校裏の田んぼと富士山が1番のお気に入り。
7	場所 小動神社 理由 小動神社はゴミの散乱なく清掃がされている。 この清掃は自治会の加入者が当番の上で清掃を行い、暑い夏も草むしり、はきそうじを行っている。 綺麗に掃除している場所には人は不法投棄しない。 役場より今後小動神社横の自治会の建物が使用できなくなる可能性があるという聞いた。修繕予算の関係とのことらしいが人が通わない状態になれば治安的にも荒廃していく恐れがあると思う。 自治会の会合は今後小谷小学校の教室で行う可能性があるそうであるが、月に1度でも小動神社横の自治会建物に地域住民達の出入りがあると防犯効果があるが修繕費用の問題で放置されて行けば神社も地域景観も廃れて行く。
8	ダイヤモンド富士がみえる場所。 銀河大橋からの富士山。 寒川神社。 倉見の桜街道。
9	中央公園の丘から見る富士山 寒川東中の前、田んぼの横を走っている相模線。 寺尾橋から見る夕陽に染まる富士山 田舎っぽくてのどかで癒される風景なので
10	【場所】 スポーツ広場、神川橋 【理由】 富士山が綺麗にみえる
11	大曲踏切付近 田んぼと単線の相模線が絵になり、のどか。またその付近には野鳥が訪れる川もあり時間の流れがゆったりと感じられる所が好きです。
12	相模川河川敷から眺める富士山。
13	・ 富士山は綺麗に見えます ・ 相模線からのたんぼの景色 なんだかんだこれがアパートや家になったら寂しい、でも寒川の米なんか見たことない ・ 中央公園の桜は綺麗
14	富士山が観える場所 寒川神社のある景色
15	町のかなりの地点から富士山が見える。
16	富士山と大山の位置関係は寒川町が1番いいと思います。
17	銀河大橋からの富士山
18	テニスコートも新しく成り素敵ですが 利用方法がもう少し簡単なら！と思う
19	寒川東中学校付近の畑を電車から眺めると、通勤の嫌な気分が少し和らぐので好きです。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
20	中央公園の丘から観る景色は最高だ。
21	寒川神社
22	・川のふれあい公園…ドッグランの大会や自由にキャッチボールができる上に、風も吹いて空も広く感じられる ・寒川神社…高く伸びた木々が多く、木の元気をもらえる気持ちになる。正月のねぶた飾りも楽しみにしている。 ・中央公園…桜の季節が綺麗。ベンチや草に寝転がったの空を見る景色がいい。
23	小出川周辺が好きです。また田端、大曲の田んぼからみた夕焼けが好きです。
24	一之宮公園の線路道 中央公園の山の上のベンチ 大曲の田んぼから見える富士山 寒川神社の参道の森
25	銀河大橋付近の土手からの風景。相模川の先に見える大山、富士山、箱根の山々。平塚市側も高い建物が無いので、広々とした景観です。
26	寒川高校横の道路から見える富士山
27	坂の天辺や丘の上から見える富士山
28	寒川高校前の田んぼから見える富士山 晴れたらすごくきれい 銀河大橋の寒川側の夜景 帰りに見るとなんとなくほっとする
29	中央公園の桜、富士山が見える場所
30	川沿いなどの富士山の見えるところ。
31	・町内の高台から富士山が見える場所 ・さむかわ中央公園 ・農地 景色もよく空も広く感じられるところが気に入っている
32	寒川神社がとても好きで毎月参拝しています。心がリセットされてまた頑張れます。
33	中央公園の桜が富士山や丹沢も見えてとてもきれいです。
34	富士山と寒川神社越し広がる大山。あちこちで見かけるカワセミ。駅周辺にツバメが巣を作る風景。
35	目久尻川流域の自然環境。 カワセミなど、野生生物が豊富で、のんびりした雰囲気が気に入っています。
36	寒川小学校の校庭の桜 創設期からグラウンドに残る記念樹でたいへん歴史を感じます
37	富士山や、大山が見えて見晴らしがよい。
38	一之宮公園の線路 春には花がたくさん咲いているからです。
39	一之宮公園の桜が咲いた時はとても綺麗だった。 中央公園も桜がとても綺麗。
40	相模川流域、自然を感じられる。 寒川神社から水の広場までは良い雰囲気と施設がある。
41	寒川中央公園 天気によっては富士山も見える。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
42	寒川神社 おもむきがある
43	大山をはじめとした丹沢の山々が見える駅改札前の窓。
44	信玄芝原公園付近 朝早くや夕焼け、畑や田んぼのあぜ道に立ち止まってみる風景は、気持ちがなごむ 引っ越してきて、5年目です。
45	岡田の高台のほうや、中央公園から見える富士山はとて面白い 寒川神社の参道の緑もうれしい
46	千秋園さんの近くの信号から、田んぼ越しに中央公園や夢庵方面を眺める景色が好きです。満月が昇り始める時間帯がおすすめです。 寒川の中で、一番空を広く感じ、穏やかな気分になります。
47	「箱根連山・富士山・大山と見渡せるところ（景観もさることながら、夏至、冬至、春分、秋分と日の入りが目視できることは、縄文時代の人々が寒川を居住地としたことと密接に関係していると思うので、そのような歴史も大切にしたいと思うから。）」 「畑等の原風景の中を走る相模線（のどかです。）」 「参道の桜を背景に菜の花が咲き、水鳥が飛来する目久尻川（のどかであり、安全な環境であることの象徴のように思うから。）」
48	寒川図書館 きれいで立派な建物だと思う。
49	相模川と富士山
50	倉見駅近く桜町緑道は桜が咲いてゆっくり歩けるので良いです
51	目久尻川の両岸からの丹沢、富士山の眺めが良い。
52	目久尻川沿いや相模川沿い。 鳥や草木が富み、富士山や大山が良く見えるところ。
53	何気ない、ふとした気持ち良い風。
54	寒川小学校と保育園から見る富士山です。電線が無ければもっと良い 銀河大橋から見える富士山も良いですね 倉見緑地の桜並木 素晴らしい。桜は手入れされてる方に 感謝します。
55	中央公園前や中学校前の畑がとても好きです。
56	春の中央公園 お花見に色んな世代の人たちが、来て楽しそうにしている 寺尾橋から見る夕暮れの富士山 1日の終わりに日本一の富士山の夕暮れを見るのはいい 圏央道から見る寒川町 なんとなく 田舎な感じ
57	町内、自宅、保育園、公園からきれいに富士山、寒川神社の鳥居が見える景観が好きです。
58	大曲、田端の田んぼから望む富士山、夕焼け。小出川沿いの桜や川に集まる水鳥など素晴らしいと思います。
59	銀河大橋からの景色はきれい
60	川とのふれあい公園からの景色は素晴らしい。
61	寒川神社、行くと落ち着く

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
62	銀河大橋を西に向かって渡る時は富士山が綺麗に見えて、渋滞のイライラも少し緩和される。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
1	町で準備できる防災には限度があるので、自助が大切と考える
2	寒川町が震災が起きた時の対応がどこまで、何人までできるのか不安
3	もっと普段から町役場の人ではなく ボランティアをしていただき周知することが必要
4	ペット防災はどうなっているのでしょうか？
5	防災対策の新チーム設立 理由 台風などの洪水の際に氾濫情報が町役場からは情報発信されていない、茅ヶ崎市と消防署が合併したから寒川町役場からは情報発信しないという理由では府に落ちない。 昨年の一之宮の工場火災の際に煙が駅前まで流れてきていた、多くの町民が焦げた煙を吸い込んだ際、テレビでも中継でニュース報道されていたが町役場は防災無線やホームページで火災の情報を周知していなかった。 防災無線が今後機能しないのだとしたら有事の際に混乱が起きると多くの町民からは意見が出ている。 今後起こる災害に備えて寒川町に消防署組織とは別の迅速対応出来る防災組織が必要と思った。
6	高齢者の避難の人的要因が必要かと思えます。
7	日頃からの意識が大事 家族単位で話し合い、個人で、いざという時に行動できる人間を個々に目指す
8	防災無線が聞き取りにくいです
9	防災無線を聞き逃した時ネットで内容が確認できない。 防災無線のツイッターアカウントが確かあったかと思いますが実質死んでいる 自治会主体じゃなくて自治体主体で防災についての情報を電子で配信してほしい 不審者情報も知りたい
10	相模川の河原は津波対策が必要です。
11	防災無線がいまいち聞き取りづらいです。
12	自分のことは自分で守る意識を高めてほしい。
13	現在の町の体制で災害が起きたら多分 町は機能停止します。 危機管理が町民として全く見えないんです。
14	避難場所がわかりやすいこと
15	避難所でのプライバシー保護のテントみたいなのがあればいいなと思う。 ペットと避難できる場所の確保
16	【場所】小谷 【理由】大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い小谷で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべき。避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい。
17	気象状況も以前とは全く違ってきた。防災も今までをベースに考えていると大変な被害になると思う。 想定外と言う言い訳ではすまない。 学校集約化で避難場所がどうなるのか不安です。
18	現在どのくらいの防災対策をしてあるのか、あまり良く知らないのですが… 他の市町村などで取り入れられているような公園に災害時用に役に立つマンホールトイレ、ベンチがかまどになる物とか、井戸水 を使えるように準備するとか、そのような防災対策がしてあると安心だと思います。
19	町内会だけでなく全体でもやって欲しい

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
20	これで充分と言う事がないのが防災対策なので、事が起きたときのオペレーションが大事なこと。指揮系統や、役割分担等は日頃の訓練やマニュアルなどの整備が大事かと。
21	相模川や目久尻川などの河川があることから氾濫が一番の起こりうる災害と思われる。 氾濫した際は、役場など町の中枢部に被害が及ぶ可能性が高いので、被害を受けた時の影響や対応を検討しておくのが良いと思う。
22	ライフラインが途切れても、各家庭の備えは勿論重要だが、個人以外でもある程度は補えること。
23	自治会では、とても良くやってくれているが、前に体育館で、参加者が横になったとき、全くスペースがなかった。ソフィアの住人も いるし、実際に避難できる場所の確保 前もっての安心感がほしい。
24	繰り返しの防災訓練。昨年度の防災訓練がとても良かった。役場の皆さんの各被災地での実体験の賜物と感じると同時に、住民の自助意識の低さも実感しました。
25	寒川町最大の自然災害の脅威は河川の大規模氾濫だと思っています。 もっと町民に周知したほうが良いのではないかと考えます。
26	地域消防団にも、シニア制 女性参画制を取り入れるべきだと思います
27	去年、工場で火災があり、近所で怖い思いをしました。その後、工場からのお詫びなどがなく、ベランダが灰などが飛んできており、汚れてしまい、洗浄でしっかり流しました。 工場で火災があったときなど、迅速に出来る対応があると良いです。
28	正直、災害対策で何をしているのか分かっていない。
29	広域避難所の具体的利用方法などさらに周知して欲しい。
30	冠水、浸水等の危険のある地域の避難所における減災対策 防災無線の改善（デジタル機器の受信が可能ならばばかりではないので防災無線は必要だと思いますが、3か所くらいのスピーカーが共鳴して頭と語尾以外はほとんど合唱状態のため、いつも聞き取りを諦めている状況です。）
31	避難所などが少ない
32	災害が起きた時の物資が 充分にあるのだろうか？ 家がなくなってしまうたら、行き場がなくなり困らないような対策ができるような対応策を設けてもらいたいです
33	ペット同行避難のガイドラインを作って欲しい。
34	地域を巻き込んで、本格的な訓練を。
35	具体的な事を知りません。 自ら知ろうとする事が必要。
36	東中学校は田んぼの上に立ってて 東日本大地震では物凄く揺れてヒビまではいったのになぜ？避難所なのか？
37	あまり内容が周知されていないのではないかと
38	実際に災害が起きたらどうなるのか。町民はどうしたらよいのか、がわからなくて不安。 シュミレーションを公開したり、避難訓練をしたりしてほしい。 例えば、川が決壊したとき、しそうなとき、避難場所は中学校だが、自宅より川に近い。 どうしたらよいかわからない。
39	消火栓を充実させたいと思います。
40	行政と個人の両方が力をいれてこそ意味があると思っています。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
41	野焼きの撲滅 昨今、野焼きが原因の大規模な森林火災が各地で発生していますが、自宅付近の田畑でも野焼きが横行しているので、取り締まってほしいです。

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
1	<p>まちづくりについて 情報発信力の弱さを改善していく必要がある。 本来、助けが必要な時に情報発信者が不在であることが多い。 以前、寒川を台風や大雪が直撃した際も役場のホームページは町の避難所指示情報や川の氾濫情報、交通機関情報がいっさいアップされなかった。町の観光協会では「悪天候予想されるため休業します」とSNSに事前休業宣言しており、町全体として情報を求めている人への対応がなされていないように思える。 町会議員や寒川ラジオは自身のSNSで町内被害状況・相模線の運行状況をアップして町民はもとより寒川の地理に詳しくない観光客が困らないよう安全を配慮した行動を独自で行っていた。 行政が行わないのであれば個人が動くしかないという現状であり、今後まちづくりの改善が必要と思える。</p>
2	<p>既にいい町だと思う</p>
3	<p>町民が自分たちの住む寒川町に関して、自由闊達に意見を述べることの出来る Town Meeting的な仕組みを具現化して欲しいです。</p>
4	<p>倉見のツインシティ計画及び新幹線誘致を毎日楽しみにしています、続報待ってます 早く平塚側のイオンに倉見から車で行きたい</p>
5	<p>様々なアンケートを実施されていますが、もっと町民や実際関わっている方に意見を聞いてほしいです。 箱物だけできても、利用する人の意見をまず聴いてから、取り組んで欲しいです。</p>
6	<p>・最初にさむペイのアカウントナンバーを記入するところで、アプリからコピーして記入する人が大半かと思いますが、コピーするとハイフンが付いており、記入要領にハイフン不要と書いてあるため、消す手間があるのがいただけないと思います。 ・三和スーパーを普段利用させていただいてますが、最近そこに小さなゲームコーナーが出来ました。ただ、そこまで利用者が居るようには感じられません（たまたま人がいない時しか見てない可能性もありますが）。それなら別の商業施設を導入されてもいいのではないかと思います。例えばこれは個人的な意見ですが、KALDIのような規模ならちょうど収まるのではと思いました。</p>
7	<p>予算を使ってもいいので、計画段階から民間や専門家を入れるべき。 その上で町民にまちづくりを考えてもらう。 町が誘導してもいいので、町民に決めさせる。町民が自分たちできめたことであれば、スムーズに進むと思います。 しっかりと誘導できる外部のファシリテーターも必要。</p>
8	<p>町政には概ね満足しています。給食センターの設立などは非常にありがたく感じています。 町の歴史なども積極的に展開されており、かなり歴史が古い土地だということがわかります。うまく活かせば、町おこしの要素にもなるのではないかと思います。</p>
9	<p>・アンケート自体について。打ち込みづらさや量の多さが気になり、担当者がまず回答を試してみるなど、回答する気になるアンケートの作成を今後は期待する。今回、送信ボタンを押した際に、不備があると言われたが、該当する回答項目を探せず、とてもイライラした。 ・小中学生にも分かる&読みたくなるような計画書を作らないと、興味のない大人も読んでほしくない。市民参加を促すのであれば、10ページ程度に要点をまとめた、簡単な表現の計画書を作ってほしい。</p>

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
10	<p>役場の職員の方も町外の方が増えていると聞いています。職員の方に寒川町に住みたいかのアンケートを行なったらどうか。住みたくない人達や寒川町の実態を知らない人達が色々考えても、現在住んでいる町民の安心安全住み良い町が確保できるのか疑問です。良いと思い寒川町に移転して来たが、住んで見てがっかりして転居して行った方もいます。</p> <p>現在、学校の集約化が検討されていますが、学力レベルアップとか他の地域と違う内容の検討も必要だと感じます。</p>
11	<p>寒川神社周辺に車中泊が出来る広い駐車場がある道の駅があったら楽しそう 工場見学が出来る工場が来たらうれしい(お菓子とか…)</p>
12	<p>街全体の道が狭いので危険な箇所が多いと思います。 寒川駅以外の宮山、倉見駅周辺が狭いので困っている。</p>
13	<p>環境や住みやすさを検討して寒川に家を建てたので、これから長い間居住すると思います。たくさん行政と住民が意見交換しより良い街になっていく事を願っています。</p>
14	<p>岡田3丁目のゴミステーションの改良を希望します。黄色いネットで覆うのみだと、カラスに荒らされて道路や隣接する住宅にまで影響が出る可能性があります。</p>
15	<p>寒川町をもっと外に向けてアピールして、「寒川町から来ました。」と胸を張って言えるような町になって欲しい。</p>
16	<p>より理想的な町の姿を検討し、県や全国をリードできるような寒川町を利用して行って下さい 議論にとどまらず、是非よいと思ったことを実現できるよう、たとえば小さく回して、トライandエラーで成功事例を増やして行って欲しいです</p>
17	<p>人に優しい町作りを行なって欲しい。</p>
18	<p>各団体での人材不足が多発していると思います。参加しやすい仕組みの検討をおねがいします。</p>
19	<p>本屋が一軒もないのが残念 町が購入している業者と交渉して実店舗を出してもらおうなどできないか 学校の先生方の病欠の多さも気になる 先生方が健康で長く働いてくれることは、子供たちの教育の充実に直結するので、現場の先生方への支援を手厚くし、人員も増やしてほしい</p>
20	<p>町では、高齢者対策として介護・介護予防などに力を入れていただいておりますが、単身高齢者が増加する中、要介護・要支援でなくても安心して暮らせる資源（見守りや生前・死後手続き等のシステムの充実など）が欲しいと思います。私は生まれてから今までずっと寒川に住み、叶うことなら死ぬまで寒川に住み続けたいと思っています。社会福祉協議会を基幹としたシステムの構築（民間業者との連携に伴う負担は利用者負担とするなど）やシニア向け賃貸住宅建築者の誘致など、町が丸抱えするのではない形で、賃貸であっても家主が不安なく、単身高齢者も安心して暮らせるまちづくりを政策に含めてほしいと切に願います。</p>
21	<p>コメダコーヒー以外にもう一つ大きなカフェが駅周辺に欲しい。 ドラッグストアと整体はもういらない。</p>
22	<p>高齢者が孤独にならない取り組みも検討して欲しいです 子供達も大事ですが、大人一人で生きていく人も、収入面では大変な人もいるので、皆が平等に暮らしていける町を目指して欲しいです。</p>
23	<p>一之宮に買い物できる所が欲しい</p>
24	<p>新幹線新駅誘致は非現実的なので その予算を相模線複線化にして 踏切が閉まると酷い渋滞発生するので 踏切をアンダーパスか高架橋にしてほしい</p>

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
25	<p>寒川町はポテンシャルが非常に高いと感じる。 土地利用や拠点整備について積極的に進めてもらいたい。 交通の利便性が高いので、その優位性を生かした工業・商業的な立地のまちづくりを行っていけば、財政的に豊かになれると思う。 わいわい市はいつも混んでいるのに、駐車場が足りていない。 道の駅のようなものを整備して十分な駐車場を確保し、寒川神社にもアクセスしやすくすれば、より活性化できると思う。</p>
26	<p>現首相の動向が批判されることも多く、若者が政治や行政に注目をしてきているため、寒川町からも積極的に町づくりだけでなく情報を提供していく姿勢が大事だと考えます。今回のようなアンケートは継続してくれると幸いです。</p>



参考資料 2

町民満足度調査用紙

「寒川町都市マスタープラン（令和3年4月改定）」

進捗管理等に向けた町民満足度調査

- 調査票 -

この調査は、令和3年4月に改定した寒川町都市マスタープランの進捗管理等を行うにあたり、町民の皆さまからいただいたご意見を基に現在行っている取組みに関する「現状把握」及び「将来に向けた取組み」の再検討を目的として実施するものです。

寒川町を取り巻く環境は、気候変動による大規模災害の発生や高齢者人口の増加・人口減少型社会の到来などが予測されています。一方で、圏央道寒川北インターチェンジから藤沢市湘南台方面へ整備を予定している「都市計画道路3・3・3号宮山線」や「寒川町立小・中学校適正化等基本計画（改定版）」に基づく再編など、今後大規模な土地利用変化などが予測され、これらの対応などについて検討していく必要があります。

今回お寄せいただいたご意見は、集計・分析の後、寒川町都市マスタープランの「進捗管理等報告書」の一部としてホームページ等にて公開を予定しています。

お手数をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◇ご回答の方法

本アンケートは無記名式です。ご回答は、本調査票に直接ご記入いただき、添付の返信用封筒に入れて郵送でご返送下さい。

回答の内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

◇ご回答の期限

令和7年5月16日（金）までに、郵便ポストへご投函下さい。（※消印有効）

◇お問い合わせ先

担当：寒川町役場 都市建設部 都市計画課 都市計画・開発指導担当 上条
電話 74-1111（内線324）

★都市マスタープランとは？

都市計画法に基づく市町村の都市計画に関する基本的な方針です。おおむね20年後の寒川町の将来計画を示すとともに、都市づくりの課題とこれに対応する整備の方針等を明らかにしていくものです。



寒川町HP（「寒川町都市マスタープラン」）



1. あなたのことについて (回答日時点の状況でお答えください)

問 1-1 年齢 (年代) に○をつけてください。

1	10 歳代	2	20 歳代
3	30 歳代	4	40 歳代
5	50 歳代	6	60 歳代
7	70 歳代以上		

問 1-2 お住まいの地域を記載してください。(例: 宮山 165 番地 → 宮山 丁目)

() (丁目)

問 1-3 職業に○をつけてください。

1	会社員	2	自営業・自由業
3	公務員	4	パート・アルバイト
5	主婦 (夫)	6	学生
7	無職	8	その他

問 1-4 寒川町での居住年数に○をつけてください。

1	3 年未満	2	3~10 年未満
3	10~20 年未満	4	20~30 年未満
5	30 年以上	6	町外在住

問 1-5 家族構成に○をつけてください。

1 単身	2 夫婦のみ
3 2世代（親と子など）	4 3世代（親と子と孫など）以上
5 その他	

問 1-6 お住まいに○をつけてください。

1 一戸建て住宅	2 アパート
3 マンション	4 その他

問 1-7 主な通勤・通学場所に○をつけてください。

1 寒川町内	2 茅ヶ崎市
3 藤沢市	4 海老名市
5 平塚市	6 横浜市
7 その他県内	8 東京都
9 その他都・県外	10 働いていない・通学していない

問 1-8 日常的に最もよく使用する交通手段1つに○をつけてください。

1 自動車	2 電車
3 バイク	4 自転車
5 バス	6 徒歩
7 その他	

2. 「目指す暮らしぶり」と町のすがた」の満足度・重要度について

令和3年4月に策定した寒川町都市マスタープランの中では、寒川町でのこれからの暮らしぶりが描けるよう、まちづくりの目指すべき方向性をまとめた「目指す暮らしぶり」と町のすがた」を掲げています。

(寒川町都市マスタープランP14～に記載)

問 2-1 I～Vのまちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～Vについて、1（不満）から5（満足）の 1つに〇 をつけてください。

目指す暮らしぶり」とまちの姿		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
I	<u>毎日の暮らしやすさが</u> <u>感じられるまち</u>	1	2	3	4	5
II	<u>空が広くのんびりとした</u> <u>環境が楽しめるまち</u>	1	2	3	4	5
III	<u>安全・安心に</u> <u>暮らし続けられるまち</u>	1	2	3	4	5
IV	<u>生き生きと</u> <u>働くことができるまち</u>	1	2	3	4	5
V	<u>のびのびと元気な子どもを</u> <u>育てられるまち</u>	1	2	3	4	5

(2) I～Vについて、1（重要でない）から5（重要）の1つに○をつけてください。

目指す暮らしぶりともちの姿		重要でない	あまり重要でない	普通	やや重要	重要
I	<u>毎日の暮らしやすさが</u> <u>感じられるまち</u>	1	2	3	4	5
II	<u>空が広くのんびりとした</u> <u>環境が楽しめるまち</u>	1	2	3	4	5
III	<u>安全・安心に</u> <u>暮らし続けられるまち</u>	1	2	3	4	5
IV	<u>生き生きと</u> <u>働くことができるまち</u>	1	2	3	4	5
V	<u>のびのびと元気な子どもを</u> <u>育てられるまち</u>	1	2	3	4	5

3. 「都市づくりの基本方針」に関連する事項について

寒川町都市マスタープランではまちづくりの目指すべき方向性（目指す暮らしぶりや町のすがた）を実現するため、町が目指すべき方向性の基本となる考え方として「将来都市構造」と「部門別方針」を定めていますが、各項目における満足度・重要度を教えてください。

将来都市構造：将来の都市を構成する拠点や都市軸等を位置づけるもの

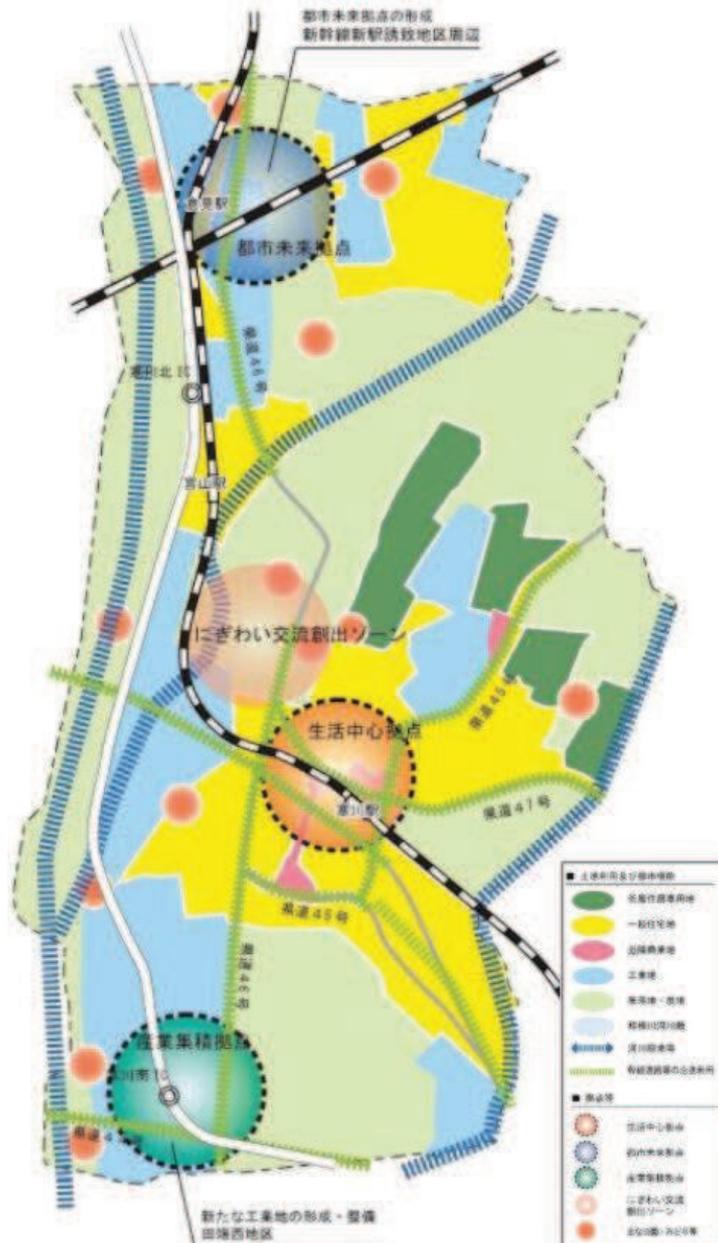
部門別方針：秩序と活力のある土地利用の誘導・保全等の施策を位置づけるもの

（寒川町都市マスタープラン P30～に記載）

I. 「拠点等」の満足度・重要度について

持続可能なまちづくりの実現をするために、「都市機能」を効果的に配置し、暮らしやすさを支える商業・工業業務機能やサービス機能の集積を図るとともに、町の魅力を生み出し発信する機能を充実させていくための検討をしています。

都市機能：行政機能、介護福祉機能、子育て機能、商業機能、医療機能など



問 3-1 町として「拠点」及び拠点に準じた「ゾーン等」を位置付けていますが、

I～IVのまちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～IVについて、1（不満）から5（満足）の 1つに〇 をつけてください。

拠点等について ※前ページ参照		不満	やや 不満	普通	やや 満足	満足
I	<p>生活中心拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒川駅周辺の生活利便性 ・寒川駅周辺の魅力 <p>など</p>	1	2	3	4	5
	理由 ()					
II	<p>都市未来拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海道新幹線新駅誘致地区周辺など ・圏央道寒川北インターチェンジ周辺のポテンシャルを生かしたまちづくり実現に向けた検討 <p>など</p>	1	2	3	4	5
	理由 ()					
III	<p>産業集積拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏央道寒川南インターチェンジ周辺で実施されている農地を工業地に転換する取組み <p>など</p>	1	2	3	4	5
	理由 ()					
IV	<p>にぎわい交流創出ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さむかわ中央公園周辺の交流場所 ・さむかわ中央公園周辺の魅力 <p>など</p>	1	2	3	4	5
	理由 ()					

(2) I～IVについて、1（重要でない）から5（重要）の 1つに○をつけてください。

拠点等について ※前ページ参照		重要でない	あまり重要でない	普通	やや重要	重要
I	生活中心拠点 ・寒川駅周辺の生活利便性 ・寒川駅周辺の魅力 など	1	2	3	4	5
	理由（ ）					
II	都市未来拠点 ・東海道新幹線新駅誘致地区周辺など 圏央道寒川北インターチェンジ周辺のポテンシャルを生かしたまちづくり実現に向けた検討 など	1	2	3	4	5
	理由（ ）					
III	産業集積拠点 ・圏央道寒川南インターチェンジ周辺で実施されている農地を工業地に転換する取組み など	1	2	3	4	5
	理由（ ）					
IV	にぎわい交流創出ゾーン ・さむかわ中央公園周辺の交流場所 ・さむかわ中央公園周辺の魅力 など	1	2	3	4	5
	理由（ ）					

(3) 上記 I～IV以外の地区において、新たに「拠点」や「ゾーン等」として検討をするべきであるとする場所などがあれば理由等を添えて教えてください。

場 所	（ ）
理 由	
目指すべき姿	

Ⅱ. 「土地利用」の満足度について

「寒川らしさ」を大切に、かつ、持続可能なまちづくりの実現をするため、都市機能や土地利用の適正な配置の検討をしています。

土地利用：住宅地、商業地、工業地、集落地、農地など

問 3-2 町ではより良い居住環境を確保するため、土地利用に係る検討をしていますが、まちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～Ⅵについて、1（不満）から5（満足）の1つに○をつけてください。

土地利用について		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
I	住宅地内の道路整備	1	2	3	4	5
II	良好な住環境の形成	1	2	3	4	5
III	住宅地内の公園緑地の整備	1	2	3	4	5
IV	優良な農地の保全	1	2	3	4	5
V	相模川など河川の水辺環境の保全	1	2	3	4	5
VI	インターチェンジ周辺の工業地等土地利用の検討	1	2	3	4	5

(2) 「土地利用」について、より良いまちづくりの検討を行うために必要だと考える内容などがあれば理由等を添えて教えてください。

内 容	()
理 由	
目指すべき姿	

Ⅲ. 「道路・交通体系」の満足度について

平成 28 年に実施した「町民意識調査」によると寒川町の主要な交通手段は自家用車が多く、次いで自転車、徒歩となっている状況から、道路整備に加えて歩行者空間、自転車走行空間の適正な確保について検討をしています。

問 3-3 町ではより良い居住環境を確保するため、道路・交通体系に係る検討をしていますが、まちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～VIについて、1（不満）から5（満足）の1つに〇をつけてください。

道路・交通体系について		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
I	周辺都市を結ぶ 広域的な道路網の連携強化、充実	1	2	3	4	5
II	町内の身近な市街地等における 道路網の充実	1	2	3	4	5
III	歩行者空間の整備	1	2	3	4	5
IV	自転車走行空間の整備	1	2	3	4	5
V	身近なバス路線の整備、充実	1	2	3	4	5
VI	鉄道駅周辺の利便性	1	2	3	4	5

(2) 「道路・交通体系」について、より良いまちづくりの検討を行うために必要だと考える内容などがあれば理由等を添えて教えてください。

内 容	()
理 由	
目指すべき姿	

IV. 「環境・景観形成」の満足度について

「富士山がきれいに見える」や「自然・みどりが多いのんびりしている」などの特徴を活かした環境・景観形成や、歴史ある文化資源や河川沿いのみどりなどが身近に感じられる環境づくりに向けた検討をしています。

問 3-4 町ではより良い居住環境を確保するため、環境・景観形成に係る検討をしていますが、まちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～IVについて、1（不満）から5（満足）の1つに〇をつけてください。

環境・景観形成について		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
I	相模川河川敷の旧堤の活用、みどりの保全	1	2	3	4	5
II	越の山（岡田地区）周辺や寒川神社参道などの自然環境保全	1	2	3	4	5
III	社寺などの歴史的環境の保全	1	2	3	4	5
IV	個性的な都市景観及び良好なまちなみ景観の創出、保全	1	2	3	4	5

(2) 「環境・景観形成」について、より良いまちづくりの検討を行うために必要だと考える内容などがあれば理由等を添えて教えてください。

内 容	()
理 由	
目指すべき姿	

(3) 寒川町の中で「お気に入りの自然景観、都市景観（風景、景色）」などがあれば理由等を添えて教えてください。

場 所 ()
理 由

場 所 ()
理 由

場 所 ()
理 由

場 所 ()
理 由

V. 「防災」の満足度について

寒川町地域防災計画において記載している地震などの想定を踏まえて、有事の際に迅速な復旧活動などに努めるため、震前対策の一環として建築物の耐震化や事前復興まちづくり計画の策定などの検討をしています。

問 3-5 「安全・安心に暮らし続けられるまち」を実現するための取組みを検討していますが、まちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～Ⅲについて、1（不満）から5（満足）の 1つに〇 をつけてください。

防災について		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
I	広域避難場所等防災施設の充実	1	2	3	4	5
II	災害対策の充実	1	2	3	4	5
III	災害情報の共有化、迅速化	1	2	3	4	5

(2) 「防災」について、より良いまちづくりの検討を行うために必要だと考える内容などがあれば理由等を添えて教えてください。

内 容	()
理 由	
目指すべき姿	

4. 「都市づくりの基本方針」に関する事項の満足度・重要度について

3 「都市づくりの基本方針」(P30～)において、I～Vの5つの項目に係る具体例についての満足度等を伺いました。

問 4-1 これら施策について、改めてまちの現状に対する満足度等を教えてください。

(1) I～Vについて、1(不満)から5(満足)の1つに○をつけてください。

都市づくりの基本方針について		不満	やや 不満	普通	やや 満足	満足
I	<u>「拠点等」について</u>	1	2	3	4	5
II	<u>「土地利用」について</u>	1	2	3	4	5
III	<u>「道路・交通体系」について</u>	1	2	3	4	5
IV	<u>「環境・景観形成」について</u>	1	2	3	4	5
V	<u>「防災」について</u>	1	2	3	4	5

(2) I～Vについて、1（重要でない）から5（重要）の1つに○をつけてください。

都市づくりの基本方針について		重要でない	あまり重要でない	普通	やや重要	重要
I	<u>「拠点等」について</u>	1	2	3	4	5
II	<u>「土地利用」について</u>	1	2	3	4	5
III	<u>「道路・交通体系」について</u>	1	2	3	4	5
IV	<u>「環境・景観形成」について</u>	1	2	3	4	5
V	<u>「防災」について</u>	1	2	3	4	5

5. 「まちづくりへの参加」に関連する満足度及び今後の意向について

まちづくりの検討を効果的に進めるためには、町民や事業者、行政（町）が連携し、かつ、地域の主体となる町民等が自ら発意し、まちの未来を検討していくことが望ましいと考えています。

今後寒川町では、町民等参加によるまちづくりを推進するため、定期的な説明会開催などの「情報共有の場の創出」及びポスターセッションやワークショップなどの「まちづくり参加の機会の創出」を検討しています。

問 5-1 町の取組みに対する考えについて、あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 1 都市計画に関する町の取組みを概ね把握している
- 2 都市計画に関する町の取組みを把握していないが、今後は把握したい
- 3 都市計画に関する町の取組みを把握していないが、町が検討すれば良い
- 4 その他（ ）

問 5-2 町民等参加によるまちづくりの検討について、あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 1 町が計画案を作成し、町民等の意見を聴いたうえで定めるのが良い
- 2 計画案の作成段階から町民等が参加し、町と一緒に考えながら定めるのが良い
- 3 計画案の作成段階から町民等が主体的に取り組むことが望ましく、町にはその取組みを支援して欲しい
- 4 町民等がまちづくりの検討をする必要はない
- 5 その他（ ）

問 5-3 参加したいと思えるまちづくりの取組みについて、あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 1 説明会や講演会など、主に話を聞く目的のイベント
- 2 ポスターセッションやワークショップなど、主体的に参加できるイベント
- 3 まちづくりの検討に参加したくない
- 4 その他（ ）

◆ 各質問で記載しきれなかった事項や、
まちづくりに関するご意見などがありましたらご記入ください。

◆◆ ご協力いただきありがとうございました。◆◆

(本編) 参考資料 2

町民満足度調査自由記載
(年齢別意見の整理)

寒川町都市マスタープラン

進捗管理等報告書

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
1	幹線道路沿線沿道サービス施設の配置など、ふさわしい土地利用を検討するべき
3	寒川町北側にも何かあると良い。 現状だとえひがすぐなので寒川自身に魅力がない。いつも中心部から南側のことばかりで、中央公園以北はなにもないイメージ
6	場所 防災対策ゾーン 理由 台風などの洪水の際に避難所となっている小学校や中学校が氾濫していることがあり、避難所自体が危険エリアである。事前に防災対策に向いている土地に組織を配置した方が良いかと思った。 また昨年の一之宮の自動車部品工場火災の際に煙が駅前まで流れ多くの町民が焦げた煙を吸い込んだ際に寒川町役場に火事発生の三時間後にテレビでも中継で大きくニュース報道されていたが役場では「工場の火事について役場ではホームページで情報発信はしない」「テレビを見て情報収集してください」との対応であった。せめて町役場からは防災無線やホームページで火災の情報を周知する必要があったと多くの町民からは意見が出ている。 今後の寒川町の防災意識に危機感を持ち、消防署とは別の夜でも迅速対応出来る組織改革が必要と思った。
7	田端周辺の工場の煙が気になることが未だにあります。 空気が綺麗な寒川町になればもっと良いかと思えます。
8	小さな土地面積なのでそんなに拠点や中心地的な考え方はしなくてよいと思う。
9	寒川駅周辺に大型ショッピングモールが欲しい 寒川町にKALDIの店舗ができて欲しい 子育てしやすい町
10	健康促進ゾーン川沿い遊歩道 小谷付近の川沿いは現在砂利道で斜面に柵は無く凸凹しており老人の散歩には危険、自転車は走りにくい状況ですがアスファルトに整備して明るい街灯が設置されたら健康作りに程よいゾーンになるではないでしょうか。
11	寒川神社周りを観光客がもう少し楽しめるように駐車場とかお土産屋さん増やせませんか、 神社ゾーンとして… 名物みたいなお土産も弱いし
13	新たなゾーン等よりは、生活中心拠点をもっと賑やかにして欲しいです。特に駅周りはおもう少し賑やかに明るくなればと思います。
14	海老名市などの小田急線沿いの人口が増加しており、北部地域のまちづくりの重要性が高まっている。 新幹線やいずみ野線、寒川北インター、藤沢市から北インターへの新設道路など、ポテンシャルを秘めている。 寒川町の20年後、30年後を見据えて、しっかり準備をしてほしい。
15	寒川神社を中心に町外からの集客ポテンシャルはあるのにそれを町の経済活性化に生かされていないと思います。 残念です。
17	考え方に異論はありません。工業は発展して欲しいし、近場で生活に必要なイベント(買い物や病院)が完結するならば是非進めていただきたいです。ただ、梓の外に住んでいる人はどうなるのか、その人たちは今より不便になるのではないかと感じるためその部分に対しての説明は欲しい(コミュニティバスを使うとかで解消されるものではないと思います)
18	誰もが使える場所

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
19	周辺の市(というか平塚)アクセスの改善を早くした方がいい。橋を早く作って欲しい。 どこの道も渋滞、道が細い等で大型ショッピングセンターが複数あるにも関わらず行きにくい。 寒川町の店にお金を落とすことは勿論必要かもしれないが、周辺の自治体に恵まれているのだから、それを利用するのも手(例えば、ららぽーとやアウトレットにも行きやすいと地価も周辺より少し安いから子育て世代の人氣が高まり移住者が増えるかも…?)だと思う
21	寒川神社の周りに人が集まるような施設があるとちょっと観光客が来るのではないか。道の駅のような、ご当地グルメなどが食べられるもの。
22	【場所】小谷 【理由】大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い小谷で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべき。避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい。
24	拠点やゾーンを作ることも重要だが、そこに行く手段(コミュニティバス等)がキチンと作られていないと人は集まらないと思う
25	もっと寒川神社周辺を整備して町を盛り上げるようにしてほしい。 遠くから寒川神社に来てくれる人がたくさんいるのに周りに何もなさすぎる。 もったいないと思います。 (寒川神社の周り何もないと他の街の人に言われます)
28	駅周辺。第3次産業企業の誘致を検討してほしいと思います。第3次産業は都心である必要がいまやありません。町と企業双方のメリットを見出すことは可能と考えます。あわよくば、高齢者の就業先としても、いままでは町にはあまりなかった職種の雇用の産出を期待します。
29	倉見駅周辺の新幹線駅新設を含めた整備。
31	一之宮や田端の地域にスーパーなど施設が出来ると嬉しい
35	寒川南インター付近 大きな商業施設、コストコやIKEAなどがほしい 相模線の複線化とスピードアップ、本数の増加、優等種別の運行
36	各学校を交流拠点と考えていってはどうか
37	にぎわい交流創出ゾーンについて、個人的にはわいわい市から寒川神社にかけての田んぼが広がる景色に心いやされることがあり、また、そのことが寒川町に移り住むきっかけとなったので、にぎわいを創出することには賛成なものの、田んぼをつぶして店舗を増やすようなことになるのは嫌だなと思っています。
38	倉見産業道路は店舗充実高いが、駅前の活性化について検討求めたい
39	道路などインフラの整備をしっかりとって欲しい
40	倉見駅西側、農地や圏央道下の道路開発を進めてもらいたいです。 圏央道下の平塚から海老名まで早く繋いで頂きたいです
42	保育園や学校、病院など。 子育て世帯を呼び込む事で、活性化されると思うが、子育てしやすい魅力が足りない。商業施設は近隣の市で済ませられるが、地域において、必ず利用するのは、学校だったり、保育園だったりする。その施設が魅力あるものだったら、子育て世帯を呼びこみ、町の活性化につながると思う。自然はあるので、あとプラスで教育に力を入れて、町の魅力にして行ってほしい。
43	にぎわい交流はとても良いが、渋滞は一概に喜べない。
45	寒川神社近辺の活性化 例えば鎌倉の商店街の様な街づくり
46	商業施設を増やして欲しい

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
48	ゾーンの進捗が何もわからない。
49	農地の工業化はあまり重要と思えない
50	寒川駅東側の農地を工業や商業で活性化すべきだと思う。 （農業は後継者不足だと聞いているので、限界が来ていると思う） 寒川北IC周辺の活性化をするべきだと思う。 せっかくのIC周辺の利便性を生かせていない。
51	ただでさえ過密ダイヤの東海道新幹線に、新駅創設はあまり現実的ではないと思います。 箱モノに公費を負担するのは納得いきません。 もっと住民のために投じてほしいです。
52	倉見地区 寒川が細長いので、遠く離れると仲間意識が持てなくなってしまうから
53	にぎわい交流創出ゾーンの活性化。 にぎわい交流創出ゾーンについては調整区域ということもあり、市街地編入に時間を要するかもしれないが、活性化のためにも土地利用の検討をする必要があると考えます。寒川神社に近いこと・交通量も多い県道が通っていることから、仮に店舗が建てられるようになれば、参拝だけ・公園利用だけ・県道をただ通過するだけから、店舗にお金を使うという付加価値が生まれるのではないのでしょうか。何度も検討されていて無理難題かもしれませんが、より活発なにぎわい交流創出ゾーンになったら嬉しいです。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
1	財政が問題なのか、なかなか計画が進まないのが現実ですね。 あるべく姿は時代と共に変わります。 今いる方の住みやすさも、織り込んで行きたい。
2	インターチェンジ周辺には大きな商業施設を設立するべき
4	浸水エリアの住民への対応 目指すべき姿 洪水が予想される際は三和やフジスーパー屋上や企業などの浸水を免れる駐車場の一時的解放を望みます。 役場よりスーパーと連携を掛け合ってもらいたい 家の駐車場が浸水エリアの住民、会社にとって事前に車を高台に停めておければ水没を免れる。
5	30年前と比べるとかなり綺麗に美化されていると思います。
6	このままで良い。大きく変えなくて。程よい田舎っぽさが大事
7	相模川付近に行く機会がなく行きたくなるような仕掛けもないしどうやって河川敷に行くかも分からない、川の近くで遊んでみたいけどよく分からない、水辺環境が楽しめるような情報が昔から入ってこない…
8	藤沢市からの道路は自動運転がバンバン走るような道路に設計してほしい。 人口減少社会を見据えた土地利用を考えてほしい。持続可能なまちづくりのためには、子育てや教育にお金を使うより、関係人口 や交流人口を確保して、いかにお金が地域に流入するかを考えて土地利用してほしい。
9	ドッグランがほしい
10	町内にはインターが2箇所もあり利便性は高いと思いますが町長をはじめとした行政側の企業誘致活動の熱意が感じられます。 これでは町も発展しないと思います。
12	不用な農地等の活用方法、処分売却方法など町としてもっと教えてほしい。さむかわの人は土地をたくさん持っている。
13	家を建てすぎているように思う。高齢化で人口が減っているのに、そこまで新築の家が必要なのか。改めて考えて欲しい。
14	空き家がないようにする
15	一之宮公園は死角になるところが沢山あり危険がいっぱい。 公園が完成してから30年以上がたったが手入れされてないところがたくさんある。 もう少し子どもの安全、遊びやすさ等配慮が欲しい
16	台風などでの河川氾濫は、いつ大災害となってもおかしくない状況です。数年前の台風のように氾濫の危険も起こっています。相模川の寒川側の堤防関連工事を早急に行うよう、国県や地域にゆかりのある大臣に働きかけてもらいたい。
17	公園は小さいものがたくさんあるが、公園の数だけ稼ぐためなのか？如何せん遊具がない公園が多い。 大きな公園でたくさんの遊具があれば子どもたちも飽きずに過ごせると思う
19	人が集まるような施設が欲しい。 寒川には寒川神社しかないと言われるし、寒川は知らなくても神社は知ってる人はいて、他にも目的地となるような場所を作った方が活性化するのではないのでしょうか？ 新幹線の新駅ができて、乗り降りするだけの一時利用するだけの駅になってしまいそう。
20	川とのふれあい公園 トイレ、駐車場、神川橋からの歩行者アクセスなど改善し利便性を向上させるべき。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
22	<p>場所：旧東洋通信機の敷地</p> <p>理由：倉庫ではなく、公園や、学童に落ちた子等の放課後に過ごせる場所。共働きだと学校の長期休暇の時に、安全に過ごす場所がない。</p> <p>室内のスポーツができる場所が少ない。アリーナを利用しようとしても予約が入っていて気軽に使用することができない。</p>
23	<p>一之宮にスーパー、コンビニ等が無い為不便。環境はとても満足しているが、これから高齢になるにつれ買い物ができる場所が近くにないと不安。</p>
24	<p>工業用地にすると、大型トラックが増えて住民にとっては交通渋滞、通学の子供達も危険度が増すと思います。町全体も大型の倉庫のような建物が増えるとあまり景観も良くない。</p> <p>倉見の新幹線新駅の計画の場所と宮山インターが近すぎてあまりトラックが増えると将来的に倉見の新駅は活気のある明るい駅にはならないような気がします。</p> <p>今のうちに産業道路のトラックが多い道路とは別に道路を作り飲食店などの店が多くなるようにするなどして、人が集まる明るい町になって欲しいと思います。</p>
26	<p>ドラッグストアの建設ばかりでなく大型スーパーや商業施設があると移住者が増えて高齢住居が新しい世代へと繋がっていくと思います。</p>
29	<p>河川岸。歩道、サイクリングロードを整備し、利用者が増えると雰囲気良くなると思います。</p>
30	<p>全町域に言える事ですが、自然を残す地域と産業開発を優先する地域のメリハリがもっと必要だと考えます。</p>
32	<p>商業施設が多くなるとよい。</p>
35	<p>大きな商業施設がほしい</p>
36	<p>車以外の、歩行者、自転車、車椅子などが安心して道路を移動できるための配慮が進んでほしい</p> <p>歩道はあっても狭く、車が通るための傾きが多くて、小さい子の自転車や車椅子では危なかったり不便だったりが多い</p>
37	<p>河川が多く流れる町なので、見た目の環境はよいのですが、大雨時に内水氾濫が起きたり、目久尻川、小出川が氾濫したりしないか、心配しています。</p>
38	<p>町民が交流できるような公園を増やして欲しい</p>
39	<p>土地が有効に使えるて、便利になりていいですね</p>
41	<p>空いている農地、家屋。</p> <p>高齢化に伴い、空き家、空き地が多く、活用しきれていない。</p> <p>持ち主が亡くなって、親族と連絡が取れなくなる前に土地を有効活用できるように、進めて行ってほしい。</p>
42	<p>災害時の避難場所を増やす等</p>
44	<p>緑があるところは守るべきだと思う</p>
45	<p>荒廃地や遊休農地が増えているので、工業や商業用地として転換できないかを検討した方がいいと思う。</p> <p>寒川町は立地がいいので、その利便性を生かしたまちづくりに転換する時期に来ていると思う。</p>
46	<p>不法投棄が無くなるような土地利用を期待したいです</p>
47	<p>比較的大きい空き地が宅地分譲やアパートになっているケースが多いです。</p> <p>都市計画法や開発指導要綱を守っているため抑止することは不可能だと思いますが、診療所を建てるなど住民のニーズを叶える土地利用が出来たらいいなと思います。</p> <p>行政がどこかに肩入れというのは難しいですが、金融機関の一部担当者は、土地を探している個人・法人をデータとして整理しているため、連携することが出来ればより良い土地利用が出来ると考えます。</p>

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
1	<p>相模線は本数が少ない 自転車と自動車が共存するには道が狭い （道路・交通より防犯にカテゴライズされるかもしれないが）街灯が少なく冬場はとても暗い。信号のない横断歩道が多くなかなか車にとまってもらえず横断できない。歩行者が渡っているのに平気で右折左折してくる車が多い印象で（街灯が少なく見えづらいせいもあると思うが）交通ルールを守られていない車が多く感じる。 とても子どもと暮らそうとは思えない。</p>
2	<p>冠水する場所が多いです。 通勤に不便すぎるため、早期対応願いたい。</p>
3	<p>バスは子供が使う時間帯がなく、通勤時間帯にも使いにくい。 お年寄りも病院や買い物には使いづらい。 誰もが生活しやすい交通機関になると嬉しい</p>
6	<p>駅や主要な施設などへアクセスしやすいよう、バスなどの交通網がもう少し充実してくれると暮らしやすいと思います。</p>
7	<p>コミュニティバスの夕方から夜の本数を増やす 夕方5時前にバスが終わるので夜8時まであればありがたい。 夕方以降の利用者希望者が実は多い。 またコミュニティバスが走っているだけで町内の防犯効果がある。</p>
8	<p>電車バス等の交通機関が不便ですが、昔と比べるとかなり便利になってると思います。 しかしながら、不便を感じ車生活になってます。</p>
9	<p>普段特に渋滞するわけでもないし 圏央道の有り難みを実感できているので このままで良いです</p>
10	<p>町内全体的に道路が狭く歩道や自転車専用レーンなど無いため必要。また、駅南口は迂回路を作るも、雨の日など迎いの車で溢れていて非常に危険である。北口と対照的であるため改善を望みます。また、都市機能としての位置付けをしている各拠点を結ぶ交通手段を今後検討していくべき。例えば各拠点到シアバイクやループのステーションを作るなど今後検討も必要。</p>
11	<p>歩道駅前以外の道路は全般的に夜道が暗いので街灯を増やしたり道に埋め込む様なライトを道という道各所に設置するなどして明るく安全な町となると良いです。</p>
13	<p>・ 旭ヶ丘中学校に登校するために小学校から続いている通学路の歩道が狭い、自転車も非常に走りにくい ・ 家族が平塚に通勤しているが平塚まで行けるバスがない、ツインシティが進めば行きやすくなる？とにかくバスがない、茅ヶ崎駅まででもいいからうちの近くのバス停から朝乗りしたい ・ 相模線が単線でとにかく本数が少ない、東海道線との乗り合わせが悪いと地獄</p>
16	<p>自転車は軽車両扱いですが、そもそも車道が狭いところが多く成人でも危ないため歩道を走らざるをえないので、十分なスペースを確保して欲しい。 1月は寒川神社の参拝客で周辺の道路が混み合うのは仕方がないが、昼夜問わず路駐がひどいため警察と連携して交通整備をするなど繁忙期だけでも改善して欲しい。 これに関連して相模線も混み合い本来であれば乗れるはずの電車も乗れないことが増えてしまったので鎌倉市の江ノ島線のように町民は優先的に乗車できるようにするなど町民に対する配慮などもして欲しい。</p>
17	<p>歩道整備が他の市町村より遅れていると感じています。</p>
19	<p>駅周辺の魅力が低いので、商業施設の誘致などで魅力を上げてほしい。</p>
20	<p>歩道の整備、電灯設置に力を入れてほしい。</p>

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
21	県道45号線は車道を走る自転車を追い越すのが困難。歩道が狭すぎるため自転車は歩道を走れない。大型車の往来が多いため、早急な対策は必要と感じる。
22	道が整備されていない場所が多い 相模線の本数が少ない
23	・自転車は、歩道を走るには歩道が狭すぎ、車道を走るには車道の端が凸凹すぎる。車がスピードを出していても狭く危険な区間（変電所から寒川中学校まで、一之宮小から神川橋までなど）だけでも、歩道の広さ改善または車道端の路面の改善をしてもらいたい。 ・車道のひび割れなどを舗装するとき、ひび割れ箇所のみを修復しているので、車と自転車が走る部分が凸凹すぎる。特に自転車だと、転倒して、車にぶつかりそうになったこともある。舗装する方法を改善すべき（特に南小の西側に南北に走っている道路が、路面の凸凹がひどい）
24	全体的にどこも道がとにかく細い。こどもを安心して歩かせられない。
25	【駅南口の道路】 南泉寺を通る道路は歩道もなく、朝は多くの車と高校生が通勤、通学している。 道幅が狭く車がすれ違わず、端に寄せているので雨の日は歩けない。 南口の道路は幅員も狭く、車も多いので安心して歩けるようにしてほしい。
27	自転車が通行できる道路ない。 工場も多く大型の車が通るため怖くて車道は走りにくい。
28	交通量が多い通りで歩道が無いや狭いといった道があちこちにある。 地域によってバスの本数がかなり少ない、小さくても本数を増やして欲しい。
29	平塚との公共交通機関でのアクセスを可能にする
31	相模線複線化 小谷方面から茅ヶ崎駅行き 茅ヶ崎駅から小谷方面行きのバス本数増便
33	東西への移動 南北には鉄道やバスが走っており利便性が確保されているが、東西の移動(湘南台,横浜方面および平塚,厚木方面)についてはほぼ皆無に近く自家用車以外では手段がない。県の中心地の横浜や隣接している平塚,厚木あたりへの利便性が良くなれば魅力的になるのではと思う。
34	相模線の本数が少なすぎて非常に不便
35	主要道路が混雑すると、住宅街の道路を使用する車が増えスピードを出して走る車が多く危険なため混雑しやすい場所の歩行者、車両の信号の順番を変えたりすると良いかと思います。
38	歩道が狭い。バスは隣接する他市町村に相互乗り入れしてほしい。
39	相模線沿線以外の地域はほぼ自転車か徒歩、自動車移動になるので、歩道の積極的設置など徒歩、自転車移動者と自動車の事故を減らす取り組みを推進したほうが良い。
41	高齢者にも住みやすくするため、電車やバスの本数を増やして欲しい
42	道路が狭く混みやすい
45	相模線の複線化 スピードアップ 優等種別の運行
46	相模線の本数が増えてほしい 各駅だけでも複線化できたらもっと走れそうなのに

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
47	鉄道は非常に便利だと感じています。 バスも昔に比べて路線が減っていますが、コミュニティバスなどで補ってくださっていて、助かります。 個人的には、海老名行きバスを重宝しています。
49	自転車道が欲しい。
50	道路がデコボコ過ぎる、もっと整備して欲しい
51	倉見駅前の道が狭いのに乗用車のスピードが早いので歩いているとぶつかりそうで怖い。 物理的にスピードが出なくなるような道路になってくれたら嬉しい。
52	もっとバス路線が広い範囲になり本数も増えるのが理想だが、利用者が少ないのが現象なので、考えるべきところだと思う これから先老人が増えるので高齢者が利用しやすい福祉タクシーなど有れば良いと思います。
54	コミュニティバスの拡充。 高齢者の足となれるようにコースを増やすなど。
55	どこも車がないと不便
56	通勤時間帯の相模線の混雑がひどくなっています。本数をふやしたり車両数をふやすなど対策をとってほしいです。 茅ヶ崎駅ホームもせまいため混雑するのでどうにかならないかと思います。
58	相模線の本数が少なく通勤が不便。 寒川に引っ越したいが相模線の本数の少なさが引っかかるという声をよく聞きます。
59	危険な場所等に信号機の設置
60	寒川駅周辺の踏切で渋滞がおきる。電車が来ないのに踏切が閉まったり。朝、夕の通勤通学時間は、ホントに困ります。 難しいとは思いますが、立体交差などなにか良い方法はないだろうか。
61	相模線の本数が少ない。時間帯によっては混雑している。車両も短い。他路線との乗り継ぎ時間が短く、少しの相模線の遅延でも苦勞する。路線バスや町内バスも少ない。自家用車で子どもの習いごとの送迎が出来ないので、不便。
63	今のままで便利だと思っている
64	鉄道駅が3駅もあるのに、駅前が寂しい。 2駅に至っては駅前広場やロータリーすらない。 自転車が多くののに自転車通行帯がなく危ない。 歩道のある道路が少なく、歩道があっても幅が狭く危ない。
65	歩行するのに危険を伴う道路がまだ多いと感じます。 相模線の始発、終電をもう少し早い、遅い時間にしてほしいです。
66	道が狭く自転車が通りにくい。
67	町内の公共交通の充実を進めるべきだと思います。近年、バス会社も減便に次ぐ減便で収支が見込めず、コミュニティバスの本数が少ないのは重々承知です。ただ、他市町村は自動運転バスの実証運行も行っているため、新しいことをしていかないと、減便した先には公共交通が何も無い状態になってしまうのではないのでしょうか。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
1	相模川沿いは自然が多いのでいつか散歩したい
2	もっと自然や歴史的なものを守るべき
3	河川敷など使用されていない。敷地の有効化に努めるべき。例えば町民向けドッグランやBBQ場や公園など。 寒川神社周辺の商業化をさらに進める必要がある
4	宮山駅 環境や景観という点で宮山駅の駐輪場のゴミ捨て場に不法投棄されているゴミは片づけた方が良くと思う。 傘のゴミが束ねて20本くらい集積所に残っていて治安的、景観的にも良くない。 またゴミ袋の改正が町のゴミ収集に支障をきたし、回収されなかったゴミが町内各地のゴミ集積所に残り、4月以降、町全体が汚い景観になっている。 急なゴミ袋のルール改正に納得していない町民は多い。 広報の写真はきれいな風景写真が表紙に使われているが町内の現状は残念ながら汚い景観である。
5	自慢出来る景観は沢山あります。
6	富士山、相模川、大山、丹沢山系が見えなくなるような高い建物や派手な看板、目立つ看板はこれから作らないよう厳しくしてほしい。現状で満足。おしゃれさや最新さなど無理して求めなくて良い。公共施設の駐車場が無料なので近隣の市に住む親子が遊びにきやすいと言っていた。
7	あまり寒川で自然を感じることがない、ただ、田舎としか。 里山公園みたいのが出来たら散歩も楽しいのですが
9	町内中心部は電線共同溝化し電柱を無くした方が良いでしょう。
10	歴史がわかりやすい姿
11	・美化活動に事業者が参加しないので、会社の駐車場や会社前の道路のゴミがひどい。日々の清掃も美化活動もしていない事業者に、美化活動の参加をさせるような働きかけ、または参加した事業者の公表などをしてほしい。 ・市民から事業所周辺のごみ環境で通報があった際は、町は事業者へのアクションをしてほしい。
13	富士山に見えるベンチなど増やす 寒川の自然が感じられるバードウォッチングや蛍が見える川など増やす
15	空き地が少なくなり、アパートやマンションが乱立し始めたので、富士山等が見えなくなった。
17	ちゃんと歩ける歩道が続いていることと、街路樹が増えたら嬉しい。
19	緑や花が育成されている素晴らしい町と感じています。地域活動に多くの住民が、それぞれのスタイルで参加することが環境保全に繋がると考えます。
20	どこにでもある「普通の田舎町」になっているので、寒川神社など貴重な存在をもっと生かすべきだと思います。
22	環境はよいと思います。
25	今のままでいい
26	いまの景観を次の世代にも残してあげたいと願っています。
28	誰も住んでなさそうな空き家を解体してほしい
29	相模川の回りをもっと整備してほしい
31	道路脇の整備、緑化。 雑草や落ち葉、高木の整備に手が足りていないように感じる。 シルバー人材センターなど、利用して手を加えて整備してほしい。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
32	まだまだ知らない素敵なところがあるので、知れるように情報が欲しいです。
34	景観も大事であるが、狭い町なので、高さ制限を撤廃してほしい。
35	寒川神社周辺の渋滞対策
36	みどりの維持や環境づくりは町が主体として取り組んでいく意識が重要であり、取り組んでいると思います。月に1度くらいの頻度でゴミ拾いを町職員が行っている姿や・県道の花植えを行っている姿を見かけます。単純ですが働いている姿が見えるのは町民にとっても重要であり、意識付けにも繋がるので継続してください。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
2	寒川神社の鳥居と、富士山が田んぼの合間に見える景色
4	富士山と寒川神社
5	相模川沿いから見える、富士山と大山。
6	寒川高校裏の田んぼと富士山が1番のお気に入り。
7	<p>場所 小動神社</p> <p>理由 小動神社はゴミの散乱なく清掃がされている。 この清掃は自治会の加入者が当番の上で清掃を行い、暑い夏も草むしり、はきそうじを行っている。 綺麗に掃除している場所には人は不法投棄しない。</p> <p>役場より今後小動神社横の自治会の建物が使用できなくなる可能性があるという聞いた。修繕予算の関係とのことらしいが人が通わない状態になれば治安的にも荒廃していく恐れがあると思う。 自治会の会合は今後小谷小学校の教室で行う可能性があるそうであるが、月に1度でも小動神社横の自治会建物に地域住民達の出入りがあると防犯効果があるが修繕費用の問題で放置されて行けば神社も地域景観も廃れて行く。</p>
8	<p>ダイヤモンド富士がみえる場所。</p> <p>銀河大橋からの富士山。</p> <p>寒川神社。</p> <p>倉見の桜街道。</p>
9	<p>中央公園の丘から見る富士山</p> <p>寒川東中の前、田んぼの横を走っている相模線。</p> <p>寺尾橋から見る夕陽に染まる富士山</p> <p>田舎っぽくてのどかで癒される風景なので</p>
10	<p>【場所】 スポーツ広場、神川橋</p> <p>【理由】 富士山が綺麗にみえる</p>
11	<p>大曲踏切付近</p> <p>田んぼと単線の相模線が絵になり、のどか。またその付近には野鳥が訪れる川もあり時間の流れがゆったりと感じられる所が好きです。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士山は綺麗に見えます ・ 相模線からのたんぼの景色 <p>なんだかんだこれがアパートや家になったら寂しい、でも寒川の米なんか見たことない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央公園の桜は綺麗
16	富士山と大山の位置関係は寒川町が1番いいと思います。
17	銀河大橋からの富士山
19	寒川東中学校付近の畑を電車から眺めると、通勤の嫌な気分が少し和らぐので好きです。
20	中央公園の丘から観る景色は最高だ。
21	寒川神社
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川のふれあい公園…ドッグランの大会や自由にキャッチボールができる上に、風も吹いて空も広く感じられる ・ 寒川神社…高く伸びた木々が多く、木の元気をもらえる気持ちになる。正月のねぶた飾りも楽しみにしている。 ・ 中央公園…桜の季節が綺麗。ベンチや草に寝転がっての空を見る景色がいい。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
24	一之宮公園の線路道 中央公園の山の上のベンチ 大曲の田んぼから見える富士山 寒川神社の参道の森
26	寒川高校横の道路から見える富士山
27	坂の天辺や丘の上から見える富士山
28	寒川高校前の田んぼから見える富士山 晴れたらすごくきれい 銀河大橋の寒川側の夜景 帰りに見るとなんとなくほっとする
29	中央公園の桜、富士山が見える場所
31	・町内の高台から富士山が見える場所 ・さむかわ中央公園 ・農地 景色もよく空も広く感じられるところが気に入っている
32	寒川神社がとても好きで毎月参拝しています。心がリセットされてまた頑張れます。
34	富士山と寒川神社越し広がる大山。あちこちで見かけるカワセミ。駅周辺にツバメが巣を作る風景。
35	目久尻川流域の自然環境。 カワセミなど、野生生物が豊富で、のんびりした雰囲気気に入っています。
37	富士山や、大山が見えて見晴らしがよい。
38	一之宮公園の線路 春には花がたくさん咲いているからです。
39	一之宮公園の桜が咲いた時はとても綺麗だった。 中央公園も桜がとても綺麗。
42	寒川神社 おもむきがある
43	大山をはじめとした丹沢の山々が見える駅改札前の窓。
45	岡田の高台のほうや、中央公園から見える富士山はとってもいい 寒川神社の参道の緑もうれしい
46	千秋園さんの近くの信号から、田んぼ越しに中央公園や夢庵方面を眺める景色が好きです。満月が昇り始める時間帯がおすすめです。 寒川の中で、一番空を広く感じ、穏やかな気分になります。
48	寒川図書館 きれいで立派な建物だと思う。
49	相模川と富士山
50	倉見駅近く桜町緑道は桜が咲いてゆっくり歩けるので良いです
52	目久尻川沿いや相模川沿い。 鳥や草木が富み、富士山や大山が良く見えるところ。
53	何気ない、ふとした気持ち良い風。
55	中央公園前や中学校前の畑がとても好きです。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
56	春の中央公園 お花見に色んな世代の人たちが、来て楽しそうにしている 寺尾橋から見る夕暮れの富士山 1日の終わりに日本一の富士山の夕暮れを見るのはいい 圏央道から見る寒川町 なんとなく 田舎な感じ
57	町内、自宅、保育園、公園からきれいに富士山、寒川神社の鳥居が見える景観が好きです。
59	銀河大橋からの景色はきれい
60	川とのふれあい公園からの景色は素晴らしい。
61	寒川神社、行くと落ち着く
62	銀河大橋を西に向かって渡る時は富士山が綺麗に見えて、渋滞のイライラも少し緩和される。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
1	町で準備できる防災には限度があるので、自助が大切と考える
2	寒川町が震災が起きた時の対応がどこまで、何人までできるのか不安
3	もっと普段から町役場の人ではなく ボランティアをしていただき周知することが必要
4	ペット防災はどうなっているのでしょうか？
5	防災対策の新チーム設立 理由 台風などの洪水の際に氾濫情報が町役場からは情報発信されていない、茅ヶ崎市と消防署が合併したから寒川町役場からは情報発信しないという理由では府に落ちない。 昨年の一之宮の工場火災の際に煙が駅前まで流れてきていた、多くの町民が焦げた煙を吸い込んだ際、テレビでも中継でニュース報道されていたが町役場は防災無線やホームページで火災の情報を周知していなかった。 防災無線が今後機能しないのだとしたら有事の際に混乱が起きると多くの町民からは意見が出ている。 今後起こる災害に備えて寒川町に消防署組織とは別の迅速対応出来る防災組織が必要と思った。
6	高齢者の避難の人的要因が必要かと思えます。
7	日頃からの意識が大事 家族単位で話し合い、個人で、いざという時に行動できる人間を個々に目指す
8	防災無線が聞き取りにくいです
9	防災無線を聞き逃した時ネットで内容が確認できない。 防災無線のツイッターアカウントが確かあったかもですが実質死んでいる 自治会主体じゃなくて自治体主体で防災についての情報を電子で配信してほしい 不審者情報も知りたい
11	防災無線がいまいち聞き取りづらいです。
12	自分のことは自分で守る意識を高めてほしい。
13	現在の町の体制で災害が起きたら多分 町は機能停止します。 危機管理が町民として全く見えないんです。
14	避難場所がわかりやすいこと
15	避難所でのプライバシー保護のテントみたいなのがあればいいなと思う。 ペットと避難できる場所の確保
16	【場所】小谷 【理由】大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い小谷で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべき。避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい。
18	現在どのくらいの防災対策をしてあるのか、あまり良く知らないのですが… 他の市町村などで取り入れられているような公園に災害時用に役に立つマンホールトイレ、ベンチがかまどになる物とか、井戸水 を使えるように準備するとか、そのような防災対策がしてあると安心だと思います。
19	町内会だけでなく全体でもやって欲しい
21	相模川や目久尻川などの河川があることから氾濫が一番の起こりうる災害と思われる。 氾濫した際は、役場など町の中枢部に被害が及ぶ可能性が高いので、被害を受けた時の影響や対応を検討しておくのが良いと思う。
22	ライフラインが途切れても、各家庭の備えは勿論重要だが、個人以外でもある程度は補えること。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
24	繰り返しの防災訓練。昨年度の防災訓練がとても良かった。役場の皆さんの各被災地での実体験の賜物と感じると同時に、住民の自助意識の低さも実感しました。
25	寒川町最大の自然災害の脅威は河川の大規模氾濫だと思っています。 もっと町民に周知したほうが良いのではないかと考えます。
27	去年、工場で火災があり、近所で怖い思いをしました。その後、工場からのお詫びなどがなく、ベランダが灰などが飛んできており、汚れてしまい、洗浄でしっかり流しました。 工場で火災があったときなど、迅速に出来る対応があると良いです。
31	避難所などが少ない
32	災害が起きた時の物資が 充分にあるのだろうか？ 家がなくなってしまうたら、行き場がなくなり困らないような対策ができるような対応策を設けてもらいたいです
34	地域を巻き込んで、本格的な訓練を。
35	具体的な事を知りません。 自ら知ろうとする事が必要。
37	あまり内容が周知されていないのではないか
38	実際に災害が起きたらどうなるのか。町民はどうしたらよいか、がわからなくて不安。 シュミレーションを公開したり、避難訓練をしたりしてほしい。 例えば、川が決壊したとき、しそうなとき、避難場所は中学校だが、自宅より川に近い。 どうしたらよいかわからない。
40	行政と個人の両方が力をいれてこそ意味があると思っています。
41	野焼きの撲滅 昨今、野焼きが原因の大規模な森林火災が各地で発生していますが、自宅付近の田畑でも野焼きが横行しているの、取り締まってほしいです。

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
1	<p>まちづくりについて 情報発信力の弱さを改善していく必要がある。 本来、助けが必要な時に情報発信者が不在であることが多い。 以前、寒川を台風や大雪が直撃した際も役場のホームページは町の避難所指示情報や川の氾濫情報、交通機関情報がいっさいアップされなかった。町の観光協会では「悪天候予想されるため休業します」とSNSに事前休業宣言しており、町全体として情報を求めている人への対応がなされていないように思える。 町会議員や寒川ラジオは自身のSNSで町内被害状況・相模線の運行状況をアップして町民はもとより寒川の地理に詳しくない観光客が困らないよう安全を配慮した行動を独自で行っていた。 行政が行わないのであれば個人が動くしかないという現状であり、今後まちづくりの改善が必要と思える。</p>
2	<p>既にいい町だと思う</p>
4	<p>倉見のツインシティ計画及び新幹線誘致を毎日楽しみにしています、続報待ってます 早く平塚側のイオンに倉見から車で行きたい</p>
6	<p>・最初にさむペイのアカウントナンバーを記入するところで、アプリからコピーして記入する人が大半かと思いますが、コピーするとハイフンが付いており、記入要領にハイフン不要と書いてあるため、消す手間があるのがいただけないと思います。 ・三和スーパーを普段利用させていただいてますが、最近そこに小さなゲームコーナーが出来ました。ただ、そこまで利用者が居るようには感じられません（たまたま人がいない時しか見てない可能性もありますが）。それなら別の商業施設を導入されてもいいのではないかと思います。例えばこれは個人的な意見ですが、KALDIのような規模ならちょうど収まるのではと思いました。</p>
7	<p>予算を使ってもいいので、計画段階から民間や専門家を入れるべき。 その上で町民にまちづくりを考えてもらう。 町が誘導してもいいので、町民に決めさせる。町民が自分たちでできたことであれば、スムーズに進むと思います。 しっかりと誘導できる外部のファシリテーターも必要。</p>
8	<p>町政には概ね満足しています。給食センターの設立などは非常にありがたく感じています。 町の歴史なども積極的に展開されており、かなり歴史が古い土地だということがわかります。うまく活かせば、町おこしの要素にもなるのではないかと思います。</p>
9	<p>・アンケート自体について。打ち込みづらさや量の多さが気になり、担当者がまず回答を試してみるなど、回答する気になるアンケートの作成を今後は期待する。今回、送信ボタンを押した際に、不備があると言われたが、該当する回答項目を探せず、とてもイライラした。 ・小中学生にも分かる&読みたくなるような計画書を作らないと、興味のない大人も読んでくれないと考える。市民参加を促すのであれば、10ページ程度に要点をまとめた、簡単な表現の計画書を作ってほしい。</p>
11	<p>寒川神社周辺に車中泊が出来る広い駐車場がある道の駅があったら楽しそう 工場見学が出来る工場が来たらうれしい(お菓子とか…)</p>
12	<p>街全体の道が狭いので危険な箇所が多いと思います。 寒川駅以外の宮山、倉見駅周辺が狭いので困っている。</p>
13	<p>環境や住みやすさを検討して寒川に家を建てたので、これから長い間居住すると思います。たくさん行政と住民が意見交換しより良い街になっていく事を願っています。</p>
14	<p>岡田3丁目のゴミステーションの改良を希望します。黄色いネットで覆うのみだと、カラスに荒らされて道路や隣接する住宅にまで影響が出ることがあります。</p>

年齢別意見まとめ（生産年齢世代）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
15	寒川町をもっと外に向けてアピールして、「寒川町から来ました。」と胸を張って言えるような町になって欲しい。
19	本屋が一軒もないのが残念 町が購入している業者と交渉して実店舗を出してもらえないか 学校の先生方の病欠の多さも気になる 先生方が健康で長く働いてくれることは、子供たちの教育の充実に直結するので、現場の先生方への支援を手厚くし、人員も増やしてほしい
21	コメダコーヒー以外にもう一つ大きなカフェが駅周辺に欲しい。 ドラッグストアと整体はもういらぬ。
22	高齢者が孤独にならない取り組みも検討して欲しいです 子供達も大事ですが、大人一人で生きていく人も、収入面では大変な人もいるので、皆が平等に暮らしていける町を目指して欲しいです。
23	一之宮に買い物できる所が欲しい
25	寒川町はポテンシャルが非常に高いと感じる。 土地利用や拠点整備について積極的に進めてもらいたい。 交通の利便性が高いので、その優位性を生かした工業・商業的な立地のまちづくりを行っていけば、財政的に豊かになれると思う。 わいわい市はいつも混んでいるのに、駐車場が足りていない。 道の駅のようなものを整備して十分な駐車場を確保し、寒川神社にもアクセスしやすくすれば、より活性化できると思う。
26	現首相の動向が批判されることも多く、若者が政治や行政に注目をしてきているため、寒川町からも積極的に町づくりだけでなく情報を提供していく姿勢が大事だと考えます。今回のようなアンケートは継続してくれると幸いです。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
2	寒川神社周辺神社の参道や周辺に美味しい食事やお茶が飲めるお店があると良いです。
4	倉見地区は病院が無さ過ぎる！
5	行政が計画しても住民を引っ張るだけの職員がいないため、知識と能力とやる気のある職員採用が必要不可欠である。
12	福祉に関係する拠点が重要です。 今後健康管理センターの移転が、計画されていますが、仮の建物に福祉関係のボランティアが利用出来る拠点が、限られる様になると思われます。 拠点が無く活動が制限されると継続が難しくなる団体も多くなると思われます。 是非ご検討お願い致します。
16	拠点と言うより交通網や駐車場の整備を！
20	寒川町は何を目指しますか？ベッドタウンであればもう少し暮らしやすくなるよう道路の整備や交通手段など充実すべき。産業はなんでしょう？中途半端なのではないでしょうか？ 面積が狭い割りに町民が町のことを周知していないように思います。
23	県道46号線は寒川町のメイン道路ですが、46号やそこにつながる道路に物流倉庫が建設され、トラック台数等が増加して交通量が増えている道路事情が悪い、その様な所にぎわいゾーン等作っても町民が安心安全に活用出来るか疑問です。 目新しい事を計画中の様ですが、足下の公園や緑道に絶えず雑草が生えている。その様な場所で子供達を安心安全に遊ばせられるのですか？
26	わいわい市場の北側に大きいショッピングモールを造り、川を渡らずに買い物や医療センター等を利用出来るようになると良い。同時に周辺道路を整備してバイパスを作り圏央道の下を通し、東側を宅地開発する。相模線各駅までバス専用道路を循環させる。人気の茅ヶ崎が近いので、移住者は増加すると思う。 市制に移行し、拡大を図る。
27	中心部だけでなく、北部にも、大きな公園 田端にも今のうちに大きな公園 福祉のゾーンが必要である。
30	拠点化は賛成です 町の財源を得つつ拠点化を加速することが重要だと思います ただ実現化が遅いと感じています 少子高齢化が進む中で町の人口も減少することを想定しなければなりません 計画倒れになりかねない さらに地球温暖化や自然災害のことを考えると駅の周辺には極力ゆとりを持たせる、公園や学校など公共施設、ホテルあたりとして、商業施設や住む場所は駅周辺ではなく町と隣の市の境界周辺あたりを囲むようにした方が、交通網の整備、周辺地区からの集客、すむひとの利便性も計れるのではないのでしょうか
32	場所 寺社仏閣 理由 歴史を重視した観光等での町の活性化を図る
33	人口に対して住宅ばかりが増えている、また、高層道路が出来たせいで、利便性は高まったが物流拠点が増えている、もっと、自然や町らしい感じがする地域が必要と考える。
34	今直ぐには思い浮かばない。
41	寒川町内に病院が少なすぎる為、近隣の市に行かなければならない。 行くためには車がないと不便な事が多々あります。 もっと病院を増やして欲しいです。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
44	一之宮地区の荒地を駐車場も余裕で作れるし公民共同の夜間も、対応してくれる医療機関を建設してほしい。 コロナ禍中も以降も内科などは診察券を持って、継続して通院してる患者優先で急患はお断りと私は3件の病院から言われ、仕方なく茅ヶ崎市立病院に行きました。具合悪くしてるのにそんなことがあって良いのでしょうか？寒川神社ばかりにおんぶに抱っこはもう辞めにして町と民間協力した医療機関ができないでしょうか？
47	町民が大勢集まる場所が屋外の公園しかなく、商業施設が無い。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
3	町及び議会議員に能力が必要不可欠である。
11	町に本屋さん スポーツショップ的なお店が無いのが 切ないです ちと 土地利用とは違うかもですが。。
18	ストリートスポーツの利用者はどの程度を想定しているのでしょうか？ 分かりづらいです。
21	寒川町は元々、農業の町です。休耕地が増えています。都会に近い田舎と、もっと農地を活用出来る事を検討したらどうか。
25	寒川北インターから東で海老名市の境界迄のところを工業団地を造成する。空いた跡地を宅地農地にする。 散乱している農地、住宅、大型トラックの駐車場等を整理し、商工農住にメリハリをつけること美しい街並みを造る。
27	公共施設の拡散
28	食料の自給率を上げるために農地を大切にしてほしい。 今は米やその他の食品が高額で困ってます。
31	一次産業の労働人口が高齢化しているのだから、小規模事業は立ち行かなくなる 田畑、果樹園、花卉園芸場所などが分散化しているので町が指導しながら、集約化や企業参画を促し、今後の近郊農業の先駆けとなるような土地の利用法を検討して欲しい
33	静かな町を作って欲しい、高齢社会に合わせて、公園や病院、介護施設などを集約化したモデル地域があれば、近隣市内からの人の流入があって、街としても発展するのでは。
34	広報にて進捗報告をマメにして欲しい。
40	学校の統合の話がでていますが、登校に片道1時間近くかかる子どもたちが出てくるのでは？と思う事があります。 小学1年生が毎日登校に1時間近くかかっていたら、あまりにも酷だな、と。 統合するならスクールバスの運行まで検討する余地はありますか？
43	河川周辺を散歩しますが、夏になると草が生い茂り歩けなくなります。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
4	運転免許返納の時に、たった1年間仕用のタクシー券が貰えるなら、コミュニティバスの回数券を作って下さい！
5	駅に向かう交通手段が必要不可欠である。
12	元々住民利用者数が少なく、ラッシュ時にも1時間に3~4本の運行では、満足度の土壌に上がることも出来ないと思います。
14	歩道、自転車道 もう少し広くなると安心して通行できると思います。 乳母車等が通れる様に。
15	学校の通学路や幼稚園などの通園路、散歩道の安全性を向上させるべきだ。目にあまる危険性があります。
18	駅前に駐車場があれば！と思う
26	道路が狭いのに自転車の規制ができ不満を感じます。 歩道に家の木？街路樹などがはみ出している町民のモラルに疑問を感じます。
30	寒川駅から役場付近は歩道も有りますが、一歩外れると道幅も狭く大変危険な状態です。歩道を確保出来る道幅にして欲しい。
32	駅前を広くとり、バスロータリーを作ることは必須。 駅が町内に3駅もあるので駅との繋がりをメインに横の移動を考える事が必要。
36	南部のコミュニティバスは、小さくて、乗るのを躊躇する。利用者が少ない一因だと思う。せめて小さいバスサイズにしてほしい。
37	自転車が歩道を通ると歩行者が危ないし、車道も危ない。 もっと安全に走れるとよい。
40	とにかく不便 相模線一本であり、朝夕はひどく混む、他の路線にアクセスできるのはバスでこれも海老名行きのバスのみでこちらも本数が少なく、停車数が多くて時間的に不便湘南台駅にもアクセスできれば良い 駅に向かう道路も狭く、道幅も狭い 自転車も気をつけて通らないと危ない 自転車が悪いのではない！道路整備が悪いことも忘れてはならない 理想的な交通モデルをつくり、トライしてみるのが良いと思う
43	住宅地の道路は狭くてすれ違いも出来ない、主要な道路も、歩道が取れていない場所もおおく、健康促進のために歩いて楽しい町になっていないように感じる。
44	車社会にしては役場周辺や駅周辺での駐車場整備は充分では無いように思いました。
48	[コミュニティバスのルートについて] 利便性（高齢であっても自家用車がなくても行動範囲を拡げられる）や利用率向上のため、「隣接市のコミュニティバスとの連携」「停留所の増加（寒川駅から徒歩10分圏内に居住しており、今は問題なく歩けますが、高齢による歩行困難や悪天候時を考えると、現行のルートのみでは不便です）」「北部福祉会館等公的施設の停留所の設置」
53	JRの本数が少ない気がします。 歩道があったかと思えば、突然なくなる場所が多いですし、ガタガタとしている道が多いです。
57	自家用車の利用が多いのは単線で本数が少ない相模線だからでは？ コミュニティバスも平坦な場所ばかり走って、岡田4、5、6丁目の急坂がある地区にも住宅地が多いのですよ。 道は狭いしバスは無理と役場は考えてるのですか？ではその高齢者の足はどうするのか？考えたことありますか？

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
62	道路が狭く、生け垣が歩道まで伸びている。自転車の交通規則が変わりましたが、自転車に乗りにくいです。歩道もデコボコしていたりで歩きにくいです。子どもの通学の安全性に欠けると思います。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
8	全くの無策だ。ビジョンを示して取り組んでほしい。
12	散歩するのに、川のほたりなど整備してほしいです。
14	町全体の構想が見えない。申し訳ありませんが、良かった景観も悪くなるばかりだと感じています。
16	神社参道はもっと広くし、神社周辺の駐車場は立体化するなどして、楽に駐車できるようにする。周辺住民専用道路を作り、ゲートなどで区切り住民の利便性を確保する。 駐車場は全て町営とし料金を低く抑える。
18	参道整備ができていない。昨年 信号で止まっている時、喜が車天上に落ちてきた。神社のひとはこれだけ、木がありますから…と言った。子供の自転車などに落ちたら、大変である。参道の車道は、落ち葉で、自転車が、危ない。
21	神社仏閣がそれぞれ整備するのが良いと思います
23	地球温暖化に伴う異常気象、特に水対策を十分にしたい。
24	今直ぐには思い浮かばない。
27	寒川町の自然環境や景観は、町が一番誇れるところだと思います。自然を活かしながらも、もう少し観光的な視点で整備、保存されるともっと良いと思います。
30	寒川神社の参道にある排水溝が詰まっていて、水たまりができやすくなっています。 由緒正しい神社の参道が台無しだな、と思います。
33	寒川町は景色のよさをもっと整備しアピールすべきだと思います。歩道などの整備をすべきだと思います

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
1	中央公園からの富士山
3	寒川中央公園 丘の上から見る富士山の夕焼け
12	相模川河川敷から眺める富士山。
14	富士山が観える場所 寒川神社のある景色
15	町のかかなりの地点から富士山が見える。
18	テニスコートも新しく成り素敵ですが 利用方法がもう少し簡単なら！と思う
23	小出川周辺が好きです。また田端、大曲の田んぼからみた夕焼けが好きです。
25	銀河大橋付近の土手からの風景。相模川の先に見える大山、富士山、箱根の山々。平塚市側も高い建物が無いので、広々とした景観です。
30	川沿いなどの富士山の見えるところ。
33	中央公園の桜が富士山や丹沢も見えてとてもきれいです。
36	寒川小学校の校庭の桜 創設期からグラウンドに残る記念樹でたいへん歴史を感じます
40	相模川流域、自然を感じられる。 寒川神社から水の広場までは良い雰囲気と施設がある。
41	寒川中央公園 天気によっては富士山も見える。
44	信玄芝原公園付近 朝早くや夕焼け、畑や田んぼのあぜ道に立ち止まってみる風景は、気持ちがなごむ 引っ越してきて、5年目です。
47	「箱根連山・富士山・大山と見渡せるところ（景観もさることながら、夏至、冬至、春分、秋分と日の入り が目視できることは、縄文時代の人々が寒川を居住地としたことと密接に関係していると思うので、そのよ うな歴史も大切にしたいと思うから。）」 「畑等の原風景の中を走る相模線（のどかです。）」 「参道の桜を背景に菜の花が咲き、水鳥が飛来する目久尻川（のどかであり、安全な環境であることの象徴 のように思うから。）」
51	目久尻川の両岸からの丹沢、富士山の眺めが良い。
54	寒川小学校と保育園から見る富士山です。電線が無ければもっと良い 銀河大橋から見える富士山も良いですね 倉見緑地の桜並木 素晴らしい。桜は手入れされてる方に 感謝します。
58	大曲、田端の田んぼから望む富士山、夕焼け。小出川沿いの桜や川に集まる水鳥など素晴らしいと思いま す。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
10	相模川の河原は津波対策が必要です。
17	気象状況も以前とは全く違ってきた。防災も今までをベースに考えていると大変な被害になると思う。 想定外と言う言い訳ではすまない。 学校集約化で避難場所がどうなるのか不安です。
20	これで充分と言う事がないのが防災対策なので、事が起きたときのオペレーションが大事なこと。指揮系統や、役割分担等は日頃の訓練やマニュアルなどの整備が大事かと。
23	自治会では、とても良くやってくれているが、前に体育館で、参加者が横になったとき、全くスペースがなかった。ソフィアの住人も いるし、実際に避難できる場所の確保 前もっての安心感がほしい。
26	地域消防団にも、シニア制 女性参画制を取り入れるべきだと思います
28	正直、災害対策で何をしているのか分かっていない。
29	広域避難所の具体的利用方法などさらに周知して欲しい。
30	冠水、浸水等の危険のある地域の避難所における減災対策 防災無線の改善（デジタル機器の受信が可能な人ばかりではないので防災無線は必要だと思いますが、3か所くらいのスピーカーが共鳴して頭と語尾以外はほとんど合唱状態のため、いつも聞き取りを諦めている状況です。）
33	ペット同行避難のガイドラインを作って欲しい。
36	東中学校は田んぼの上に立ってて 東日本大地震では物凄く揺れてヒビまではいったのになぜ？避難所なのか？
39	消火栓を充実させたらいいと思います。

年齢別意見まとめ（高齢者世代以降）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
3	町民が自分たちの住む寒川町に関して、自由闊達に意見を述べることの出来るTown Meeting的な仕組みを具現化して欲しいです。
5	様々なアンケートを実施されていますが、もっと町民や実際関わっている方に意見を聞いてほしいです。箱物だけでできても、利用する人の意見をまず聴いてから、取り組んで欲しいです。
10	役場の職員の方も町外の方が増えていると聞いています。職員の方に寒川町に住みたいかのアンケートを行なったらどうか。住みたくない人達や寒川町の実態を知らない人達が色々考えても、現在住んでいる町民の安心安全住み良い町が確保できるのか疑問です。良いと思い寒川町に移転して来たが、住んで見てがっかりして転居して行った方もいます。 現在、学校の集約化が検討されていますが、学力レベルアップとか他の地域と違う内容の検討も必要だと感じます。
16	より理想的な町の姿を検討し、県や全国をリードできるような寒川町を利用して行って下さい 議論にとどまらず、是非よいと思ったことを実現できるよう、たとえば小さく回して、トライandエラーで成功事例を増やして行って欲しいです
17	人に優しい町作りを行なって欲しい。
18	各団体での人材不足が多発していると思います。参加しやすい仕組みの検討をおねがいします。
20	町では、高齢者対策として介護・介護予防などに力を入れていただいておりますが、単身高齢者が増加する中、要介護・要支援でなくても安心して暮らせる資源（見守りや生前・死後手続き等のシステムの充実など）が欲しいと思います。私は生まれてから今までずっと寒川に住み、叶うことなら死ぬまで寒川に住み続けたいと思っています。社会福祉協議会を基幹としたシステムの構築（民間業者との連携に伴う負担は利用者負担とするなど）やシニア向け賃貸住宅建築者の誘致など、町が丸抱えするのではない形で、賃貸であっても家主が不安なく、単身高齢者も安心して暮らせるまちづくりを政策に含めてほしいと切に願います。
24	新幹線新駅誘致は非現実的なので その予算を相模線複線化にして 踏切が閉まると酷い渋滞発生するので 踏切をアンダーパスか高架橋にしてほしい

(本編) 参考資料 3

町民満足度調査自由記載
(地域別意見の整理)

寒川町都市マスタープラン

進捗管理等報告書

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
3	寒川町北側にも何かあると良い。 現状だとえひがすぐなので寒川自身に魅力がない。いつも中心部から南側のことばかりで、中央公園以北はなにもないイメージ
4	倉見地区は病院が無さ過ぎる！
11	寒川神社周りを観光客がもう少し楽しめるように駐車場とかお土産屋さん増やせませんか、 神社ゾーンとして… 名物みたいなお土産も弱いし
22	【場所】小谷 【理由】大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い小谷で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべき。避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい。
24	拠点やゾーンを作ることも重要だが、そこに行く手段（コミュニティバス等）がきちんと作られていないと人は集まらないと思う
25	もっと寒川神社周辺を整備して町を盛り上げるようにしてほしい。 遠くから寒川神社に来てくれる人がたくさんいるのに周りに何もなさすぎる。 もったいないと思います。 (寒川神社の周り何もないと他の街の人に言われます)
26	わいわい市場の北側に大きいショッピングモールを造り、川を渡らずに買い物や医療センター等を利用出来るようになると良い。同時に周辺道路を整備してバイパスを作り圏央道の下を通し、東側を宅地開発する。相模線各駅までバス専用道路を循環させる。人気の茅ヶ崎が近いので、移住者は増加すると思う。 市制に移行し、拡大を図る。
34	今直ぐには思い浮かばない。
40	倉見駅西側、農地や圏央道下の道路開発を進めてもらいたいです。 圏央道下の平塚から海老名まで早く繋いで頂きたいです
46	商業施設を増やして欲しい

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
1	財政が問題なのか、なかなか計画が進まないのが現実ですね。 あるべく姿は時代と共に変わります。 今いる方の住みやすさも、織り込んで行きたい。
7	相模川付近に行く機会がなく行きたくなるような仕掛けもないしどうやって河川敷に行くかも分からない、川の近くで遊んでみたいけどよく分からない、水辺環境が楽しめるような情報が昔から入ってこない…
12	不用な農地等の活用方法、処分売却方法など町としてもっと教えてほしい。さむかわの人は土地をたくさん持っている。
20	川とのふれあい公園 トイレ、駐車場、神川橋からの歩行者アクセスなど改善し利便性を向上させるべき。
25	寒川北インターから東で海老名市の境界迄のところ工業団地を造成する。空いた跡地を宅地農地にする。散乱している農地、住宅、大型トラックの駐車場等を整理し、商工農住にメリハリをつけること美しい街並みを造る。
34	広報にて進捗報告をマメにして欲しい。
39	土地が有効に使えるて、便利になりていいですね

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
2	冠水する場所が多いです。 通勤に不便すぎるため、早期対応願いたい。
3	バスは子供が使う時間帯がなく、通勤時間帯にも使いにくい。 お年寄りも病院や買い物には使いづらい。 誰もが生活しやすい交通機関になると嬉しい
4	運転免許返納の時に、たった1年間仕用のタクシー券が貰えるなら、コミュニティバスの回数券を作って下さい！
12	元々住民利用者数が少なく、ラッシュ時にも1時間に3~4本の運行では、満足度の土壌に上がることも出来ないと思います。
13	・旭ヶ丘中学校に登校するために小学校から続いている通学路の歩道が狭い、自転車も非常に走りにくい ・家族が平塚に通勤しているが平塚まで行けるバスがない、ツインシティが進めば行きやすくなる？とにかくバスがない、茅ヶ崎駅まででもいいからうちの近くのバス停から朝乗りしたい ・相模線が単線でとにかく本数が少ない、東海道線との乗り合わせが悪いと地獄
15	学校の通学路や幼稚園などの通園路、散歩道の安全性を向上させるべきだ。目にあまる危険性があります。
20	歩道の整備、電灯設置に力を入れてほしい。
29	平塚との公共交通機関でのアクセスを可能にする
32	駅前を広くとり、バスロータリーを作ることは必須。 駅が町内に3駅もあるので駅との繋がりをメインに横の移動を考える事が必要。
33	東西への移動 南北には鉄道やバスが走っており利便性が確保されているが、東西の移動(湘南台.横浜方面および平塚.厚木方面)についてはほぼ皆無に近く自家用車以外では手段がない。県の中心地の横浜や隣接している平塚.厚木あたりへの利便性が良くなれば魅力的になるのではと思う。
44	車社会にしては役場周辺や駅周辺での駐車場整備は充分では無いように思いました。
51	倉見駅前の道が狭いのに乗用車のスピードが早いので歩いているとぶつかりそうで怖い。 物理的にスピードが出なくなるような道路になってくれたら嬉しい。
52	もっとバス路線が広い範囲になり本数も増えるのが理想だが、利用者が少ないのが現象なので、考えるべきところだと思う これから先老人が増えるので高齢者が利用しやすい福祉タクシーなど有れば良いと思います。
58	相模線の本数が少なく通勤が不便。 寒川に引っ越したいが相模線の本数の少なさが引っかかるという声をよく聞きます。

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
2	もっと自然や歴史的なものを守るべき
7	あまり寒川で自然を感じることがない、ただ、田舎としか。 里山公園みたいのが出来たら散歩も楽しいのですが
8	全くの無策だ。ビジョンを示して取り組んでほしい。
16	神社参道はもっと広くし、神社周辺の駐車場は立体化するなどして、楽に駐車できるようにする。周辺住民専用道路を作り、ゲートなどで区切り住民の利便性を確保する。 駐車場は全て町営とし料金を低く抑える。
24	今直ぐには思い浮かばない。

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
2	寒川神社の鳥居と、富士山が田んぼの合間に見える景色
4	富士山と寒川神社
12	相模川河川敷から眺める富士山。
13	<ul style="list-style-type: none"> . 富士山は綺麗に見えます . 相模線からのたんぼの景色 なんだかんだこれがアパートや家になったら寂しい、でも寒川の米なんか見たことない <ul style="list-style-type: none"> . 中央公園の桜は綺麗
15	町のかなりの地点から富士山が見える。
20	中央公園の丘から観る景色は最高だ。
29	中央公園の桜、富士山が見える場所
30	川沿いなどの富士山の見えるところ。
31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の高台から富士山が見える場所 ・ さむかわ中央公園 ・ 農地 景色もよく空も広く感じられるところが気に入っている
41	寒川中央公園 天気によっては富士山も見える。
44	信玄芝原公園付近 朝早くや夕焼け、畑や田んぼのあぜ道に立ち止まってみる風景は、気持ちがなごむ 引っ越してきて、5年目です。
50	倉見駅近く 桜町緑道は桜が咲いてゆっくり歩けるので良いです
51	目久尻川の両岸からの丹沢、富士山の眺めが良い。
55	中央公園前や中学校前の畑がとても好きです。

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
2	寒川町が震災が起きた時の対応がどこまで、何人までできるのか不安
3	もっと普段から町役場の人ではなく ボランティアをしていただき周知することが必要
9	防災無線を聞き逃した時ネットで内容が確認できない。 防災無線のツイッターアカウントが確かあったかもありますが実質死んでいる 自治会主体じゃなくて自治体主体で防災についての情報を電子で配信してほしい 不審者情報も知りたい
10	相模川の河原は津波対策が必要です。
16	【場所】小谷 【理由】大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い小谷で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべき。避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい。
20	これで充分と言う事がないのが防災対策なので、事が起きたときのオペレーションが大事なこと。指揮系統や、役割分担等は日頃の訓練やマニュアルなどの整備が大事かと。
21	相模川や目久尻川などの河川があることから氾濫が一番の起こりうる災害と思われる。 氾濫した際は、役場など町の中枢部に被害が及ぶ可能性が高いので、被害を受けた時の影響や対応を検討しておくのが良いと思う。
29	広域避難所の具体的利用方法などさらに周知して欲しい。
32	災害が起きた時の物資が 充分にあるのだろうか？ 家がなくなってしまったら、行き場がなくなり困らないような対策ができるような対応策を設けてもらいたいです
33	ペット同行避難のガイドラインを作って欲しい。

地域別意見まとめ（北地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
3	町民が自分たちの住む寒川町に関して、自由闊達に意見を述べることの出来るTown Meeting的な仕組みを具現化して欲しいです。
4	倉見のツインシティ計画及び新幹線誘致を毎日楽しみにしています、続報待ってます 早く平塚側のイオンに倉見から車で行きたい
12	街全体の道が狭いので危険な箇所が多いと思います。 寒川駅以外の宮山、倉見駅周辺が狭いので困っている。
13	環境や住みやすさを検討して寒川に家を建てたので、これから長い間居住すると思います。たくさん行政と住民が意見交換しより良い街になっていく事を願っています。
18	各団体での人材不足が多発していると思います。参加しやすい仕組みの検討をおねがいします。
22	高齢者が孤独にならない取り組みも検討して欲しいです 子供達も大事ですが、大人一人で生きていく人も、収入面では大変な人もいるので、皆が平等に暮らしていける町を目指して欲しいです。

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
6	<p>場所 防災対策ゾーン</p> <p>理由 台風などの洪水の際に避難所となっている小学校や中学校が氾濫していることがあり、避難所自体が危険エリアである。事前に防災対策に向いている土地に組織を配置した方が良いかと思った。</p> <p>また昨年の一之宮の自動車部品工場火災の際に煙が駅前まで流れ多くの町民が焦げた煙を吸い込んだ際に寒川町役場に火事発生の三時間後にテレビでも中継で大きくニュース報道されていたが役場では「工場の火事について役場ではホームページで情報発信はしない」「テレビを見て情報収集してください」との対応であった。せめて町役場からは防災無線やホームページで火災の情報を周知する必要があったと多くの町民からは意見が出ている。</p> <p>今後の寒川町の防災意識に危機感を持ち、消防署とは別の夜でも迅速対応出来る組織改革が必要と思った。</p>
9	<p>寒川駅周辺に大型ショッピングモールが欲しい</p> <p>寒川町にKALDIの店舗ができて欲しい</p> <p>子育てしやすい町</p>
12	<p>福祉に関係する拠点が重要です。</p> <p>今後健康管理センターの移転が、計画されていますが、仮の建物に福祉関係のボランティアが利用出来る拠点が、限られる様になると思われます。</p> <p>拠点が無く活動が制限されると継続が難しくなる団体も多くなると思われます。</p> <p>是非ご検討お願い致します。</p>
13	<p>新たなゾーン等よりは、生活中心拠点をもっと賑やかにして欲しいです。特に駅周りはもう少し賑やかに明るくなればと思います。</p>
15	<p>寒川神社を中心に町外からの集客ポテンシャルはあるのにそれを町の経済活性化に生かしてないと思います。</p> <p>残念です。</p>
16	<p>拠点と言うより交通網や駐車場の整備を！</p>
30	<p>拠点化は賛成です</p> <p>町の財源を得つつ拠点化を加速することが重要だと思います</p> <p>ただ実現が遅いと感じています</p> <p>少子高齢化が進む中で町の人口も減少することを想定しなければなりません 計画倒れになりかねない</p> <p>さらに地球温暖化や自然災害のことを考えると駅の周辺には極力ゆとりを持たせる、公園や学校など公共施設、ホテルあたりとして、商業施設や住む場所は駅周辺ではなく町と隣の市の境界周辺あたりを囲むようにした方が、交通網の整備、周辺地区からの集客、すむひとの利便性も計れるのではないのでしょうか</p>
36	<p>各学校を交流拠点と考えていってはどうか</p>
37	<p>にぎわい交流創出ゾーンについて、個人的にはわいわい市から寒川神社にかけての田んぼが広がる景色に心いやされることがあり、また、そのことが寒川町に移り住むきっかけとなったので、にぎわいを創出することには賛成なもの、田んぼをつぶして店舗を増やすようなことになるのは嫌だなと思っています。</p>
38	<p>倉見産業道路は店舗充実高いが、駅前の活性化について検討求めたい</p>
44	<p>一之宮地区の荒地を駐車場も余裕で作れるし公民共同の夜間も、対応してくれる医療機関を建設してほしい。</p> <p>コロナ禍中も以降も内科などは診察券を持って、継続して通院してる患者優先で急患はお断りと私は3件の病院から言われ、仕方なく茅ヶ崎市立病院に行きました。具合悪くしてるのにそんなことがあって良いのでしょうか？寒川神社ばかりにおんぶに抱っこはもう辞めにして町と民間協力した医療機関ができないのでしょうか？</p>

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
45	寒川神社近辺の活性化 例えば鎌倉の商店街の様な街づくり

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
4	<p>浸水エリアの住民への対応 目指すべき姿 洪水が予想される際は三和やフジスーパー屋上や企業などの浸水を免れる駐車場の一時的解放を望みます。 役場よりスーパーと連携を掛け合ってもらいたい 家の駐車場が浸水エリアの住民、会社にとって事前に車を高台に停めておければ水没を免れる。</p>
10	<p>町内にはインターが2箇所もあり利便性は高いと思いますが町長をはじめとした行政側の企業誘致活動の熱意が感じられます。 これでは町も発展しないと思います。</p>
11	<p>町に本屋さん スポーツショップ的なお店が無いのが 切ないです ちと 土地利用とは違うかもですが。。</p>
22	<p>場所：旧東洋通信機の敷地 理由：倉庫ではなく、公園や、学童に落ちた子等の放課後に過ごせる場所。共働きだと学校の長期休暇の時に、安全に過ごす場所がない。 室内のスポーツができる場所が少ない。アリーナを利用しようとしても予約が入っていて気軽に使用することができない。</p>
24	<p>工業用地にすると、大型トラックが増えて住民にとっては交通渋滞、通学の子供達も危険度が増すと思います。町全体も大型の倉庫のような建物が増えるとあまり景観も良くない。 倉見の新幹線新駅の計画の場所と宮山インターが近すぎてあまりトラックが増えると将来的に倉見の新駅は活気のある明るい駅にはならないような気がします。 今のうちに産業道路のトラックが多い道路とは別に道路を作り飲食店などの店が多くなるようにするなどして、人が集まる明るい町になって欲しいと思います。</p>
26	<p>ドラッグストアの建設ばかりでなく大型スーパーや商業施設があると移住者が増えて高齢住居が新しい世代へと繋がっていくと思います。</p>
28	<p>食料の自給率を上げるために農地を大切にしてほしい。 今は米やその他の食品が高額で困ってます。</p>
31	<p>一次産業の労働人口が高齢化しているのだから、小規模事業は立ち行かなくなる 田畑、果樹園、花卉園芸場所などが分散化しているので町が指導しながら、集約化や企業参画を促し、今後の近郊農業の先駆けとなるような土地の利用法を検討して欲しい</p>
36	<p>車以外の、歩行者、自転車、車椅子などが安心して道路を移動できるための配慮が進んでほしい 歩道はあっても狭く、車が通るための傾きが多くて、小さい子の自転車や車椅子では危なかったり不便だったりが多い</p>
37	<p>河川が多く流れる町なので、見た目の環境はよいのですが、大雨時に内水氾濫が起きたり、目久尻川、小出川が氾濫したりしないか、心配しています。</p>
42	<p>災害時の避難場所を増やす等</p>

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
6	駅や主要な施設などへアクセスしやすいよう、バスなどの交通網がもう少し充実してくれると暮らしやすいと思います。
7	コミュニティバスの夕方から夜の本数を増やす 夕方5時前にバスが終わるので夜8時まであればありがたい。 夕方以降の利用者希望者が実は多い。 またコミュニティバスが走っているだけで町内の防犯効果がある。
14	歩道、自転車道 もう少し広くなると安心して通行できると思います。 乳母車等が通れる様に。
16	自転車は軽車両扱いですが、そもそも車道が狭いところが多く成人でも危ないため歩道を走らざるをえないので、十分なスペースを確保して欲しい。 1月は寒川神社の参拝客で周辺の道路が混み合うのは仕方がないが、昼夜問わず路駐がひどいため警察と連携して交通整備をするなど繁忙期だけでも改善して欲しい。 これに関連して相模線も混み合い本来であれば乗れるはずの電車も乗れないことが増えてしまったので鎌倉市の江ノ島線のように町民は優先的に乗車できるようにするなど町民に対する配慮などもして欲しい。
17	歩道整備が他の市町村より遅れていると感じています。
18	駅前に駐車場があれば！と思う
19	駅周辺の魅力が低いので、商業施設の誘致などで魅力を挙げてほしい。
28	交通量が多い通りで歩道が無いや狭いといった道があちこちにある。 地域によってバスの本数がかかなり少ない、小さくても本数を増やして欲しい。
31	相模線複線化 小谷方面から茅ヶ崎駅行き 茅ヶ崎駅から小谷方面行きのバス本数増便
35	主要道路が混雑すると、住宅街の道路を使用する車が増えスピードを出して走る車が多く危険なため混雑しやすい場所の歩行者、車両の信号の順番を変えたりすると良いかと思います。
37	自転車が歩道を通ると歩行者が危ないし、車道も危ない。 もっと安全に走れるとよい。
40	とにかく不便 相模線一本であり、朝夕はひどく混む、他の路線にアクセスできるのはバスでこれも海老名行きのバスのみでこちらも本数が少なく、停車数が多くて時間的に不便湘南台駅にもアクセスできれば良い 駅に向かう道路も狭く、道幅も狭い 自転車も気をつけて通らないと危ない 自転車が悪いのではない！道路整備が悪いことも忘れてはならない 理想的な交通モデルをつくり、トライしてみるのが良いと思う
46	相模線の本数が増えてほしい 各駅だけでも複線化できたらもっと走れそうなのに
47	鉄道は非常に便利だと感じています。 バスも昔に比べて路線が減っていますが、コミュニティバスなどで補ってくださっていて、助かります。 個人的には、海老名行きのバスを重宝しています。

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
48	[コミュニティバスのルートについて] 利便性（高齢であっても自家用車がなくても行動範囲を拡げられる）や利用率向上のため、「隣接市のコミュニティバスとの連携」「停留所の増加（寒川駅から徒歩10分圏内に居住しており、今は問題なく歩けますが、高齢による歩行困難や悪天候時を考えると、現行のルートのみでは不便です）」「北部福祉会館等公的施設の停留所の設置」
49	自転車道が欲しい。
56	通勤時間帯の相模線の混雑がひどくなっています。本数をふやしたり車両数をふやすなど対策をとってほしいです。 茅ヶ崎駅ホームもせまいため混雑するのでどうにかならないかと思います。
57	自家用車の利用が多いのは単線で本数が少ない相模線だからでは？ コミュニティバスも平坦な場所ばかり走って、岡田4、5、6丁目の急坂がある地区にも住宅地が多いのですよ。 道は狭いしバスは無理と役場は考えてるのですか？ではその高齢者の足はどうするのか？考えたことありますか？
59	危険な場所等に信号機の設置
61	相模線の本数が少ない。時間帯によっては混雑している。車両も短い。他路線との乗り継ぎ時間が短く、少しの相模線の遅延でも苦勞する。路線バスや町内バスも少ない。自家用車で子どもの習いごとの送迎が出来ないので、不便。

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
4	<p>宮山駅 環境や景観という点で宮山駅の駐輪場のゴミ捨て場に不法投棄されているゴミは片づけた方が良くと思う。 傘のゴミが束ねて20本くらい集積所に残っていて治安的、景観的にも良くない。 またゴミ袋の改正が町のゴミ収集に支障をきたし、回収されなかったゴミが町内各地のゴミ集積所に残り、4月以降、町全体が汚い景観になっている。 急なゴミ袋のルール改正に納得していない町民は多い。 広報の写真はきれいな風景写真が表紙に使われているが町内の現状は残念ながら汚い景観である。</p>
9	町内中心部は電線共同溝化し電柱を無くした方が良いです。
15	空き地が少なくなり、アパートやマンションが乱立し始めたので、富士山等が見えないようになった。
21	神社仏閣がそれぞれ整備するのが良いと思います
26	いまの景観を次の世代にも残してあげたいと願っています。
27	寒川町の自然環境や景観は、町が一番誇れるところだと思います。自然を活かしながらも、もう少し観光的な視点で整備、保存されるともっと良いと思います。
28	誰も住んでなさそうな空き家を解体してほしい

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
1	中央公園からの富士山
7	場所 小動神社 理由 小動神社はゴミの散乱なく清掃がされている。 この清掃は自治会の加入者が当番の上で清掃を行い、暑い夏も草むしり、はきそうじを行っている。 綺麗に掃除している場所には人は不法投棄しない。 役場より今後小動神社横の自治会の建物が使用できなくなる可能性があるという。修繕予算の関係とのことらしいが人が通わない状態になれば治安的にも荒廃していく恐れがあると思う。 自治会の会合は今後小谷小学校の教室で行う可能性があるそうであるが、月に1度でも小動神社横の自治会建物に地域住民達の出入りがあると防犯効果があるが修繕費用の問題で放置されて行けば神社も地域景観も廃れて行く。
14	富士山が観える場所 寒川神社のある景色
17	銀河大橋からの富士山
18	テニスコートも新しく成り素敵ですが 利用方法がもう少し簡単なら！と思う
19	寒川東中学校付近の畑を電車から眺めると、通勤の嫌な気分が少し和らぐので好きです。
27	坂の天辺や丘の上から見える富士山
33	中央公園の桜が富士山や丹沢も見えてとてもきれいです。
36	寒川小学校の校庭の桜 創設期からグラウンドに残る記念樹でたいへん歴史を感じます
45	岡田の高台のほうや、中央公園から見える富士山はとてもいい 寒川神社の参道の緑もうれしい
46	千秋園さんの近くの信号から、田んぼ越しに中央公園や夢庵方面を眺める景色が好きです。満月が昇り始める時間帯がおすすめです。 寒川の中で、一番空を広く感じ、穏やかな気分になります。
47	「箱根連山・富士山・大山と見渡せるところ（景観もさることながら、夏至、冬至、春分、秋分と日の入りが目視できることは、縄文時代の人々が寒川を居住地としたことと密接に関係していると思うので、そのような歴史も大切にしたいと思うから。）」 「畑等の原風景の中を走る相模線（のどかです。）」 「参道の桜を背景に菜の花が咲き、水鳥が飛来する目久尻川（のどかであり、安全な環境であることの象徴のように思うから。）」
48	寒川図書館 きれいで立派な建物だと思う。
54	寒川小学校と保育園から見る富士山です。電線が無ければもっと良い 銀河大橋から見える富士山も良いですね 倉見緑地の桜並木 素晴らしい。桜は手入れされてる方に感謝します。
57	町内、自宅、保育園、公園からきれいに富士山、寒川神社の鳥居が見える景観が好きです。

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
5	<p>防災対策の新チーム設立</p> <p>理由 台風などの洪水の際に氾濫情報が町役場からは情報発信されていない、茅ヶ崎市と消防署が合併したから寒川町役場からは情報発信しないという理由では府に落ちない。</p> <p>昨年の一之宮の工場火災の際に煙が駅前まで流れてきていた、多くの町民が焦げた煙を吸い込んだ際、テレビでも中継でニュース報道されていたが町役場は防災無線やホームページで火災の情報を周知していなかった。</p> <p>防災無線が今後機能しないのだとしたら有事の際に混乱が起きると多くの町民からは意見が出ている。</p> <p>今後起こる災害に備えて寒川町に消防署組織とは別の迅速対応出来る防災組織が必要と思った。</p>
8	防災無線が聞き取りにくいです
11	防災無線がいまいち聞き取りづらいです。
13	<p>現在の町の体制で災害が起きたら多分</p> <p>町は機能停止します。</p> <p>危機管理が町民として全く見えないんです。</p>
18	<p>現在どのくらいの防災対策をしてあるのか、あまり良く知らないのですが…</p> <p>他の市町村などで取り入れられているような公園に災害時用に役に立つマンホールトイレ、ベンチがかまどになる物とか、井戸水 を使えるように準備するとか、そのような防災対策がしてあると安心だと思います。</p>
26	地域消防団にも、シニア制 女性参画制を取り入れるべきだと思います
30	<p>冠水、浸水等の危険のある地域の避難所における減災対策</p> <p>防災無線の改善（デジタル機器の受信が可能な人ばかりではないので防災無線は必要だと思いますが、3か所くらいのスピーカーが共鳴して頭と語尾以外はほとんど合唱状態のため、いつも聞き取りを諦めている状況です。）</p>
36	<p>東中学校は田んぼの上に立ってて</p> <p>東日本大地震では物凄く揺れてヒビまではいったのになぜ？避難所なのか？</p>

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
1	<p>まちづくりについて 情報発信力の弱さを改善していく必要がある。 本来、助けが必要な時に情報発信者が不在であることが多い。 以前、寒川を台風や大雪が直撃した際も役場のホームページは町の避難所指示情報や川の氾濫情報、交通機関情報がいっさいアップされなかった。町の観光協会では「悪天候予想されるため休業します」とSNSに事前休業宣言しており、町全体として情報を求めている人への対応がなされてないように思える。 町会議員や寒川ラジオは自身のSNSで町内被害状況・相模線の運行状況をアップして町民はもとより寒川の地理に詳しくない観光客が困らないよう安全を配慮した行動を独自で行っていた。 行政が行わないのであれば個人が動くしかないという現状であり、今後まちづくりの改善が必要と思える。</p>
5	<p>様々なアンケートを実施されていますが、もっと町民や実際関わっている方に意見を聞いてほしいです。 箱物だけできても、利用する人の意見をまず聴いてから、取り組んで欲しいです。</p>
6	<p>・最初にさむペイのアカウントナンバーを記入するところで、アプリからコピーして記入する人が大半かと思いますが、コピーするとハイフンが付いており、記入要領にハイフン不要と書いてあるため、消す手間があるのがいただけないと思います。 ・三和スーパーを普段利用させていただいてますが、最近そこに小さなゲームコーナーが出来ました。ただ、そこまで利用者が居るようには感じられません（たまたま人がいない時しか見てない可能性もありますが）。それなら別の商業施設を導入されてもいいのではないかと思います。例えばこれは個人的な意見ですが、KALDIのような規模ならちょうど収まるのではと思いました。</p>
8	<p>町政には概ね満足しています。給食センターの設立などは非常にありがたく感じています。 町の歴史なども積極的に展開されており、かなり歴史が古い土地だということがわかります。うまく活かせば、町おこしの要素にもなるのではないかと思います。</p>
14	<p>岡田3丁目のゴミステーションの改良を希望します。黄色いネットで覆うのみだと、カラスに荒らされて道路や隣接する住宅にまで影響が出る可能性があります。</p>
16	<p>より理想的な町の姿を検討し、県や全国をリードできるような寒川町を利用して行って下さい 議論にとどまらず、是非よいと思ったことを実現できるよう、たとえば小さく回して、トライandエラーで成功事例を増やして行って欲しいです</p>
19	<p>本屋が一軒もないのが残念 町が購入している業者と交渉して実店舗を出してもらおうなどできないか 学校の先生方の病欠の多さも気になる 先生方が健康で長く働いてくれることは、子供たちの教育の充実に直結するので、現場の先生方への支援を手厚くし、人員も増やしてほしい</p>
20	<p>町では、高齢者対策として介護・介護予防などに力を入れていただいておりますが、単身高齢者が増加する中、要介護・要支援でなくても安心して暮らせる資源（見守りや生前・死後手続き等のシステムの充実など）が欲しいと思います。私は生まれてから今までずっと寒川に住み、叶うことなら死ぬまで寒川に住み続けたいと思っています。社会福祉協議会を基幹としたシステムの構築（民間業者との連携に伴う負担は利用者負担とするなど）やシニア向け賃貸住宅建築者の誘致など、町が丸抱えするのではない形で、賃貸であっても家主が不安なく、単身高齢者も安心して暮らせるまちづくりを政策に含めてほしいと切に願います。</p>
21	<p>コメダコーヒー以外にもう一つ大きなカフェが駅周辺に欲しい。 ドラッグストアと整体はもういらない。</p>

地域別意見まとめ（東地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
24	新幹線新駅誘致は非現実的なので その予算を相模線複線化にして 踏切が閉まると酷い渋滞発生するので 踏切をアンダーパスか高架橋にしてほしい

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
2	寒川神社周辺神社の参道や周辺に美味しい食事やお茶が飲めるお店があると良いです。
5	行政が計画しても住民を引っ張るだけの職員がいないため、知識と能力とやる気のある職員採用が必要不可欠である。
7	田端周辺の工場の煙が気になることが未だにあります。 空気が綺麗な寒川町になればもっと良いかと思えます。
10	健康促進ゾーン川沿い遊歩道 小谷付近の川沿いは現在砂利道で斜面に柵は無く凸凹しており老人の散歩には危険、自転車は走りにくい状況ですがアスファルトに整備して明るい街灯が設置されたら健康作りに程よいゾーンになるではないでしょうか。
17	考え方に異論はありません。工業は発展して欲しいし、近場で生活に必要なイベント(買い物や病院)が完結するならば是非進めていただきたいです。ただ、枠の外に住んでいる人はどうなるのか、その人たちは今より不便になるのではないかと感じるためその部分に対する説明は欲しい(コミュニティバスを使うとかで解消されるものではないと思えます)
18	誰もが使える場所
19	周辺の市(というか平塚)アクセスの改善を早くした方がいい。橋を早く作って欲しい。 どこの道も渋滞、道が細い等で大型ショッピングセンターが複数あるにも関わらず行きにくい。 寒川町の店にお金を落とすことは勿論必要かもしれないが、周辺の自治体に恵まれているのだから、それを利用するのも手(例えば、ららぽーとやアウトレットにも行きやすいと地価も周辺より少し安いから子育て世代の人气が高まり移住者が増えるかも…?)だと思ふ
20	寒川町は何を目指しますか？ベッドタウンであればもう少し暮らしやすくなるよう道路の整備や交通手段など充実すべき。産業はなんでしょう？中途半端なのではないでしょうか？ 面積が狭い割りに町民が町のことを周知していないように思います。
21	寒川神社の周りに人が集まるような施設があるとちょっと観光客が来るのではないかと。道の駅のような、ご当地グルメなどが食べられるもの。
23	県道46号線は寒川町のメイン道路ですが、46号やそこにつながる道路に物流倉庫が建設され、トラック台数等が増加していて交通量が増えている道路事情が悪い、その様な所にぎわいゾーン等作っても町民が安心安全に活用出来るか疑問です。 目新しい事を計画中の様ですが、足下の公園や緑道に絶えず雑草が生えている。その様な場所で子供達を安心安全に遊ばせられるのですか？
27	中心部だけでなく、北部にも、大きな公園 田端にも今のうちに大きな公園 福祉のゾーンが必要である。
28	駅周辺。第3次産業企業の誘致を検討してほしいと思えます。第3次産業は都心である必要がいまやありません。町と企業双方のメリットを見いだすことは可能と考えます。あわよくば、高齢者の就業先としても、いままでは町にはあまりなかった職種の雇用の産出を期待します。
29	倉見駅周辺の新幹線駅新設を含めた整備。
31	一之宮や田端の地域にスーパーなど施設が出来ると嬉しい
32	場所 寺社仏閣 理由 歴史を重視した観光等での町の活性化を図る
33	人口に対して住宅ばかりが増えている、また、高層道路が出来たせいで、利便性は高まったが物流拠点が増えている、もっと、自然や町らしい感じがする地域が必要と考える。
39	道路などインフラの整備をしっかりと欲しい

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	①.問3-5 拠点等に関する自由記載
41	寒川町内に病院が少なすぎる為、近隣の市に行かなければならない。 行くためには車がないと不便な事が多々あります。 もっと病院を増やして欲しいです。
42	保育園や学校、病院など。 子育て世帯を呼び込む事で、活性化されると思うが、子育てしやすい魅力が足りない。商業施設は近隣の市で済ませられるが、地域において、必ず利用するのは、学校だったり、保育園だったりする。その施設が魅力あるものだったら、子育て世帯を呼びこみ、町の活性化につながると思う。自然はあるので、あとプラスで教育に力を入れて、町の魅力にして行ってほしい。
43	にぎわい交流はとても良いが、渋滞は一概に喜べない。
47	町民が大勢集まる場所が屋外の公園しかなく、商業施設が無い。
49	農地の工業化はあまり重要と思えない
51	ただでさえ過密ダイヤの東海道新幹線に、新駅創設はあまり現実的ではないと思います。 箱モノに公費を負担するのは納得いかないです。 もっと住民のために投じてほしいです。

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
2	インターチェンジ周辺には大きな商業施設を設立するべき
3	町及び議会議員に能力が必要不可欠である。
5	30年前と比べるとかなり綺麗に美化されていると思います。
9	ドッグランがほしい
13	家を建てすぎているように思う。高齢化で人口が減っているのに、そこまで新築の家が必要なのか。改めて考えて欲しい。
14	空き家がないようにする
15	一之宮公園は死角になるところが沢山あり危険がいっぱい。 公園が完成してから30年以上がたったが手入れされていないところがたくさんある。 もう少し子どもの安全、遊びやすさ等配慮が欲しい
16	台風などでの河川氾濫は、いつ大災害となってもおかしくない状況です。数年前の台風のように氾濫の危険も起こっています。相模川の寒川側の堤防関連工事を早急に行うよう、国県や地域にゆかりのある大臣に働きかけてもらいたい。
17	公園は小さいものがたくさんあるが、公園の数だけ稼ぐためなのか？如何せん遊具がない公園が多い。 大きな公園でたくさんの遊具があれば子どもたちも飽きずに過ごせると思う
18	ストリートスポーツの利用者はどの程度を想定しているのでしょうか？ 分かりづらいです。
19	人が集まるような施設が欲しい。 寒川には寒川神社しかないと言われるし、寒川は知らなくても神社は知ってる人はいて、他にも目的地となるような場所を作った方が活性化するのではないのでしょうか？ 新幹線の新駅ができて、乗り降りするだけの一時利用するだけの駅になってしまいそう。
21	寒川町は元々、農業の町です。休耕地が増えています。都会に近い田舎と、もっと農地を活用出来る事を検討したらどうか。
23	一之宮にスーパー、コンビニが無い為不便。環境はとても満足しているが、これから高齢になるにつれ買い物ができる場所が近くにないと不安。
27	公共施設の拡散
29	河川岸。歩道、サイクリングロードを整備し、利用が増えると雰囲気良くなると思います。
30	全町域に言える事ですが、自然を残す地域と産業開発を優先する地域のメリハリがもっと必要だと考えます。
32	商業施設が多くなるとよい。
33	静かな町を作って欲しい、高齢社会に合わせて、公園や病院、介護施設などを集約化したモデル地域があれば、近隣市内からの人の流入があつて、街としても発展するのでは。
38	町民が交流できるような公園を増やして欲しい
40	学校の統合の話がでていますが、登校に片道1時間近くかかる子どもたちが出てくるのでは？と思う事があります。 小学1年生が毎日登校に1時間近くかかっていたら、あまりにも酷だな、と。 統合するならスクールバスの運行まで検討する余地はありますか？
41	空いている農地、家屋。 高齢化に伴い、空き家、空き地が多く、活用しきれていない。 持ち主が亡くなって、親族と連絡が取れなくなる前に土地を有効活用できるように、進めて行ってほしい。

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	②.問3-12 土地利用に関する自由記載
43	河川周辺を散歩しますが、夏になると草が生い茂り歩けなくなります。
44	緑があるところは守るべきだと思う
46	不法投棄が無くなるような土地利用を期待したいです

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
5	駅に向かう交通手段が必要不可欠である。
8	電車バス等の交通機関が不便ですが、昔と比べるとかなり便利になってると思います。 しかしながら、不便を感じ車生活になってます。
10	町内全体的に道路が狭く歩道や自転車専用レーンなど無いため必要。また、駅南口は迂回路を作るも、雨の日など迎いの車で溢れていて非常に危険である。北口と対照的であるため改善を望みます。また、都市機能としての位置付けをしている各拠点を結ぶ交通手段を今後検討していくべき。例えば各拠点にシェアバイクやループのステーションを作るなど今後検討も必要。
11	歩道駅前以外の道路は全般的に夜道が暗いので街灯を増やしたり道に埋め込む様なライトを道という道各所に設置するなどして明るく安全な町となると良いです。
21	県道45号線は車道を走る自転車を追い越すのが困難。歩道が狭すぎるため自転車は歩道を走れない。大型車の往来が多いため、早急な対策は必要と感じる。
22	道が整備されていない場所が多い 相模線の本数が少ない
23	・自転車は、歩道を走るには歩道が狭すぎ、車道を走るには車道の端が凸凹すぎる。車がスピードを出していても狭く危険な区間（変電所から寒川中学校まで、一之宮小から神川橋までなど）だけでも、歩道の広さ改善または車道端の路面の改善をしてもらいたい。 ・車道のひび割れなどを舗装するとき、ひび割れ箇所のみを修復しているので、車と自転車が走る部分が凸凹すぎる。特に自転車だと、転倒して、車にぶつかりそうになったこともある。舗装する方法を改善すべき（特に南小の西側に南北に走っている道路が、路面の凸凹がひどい）
24	全体的にどこも道がとにかく細い。こどもを安心して歩かせられない。
25	【駅南口の道路】 南泉寺を通る道路は歩道もなく、朝は多くの車と高校生が通勤、通学している。 道幅が狭く車がすれ違う為、端に寄せているので雨の日は歩けない。 南口の道路は幅員も狭く、車も多いので安心して歩けるようにしてほしい。
26	道路が狭いのに自転車の規制ができ不満を感じます。 歩道に家の木？街路樹などがはみ出している町民のモラルに疑問を感じます。
27	自転車が通行できる道路ない。 工場も多く大型の車が通るため怖くて車道は走りにくい。
30	寒川駅から役場付近は歩道も有りますが、一歩外れると道幅も狭く大変危険な状態です。歩道を確保出来る道幅にして欲しい。
34	相模線の本数が少なすぎて非常に不便
36	南部のコミュニティバスは、小さくて、乗るのを躊躇する。利用者が少ない一因だと思う。せめて小さいバスサイズにしてほしい。
38	歩道が狭い。バスは隣接する他市町村に相互乗り入れしてほしい。
39	相模線沿線以外の地域はほぼ自転車か徒歩、自動車移動になるので、歩道の積極的設置など徒歩、自転車移動者と自動車の事故を減らす取り組みを推進したほうが良い。
41	高齢者にも住みやすくするため、電車やバスの本数を増やして欲しい
42	道路が狭く混みやすい
43	住宅地の道路は狭くてすれ違いも出来ない、主要な道路も、歩道が取れていない場所もおおく、健康促進のために歩いて楽しい町になっていないように感じる。
50	道路がデコボコ過ぎる、もっと整備して欲しい

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	③.問3-19 道路・交通体系に関する自由記載
53	JRの本数が少ない気がします。 歩道があったかと思えば、突然なくなる場所が多いですし、ガタガタとしている道が多いです。
54	コミュニティバスの拡充。 高齢者の足となれるようにコースを増やすなど。
55	どこも車がないと不便
60	寒川駅周辺の踏切で渋滞がおきる。電車が来ないのに踏切が閉まったり。朝、夕の通勤通学時間は、ホントに困ります。 難しいとは思いますが、立体交差などなにか良い方法はないだろうか。
62	道路が狭く、生け垣が歩道まで伸びている。自転車の交通規則が変わりましたが、自転車に乗りにくいです。歩道もテコボコしていたりで歩きにくいです。子どもの通学の安全性に欠けると思います。
63	今のままで便利だと思っている
65	歩行するのに危険を伴う道路がまだ多いと感じます。 相模線の始発、終電をもう少し早い、遅い時間にしてほしいです。
66	道が狭く自転車が通りにくい。

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	④.問3-24 環境・景観形成に関する自由記載
3	河川敷など使用されていない。敷地の有効化に努めるべき。例えば町民向けドッグランやBBQ場や公園など。 寒川神社周辺の商業化をさらに進める必要がある
5	自慢出来る景観は沢山あります。
10	歴史がわかりやすい姿
11	・美化活動に事業者が参加しないので、会社の駐車場や会社前の道路のゴミがひどい。日々の清掃も美化活動もしていない事業者に、美化活動の参加をさせるような働きかけ、または参加した事業者の公表などをしてほしい。 ・市民から事業所周辺のごみ環境で通報があった際は、町は事業者へのアクションをしてほしい。
12	散歩するのに、川のほとりなど整備してほしいです。
13	富士山の見えるベンチなど増やす 寒川の自然が感じられるバードウォッチングや蛍が見える川など増やす
14	町全体の構想が見えない。申し訳ありませんが、良かった景観も悪くなるばかりだと感じています。
17	ちゃんと歩ける歩道が続いていることと、街路樹が増えたら嬉しい。
18	参道整備ができていない。昨年 信号で止まっている時、喜が車天上に落ちてきた。神社のひとはこれだけ、木がありますから…と言った。子供の自転車などに落ちたら、大変である。参道の車道は、落ち葉で、自転車が、危ない。
19	緑や花が育成されている素晴らしい町と感じています。地域活動に多くの住民が、それぞれのスタイルで参加することが環境保全に繋がると考えます。
20	どこにでもある「普通の田舎町」になっているので、寒川神社など貴重な存在をもっと生かすべきだと思います。
22	環境はよいと思います。
23	地球温暖化に伴う異常気象、特に水対策を十分にしたい。
29	相模川の回りをもっと整備してほしい
30	寒川神社の参道にある排水溝が詰まっていて、水たまりができやすくなっています。 由緒正しい神社の参道が台無しだな、と思います。
31	道路脇の整備、緑化。 雑草や落ち葉、高木の整備に手が足りていないように感じる。 シルバー人材センターなど、利用して手を加えて整備してほしい。
32	まだまだ知らない素敵などところがあるので、知れるように情報が欲しいです。
33	寒川町は景色のよさをもっと整備しアピールすべきだと思います。歩道などの整備をすべきだと思います
35	寒川神社周辺の渋滞対策

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
3	寒川中央公園 丘の上から見る富士山の夕焼け
5	相模川沿いから見える、富士山と大山。
6	寒川高校裏の田んぼと富士山が1番のお気に入り。
8	ダイヤモンド富士がみえる場所。 銀河大橋からの富士山。 寒川神社。 倉見の桜街道。
10	【場所】スポーツ広場、神川橋 【理由】富士山が綺麗にみえる
11	大曲踏切付近 田んぼと単線の相模線が絵になり、のどか。またその付近には野鳥が訪れる川もあり時間の流れがゆったりと感じられる所が好きです。
21	寒川神社
22	・川のふれあい公園…ドッグランの大会や自由にキャッチボールができる上に、風も吹いて空も広く感じられる ・寒川神社…高く伸びた木々が多く、木の元気をもらえる気持ちになる。正月のねぶた飾りも楽しみにしている。 ・中央公園…桜の季節が綺麗。ベンチや草に寝転がっての空を見る景色がいい。
23	小出川周辺が好きです。また田端、大曲の田んぼからみた夕焼けが好きです。
24	一之宮公園の線路道 中央公園の山の上のベンチ 大曲の田んぼから見える富士山 寒川神社の参道の森
25	銀河大橋付近の土手からの風景。相模川の先に見える大山、富士山、箱根の山々。平塚市側も高い建物が無いので、広々とした景観です。
26	寒川高校横の道路から見える富士山
28	寒川高校前の田んぼから見える富士山 晴れたらすごくきれい 銀河大橋の寒川側の夜景 帰りに見るとなんとなくほっとする
32	寒川神社がとても好きで毎月参拝しています。心がリセットされてまた頑張れます。
34	富士山と寒川神社越し広がる大山。あちこちで見かけるカワセミ。駅周辺にツバメが巣を作る風景。
35	目久尻川流域の自然環境。 カワセミなど、野生生物が豊富で、のんびりした雰囲気が入っています。
37	富士山や、大山が見えて見晴らしがよい。
38	一之宮公園の線路 春には花がたくさん咲いているからです。
39	一之宮公園の桜が咲いた時はとても綺麗だった。 中央公園も桜がとても綺麗。

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑤.問3-25 「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）」に関する自由記載
40	相模川流域、自然を感じられる。 寒川神社から水の広場までは良い雰囲気と施設がある。
49	相模川と富士山
52	目久尻川沿いや相模川沿い。 鳥や草木が富み、富士山や大山が良く見えるところ。
53	何気ない、ふとした気持ち良い風。
58	大曲、田端の田んぼから望む富士山、夕焼け。小出川沿いの桜や川に集まる水鳥など素晴らしいと思います。
59	銀河大橋からの景色はきれい
61	寒川神社、行くと落ち着く

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑥.問3-29 防災に関する自由記載
4	ペット防災はどうなっているのでしょうか？
6	高齢者の避難の人的要因が必要かと思えます。
14	避難場所がわかりやすいこと
15	避難所でのプライバシー保護のテントみたいなのがあればいいなと思う。 ペットと避難できる場所の確保
17	気象状況も以前とは全く違ってきた。防災も今までをベースに考えていると大変な被害になると思う。 想定外と言う言い訳ではすまない。 学校集約化で避難場所がどうなるのか不安です。
19	町内会だけでなく全体でもやって欲しい
22	ライフラインが途切れても、各家庭の備えは勿論重要だが、個人以外でもある程度は補えること。
23	自治会では、とても良くやってくれているが、前に体育館で、参加者が横になったとき、全くスペースがなかった。ソフィアの住人も いるし、実際に避難できる場所の確保 前もつての安心感がほしい。
24	繰り返しの防災訓練。昨年度の防災訓練がとても良かった。役場の皆さんの各被災地での実体験の賜物と感じると同時に、住民の自助意識の低さも実感しました。
25	寒川町最大の自然災害の脅威は河川の大規模氾濫だと思っております。 もっと町民に周知したほうが良いのではないかと考えます。
27	去年、工場で火災があり、近所で怖い思いをしました。その後、工場からのお詫びなどがなく、ベランダが 灰などが飛んできており、汚れてしまい、洗浄でしっかり流しました。 工場で火災があったときなど、迅速に出来る対応があると良いです。
28	正直、災害対策で何をしているのか分かっていない。
31	避難所などが少ない
34	地域を巻き込んで、本格的な訓練を。
35	具体的な事を知りません。 自ら知ろうとする事が必要。
38	実際に災害が起きたらどうなるのか。町民はどうしたらよいのか、がわからなくて不安。 シュミレーションを公開したり、避難訓練をしたりしてほしい。 例えば、川が決壊したとき、しそうなとき、避難場所は中学校だが、自宅より川に近い。 どうしたらよいかわからない。
39	消火栓を充実させたらいいと思えます。
40	行政と個人の両方が力をいれてこそ意味があると思っています。
41	野焼きの撲滅 昨今、野焼きが原因の大規模な森林火災が各地で発生していますが、自宅付近の田畑でも野焼きが横行している ので、取り締まってほしいです。

地域別意見まとめ（南地域）

*いただいたご意見は、個人情報等に関する部分を除き、原文のまま記載しています。

連番	⑦. その他自由記載
9	<p>・アンケート自体について。打ち込みづらさや量の多さが気になり、担当者がまず回答を試してみるなど、回答する気になるアンケートの作成を今後は期待する。今回、送信ボタンを押した際に、不備があると言われたが、該当する回答項目を探せず、とてもイライラした。</p> <p>・小中学生にも分かる&読みたくなるような計画書を作らないと、興味のない大人も読んではくれないと考える。市民参加を促すのであれば、10ページ程度に要点をまとめた、簡単な表現の計画書を作ってほしい。</p>
10	<p>役場の職員の方も町外の方が増えていると聞いています。職員の方に寒川町に住みたいかのアンケートを行なったらどうか。住みたくない人達や寒川町の実態を知らない人達が色々考えても、現在住んでいる町民の安心安全住み良い町が確保できるのか疑問です。良いと思い寒川町に移転して来たが、住んで見てがっかりして転居して行った方もいます。</p> <p>現在、学校の集約化が検討されていますが、学力レベルアップとか他の地域と違う内容の検討も必要だと感じます。</p>
11	<p>寒川神社周辺に車中泊が出来る広い駐車場がある道の駅があったら楽しそう 工場見学が出来る工場が来たらうれしい(お菓子とか…)</p>
15	<p>寒川町をもっと外に向けてアピールして、「寒川町から来ました。」と胸を張って言えるような町になって欲しい。</p>
17	<p>人に優しい町作りを行なって欲しい。</p>
23	<p>一之宮に買い物できる所が欲しい</p>

(本編) 参考資料 4

町民満足度調査自由記載
(頻出キーワードの整理)

寒川町都市マスタープラン

進捗管理等報告書

町民満足度調査でご意見をいただいた自由意見について、「拠点等に関する自由記載」、「土地利用に関する自由記載」、「道路・交通体系に関する自由記載」、「環境・景観形成に関する自由記載」、「お気に入りの自然景観・都市景観（風景・景色）に関する自由記載」、「防災に関する自由記載」、「その他自由記載」の各項目において、頻出キーワード等を整理しました。

なお、参考資料2及び参考資料3において、「年齢別」、「地域別」の自由記載を整理しましたが、意見総数を鑑み、頻出キーワード等の整理においては細分化せずに「町民全般」の自由記載を次のとおり取りまとめます。

1. 拠点等に関する自由記載

拠点等に関する自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度（回数）
周辺	16回
ゾーン	13回
寒川町	11回
寒川神社	11回
拠点	10回
道路	9回
にぎわい	7回
活性化	7回
交流	7回
公園	7回



また、各頻出項目における、拠点等に関する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 周辺

- ・寒川神社周辺を整備して町を盛り上げるようにしてほしい
- ・わいわい市場の北側に大きいショッピングモールを造り、川を渡らずに買い物や医療センター等を利用出来るようになると良い
- ・寒川駅周辺に大型ショッピングモールが欲しい

- ・ 駅周辺に第3次産業企業の誘致を検討して欲しい
- ・ 寒川北 IC 周辺の活性化をするべき
- ・ 周辺の自治体に恵まれているのだから、それを利用するのも手である

○ ゾーン

- ・ 寒川神社周りを観光客がもう少し楽しめるように、神社ゾーンとして駐車場とかお土産屋さん増やしたら良いのではないか
- ・ 拠点やゾーンを作ることも重要だが、そこに行く手段が作られていないと人は集まらない
- ・ にぎわい交流創出ゾーンについて、田んぼをつぶして店舗を増やすようなことになるのは嫌だ
- ・ ゾーンの進捗が何もわからない
- ・ 小谷付近の川沿いにアスファルトに整備して明るい街灯が設置されたら健康作りに程よいゾーンになるのではないか
- ・ 防災対策ゾーンが必要、福祉ゾーンが必要
- ・ 新たなゾーン等よりは、生活中心拠点をもっと賑やかにして欲しい

○ 寒川町

- ・ 寒川町北側にも何かあると良い
- ・ 寒川町の20年後、30年後を見据えて、しっかり準備をして欲しい
- ・ 寒川町は何を目指すのか

○ 寒川神社

- ・ 寒川神社を中心に町外からの集客ポテンシャルはあるのにそれを経済活性化に生かされていない
- ・ 寒川神社の周りに道の駅などご当地グルメなどが食べられる、人が集まるような施設があるとちょっと観光客が来るのではないか
- ・ 遠くから寒川神社に来てくれる人がたくさんいるのに周りに何もなさすぎる
- ・ 寒川神社近辺の活性化、例えば鎌倉の商店街の様な街づくりが必要

○ 拠点

- ・ 小さな土地面積なのでそんなに拠点や中心地的な考え方はしなくて良い
- ・ 福祉に関係する拠点が必要
- ・ 拠点と言うより交通網や駐車場の整備をして欲しい
- ・ 町の財源を得つつ拠点化を加速することが重要だと思うため拠点化は賛成だが、実現化が遅い

- ・高速道路ができ物流拠点が増えているが、もっと自然や町らしい感じがする地域が必要
- ・各学校を交流拠点と考えていてはどうか

○ 道路

- ・幹線道路沿線沿道サービス施設の配置など、ふさわしい土地利用を検討すべき
- ・新幹線やいずみ野線、寒川北インター、藤沢市から北インターへの新設道路などポテンシャルを秘めている
- ・倉見駅西側、農地や圏央道下の道路開発を進めてもらいたい

○ にぎわい

- ・にぎわい交流はとても良いが、渋滞は一概に喜べない
- ・にぎわい交流創出ゾーンの活性化が必要

○ 活性化

- ・寺社仏閣について、歴史を重視した観光等での町の活性化を図るのが良い
- ・倉見産業道路は店舗充実高いが、駅前の活性化について検討求めたい
- ・子育て世帯を呼び込む事で活性化されると思うが、子育てしやすい魅力が足りない
- ・寒川駅東側の農地を工業や商業で活性化すべき
- ・寒川北 IC 周辺の活性化をするべき

○ 交流

- ・避難所は公園、交流施設として常用もできることが望ましい

○ 公園

- ・いつも中心部から南側のことばかりで、中央公園以北はなにもないイメージ
- ・目新しい事を計画中だが、足下の公園や緑道に絶えず雑草が生えており解消すべき
- ・駅周辺には極力ゆとりを持たせ、公園や学校などの公共施設、商業施設や住む場所は駅周辺ではなく町と隣の市の境界周辺を囲むようにした方が、交通網の整備、周辺地区からの集客、住民の利便性向上も計れるのではないか

2. 土地利用に関する自由記載

土地利用に関する自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度
場所	8回
公園	7回
農地	6回
土地／土地利用	6回
道路	5回
商業施設	4回
高齢	4回
トラック	4回



また、各頻出項目における、土地利用に関する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 場所

- ・寒川には寒川神社しかないと言われるため、他にも目的地となるような場所を作った方が活性化するのではないか
- ・公園や学童に入れなかった子などが放課後に過ごせる場所が必要
- ・室内のスポーツができる場所が少ない
- ・高齢になるにつれ、買い物ができる場所が近くにないと不安
- ・新幹線新駅の計画の場所と宮山インターが近すぎて、トラックばかり増えると将来的に倉見の新駅は活気のある明るい駅にはならないような気がする
- ・田畑、果樹園、花卉園芸場所などが分散化しているので町が指導しながら、集約化や企業参画を促し、今後の近郊農業の先駆けとなるような土地の利用法を検討して欲しい

○ 公園

- ・小さい公園で数を稼ぐだけではなく、大きな公園でたくさんの遊具があれば子どもたちも飽きずに過ごせると思う
- ・高齢社会に合わせて公園や病院、介護施設などを集約化したモデル地域があれば、近隣市内からの人の流入があって、街としても発展するのではないか
- ・町民が交流できるような公園を増やして欲しい

○ 農地

- ・寒川町は元々農業の町であり、もっと農地を活性化することを検討すべき
- ・散乱している農地、住宅、大型トラックの駐車場等を整理し、商工農住にメリハリをつけ、美しい街並みを造るのが良い
- ・食料の自給率を上げるために農地を大切にしたい
- ・農地や家屋など、高齢化に伴い空き家、空き地が多く活用できていない
- ・荒廃地や遊休農地が増えているため、工業や商業地に転換できないか検討した方がいい

○ 土地 / 土地利用

- ・人口減少社会を見据えた土地利用を考えて欲しい
- ・持続可能なまちづくりのためには、子育てや教育にお金を使うより、いかにお金が地域に流入するかを考えて土地利用して欲しい
- ・持ち主が亡くなって親族と連絡が取れなくなる前に土地を有効活用できるように検討を進めて欲しい
- ・不法投棄が無くなるような土地利用を期待したい
- ・比較的大きい空き地が宅地分譲やアパートになっているケースが多いが、診療所を建てるなど住民のニーズを叶える土地利用が出来たら良い

○ 道路

- ・今のうちに産業道路のトラックが多い道路とは別に道路を作り、飲食店などの店が多くなるようにするなど、人が集まる明るい町になって欲しい
- ・車以外の歩行者、自転車、車椅子などが安心して道路を移動できるための配慮が進んで欲しい

○ 商業施設

- ・大きな商業施設が欲しい
- ・商業施設が多くなると良い
- ・インターチェンジ周辺には大きな商業施設を設立すべき

○ 高齢

- ・高齢化で人口が減っているのにそこまで新築の家が必要なのか
- ・一次産業の労働人口が高齢化しているため小規模事業は立ち行かなくなるのではないのか
- ・高齢化に伴い、空き家、空き地が多く、活用できていない
- ・ドラッグストアの建設ばかりでなく大型スーパーや商業施設があると移住者が増えて高齢住居が新しい世代へと繋がっていくと思う

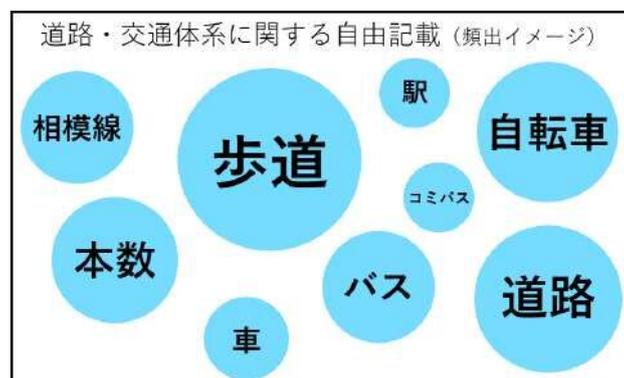
○ トラック

・工業用地にすると大型トラックが増え、住民にとっては交通渋滞、通学の子供達も危険度が増し、また、大型の倉庫のようなものばかり増えると景観に良くない

3. 道路・交通体系に関する自由記載

道路・交通体系に関する自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度
歩道	26回
道路	21回
自転車	20回
本数	18回
バス	16回
相模線	16回
車	12回
駅	10回
コミュニティバス	10回



また、各頻出項目における、道路・交通体系に関する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 歩道

- ・信号のない横断歩道が多くなかなか車に停まってもらえず横断できない
- ・学校の通学路や幼稚園などの通園路、散歩道の安全性を向上させるべき
- ・全体的に道路が狭く歩道や自転車専用レーンなど無いため整備が必要
- ・自転車が走行できる十分なスペースを確保して欲しい
- ・自転車が歩道を通ると歩行者が危ないが車道も危ないため、もっと安全に走れると良い
- ・歩道の積極的設置など徒歩、自転車移動者と自動車の事故を減らす取組みを推進したほうが良い
- ・歩道整備が他の市町村より遅れていると感じる
- ・乳母車等が通れるように、歩道、自転車道がもう少し広くして欲しい

○ 道路

- ・ 歩行するのに危険を伴う道路がまだ多いと感じる
- ・ 南口の道路は幅員も狭く車も多いため、安心して歩けるようにしてほしい
- ・ 主要な道路も歩道が取れていない場所が多く、健康促進のために歩いて楽しい町になっていないように感じる
- ・ 駅に向かう道路も狭く道幅も狭いため、自転車も気をつけて通らないと危ない
- ・ 道路が狭く混みやすい
- ・ 1月に寒川神社の参拝客で周辺の道路が混み合うのは仕方がないが、昼夜問わず路駐がひどいため警察と連携して交通整備をするなど繁忙期だけでも改善してほしい
- ・ 道路がデコボコ過ぎて、もっと整備してほしい
- ・ 道路ではなく防犯の項目かもしれないが、街灯が少なく冬場はとても暗い

○ 自転車

- ・ 自転車と自動車共存するには道が狭い
- ・ 県道45号線は車道を走る自転車を追い越すのが困難だが、歩道が狭すぎるため自転車は歩道を走れない
- ・ 自転車が歩道を走るには歩道が狭すぎだが、車道を走るには車道の端が凸凹すぎる
- ・ 相模線沿線以外の地域はほぼ自転車か徒歩、自動車移動になるので、歩道の積極的設置など徒歩、自転車移動者と自動車の事故を減らす取り組みを推進したほうが良い
- ・ 道が狭く自転車が通りにくい
- ・ 自転車道が欲しい

○ 本数

- ・ コミュニティバスの夕方から夜の本数を増やし、夜8時まであればありがたい
- ・ 地域によってバスの本数がかなり少ないため、小さくても本数を増やしてほしい
- ・ 他の路線にアクセスできるのはバスのみだが、海老名行きのバスのみで本数が少なく、停車数が多くて時間的に不便、また、湘南台駅にもアクセスできれば良い
- ・ 高齢者にも住みやすくするため、電車やバスの本数を増やしてほしい
- ・ 相模線の本数が少なすぎて非常に不便
- ・ もっとバス路線が広い範囲になり本数も増えるのが理想だが、利用者が少ないのが現象なので、考えるべきところだと思う
- ・ 近年、バス会社も減便に次ぐ減便で収支が見込めず、コミュニティバスの本数が少ないのは重々承知だが、新しいことをしていかないと減便した先には公共交通が何もない状態になってしまうのではないかと

○ バス

- ・バスは子供が使う時間帯がなく、通勤時間帯にも使いにくい
- ・駅や主要な施設などへアクセスしやすいよう、バスなどの交通網がもう少し充実してくれると暮らしやすい
- ・地域によってバスの本数がかなり少ないため、小さくても本数を増やして欲しい
- ・東西のバス移動についてはほぼ皆無に近く、自家用車以外では手段がない
- ・バスは隣接する他市町村に相互乗り入れして欲しい
- ・電車バス等の交通機関が不便だが、昔と比べるとかなり便利になっていると思う
- ・駅前を広くとり、バスロータリーを作ることは必須

○ 相模線

- ・相模線が単線でとにかく本数が少なく、東海道線との乗り合わせが悪いと地獄
- ・寒川神社参拝客で混み合う時期について、相模線も本来であれば乗れるはずの電車も乗れないことが増えてしまったため、町民は優先的に乗車できるようにするなど町民に対する配慮などをして欲しい
- ・相模線の複線化、スピードアップ、優等種別の運行などが必要
- ・通勤時間帯の相模線の混雑がひどくなっており、本数を増やしたり車両数を増やしたりするなど対策を取って欲しい
- ・相模線の始発、終電をもう少し早い／遅い時間にして欲しい

○ 車

- ・どこも車がないと不便
- ・自家用車の利用が多いのは単線で本数が少ない相模線だからではないか
- ・自家用車で子どもの習いごとの送迎が出来ないため、路線バスや町内バスも少なく不便
- ・歩行者が渡っているのに平気で右折左折してくる車が多い印象で、交通ルールを守られていない車が多く感じる

○ 駅

- ・寒川駅南口の道路は幅員も狭く、車も多いので安心して歩けるようにして欲しい
- ・倉見駅前の道が狭いのに乗用車のスピードが早いので歩いているとぶつかりそうで怖いため、物理的にスピードが出なくなるような道路になってくれたら嬉しい
- ・車社会にしては役場周辺や駅周辺の駐車場整備が充分では無いように感じる

○ コミュニティバス

- ・ 運転免許返納の時に、たった1年間仕用のタクシー券が貰えるなら、コミュニティバスの回数券を作って欲しい
- ・ コミュニティバスが走っているだけで町内の防犯効果があると思う
- ・ 高齢者の足になれるようにコースを増やすなど、コミュニティバスの拡充が必要
- ・ 南部のコミュニティバスは小さくて乗るのを躊躇するため、せめて小さいバスサイズにして欲しい
- ・ 昔に比べてバス路線が減っているが、コミュニティバスなどで補っていて助かる

4. 環境・景観形成に関する自由記載

環境・景観形成に関する自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度
整備	10回
ゴミ	9回
参道	8回
神社／寒川神社	5回
自然	5回
周辺	4回
環境	4回



また、各頻出項目における、環境・景観形成に関する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 整備

- ・ 散歩するのに、川のほとりなど整備して欲しい
- ・ 相模川の回りをもっと整備して欲しい
- ・ 雑草や落ち葉、高木の整備に手が足りていないように感じるため、シルバー人材センターなどを利用して整備して欲しい
- ・ 神社仏閣がそれぞれ整備するのが良いと思う
- ・ 景色のよさをもっと整備しアピールすべきだと思う
- ・ 自然を活かしながらももう少し観光的な視点で整備、保存されるともっと良いと思う

○ ゴミ

- ・ 駅や駐輪場のゴミ捨て場に不法投棄されているゴミは片づけた方が良い
- ・ 日々の清掃や美化活動について、事業者の参加を促せるような働きかけなどをして欲しい
- ・ 月に1度くらいの頻度でゴミ拾いを町職員が行っている姿や県道の花植えを行っている姿を見かけるが、町民にとっても重要であり意識付けにも繋がるので継続して欲しい

○ 参道

- ・ 参道整備ができていない
- ・ 参道の車道は、落ち葉で自転車が危ない
- ・ 神社参道はもっと広くし、神社周辺の駐車場は立体化するなどして楽に駐車できるようにした方が良い
- ・ 寒川神社の参道にある排水溝が詰まっていて、水たまりができやすくなっており、由緒正しい神社の参道が台無しだと思う

○ 神社

- ・ 寒川神社周辺の渋滞対策が必要
- ・ どこにでもある「普通の田舎町」になっているため、寒川神社など貴重な存在をもっと生かすべき

○ 自然

- ・ 相模川沿いは自然が多いのでいつか散歩したい
- ・ もっと自然や歴史的なものを守るべき
- ・ あまり寒川で自然を感じることはない
- ・ 寒川の自然が感じられるバードウォッチングや蛍が見える川など増やしたほうが良い

○ 周辺

- ・ 事業所周辺のごみ環境で通報があった際は、事業者へアクションを促して欲しい
- ・ 寒川神社周辺に住民専用道路を作り、住民の利便性を確保して欲しい

○ 環境

- ・ 環境は良いと思う
- ・ 寒川町の自然環境や景観は、町が一番誇れるところだと思う
- ・ 緑や花が育成されている素晴らしい町と感じており、地域活動に多くの住民がそれぞれのスタイルで参加することが環境保全に繋がると考える

・みどりの維持や環境づくりは町が主体として取り組んでいく意識が重要であるが、取り組んでいると思う

5. お気に入りの自然景観・都市景観に関する自由記載

お気に入りの自然景観・都市景観に関する自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度
富士山	40回
中央公園	15回
寒川神社	14回
田んぼ	10回
桜	10回
景色	9回
大山	8回
銀河大橋	7回
相模川	6回



また、各頻出項目における、お気に入りの自然景観・都市景観に関する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 富士山

- ・中央公園からの富士山
- ・富士山と寒川神社
- ・ダイヤモンド富士がみえる場所
- ・寒川高校裏の田んぼと富士山
- ・寺尾橋から見る夕陽に染まる富士山
- ・スポーツ広場、神川橋からの富士山
- ・大曲の田んぼから見える富士山
- ・寒川高校横の道路から見える富士山
- ・坂の天辺や丘の上から見える富士山
- ・目久尻川の両岸からの丹沢、富士山

・箱根連山・富士山・大山と見渡せるところ（景観もさることながら、夏至、冬至、春分、秋分と日の入りが目視できることは、縄文時代の人々が寒川を居住地としたことと密接に関係していると思うので、そのような歴史も大切にしたい）

○ 中央公園

- ・中央公園
- ・春の中央公園
- ・中央公園の丘から観る景色
- ・中央公園のベンチや草に寝転がっての空を見る景色が良い
- ・中央公園の山の上のベンチ
- ・近くの信号から田んぼ越しに中央公園や夢庵方面を眺める景色
- ・中央公園前や中学校前の畑

○ 寒川神社

- ・寒川神社の鳥居と、富士山が田んぼの合間に見える景色
- ・寒川神社のある景色
- ・寒川神社は高く伸びた木々が多く、木の元気をもらえる気持ちになる
- ・寒川神社の正月のねぶた飾り
- ・寒川神社の参道の森
- ・寒川神社がとても好きで毎月参拝しており、心がリセットされてまた頑張れる
- ・寒川神社から水の広場までは良い雰囲気と施設がある
- ・寒川神社はおもむきがある
- ・寒川神社の参道の緑がうれしい
- ・寒川神社に行くと落ち着く

○ 田んぼ

- ・寒川東中の前、田んぼの横を走っている相模線
- ・田んぼと相模線
- ・大曲の田んぼからみた夕焼け
- ・信玄芝原公園付近の朝早くや夕焼け、畑や田んぼのあぜ道に立ち止まってみる風景

○ 桜

- ・倉見の桜街道
- ・倉見緑地の桜並木
- ・中央公園の桜
- ・寒川小学校の校庭の桜

- ・一之宮公園の桜
- ・参道の桜を背景に菜の花が咲き、水鳥が飛来する目久尻
- ・小出川沿いの桜や川に集まる水鳥など

○ 景色

- ・相模線からの田んぼの景色
- ・中央公園や農地など景色もよく空も広く感じられるところ
- ・川とのふれあい公園からの景色

○ 大山

- ・相模川沿いから見える、富士山と大山
- ・富士山と大山の位置関係は寒川町が1番良い
- ・富士山と寒川神社越し広がる大山
- ・大山をはじめとした丹沢の山々が見える駅改札前の窓
- ・目久尻川沿いや相模川沿いの鳥や草木が富み、富士山や大山が良く見えるところ

○ 銀河大橋

- ・銀河大橋からの富士山
- ・銀河大橋付近の土手からの風景
- ・銀河大橋の寒川側の夜景
- ・銀河大橋からの景色

○ 相模川

- ・相模川の先に見える大山、富士山、箱根の山々
- ・相模川流域は自然を感じられる
- ・目久尻川沿いや相模川沿い

6. 防災に関する自由記載

防災に関する自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度
防災無線	8回
避難所	7回
災害	6回
町民	5回
火災	5回
氾濫	4回
周知	4回
情報	4回



また、各頻出項目における、防災に関する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 防災無線

- ・ 防災無線が聞き取りにくい
- ・ 防災無線の改善が必要
- ・ 防災無線を聞き逃した時ネットで内容が確認できない
- ・ 防災無線のツイッターアカウントが稼働していない
- ・ 工場火災の際に、テレビでも中継でニュース報道されていたが町役場は防災無線やホームページで火災の情報を周知していなかった
- ・ 防災無線が今後機能しないのであれば、有事の際に混乱が起きるとの意見が多くの町民から出ている

○ 避難所

- ・ 避難所などが少ない
- ・ 冠水、浸水等の危険のある地域の避難所における減災対策が必要
- ・ 避難所にプライバシー保護のテント、ペットと避難できる場所の確保などがあればいい
- ・ 大規模水害時の備えとして、浸水リスクの低い場所で長期かつ大人数が使用可能な避難所、物資備蓄を進めるべきであり、常用としては公園、交流施設として利用できることが望ましい

○ 災害

- ・今後起こる災害に備え、寒川町に消防署組織とは別の迅速に対応出来る防災組織が必要
- ・現在の町の体制で災害が起きたら多分機能停止する
- ・他市町村事例を参考に、公園に災害時用に役に立つマンホールトイレ、かまどになるベンチ、井戸水を使えるように準備するなどの防災対策がしてあると安心だと思う
- ・災害対策で何をしているのか分かっていない
- ・災害が起きた時の物資が充分にあるのか
- ・実際に災害が起きたらどうなるのか、町民はどうしたらよいか分からなくて不安なため、シミュレーションを公開したり、避難訓練をしたりして欲しい

○ 町民

- ・危機管理が町民として全く見えない
- ・寒川町最大の自然災害の脅威は河川の大規模氾濫だと思っており、もっと町民に周知したほうが良いのではないか

○ 火災

- ・以前近所で工場火災があった際に怖い思いをしたため、工場で火災があったときなどに対応が迅速にできると良い
- ・野焼きが原因の大規模な森林火災が各地で発生しているが、自宅付近の田畑でも野焼きが横行しているので対応して欲しい

○ 氾濫

- ・台風などの洪水の際に氾濫情報が町役場からは情報発信されていないが、茅ヶ崎市消防と合併したから寒川町役場からは情報発信しないという理由では府に落ちない
- ・相模川や目久尻川などの河川があることから氾濫が一番の起こりうる災害と思われる

○ 周知

- ・あまり内容が周知されていないのではないか
- ・普段から町役場の人ではなく、ボランティアをしていただき周知することが必要
- ・広域避難所の具体的利用方法などさらに周知して欲しい

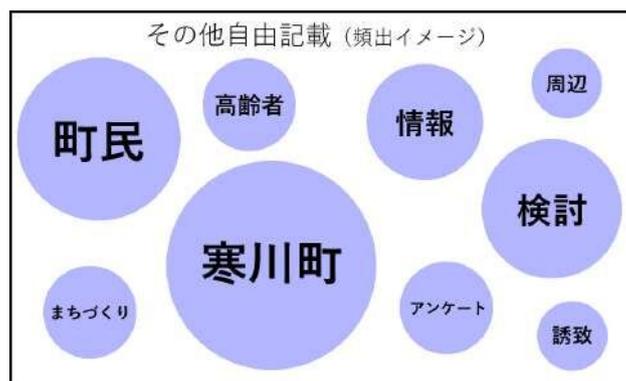
○ 情報

- ・不審者情報も知りたい
- ・自治会主体じゃなくて自治体主体で防災についての情報を電子配信して欲しい

7. その他自由記載

その他自由記載の主な頻出項目及び頻出キーワードは次のとおりです。

項目（頻出名詞）	出現頻度
寒川町	9回
町民	7回
検討	6回
情報	5回
まちづくり	4回
高齢者	4回
アンケート	4回
誘致	3回
周辺	3回



また、各頻出項目における、まちづくりに関連する主な記載内容は次のとおりです。なお、重複する項目はいずれかにのみ記載します。

○ 寒川町

- ・町民が自分たちの住む寒川町に関して自由闊達に意見を述べることの出来る、タウンミーティング的な仕組みを具現化して欲しい
- ・寒川町をもっと外に向けてアピールして、「寒川町から来ました。」と胸を張って言えるような町になって欲しい
- ・より理想的な町の姿を検討し、県や全国をリードできるような寒川町を利用して行って欲しい
- ・議論にとどまらず、よいと思ったことを実現できるよう、小さいことからトライ&エラーで成功事例を増やして行って欲しい
- ・寒川町はポテンシャルが非常に高いと感じる

○ 町民

- ・災害情報について、行政が行わないのであれば個人が動くしかないという現状であり、今後まちづくりの改善が必要
- ・様々なアンケートを実施しているが、もっと町民や実際関わっている方に意見を聞いて欲しい

○ 検討

- ・学校の集約化が検討されているが、学力レベルアップとか他の地域と違う内容の検討も必要だと感じる
- ・環境や住みやすさを検討して寒川に家を建てたためこれから長い間居住すると思うが、たくさん行政と住民が意見交換しより良い街になっていく事を願っている
- ・各団体での人材不足が多発していると思い、参加しやすい仕組みの検討をして欲しい
- ・高齢者が孤独にならない取組みも検討して欲しい

○ 情報

- ・まちづくりについて、情報発信力の弱さを改善していく必要がある
- ・助けが必要な時に情報発信者が不在であることが多く、以前、寒川を台風や大雪が直撃した際も役場のホームページは町の避難所指示情報や川の氾濫情報、交通機関情報がいっさいアップされなかった

○ まちづくり

- ・予算を使ってもいいので計画段階から民間や専門家を入れ、その上で町民にまちづくりを考えてもらうのが良い
- ・交通の利便性が高いので、その優位性を生かした工業、商業的な立地のまちづくりを行っていけば財政的に豊かになれると思う

○ 高齢者

- ・高齢者対策として介護・介護予防などに力を入れていただいているが、単身高齢者が増加する中、要介護・要支援でなくても安心して暮らせる資源が欲しい
- ・社会福祉協議会を基幹としたシステムの構築やシニア向け賃貸住宅建築者の誘致など、単身高齢者も安心して暮らせるまちづくりを政策に含めて欲しい
- ・高齢者が孤独にならない取組みも検討して欲しい

○ アンケート

- ・役場職員も町外の方が増えていると聞いており、職員に対して「寒川町に住みたいか」のアンケートを行なったらどうか
- ・今回のようなアンケートは継続して欲しい

○ 誘致

- ・倉見のツインシティ計画及び新幹線誘致を毎日楽しみにしている
- ・新幹線新駅誘致は非現実的なため、その予算を相模線複線化など他に使用して欲しい

○ 周辺

- ・寒川神社周辺に車中泊が出来る広い駐車場がある道の駅があったら楽しそう、また、工場見学が出来る工場が来たら嬉しい
- ・寒川駅以外の宮山、倉見駅周辺の道が狭いので困っている
- ・大きなカフェが駅周辺に欲しい

以上のように、参考資料4にて自由意見の頻出キーワード等を整理した結果、「道路・交通体系に関する自由記載」では歩道や自転車に関する記載、「防災に関する自由記載」では防災無線や避難所に関する記載が多く、一定程度町民の方が感じている課題認識を整理することができました。

この内容を庁内各課に共有し、ご意見を参考にさせていただきながらできるところから改善に向けた取組みに繋げてまいります。

(本編) 参考資料 5

ポスターセッション実施結果

寒川町都市マスタープラン

進捗管理等報告書

令和7年11月16日（日）に開催された、第41回寒川町産業まつりにて、簡易的なポスターセッションを実施しました。

1. 質問項目

ポスターセッションを実施した目的は、「都市マスタープラン進捗管理等の一環」であるため、現行の都市マスタープランにて寒川町が「目指す暮らしぶりと町のすがた」として示している「テーマ」について、また、町民の方も直感で分かりやすいと考える「取組み」についての2点を伺いました。

寒川町都市マスタープラン進捗管理等に向けた取組み

① 今後まちづくりで優先すべきテーマは？

毎日の暮らしやすさが感じられるまち	空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち
安全・安心に暮らし続けられるまち	生き生きと働けるまち
のびのびと元気な子どもを育てられるまち	その他（自由記載）

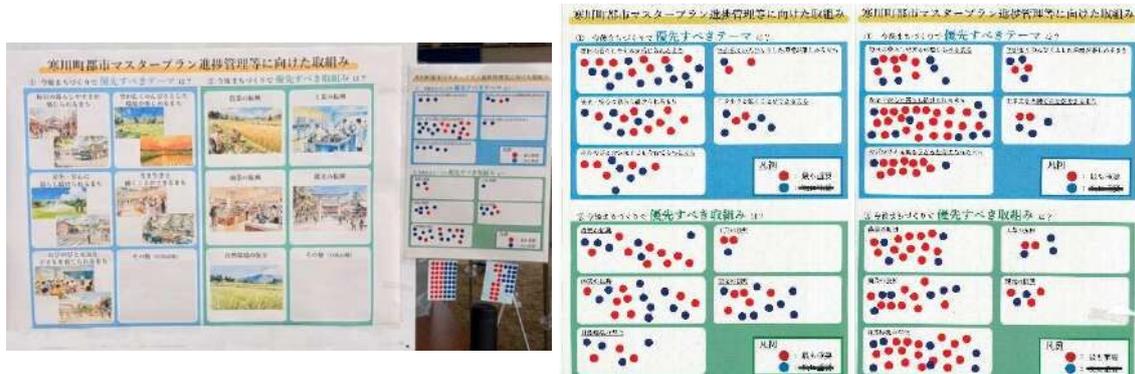
② 今後まちづくりで優先すべき取組みは？

農業の振興	工業の振興
商業の振興	観光の振興
自然環境の保全	その他（自由記載）

2. 実施結果

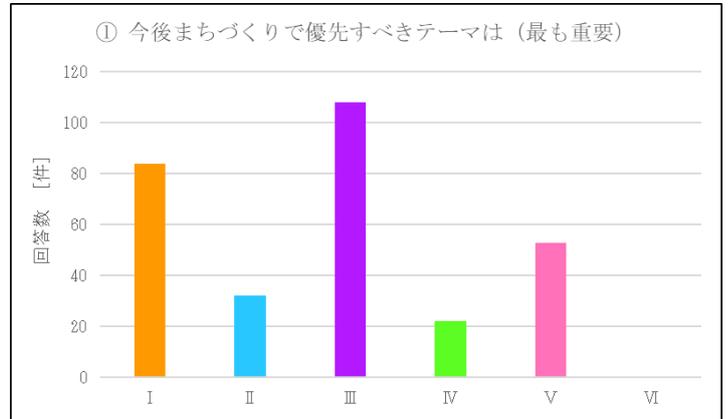
集計した結果は次のとおりです。

実施日時	場所	回答者
令和7年11月16日（日） 午前10時～午後2時	さむかわ中央公園	299人



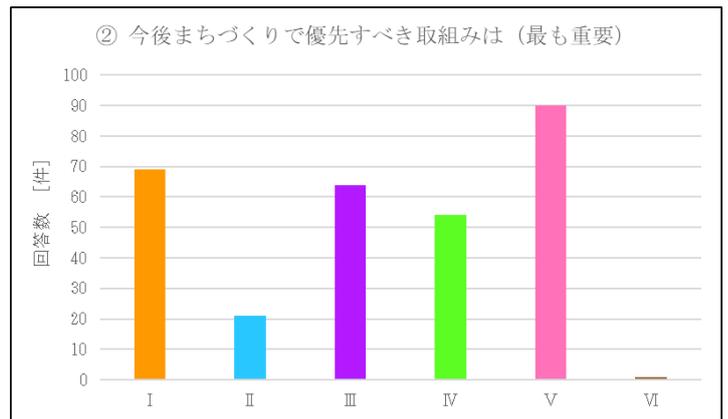
① 今後まちづくりで優先すべきテーマは

選択肢【最も重要】	回答数[件]	割合[%]
I. 毎日の暮らしやすさが感じられるまち	84	28.1
II. 空が広くのんびりとした環境が楽しめるまち	32	10.7
III. 安全・安心に暮らし続けられるまち	108	36.1
IV. 生き生きと働くことができるまち	22	7.4
V. のびのびと元気な子どもを育てられるまち	53	17.7
VI. その他（自由記載）	0	0.0



② 今後まちづくりで優先すべき取組みは

選択肢【最も重要】	回答数[件]	割合[%]
I. 農業の振興	69	23.1
II. 工業の振興	21	7.0
III. 商業の振興	64	21.4
IV. 観光の振興	54	18.1
V. 自然環境の保全	90	30.1
VI. その他（自由記載）	1	0.3



①優先すべきテーマについては、「安全・安心に暮らし続けられるまち」、や「毎日の暮らしやすさが感じられるまち」を重要と感じている方が多く、②優先すべき取組みについては、「自然環境の保全」、「農業の振興」、「商業の振興」を重要と感じている方が多いという結果でした。

なお、回答の際にお話を伺う中で、「年齢層や家族構成などの属性により求めている声の傾向がある」ということを感じ、また、「どれも重要で甲乙つけがたい」というお声をたくさんいただきました。

以上を踏まえ、この結果だけで今後の方向性を判断するのではなく、次期都市マスタープラン改定や関連計画の策定及び見直しを見据え、令和 9 年度以降を目途に、町民の方と直接お話や考えを伺える機会を増やすための取組みを検討していきます。